

仙台市文化財調査報告書第365集

上野遺跡

第6・7次発掘調査

—都市計画道路「富沢山田線」関連遺跡発掘調査報告書—

第2分冊

2010年3月

仙台市教育委員会

上野遺跡

第6・7次発掘調査

—都市計画道路「富沢山田線」関連遺跡発掘調査報告書—

第2分冊

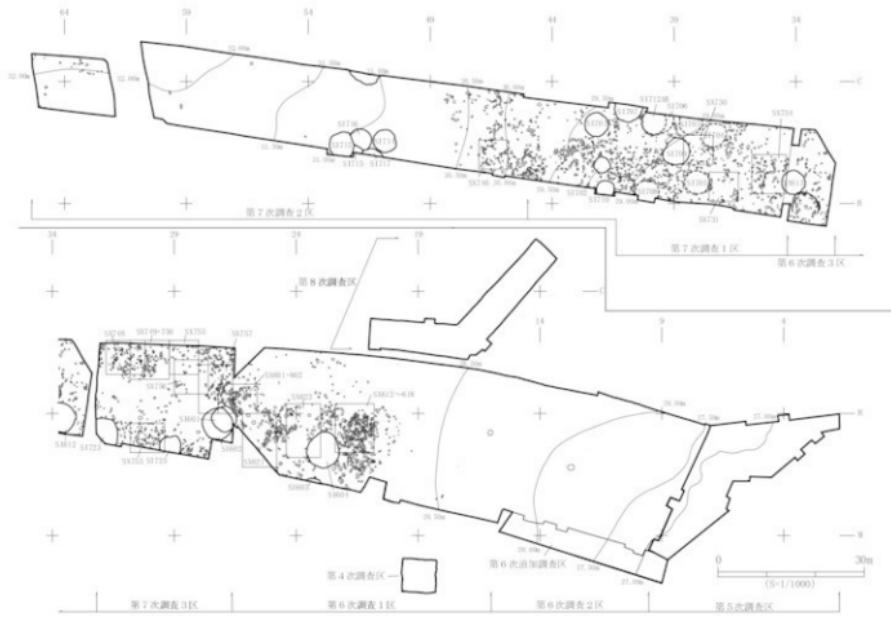
2010年3月

仙台市教育委員会

3. 焼土跡

焼土跡は第6次調査で11基、第7次調査で11基の計22基が検出されている。これらは第6次調査1区から第7次調査2区東側までの範囲で検出されており、特に第6次調査の1区中央部周辺および第7次調査3区北寄りにおいては複数の焼土跡が近接して検出されるなど、まとまった状況を窺うことができる（第327図）。焼土跡はⅢ層上面で検出されたものが多く、堅穴や周溝等の施設が確認されなかった住居跡の可能性もあることから、下層にあたるV層上面の焼土跡周辺で検出されたピットを平面図に合成した。なお、ピットの深さについては焼土跡の検出面からの深さを表記しており、表に対応するよう各図ごとにP番号を付している。そのため近接して存在しているものは紙面の都合上、同一図に掲載しているが、できなかったものについてはピットが一部別の画面で異なる番号となる場合もある。遺構番号には埋設土器や配石遺構などS X全体で通し番号を付していることから連番とはならないためS X一覧表を合わせて参照されたい（第34・35表）。

以下、各遺構ごとに説明する。



第327図 桶文時代焼土跡配置図

SX601焼土跡（第328図）

第6次調査1区西側中央のG-26グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にはSX602焼土跡が隣接しており、西へ6m程離れた位置にはSX757焼土跡が存在している。84cm×60cmの南北に長い不整形の範囲で焼け面が認められ、深さ6cmまで火熱の影響によって赤変している。周辺では炭化物粒の分布が認められた。本遺構周辺のV層上面からは多数のビットが密集した状態で検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX602焼土跡（第328図）

第6次調査1区西側中央のG-26グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にはSX601焼土跡が隣接しており、更に西へ6m程離れた位置にはSX757焼土跡が存在している。45cm×41cmの不整形の範囲で焼け面が認



遺構	位相	土色	土性	備考
SX601	I	10YR5/6 明黄色	砂質シルト	粘土土。
SX602	I	10YR5/5 淡褐色	砂質シルト	粘土化粧量含む。

番号	深度	番号	深度																
P1	40	P12	45	P23	51	P34	33	P45	22	P56	32	P67	43	P78	37	P89	24	P100	60
P2	47	P13	54	P24	36	P35	46	P46	21	P57	31	P68	26	P79	35	P90	48	P101	32
P3	38	P14	39	P25	38	P36	19	P47	33	P58	37	P69	29	P80	42	P91	34	P102	33
P4	38	P15	36	P26	37	P37	24	P48	30	P59	34	P70	27	P81	36	P92	33	P103	39
P5	39	P16	45	P27	37	P38	45	P49	34	P60	37	P71	30	P82	33	P93	52	P104	32
P6	52	P17	49	P28	33	P39	31	P50	65	P61	26	P72	49	P83	29	P94	69	P105	51
P7	48	P18	49	P29	31	P40	24	P51	46	P62	28	P73	44	P84	38	P95	34	P106	34
P8	43	P19	33	P30	45	P41	25	P52	29	P63	33	P74	16	P85	28	P96	48	P107	34
P9	37	P20	45	P31	38	P42	25	P53	28	P64	36	P75	29	P86	37	P97	32	P108	32
P10	45	P21	44	P32	27	P43	26	P54	33	P65	22	P76	50	P87	38	P98	26	P109	29
P11	43	P22	33	P33	38	P44	28	P55	56	P66	32	P77	43	P88	34	P99	24	P110	18

第328図 繩文時代焼土跡（1）

められ、深さ 6 cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構周辺のⅢ層上面からは多数のビットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX612焼土跡（第329図）

第6次調査1区中央のH-21グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にSX613・614・618焼土跡などが隣接しており、大珠が検出されたP60911ビットから南西3.3mの距離に位置する。北西から南東に長い76cm×40cmの不整梢円形の範囲で焼け面が認められ、深さ 5 cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のビットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX613焼土跡（第329図）

第6次調査1区中央のH-21グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にSX612・618焼土跡、西側にSX614焼土跡が隣接する。大珠が検出されたP60911ビットから北北東2.5m程の距離に位置する。80cm×62cmの東西に長い不整梢円形の範囲で焼け面が認められ、深さ 8 cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のビットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX614焼土跡（第329図）

第6次調査1区中央のH-21グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にSX612・613・618焼土跡が、南側にSX615焼土跡が隣接する。大珠が検出されたP60911ビットから北へ13m程の距離である。95cm×78cmの東西に長い不整梢円形の範囲で焼け面が認められ、深さ 5 cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のビットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX615焼土跡（第329図）

第6次調査1区中央のH-21グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北側にSX614焼土跡、南側にSX616焼土跡が隣接する。大珠が検出されたP60911ビットからは北へ0.7mの距離である。36cm×35cmの円形の範囲で焼け面が認められ、深さ 6 cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のビットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX616焼土跡（第329図）

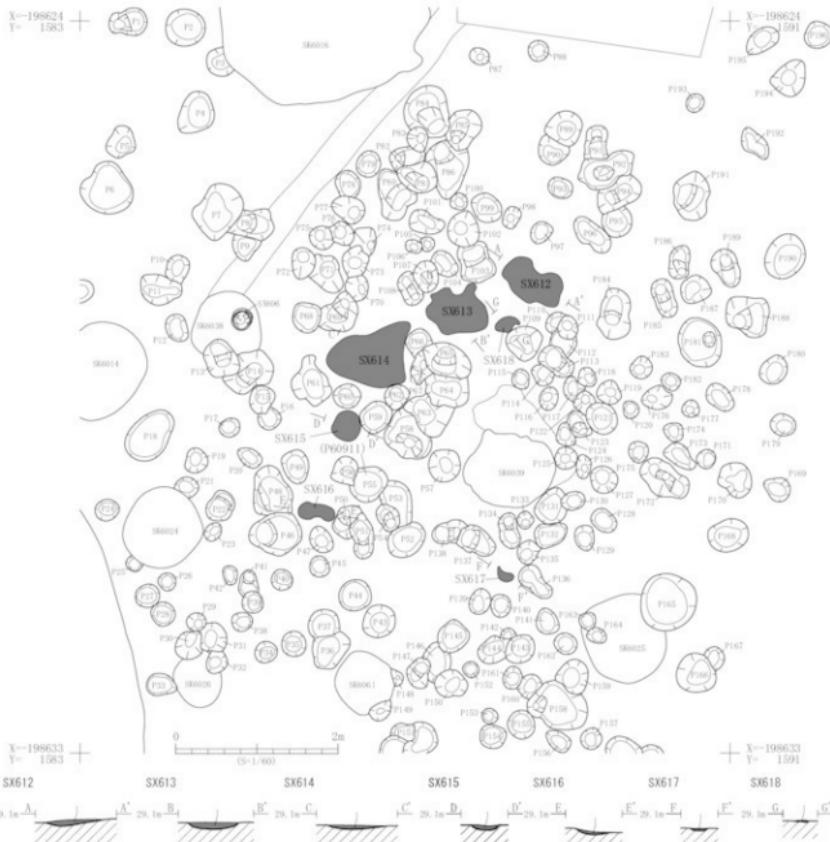
第6次調査1区中央のH-I-21グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北側にSX615焼土跡が、東側にSX617焼土跡が隣接する。大珠が検出されたP60911ビットから南西へ0.5mに位置する。48cm×20cmの東西に長い梢円形の範囲で焼け面が認められ、断面では深さ 4 cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のビットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX617焼土跡（第329図）

第6次調査1区中央南寄りのI-21グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にSX616焼土跡が隣接し、大珠が検出されたP60911ビットから南東2.0mに位置する。25cm×10cmの東西に長い不整梢円形の範囲で焼け面が認められ、深さ 3 cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構の周囲では多数のビットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX618焼土跡（第329図）

第6次調査1区中央のH-21グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。SX612・613焼土跡の間に挟まれた位置に存在する。大珠が検出されたP60911ビットから北東へ2.6mの距離にある。30cm×17cmの東西に長い梢円形の範囲で焼け面が認められ、深さ 4 cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のビットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。



遺跡名	位置	土色	土性	備考
SX612	1 29.1m A	赤褐色	粘土	地土埋紋を多量に含む。
SX613	1 29.1m B	赤褐色	粘土	地土埋紋を少量に含む。
SX614	1 29.1m C	赤褐色	粘土	地土埋紋を多量に含む。
SX615	1 29.1m D	赤褐色	粘土	地土埋紋を少量に含む。
SX616	1 29.1m E	赤褐色	粘土	地土埋紋を多量に含む。
SX617	1 29.1m F	赤褐色	粘土	地土埋紋を多量に含む。
SX618	1 29.1m G	赤褐色	粘土	地土埋紋を多量に含む。

比例尺(1cm)

遺跡名	位置	土色	土性	備考	遺跡名	位置	土色	土性	備考																
P1	46	P12	39	P92	36	P47	53	P82	47	P72	52	P92	58	P160	38	P112	49	P107	49	P152	28	P167	33	P182	35
P2	45	P18	19	P32	26	P48	37	P53	26	P78	26	P93	35	P160	48	P122	50	P130	49	P152	37	P168	29	P183	43
P3	35	P19	31	P34	39	P49	37	P64	42	P79	35	P94	51	P160	36	P114	39	P109	36	P154	37	P169	35	P184	53
P4	45	P26	30	P50	43	P56	82	P65	44	P96	44	P96	25	P160	24	P155	44	P140	46	P155	47	P170	26	P186	42
P5	44	P21	36	P56	46	P74	46	P96	44	P91	42	P96	40	P111	39	P126	39	P141	32	P156	36	P171	40	P186	42
P6	35	P22	30	P57	43	P75	42	P61	23	P92	25	P91	14	P112	25	P127	30	P142	30	P157	20	P172	59	P187	35
P7	45	P25	29	P58	38	P75	40	P62	27	P93	48	P99	22	P112	29	P128	42	P142	33	P158	51	P172	21	P186	41
P8	46	P24	15	P59	38	P74	32	P60	44	P94	46	P99	29	P114	28	P129	49	P144	38	P159	40	P174	42	P189	39
P9	34	P25	27	P46	26	P55	48	P70	54	P95	58	P100	35	P135	25	P136	24	P145	34	P175	30	P181	31		
P10	27	P26	31	P41	31	P56	49	P71	37	P96	56	P101	38	P119	42	P131	34	P146	42	P161	45	P176	40	P194	39
P11	37	P27	34	P42	36	P57	35	P72	48	P87	23	P96	29	P117	22	P132	31	P147	42	P162	38	P177	13	P192	21
P12	41	P28	31	P43	61	P58	59	P73	21	P98	21	P104	33	P133	38	P148	35	P163	28	P178	25	P193	23		
P13	67	P29	43	P44	21	P59	29	P74	45	P98	45	P104	22	P134	17	P141	44	P149	34	P164	24	P179	36	P194	30
P14	52	P30	46	P45	37	P60	42	P75	67	P96	16	P106	39	P135	34	P156	44	P165	38	P180	28	P196	31		
P15	75	P21	43	P46	46	P61	57	P76	49	P91	37	P106	28	P121	37	P136	37	P151	31	P166	57	P181	51	P196	17
P16	33																								

第329図 硬文時代焼土跡(2)

SX621焼土跡（第330図）

第6次調査1区西側南寄りのI-25グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。周辺にはS K6005・6023土坑などが存在し、S I603堅穴住居跡や搅乱等により周辺は大きく削平されている。43cm×32cmの長椭円形の範囲に焼け面が認められ、深さ6cmまで火熱の影響によって赤変している。V層上面では本遺構の東から北西側にかけてピットが密集した状態で検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

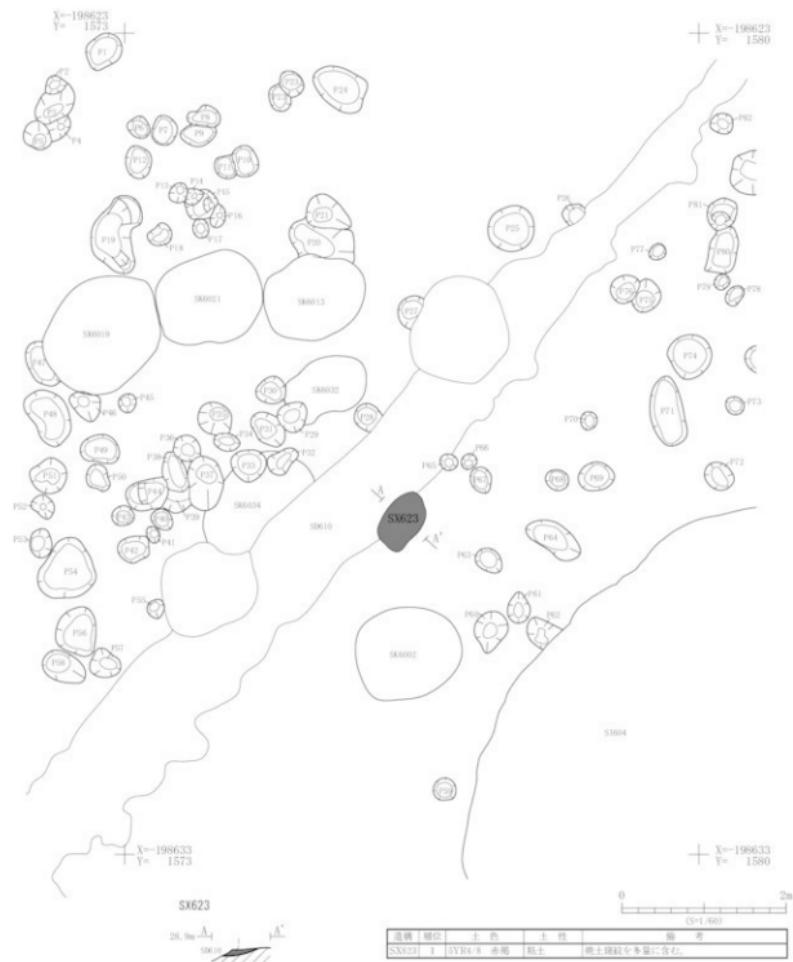
SX623焼土跡（第331図）

第6次調査1区西側中央のH-23グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。SD610溝跡と重複関係にあり、



番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ				
P1	15	P8	22	P15	48	P22	21	P29	21	P36	54	P43	38	P50	29	P57	39	P64	17	P71	34	P78	22	P85	42
P2	24	P9	21	P16	18	P23	10	P30	16	P37	13	P44	15	P51	38	P58	27	P65	30	P72	20	P79	38	P86	17
P3	12	P10	29	P17	14	P24	10	P31	15	P38	24	P45	23	P52	25	P59	50	P66	12	P73	28	P80	37	P87	37
P4	18	P11	32	P18	13	P25	12	P32	18	P39	22	P46	34	P53	37	P60	28	P67	14	P74	12	P81	31	P88	30
P5	24	P12	36	P19	11	P26	15	P33	25	P40	15	P47	24	P54	27	P61	39	P68	20	P75	22	P82	32		
P6	35	P13	66	P20	13	P27	32	P34	44	P41	31	P48	42	P55	29	P62	28	P69	38	P76	17	P83	14		
P7	19	P14	27	P21	11	P28	18	P35	15	P42	28	P49	25	P56	28	P63	45	P70	73	P77	19	P84	54		

第330図 縄文時代焼土跡(3)



縄文深度表(cm)

番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度
P1	11	P8	21	P15	30	P22	18	P29	19	P36	54	P41	19	P47	35	P53	45	P59	18
P2	11	P9	22	P16	38	P23	29	P30	11	P37	21	P42	34	P48	30	P54	31	P60	38
P3	35	P16	26	P17	23	P24	24	P31	17	P37	31	P43	19	P49	25	P55	29	P61	30
P4	15	P11	20	P18	11	P25	18	P32	20	P39	21	P44	25	P50	21	P56	30	P62	24
P5	31	P12	26	P19	23	P26	17	P33	24	P40	35	P45	21	P51	29	P57	24	P63	16
P6	21	P13	37	P20	26	P27	28	P34	29	P40	24	P46	29	P52	33	P58	24	P64	18
P7	27	P14	38	P31	22	P28	19										P70	14	

第331図 縄文時代焼土跡(4)

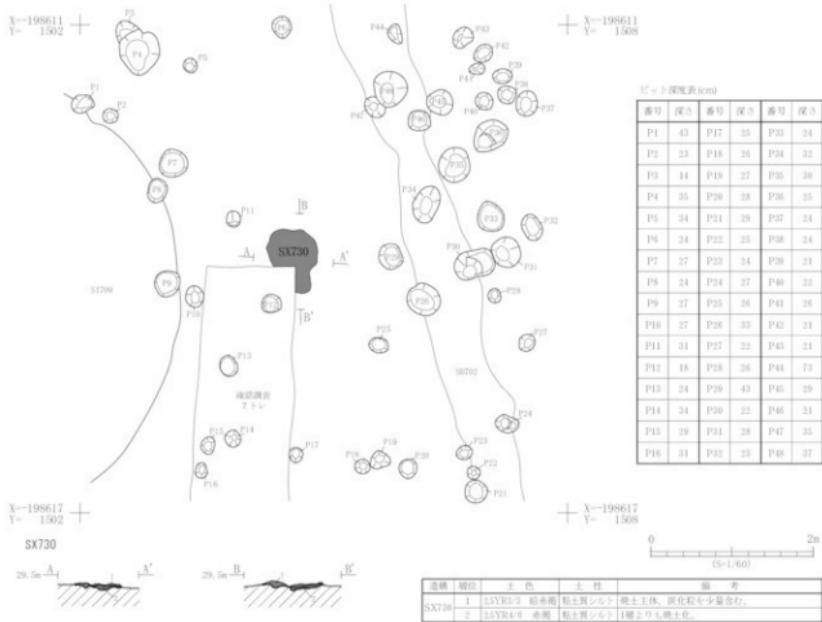
本遺構が古く、西側の一部が削平されている。SK6013土坑をはじめとする土坑7基が東側を除いて本遺構を取り囲む位置に存在している。72cm×46cmの北東から南北方向に長い梢円形の範囲に焼け面が認められ、深さ7cmまで火熱の影響で赤変している。V層上面では本遺構の西側を中心にして多数のピットが検出されているが、南側にはほとんど存在していない。ピットと本遺構との関係は確認できなかった。

SX730焼土跡（第332図、図版94）

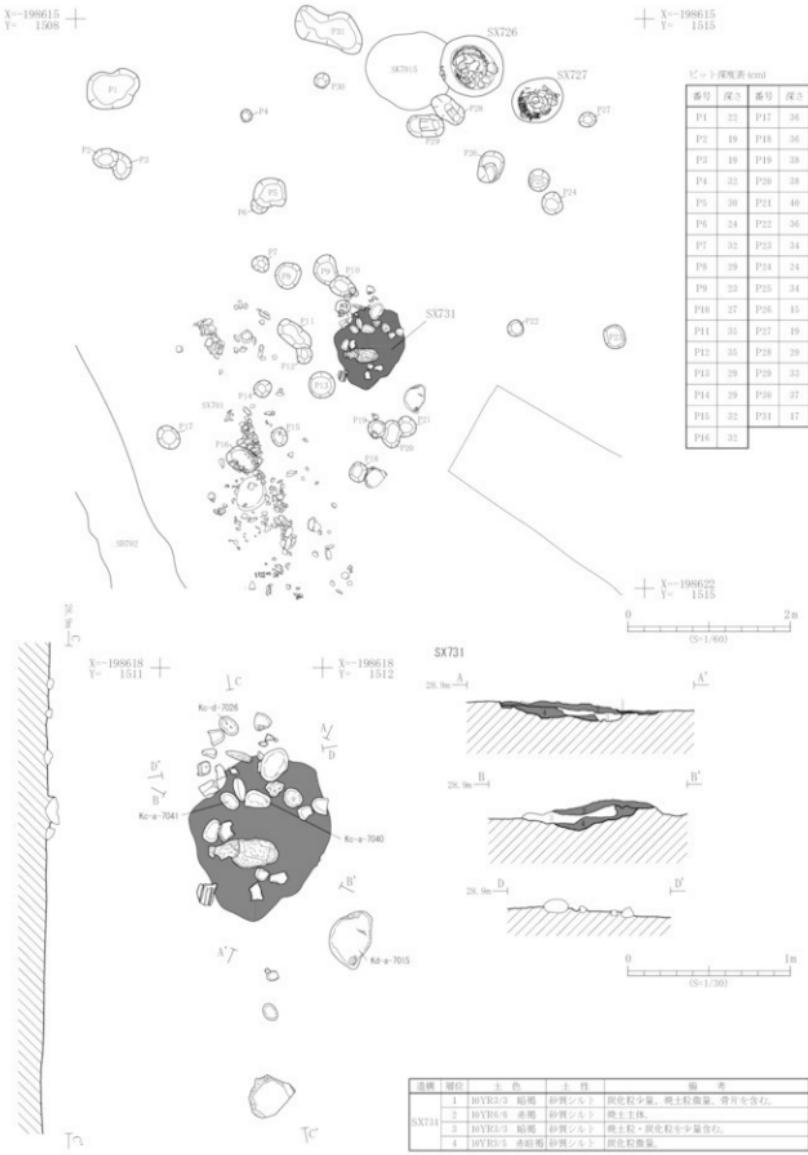
第7次調査1区中央のE-38グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南側が平成15年度確認調査7トレンチによって一部削平されている。西側にS1709堅穴住居跡が存在する。84cm×60cmの南北に長い不整な梢円形の範囲に焼け面が認められ、深さ15cmまで火熱の影響によって赤変している。V層上面では本遺構の東側周辺でややピットが密集した状況が窺えるが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX731焼土跡（第333図、図版94）

第7次調査1区東側中央のF-36・37、G-36グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南側にはS1711堅穴住居跡、南西にSX701集石が存在する。100cm×88cmの南北にやや長い梢円形の範囲に焼け面が認められ、深さ20cmまで火熱の影響により赤変している。土層断面では3層の暗褐色土層の上下に焼け面が存在していることから2時期にわたるものと考えられる。1層中からは骨片が検出された。焼土跡の周囲から疊がまとまって検出されており、北側では円形に組んだような部分も認められることから、石器炉に用いられた疊が残存した可能性も考えられるが、疊の間に抜き取り痕は確認されなかった。V層上面から検出されたピットは焼け面に近接する南北側と北東側付近でのまとまりを見てとることが出来るが、本遺構との関係は確認できなかった。焼け面の上面から検出さ



第332図 縄文時代焼土跡(5)

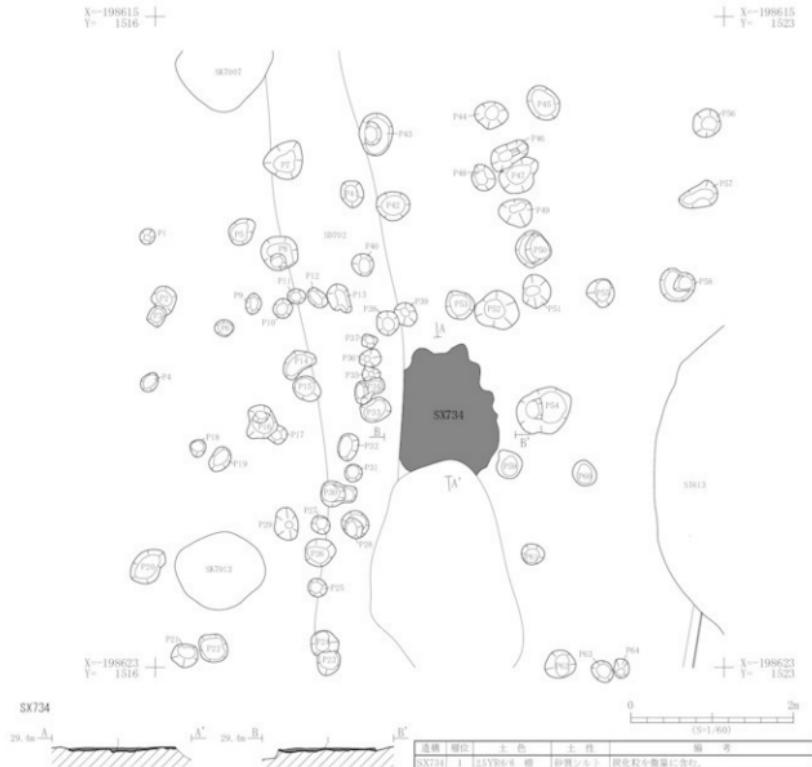


第333図 繩文時代焼土跡(6)

れた石器を第342・343図に示した。

SX734焼土跡 (第334図)

第7次調査1区東側中央のF・G-34・35グリッドに位置し、N層上面で検出された。西側7.5mの地点にSX731焼土跡が存在する。西側のSD702溝跡と重複関係にあり、本遺構が古く、南側に存在する擾乱によって一部削平されているため全体は不明である。150cm以上×115cm以上の南北に長い不整な椭円形の範囲で焼け面が認められ、深さ9cmまで火熱の影響によって赤変している。V層上面で検出されたビットは本遺構の西側にやや多い傾向が窺えるが、本遺構との関係は確認できなかった。



地盤		土 色		土 性		備 考	
番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度
P1	58	P4	10	P11	11	P16	33
P2	32	P7	14	P12	16	P17	19
P3	22	P8	18	P13	23	P18	23
P4	14	P9	10	P14	17	P19	23
P5	17	P10	14	P15	31	P20	18
P21	21	P26	35	P31	30	P36	33
P22	22	P27	22	P32	41	P41	23
P23	23	P28	24	P33	22	P42	20
P24	23	P29	10	P34	52	P47	17
P25	34	P30	33	P43	18	P52	17
P26	34	P31	31	P44	16	P57	9
P27	34	P32	31	P45	16	P62	24
P28	33	P33	31	P46	33	P58	19
P29	33	P34	34	P47	18	P63	15
P30	33	P35	34	P48	12	P59	4
P31	33	P36	34	P49	25	P64	24
P32	33	P37	34	P50	23	P65	18
P33	33	P38	34	P51	24	P66	41
P34	33	P39	34	P52	24		
P35	33	P40	34	P53	24		
P36	33	P41	34	P54	24		
P37	33	P42	34	P55	24		
P38	33	P43	34	P56	24		
P39	33	P44	34	P57	24		
P40	33	P45	34	P58	24		
P41	33	P46	34	P59	24		
P42	33	P47	34	P60	24		
P43	33	P48	34	P61	24		
P44	33	P49	34	P62	24		
P45	33	P50	34	P63	24		
P46	33	P51	34	P64	24		
P47	33	P52	34	P65	24		
P48	33	P53	34	P66	24		
P49	33	P54	34				
P50	33	P55	34				
P51	33	P56	34				
P52	33	P57	34				
P53	33	P58	34				
P54	33	P59	34				
P55	33	P60	34				
P56	33	P61	34				
P57	33	P62	34				
P58	33	P63	34				
P59	33	P64	34				
P60	33	P65	34				
P61	33	P66	34				

第334図 縄文時代焼土跡(7)

SX746焼土跡（第335図、図版94）

第7次調査2区東側中央のE・F-46グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。今回検出された焼土跡の中では調査区内で最も西にあたり、S I 702竪穴住居跡とS I 714竪穴住居跡との中间地点の竪穴住居跡が検出されていない地域に存在する。220cm×132cmの北東から南西に長い不整形の範囲に焼け面が認められ、深さ18cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構の周辺からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX748焼土跡（第336図）

第7次調査3区西側北寄りのE-30・31グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側6m付近にS X749・750焼土跡、S X751埋設土器が存在する。北東から南東方向に延びる不整形円形の範囲で焼け面が認められた。土層断面では2層の上下に焼け面が存在していることから焼土Aが新しく、焼土Bが古い。焼土Aは80cm×57cmの北東から南西に長い不整形円形の範囲に焼け面が認められ、深さ12cmまで火熱の影響によって赤変しており、上面は硬化していた。焼土Bは焼土A同様に162cm×105cmの北東から南西に延びる不整形円形の範囲で焼け面が認められ、深さ20cmまで火熱の影響によって赤変している。V層上面では本遺構の周囲から多くのピットが検出されている。焼土Aと焼土Bが連なる方向を主軸方向ととらえた場合、その延長部分にあたる北東側ならびに南西側ではピットの少ない空闊地が見られるが、本遺構との関係は確認できなかった。



第335図 縄文時代焼土跡(8)

X=198610
Y= 1536X=198610
Y= 1544

ピット深度表(cm)

番号	深度	番号	深度																
P1	55	P11	58	P21	43	P31	54	P41	48	P51	47	P61	42	P71	60	P81	50	P91	39
P2	58	P12	48	P22	40	P32	43	P42	49	P52	42	P62	48	P72	58	P82	75	P92	45
P3	34	P13	67	P23	45	P33	79	P43	60	P53	53	P63	49	P73	44	P83	35	P93	43
P4	45	P14	68	P24	84	P34	54	P44	57	P54	53	P64	40	P74	54	P84	50	P94	37
P5	36	P15	56	P25	70	P35	69	P45	49	P55	46	P65	41	P75	48	P85	39	P95	41
P6	45	P16	64	P26	49	P36	66	P46	41	P56	57	P66	31	P76	48	P86	39	P96	37
P7	40	P17	61	P27	58	P37	54	P47	56	P57	45	P67	53	P77	45	P87	43	P97	43
P8	45	P18	40	P28	43	P38	60	P48	31	P58	48	P68	37	P78	56	P88	39	P98	38
P9	39	P19	50	P29	46	P39	46	P49	44	P59	57	P69	34	P79	47	P89	43	P99	42
P10	51	P20	41	P30	49	P40	67	P50	43	P60	29	P70	34	P80	57	P90	33	P100	40

地層	層位	土色	土性	調査	
				SX748	SX750
1	SR4/4 水面	シルト	砂土土体、上面硬化。(地盤 A)		
2	ZY2/4 亂層	粘土質シルト	砂土塊粒を多く含む。		
3	SR4/4 水面	シルト	砂土土体。(地盤 B)		

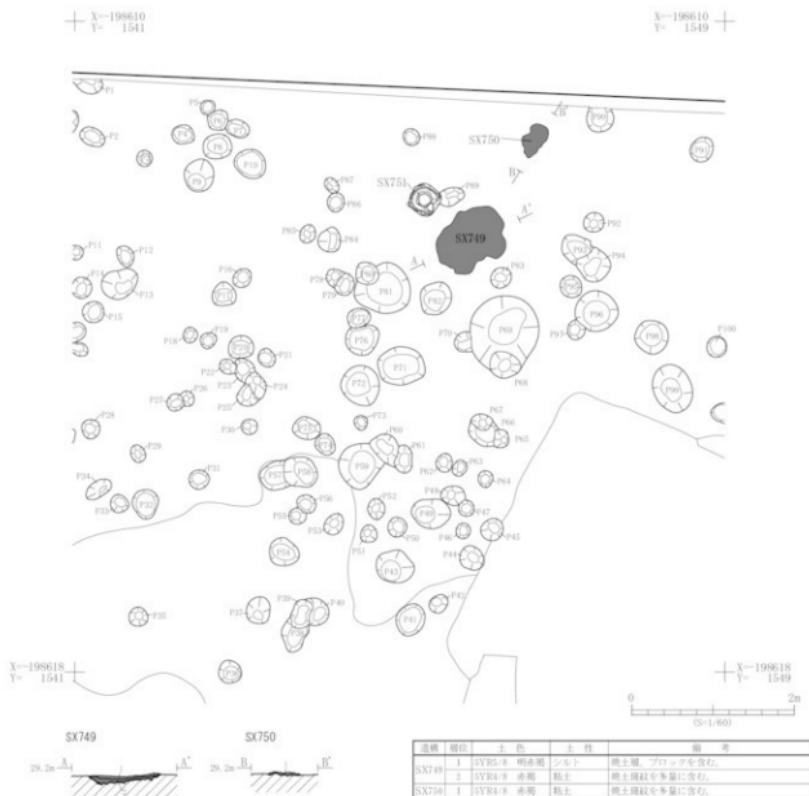
第336図 繩文時代焼土跡(9)

SX749焼土跡（第337図）

第7次調査3区中央北寄りのE-29グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北東にSX750焼土跡、北西にSX751埋設土器が隣接し、西側6m付近にはSX748焼土跡が存在する。95cm×75cmの北東から南西に長い楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ20cmまで火熱の影響により赤変している。本遺構の周辺からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX750焼土跡（第337図）

第7次調査3区中央北寄りのE-29グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南西には隣接してS X749焼土跡、S X751埋設土器が存在する。42cm×26cmの北東から南西に長い楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ10cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構の周辺から多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

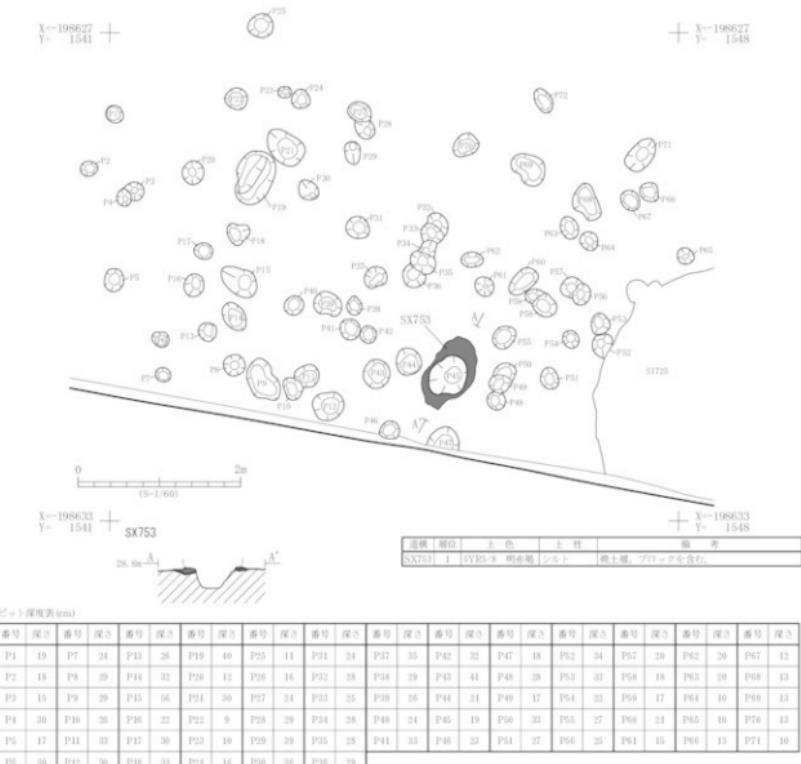


番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度						
P1	30	P9	20	P17	20	P25	21	P33	35	P41	18	P49	60	P57	20	P65	30	P73	20	P81	33	P89	25	P97	21
P2	16	P10	19	P18	20	P26	22	P34	35	P42	26	P50	27	P58	37	P66	41	P74	30	P82	28	P90	16	P98	43
P3	19	P11	22	P19	31	P27	16	P36	42	P43	77	P51	22	P59	45	P67	30	P75	33	P83	16	P91	31	P99	47
P4	19	P12	42	P20	22	P28	22	P39	38	P44	32	P52	35	P60	44	P68	69	P76	35	P84	21	P92	41	P100	24
P5	25	P13	40	P21	31	P29	19	P37	43	P45	41	P53	25	P61	40	P69	49	P77	23	P85	17	P93	19		
P6	19	P14	38	P22	26	P30	37	P38	29	P46	23	P54	28	P62	38	P70	33	P78	23	P86	17	P94	30		
P7	23	P15	34	P23	32	P31	17	P39	46	P47	27	P55	24	P63	28	P71	27	P79	23	P87	23	P95	17		
P8	18	P16	18	P24	49	P32	26	P40	43	P48	24	P56	26	P64	22	P72	62	P80	41	P88	18	P96	30		

第337図 繩文時代焼土跡(10)

SX753焼土跡（第338図）

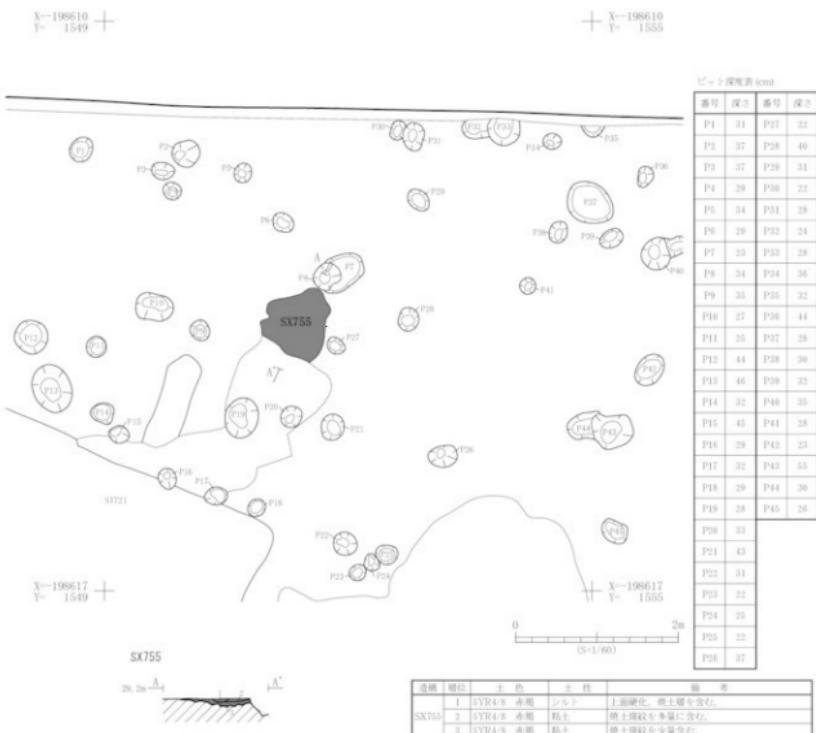
第7次調査3区中央南寄りのI-29グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にS I 725堅穴住居跡、西側にS I 723堅穴住居跡が存在する。90cm×52cmの北東から南西に長い楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ15cmまで火熱の影響によって赤変している。中央にピットが存在していることから土器埋設炉の土器が取り除かれたものであることが考えられ、堅穴住居跡の炉であった可能性もある。本遺構を中心にしてV層上面から多数のピットが検出されたが、本遺構との関係は確認できなかった。



第338図 繩文時代焼土跡(11)

SX755焼土跡 (第339図、国版94)

第7次調査3区中央北寄りのE-28グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にはSX749・750焼土跡およびSX751埋設土器が、南東にSX756焼土跡が存在している。南側が搅乱によって削平されており全体は不明であるが、85cm以上×84cmの北東から南西に長い不整楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ18cmまで火熱の影響で赤変している。本遺構の周辺からは多数のピットが検出されており、本遺構の北西に隣接するP7・8が複式構の土器埋設部の掘り方とした場合には、疊の抜き取り痕は確認されなかったが本遺構が石器部の残存である可能性もある。



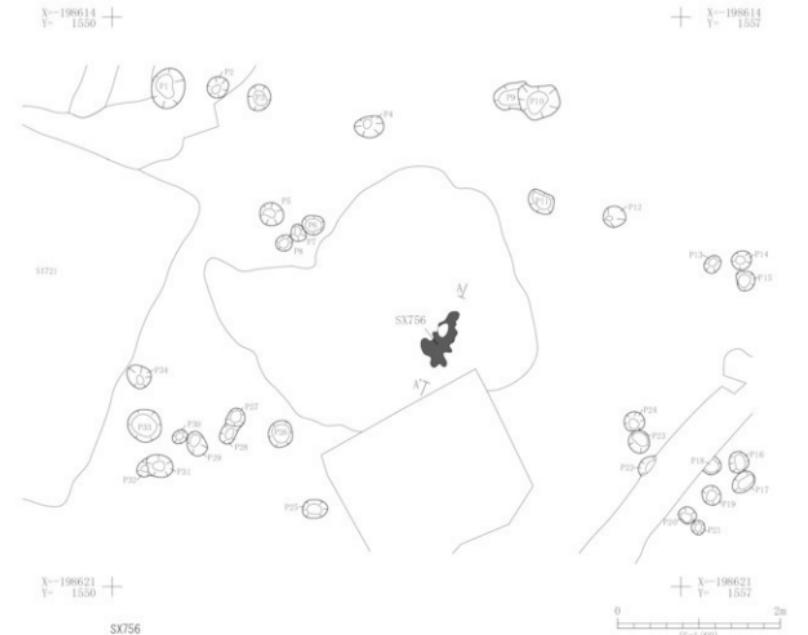
第339図 純文時代焼土跡(12)

SX756焼土跡（第340図、図版94）

第7次調査3区中央のG-28グリッドに位置し、上面がSX756風倒木痕によって削平されていたことからN層上面で検出された。北西にSX755焼土跡、南東にSX757焼土跡が存在している。73cm×40cmの北東から南西に長い不整形の範囲で焼け面が認められ、深さ6cmまで火熱の影響で赤変している。本遺構周辺では2m程離れてピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

SX757焼土跡（第341図）

第7次調査3区東側中央のG-27グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にSX601・602焼土跡、北西側にSX756焼土跡が存在している。120cm×100cmの不整形の範囲で焼け面が認められ、最も焼けて赤変した部分が3ヵ所であったため北側のものを焼土A、西側のものを焼土B、東側のものを焼土Cとした。焼土Aは30cm×23cmの楕円形の範囲に焼け面が認められ、深さ5cmまで火熱の影響で赤変している。焼土Bは50cm×30cmの南北に長い椭円形の範囲に焼け面が認められ、深さ5cmまで火熱の影響で赤変している。焼土Cはこれらのなかで最も規模が大きく、75cm×40cmの三日月状の範囲に焼け面が認められる。断面では3層に分層され、深さ7cmまで火熱の影響で赤変している。南側が重複する遺構や擾乱によって削平されているため不明であるが、本遺構の周辺からは多



番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ		
P1	28	P4	37	P7	35	P10	55	P13	34	P16	34	P19	34	P22	60	P25	41	P27	30	P29	36	P31	39	P33	37
P2	33	P5	31	P8	22	P11	26	P14	33	P17	45	P20	35	P23	58	P26	35	P28	39	P30	43	P32	38	P34	43
P3	43	P6	22	P9	30	P12	36	P15	28	P18	46	P21	31	P24	38										

第340図 縄文時代焼土跡(13)

数のビットが検出されており、特に北東側付近での集中が認められる。ビットと本遺構との関係は確認出来なかつた。



SX757 繩土C

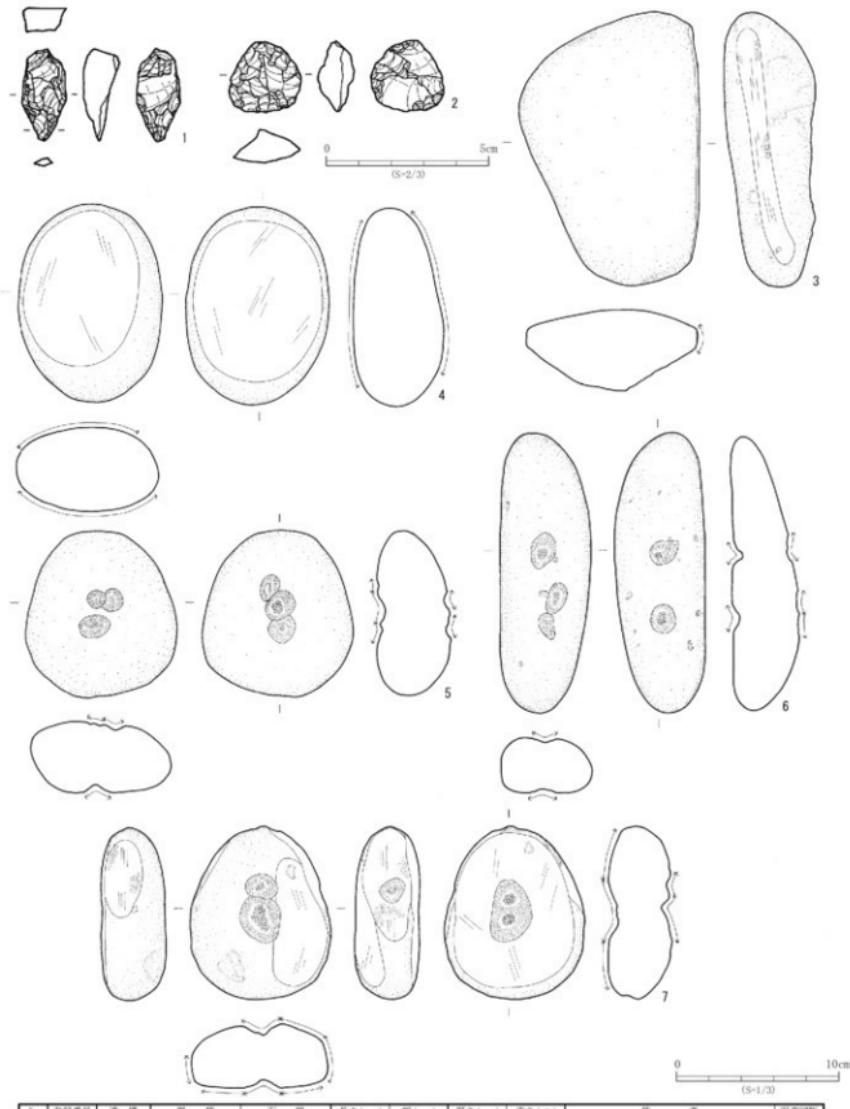


遺構	層位	土 色	土 性	備 考
SX757	1 SYR2-1 極端地帯	地上層シルト	地表付近を多量に含む。	
	2 SYR3-2 極端	地下層	地表シルト量、灰化土を微量含む。	
	3 SYR4-3 極端	地下層	地表シルトを多量に含む。	

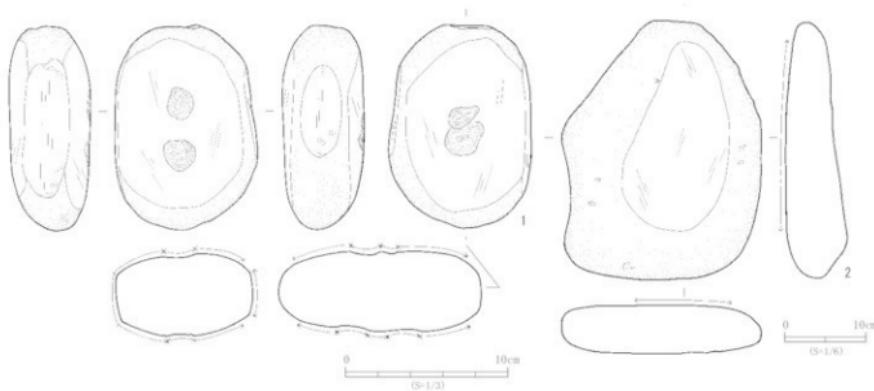
ピット深度表(cm)

番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度	番号	深度		
P1	10	P18	37	P18	14	P26	14	P34	21	P42	25	P50	16	P58	17	P66	23	P74	30	P82	42
P2	16	P11	41	P19	14	P27	28	P55	22	P43	22	P61	24	P59	20	P67	19	P75	16	P83	22
P3	24	P12	30	P30	27	P28	28	P56	13	P44	35	P53	21	P60	37	P68	19	P76	31	P84	24
P4	15	P13	22	P21	15	P29	11	P57	14	P45	22	P51	16	P61	27	P69	19	P77	13	P85	17
P5	13	P14	22	P22	26	P56	17	P58	16	P46	37	P54	39	P62	22	P70	34	P78	12	P86	16
P6	17	P15	22	P23	21	P51	13	P59	20	P47	13	P55	34	P63	29	P71	30	P79	18	P87	16
P7	13	P16	31	P24	25	P52	28	P46	23	P48	26	P56	26	P64	22	P72	32	P80	33	P88	18
P8	13	P17	11	P25	16	P53	11	P41	24	P49	13	P57	17	P65	17	P73	32	P81	32	P89	12
P9	18																				

第341図 繩文時代焼土跡(14)



第342図 繩文時代焼土跡出土遺物(1)



第343図 繩文時代焼土跡出土遺物(2)

4. 埋設土器

埋設土器は第6次調査で10基、第7次調査で19基の計29基が検出されている。第6次調査1区から第7次調査1区の間に分布が認められ、特に第7次調査1区西側周辺でまとまった状況が窺える(第344図)。埋設された土器は全て深鉢形土器であり、出土状態には正位、横位、逆位が認められた。土器の残存状態では正位の場合に口縁部～胴部、あるいは逆位の場合に胴部～底部を欠くものは、後世の耕作等による削平によって埋設時の状態を留めていないことが考慮される。以下、各遺構毎に説明する。

SX603埋設土器(第345図、図版89)

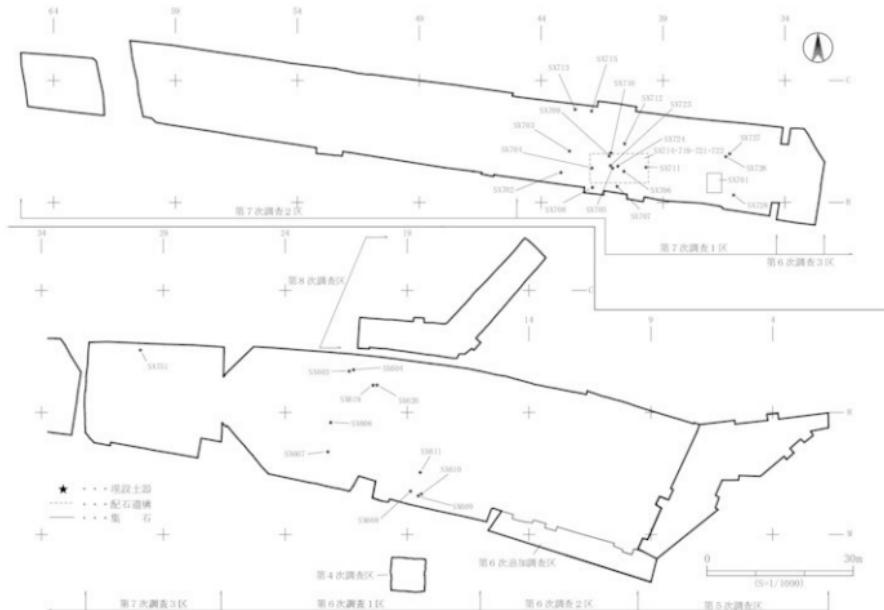
第6次調査1区中央北寄りのF-21グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にSX604埋設土器が存在する。SX625溝状の落ち込みと重複関係にあり、本遺構が新しい。掘り方の平面形は39cm×37cmの円形で、深鉢胴部が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは8cmである。掘り方の底面は平坦で、南西側へ向かって緩やかに傾斜している。壁は底面から外側へ緩やかに開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は埋設されていた土器を第349図に示した。

SX604埋設土器(第345図、図版89)

第6次調査1区中央北寄りのF-21グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にSX603埋設土器が存在する。SX625溝状の落ち込みと重複関係にあり、本遺構が新しい。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、8cm程掘り下げて確認した。掘り方の平面形は28cm×26cmの円形で、口縁部から頸部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは22cmである。底面は平坦で、壁は若干外側に開いて立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土はV層斑紋・炭化物粒などを含み2層に分層される。遺物は埋設されていた土器を第349図に示した。

SX606埋設土器(第345図、図版89)

第6次調査1区中央のH-21・22グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。SK6038土坑の上面に位置し、東側にSX612～618焼土跡やピットが密集して存在している。SK6038土坑と重複関係にあり、本遺構が新しい。



第344図 埋設土器・配石遺構・集石配置図

Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方は確認できず、13cm程掘り下げて確認した。掘り方の平面形は27cm×25cmの円形で、口縁部～頸部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは25cmである。底面は平坦で、壁は若干外側に開いて立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は3層に分層され、炭化物粒・V層粒を含む。遺物は埋設されていた土器を第350図に示した。

SX607埋設土器（第345図、図版89）

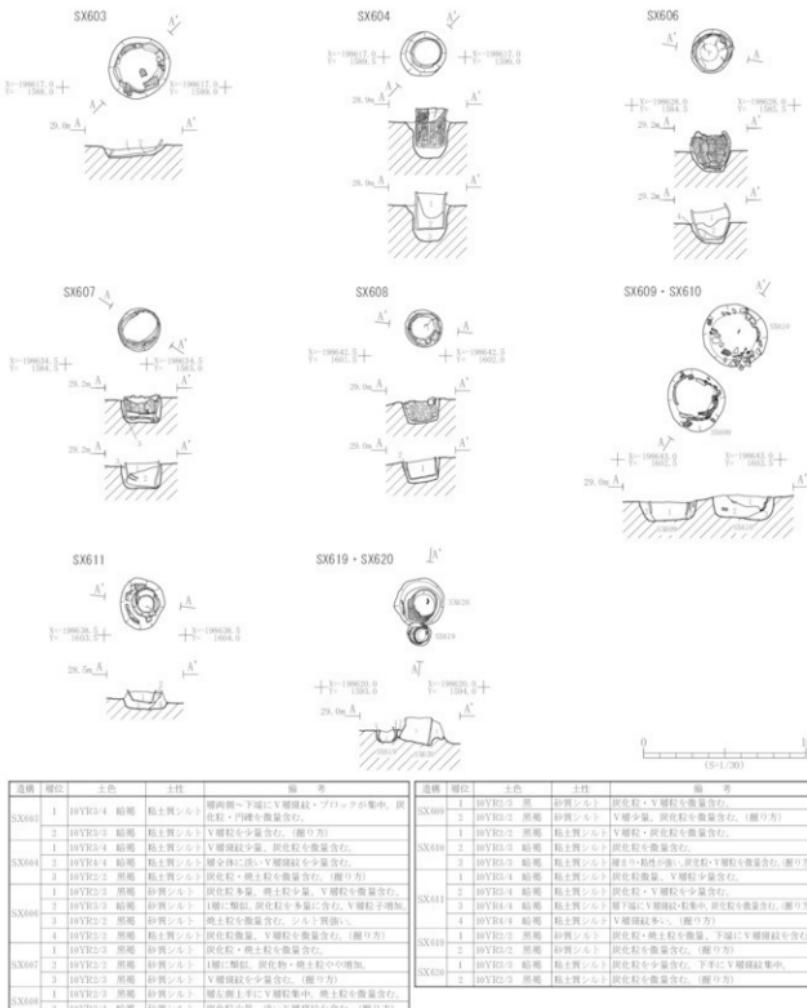
第6次調査1区中央南寄りのI-22グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。SK6088土坑の上面に位置し、西側にはS1604竪穴住居跡が存在する。SK6088土坑と重複関係にあり、本遺構が新しい。掘り方の平面形は27cm×25cmの円形で、胸部から底部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは16cmである。底面は平坦で、壁は若干外側に開いて立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は2層に分層される。遺物は埋設されていた土器を第350図に示した。

SX608埋設土器（第345図、図版89）

第6次調査1区東側南寄りのK-18グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にはSX609・610埋設土器が存在する。掘り方の平面形は23cm×22cmの円形で、口縁部～胸部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出面から掘り方の底面までの深さは14cmである。底面は平坦であるが東側に向かって緩やかに傾斜している。壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は単層である。遺物は埋設されていた土器を第351図に示した。

SX609埋設土器（第345図、図版89）

第6次調査1区東側南寄りのK-18グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北東側に隣接してSX610埋設土器が存在する。掘り方の平面形は39cm×36cmの円形で、内部には口縁部～胸部を欠いた深鉢が正位に埋設されて



第345図 埋設土器(1)

いた。検出面から掘り方底面までの深さは12cmである。底面は平坦であるが南西側に向かって緩やかに傾斜している。壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は黒褐色砂質シルトの単層である。遺物は埋設されていた土器を第351図に示した。

SX610埋設土器（第345図、図版89）

第6次調査1区東側南寄りのK-18グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南西側に隣接してSX609埋設土器が存在する。掘り方の平面形は直径40cmの円形で、内部には深鉢の胴部から底部が正位に埋設されていた。検出面から掘り方底面までの深さは39cmである。底面はほぼ平坦であるが、北側に向かって緩やかに傾斜している。壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は単層で、掘り方埋土は炭化物粒を含み2層に分層される。遺物は埋設されていた土器を第351図に示した。

SX611埋設土器（第345図、図版89）

第6次調査1区東側南寄りのJ-18グリッドに位置する。南側にSX610埋設土器が存在する。Ⅲ層上面で土器は検出されたが、掘り方が確認されず5cm程掘り下げて確認した。掘り方の平面形は32cm×28cmの円形で、口縁部～胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは12cmである。底面はほぼ平坦で、中央に向かって緩やかに傾斜している。壁は緩やかに開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトを主体にして2層に分層され、掘り方埋土は2層に分層される。遺物は埋設されていた土器を第351図に示した。

SX619埋設土器（第345図、図版89）

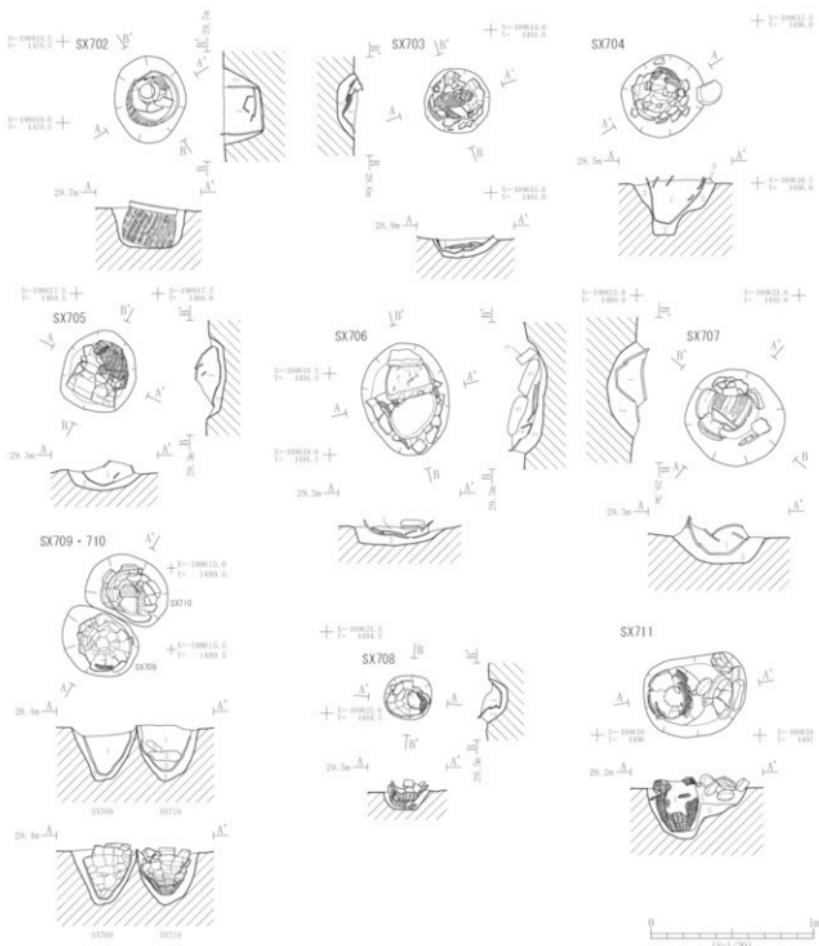
第6次調査1区中央のG-20グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。SX620埋設土器と重複関係に有り、本遺構が新しい。掘り方の平面形は16cm×14cmの円形で、胴部から底部を欠いた小型の深鉢が逆位に埋設されていた。検出面から掘り方底面までの深さは10cmである。底面は平坦であり、壁は底面から緩やかに立ち上がり断面形はU字形である。堆積土は黒褐色砂質シルトを主体とする単層である。遺物は埋設されていた土器を第349図に示した。

SX620埋設土器（第345図、図版89）

第6次調査1区中央のG-20グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。SX619埋設土器と重複関係にあり、本遺構が古い。土器はⅢ層上面で検出されたが、掘り方が確認されず8cm程掘り下げて確認した。掘り方の平面形は30cm×30cmの円形で、口縁部から頸部および底部を欠いた深鉢形土器が逆位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは16cmである。底面は平坦であるが北側へ緩やかに落ち込み、壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は埋設されていた土器を第349図に示した。

SX702埋設土器（第346図、図版90）

第7次調査1区西側南寄りのF-43グリッドに位置し、N層上面で検出された。南側にSK7005土坑が存在する。掘り方の平面形は53cm×44cmの南北に伸びる楕円形で、胴部下半から底部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出面から掘り方底面までの深さは24cmである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は単層で、土器内から埋設土器に用いられた土器の胴部大型破片が内面を上に向けた状態で出土し、更にその上に同じく埋設土器と同一個体の胴部下半から底部が伏せた状態で出土している。埋設土器に使用された土器は胴部中位付近の輪積み部分周辺で綺麗に整形されているのに対し、胴部下半以下は不規則に割られた状態であり、埋設する土器を得るために胴部下半が打ち削られたものである可能性がある。遺物は埋設されていた土器を第352図に示した。



遺構	層位	土 色	土 性	備 考
SX702	1	16YR2-4	褐地	粘土質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-2	褐地	粘土質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)
SX703	1	16YR2-4	褐地	粘土質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-2	褐地	粘土質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)
SX704	1	16YR2-2	褐地	砂質シルト。灰化物を微量含む。(擦り力)
	2	16YR2-4	褐地	砂質シルト。V端部少量を微量含む。(擦り力)
SX705	1	16YR2-2	褐地	粘土質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-4	褐地	粘土質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)
SX706	1	16YR2-4	褐地	粘土質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-2	褐地	粘土質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)
SX707	1	16YR2-2	褐地	粘土質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-4	褐地	粘土質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)
SX709・710	1	16YR2-2	褐地	粘土質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-4	褐地	粘土質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)
SX709	1	16YR2-2	褐地	粘土質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-4	褐地	粘土質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)
SX710	1	16YR2-2	褐地	粘土質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-4	褐地	粘土質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)
SX708	1	16YR2-2	褐地	砂質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-4	褐地	砂質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)
SX709	1	16YR2-2	褐地	砂質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-4	褐地	砂質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)
SX711	1	16YR2-2	褐地	砂質シルト。V端部少量。灰化物を微量含む。
	2	16YR2-4	褐地	砂質シルト。V端部少量を多量含む。(擦り力)

第346図 墓設土器(2)

SX703埋設土器 (第346図、図版90)

第7次調査1区西側中央のE-42グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北東側にS I 701堅穴住居跡、南東にS I 702堅穴住居跡が存在する。掘り方の平面形は直径40cmの円形で、深鉢が東側に口縁部を向けて横位に埋設されていたものが、上からの圧力で潰れた状態で検出された。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは39cmである。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は単層である。遺物は埋設されていた土器を第352図に示した。

SX704埋設土器 (第346図、図版90)

第7次調査1区西側南寄りF-41グリッドに位置し、Ⅲ層上面、S I 702堅穴住居跡の堆積土上面で検出された。このことからS I 702堅穴住居跡より本遺構が新しい。掘り方の平面形は52cm×46cmの北東から南西方向に伸びる橢円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは36cmである。底面は平坦で、壁は底部が埋設された凹んだ部分からやや急角度で立ち上がった後に緩やかに開いて立ち上がり、断面形は漏斗形となる。堆積土は単層である。遺物は埋設されていた土器および堆積土中から出土した土製品を第353図に示した。

SX705埋設土器 (第346図、図版90)

第7次調査1区西側南寄りF-41グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北西側に隣接してS X723埋設土器、北東側にS X724埋設土器が存在する。ピットと重複関係にあり、本遺構が新しい。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、8cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は南北に伸びる51cm×46cmの橢円形で、底部穿孔された深鉢が南側に口縁部を向けて横位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは19cmである。底面はほぼ平坦で中央部に向かって緩やかに傾斜しており、壁は底面から緩やかに立ち上がり断面形は皿形である。堆積土は単層である。遺物は埋設されていた土器を第354図に示した。

SX706埋設土器 (第346図、図版90)

第7次調査1区中央のF-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北西にS X724埋設土器が存在する。ピットと重複関係にあり、本遺構が新しい。Ⅲ層上面で土器および疊が検出された段階では掘り方が確認されず、10cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は68cm×53cmの南北に伸びる橢円形で、深鉢が北側に口縁部を向けて横位に埋設されていた。上面で20～30cm大の疊3個が土器を覆った状態で検出された。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは16cmである。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかな角度で立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色砂質シルトを主体とした単層である。遺物は埋設されていた土器を第355図に示した。石器は疊石器2点、砥石1点が出土しているが図化はしていない。

SX707埋設土器 (第346図、図版91)

第7次調査1区中央南寄りのG-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北側にはS X705・706埋設土器が存在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、13cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は60cm×58cmの円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは30cmである。底面は中央に向かって傾斜しているがほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がり断面形は皿形である。堆積土はV層ブロックを少量含む単層である。本遺構から出土した土器を第356図に示した。1・2は埋設されていた土器で、3は埋設土器内から横位に潰れた状態で検出された別個体の土器である。

SX708埋設土器 (第346図、図版91)

第7次調査1区西側南寄りG-41グリッドに位置し、Ⅲ層上面、S I 710堅穴住居跡の堆積土上面で検出された。このことからS I 710堅穴住居跡より本遺構が新しい。土器が検出された段階では掘り方が確認されず、8cm程掘

り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は29cm×27cmの円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは18cmである。底面は平坦で、壁は外側に開いて立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土はV層粒を含む单層である。遺物は埋設されていた土器を第356図に示した。

SX709埋設土器（第346図、図版92）

第7次調査1区中央のF-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北側に隣接してSX710埋設土器が、西側にSX719埋設土器が存在する。SX710埋設土器、ピットと重複関係にあり、本遺構が最も新しい。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、6cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は50cm×38cmの楕円形で、口縁部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは38cmである。底面はほぼ平坦で、壁は外側に開いた角度で立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は暗褐色砂質シルトの单層である。遺物は埋設されていた土器を第352図に示した。

SX710埋設土器（第346図、図版92）

第7次調査1区中央のF-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南側に隣接してSX709埋設土器、北東側にSX712埋設土器が存在する。SX709埋設土器、ピットと重複関係にあり、SX709埋設土器より古く、ピットよりも新しい。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、6cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は56cm×44cmの楕円形で、深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは39cmである。底面は中央が凹んでおり、壁は外側に開いて立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は3層に分層され、灰白色粘土ブロックが検出された。遺物は埋設されていた土器を第357図に示した。

SX711埋設土器（第346図、図版91）

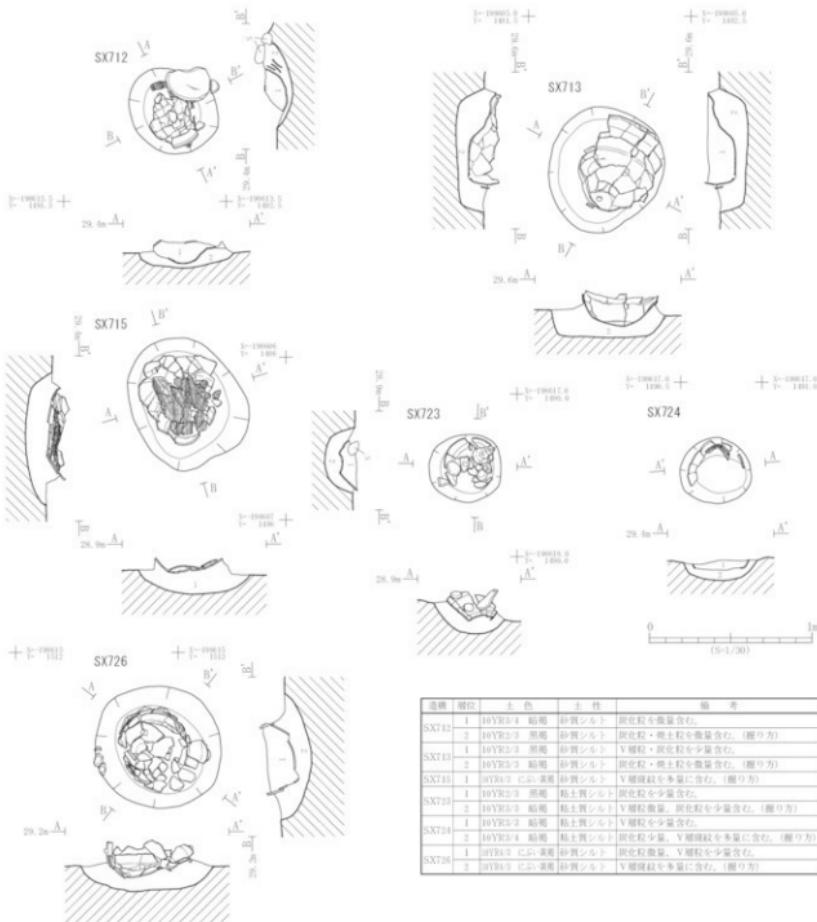
第7次調査1区中央のF-39グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北側にSX722配石遺構が存在する。Ⅲ層上面で土器および疊が検出された段階では掘り方が確認されず、8cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は64cm×48cmの東西方向に伸びる楕円形で、深鉢が正位に掘り方の西側に埋設されていた。また、東側からは円碟および角碟が集積状態で検出された。土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは38cmである。底面は西側が最も深く東側に緩やかなテラス状の平坦面を有し、壁は緩やかな角度で立ち上がり断面形はU字形～皿形である。堆積土は黒褐色砂質シルトの单層で、掘り方埋土は2層に分層され、上層に多数の疊が含まれている。本遺構から出土した遺物を第358・359図に示した。第358図は埋設土器で、第359図は埋設土器内の堆積土中より出土した。その他、土器の東側で集積された状態で検出された疊の中に疊石器2点、砥石1点が含まれており、疊石器1点を図化した。

SX712埋設土器（第347図、図版92）

第7次調査1区中央のE-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南東側にSX709・710埋設土器は存在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、8cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は56cm×51cmの不整な円形で、深鉢が南東側に口縁部を向けて横位に埋設されていた。北東側から規模28cmの扁平な疊が検出されている。土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは18cmである。底面はほぼ平坦で壁は緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は炭化粒を含む单層である。遺物は埋設されていた土器を第360図に示した。

SX713埋設土器（第347図）

第7次調査1区西側北寄りのD-42グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にSX715埋設土器が存在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、12cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は78cm×70cmの北東から南西に伸びる不整な楕円形で、底部が穿孔された深鉢が北東側へ傾けた斜位に埋設



第347図 埋設土器(3)

されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは28cmである。底面は平坦で壁は開いた角度で立ち上がり、断面形は逆台形である。堆積土は炭化物粒を含む単層である。遺物は埋設されていた土器を第361図に示した。その他、埋設土器内から礫石器1点が出土したが図化はしなかった。

SX715埋設土器（第347図、図版91）

第7次調査1区中央のF-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にSX713埋設土器が存在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、10cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は78cm×68cmの南北に伸びる不整な橢円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢形土器が北側に口縁部を向けて横位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは26cmである。底面は緩やかに底面中央に向かって傾斜し、壁は緩やかに立ち上がり断面形は皿形である。堆積土は削平のため残存していない。遺物は埋設されていた土器を第362図に示した。

SX723埋設土器（第347図、図版92）

第7次調査1区西側南寄りのF-41グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南東側に隣接してSX705埋設土器、東側にSX724埋設土器が存在する。ピットと重複関係にあり、本遺構が新しい。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、10cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は44cm×42cmの不整な円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは22cmである。底面は中央に向かって緩やかに落ち込み、壁は緩やかに立ち上がり断面形はU字形である。堆積土は炭化物粒を含む単層で、内部から円礫が検出された。遺物では埋設されていた土器を第360図に示した。石器は堆積土中から石錐1点、微細剥離痕のある剥片1点が出土し、石錐1点を図化した。

SX724埋設土器（第347図、図版92）

第7次調査1区中央のF-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にSX705・723埋設土器、東側にSX706埋設土器が存在する。掘り方の平面形は44cm×40cmの不整な円形で、口縁部から胴部上半および底部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出面から掘り方底面までの深さは13cmである。堆積土は黒褐色粘土質シルト層の単層である。遺物は埋設されていた土器を第362図に示した。

SX726埋設土器（第347図、図版93）

第7次調査1区東側中央のF-36グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側に隣接してSX727埋設土器が存在する。SK7015土坑とは重複関係にあり、本遺構が新しい。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、16cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は78cm×75cmの不整な円形で、口縁部から頭部を欠く深鉢が南東側に口縁部を傾けて斜位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは32cmである。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土はにぶい黄褐色砂質シルト層の単層である。遺物は埋設されていた土器を第363図に示した。

SX727埋設土器（第348図、図版93）

第7次調査1区東側中央のF-36グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側に隣接してSX726埋設土器が存在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、10cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は64cm×54cmの東西に延びる橢円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは40cmである。底面は中央部分が凹んでおり、壁は緩やかに開きながら立ち上がり、断面形は漏斗形である。堆積土は2層に分層され、炭化物粒・焼土粒を含む。遺物は埋設されていた土器を第364図に示した。

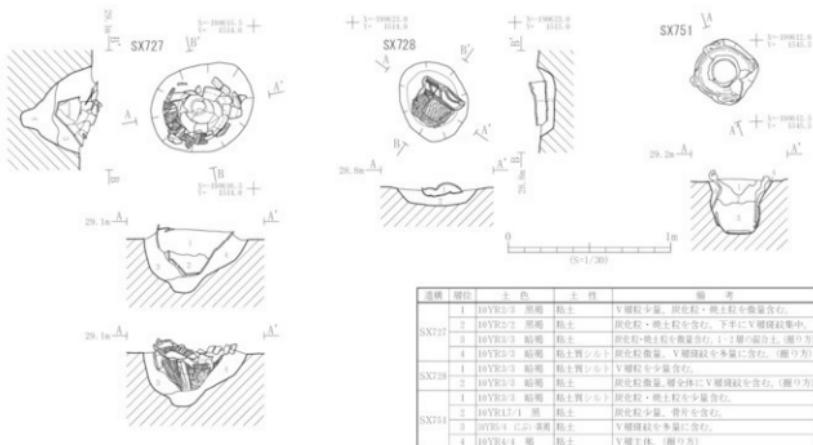
SX728埋設土器（第348図、図版92）

第7次調査1区東側南寄りのG-36グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にS1711堅穴住居跡が存

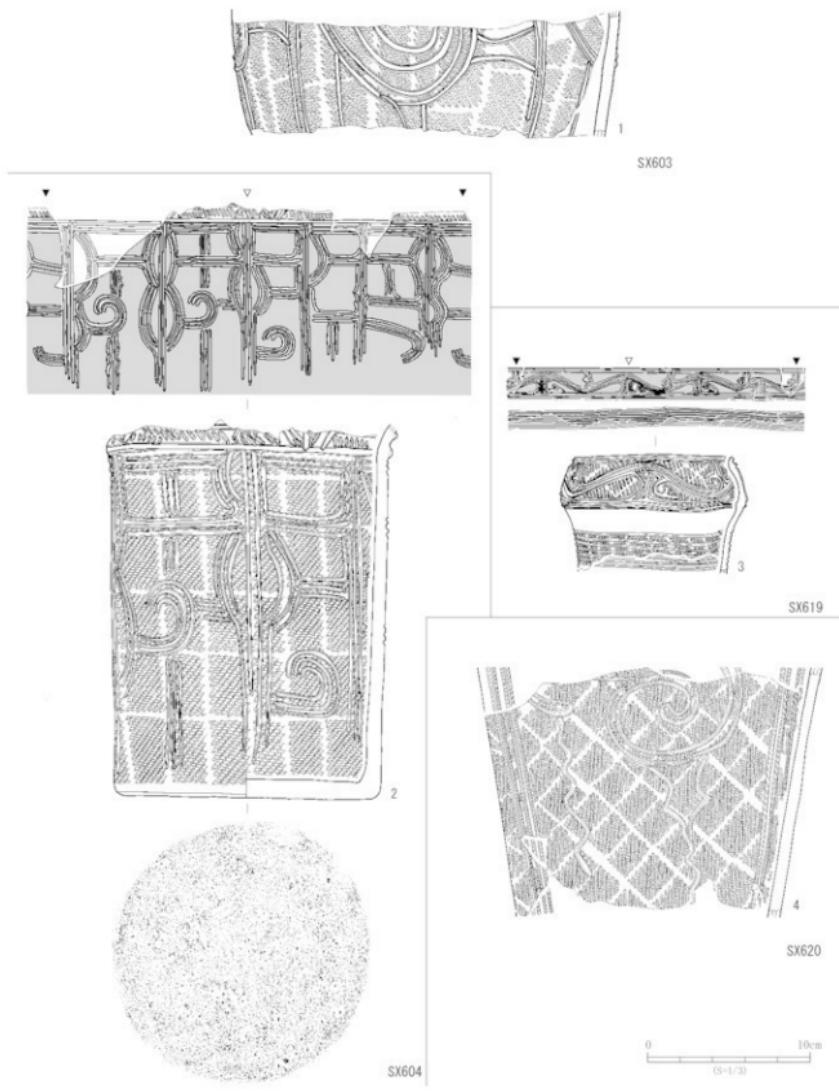
在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、5cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は49cm×40cmの南北に伸びる楕円形で、底部を欠く深鉢が口縁部を北東側に向けて横位に埋設されていたものが上からの圧力で潰れた状態で検出された。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは14cmである。底面はほぼ平坦で、壁は開いた角度で立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土はV層粒を含む単層である。遺物は埋設されていた土器を第359図に示した。

SX751埋設土器 (第348図、図版93)

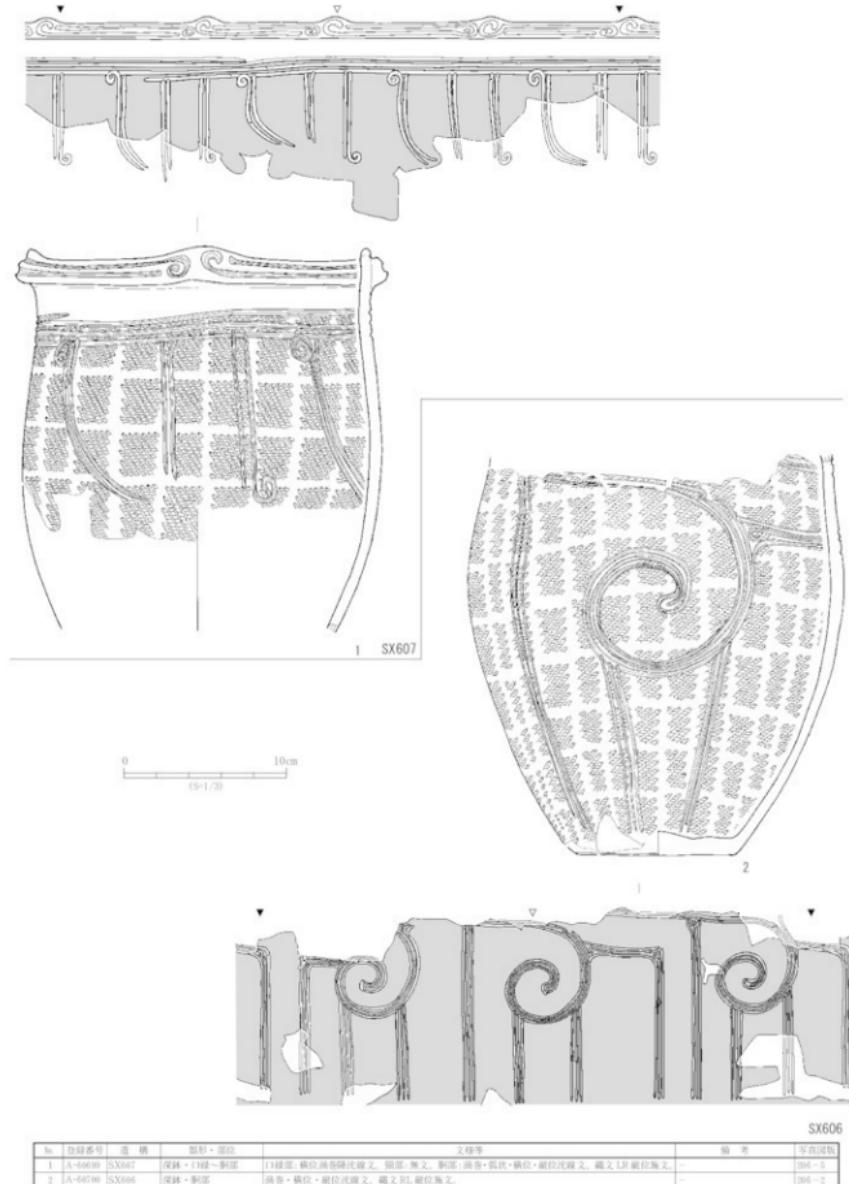
第7次調査3区中央北寄りのE-29グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南東側に隣接してSX749焼土跡、北東側にSX750焼土跡が存在する。ピットと重複関係にあり本遺構が新しい。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、6cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は42cm×40cmの不整な円形で、深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは38cmである。底面は平坦で、壁は急角度で立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は3層に分層され、1・2層からは炭化物粒・焼土粒・骨片などが検出されている。遺物は埋設されていた土器を第365図に示した。



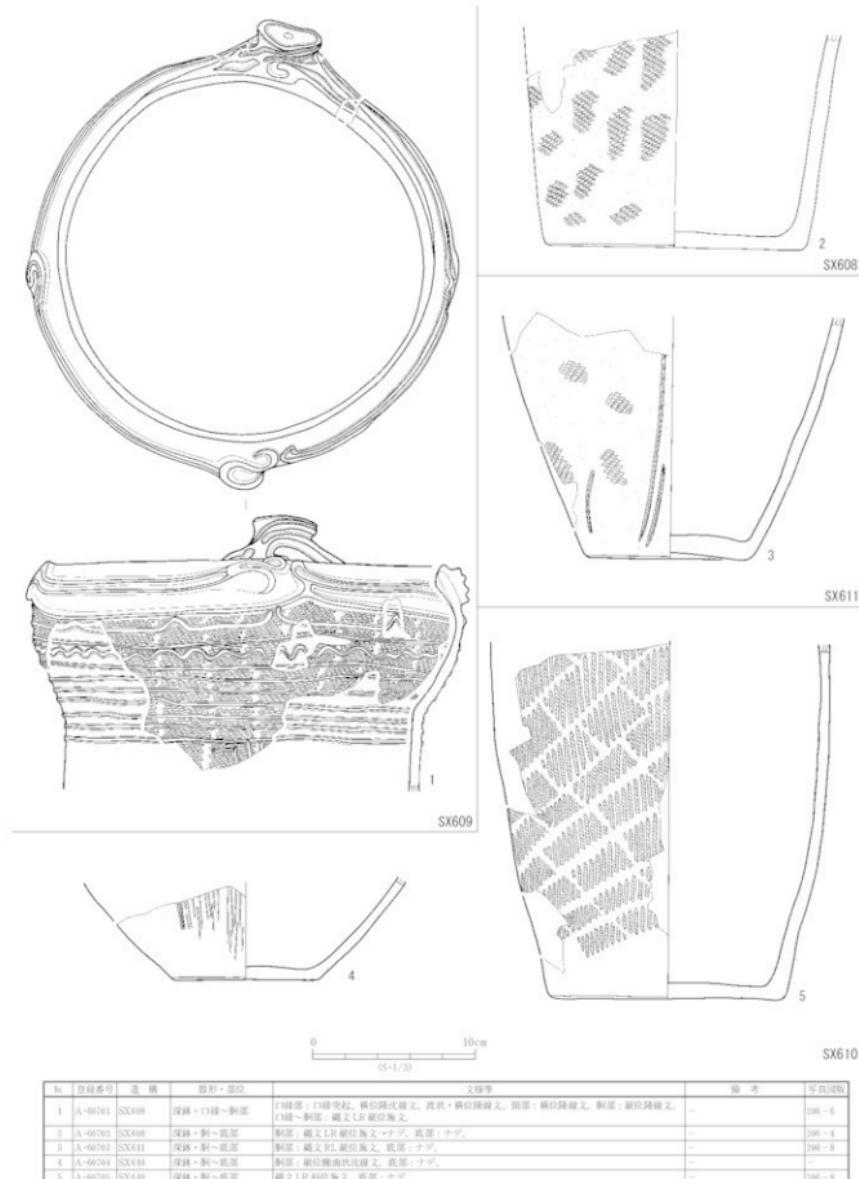
第348図 埋設土器(4)



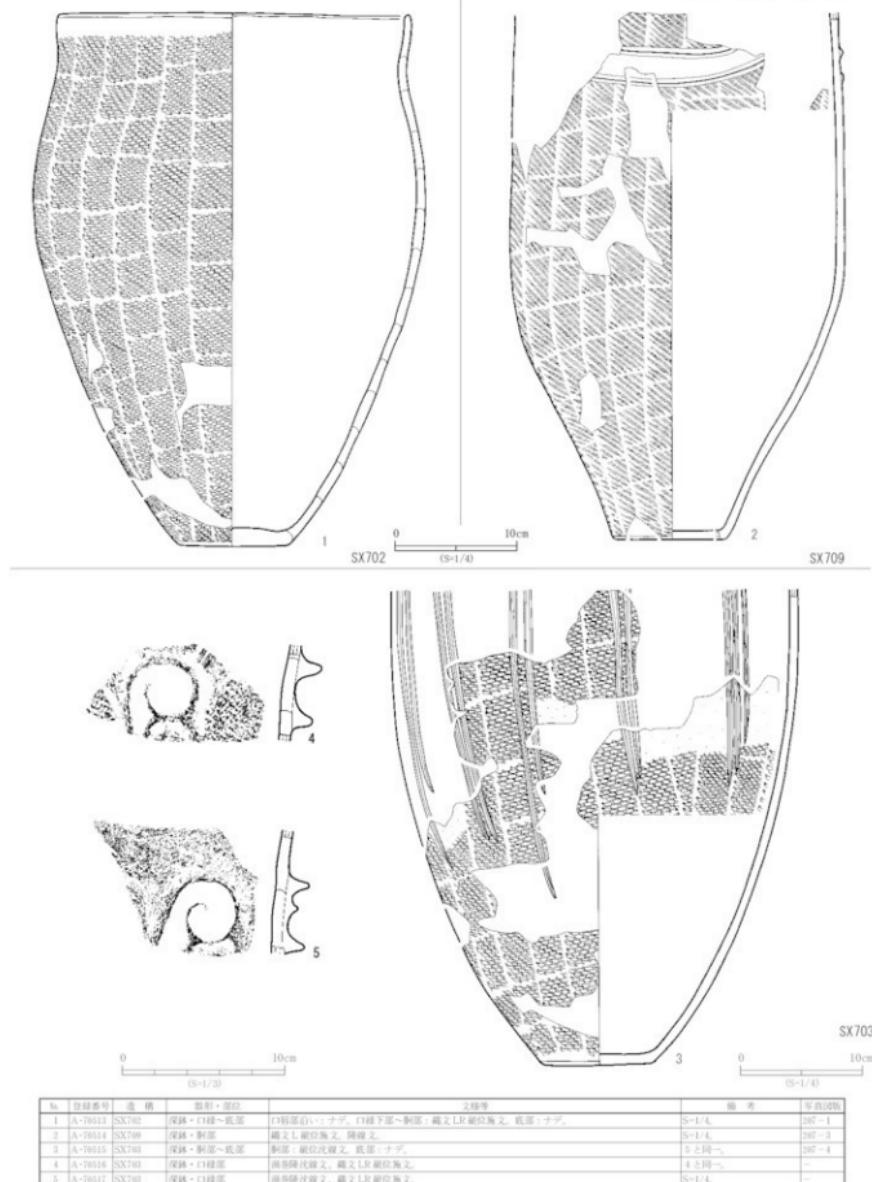
第349図 埋設土器出土遺物(1)



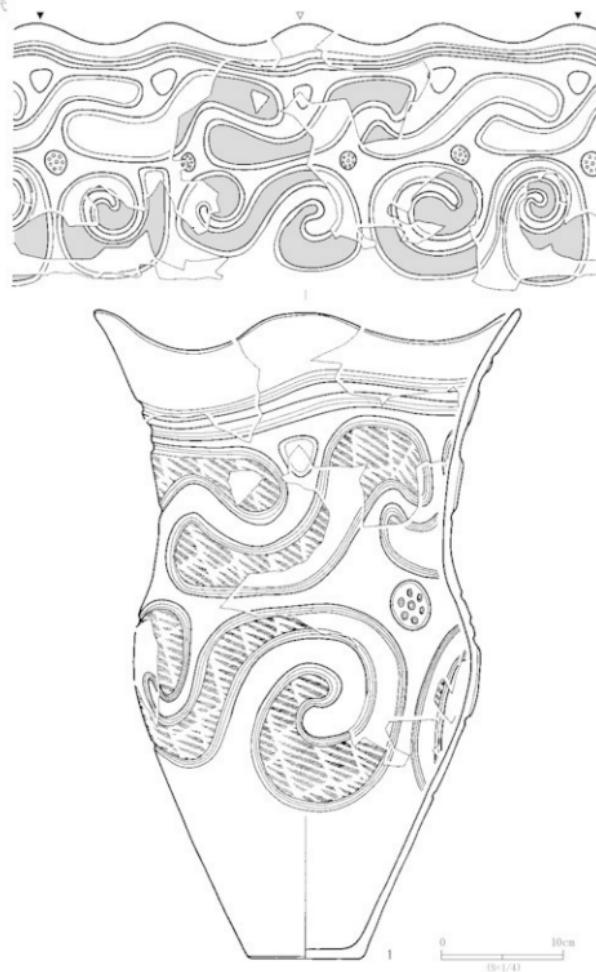
第350図 埋設土器出土遺物(2)



第351図 埋設土器出土遺物(3)

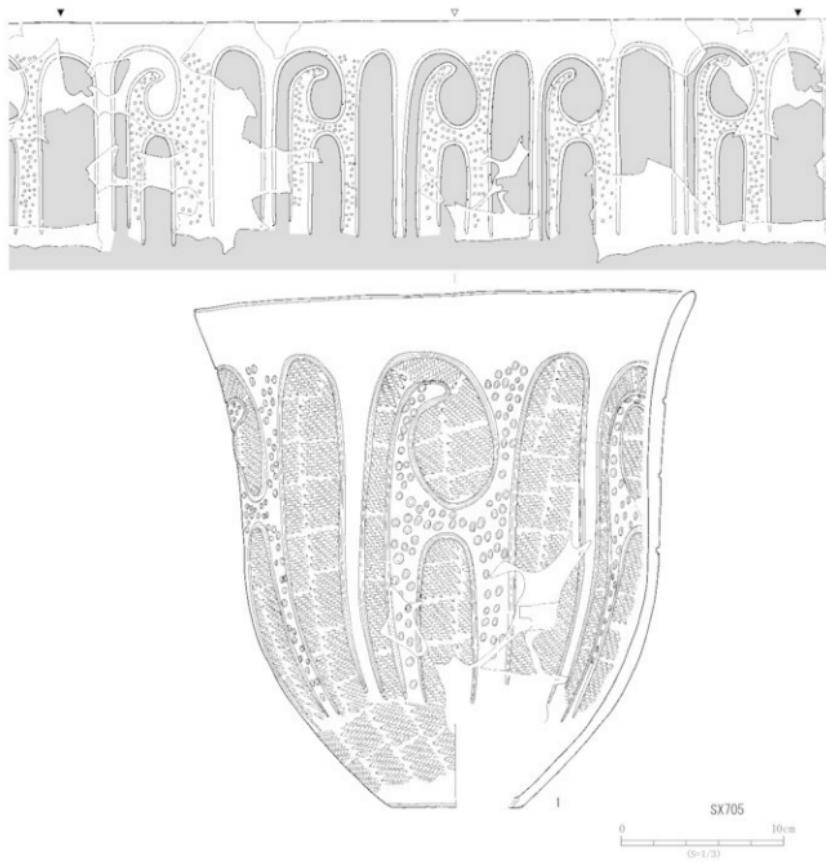


第352図 埋設土器出土遺物(4)



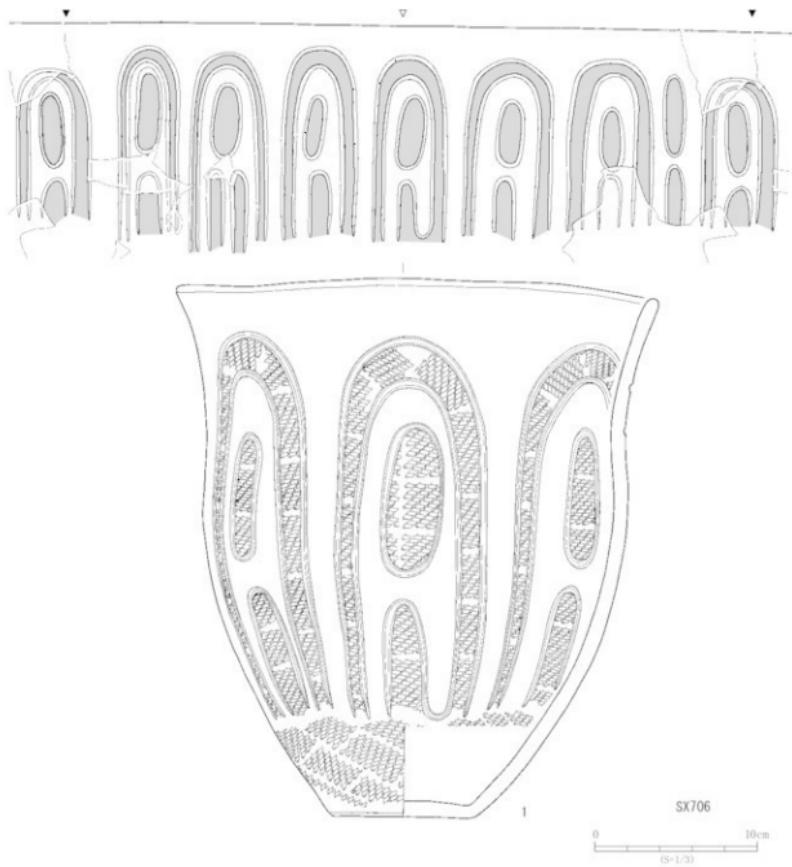
號	登錄番号	遺構	器形・部位	文様等	編 号	参考文献
1	A-70018	SX704	深鉢・口縁～底部	口縁部：無文。底部：横目波汎文。側面：曲多波汎文、繩文と斜紋無文。底部：子テ。	鹿伏口鉢、S-1/4.	267-5
2	P-7002	SX704	土器底	土器底、陶器。	S-1/3.	-
3	P-7003	SX704	三角形土器底	汎文文、円形斜文文。	S-1/3.	-

第353図 埋設土器出土遺物(5)



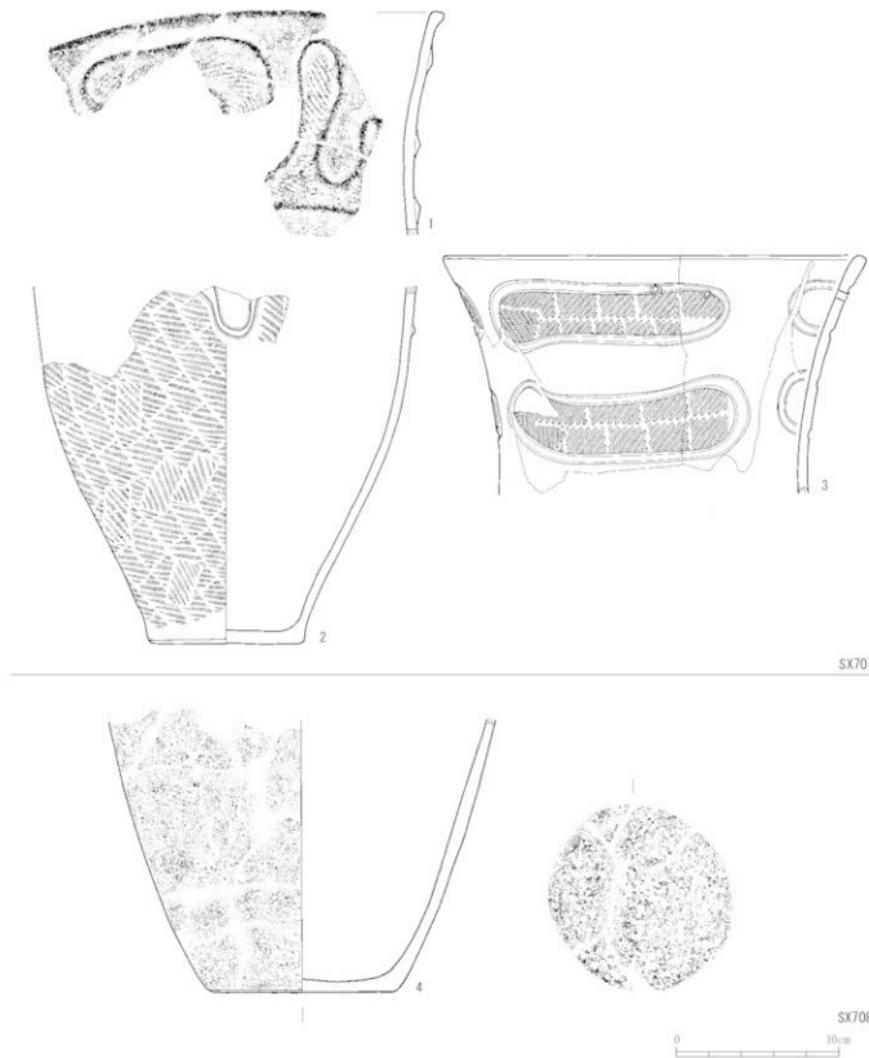
No.	登録番号	遺構	断面・部位	文様等	備考	厚直(回数)
1	A-70019	SX705	深鉢・口縁一部	C1縁部：無文、斜面：周巻・連「六」字状波綱文、円形網突文、繩文LR縦目無文。	-	280-7

第354図 埋設土器出土遺物(6)



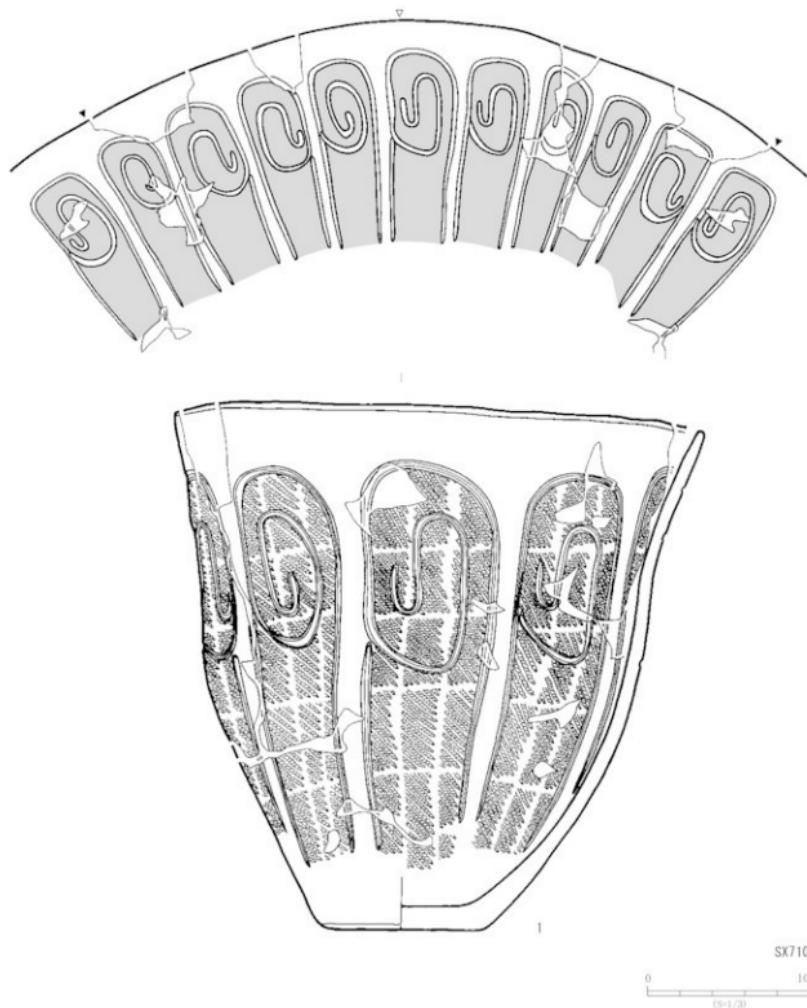
第355図 埋設土器出土遺物(7)

No.	登録番号	遺構	形状・部位	文様等	備考	参考文献
1	A-70529	SK706	深鉢・口縁-底部	(口縁部:無文、側面:「△」状浅彫文、縞文細、縦目彫文、底部:ナマ)		267-8



名	登録番号	遺 墓	器形・部位	文様等	参考	写真番號
1	A-70211	SX707	深鉢・口縁部	直浜・楕円陣文、網文LR 織位施文	-	201-2
2	A-70222	SX707	深鉢・側面	側縞文、織文LJ 施位施文	-	-
3	A-70233	SX707	深鉢・口縁～側部	楕円網門田字文、織文LJ 織位施文	補修孔有り。	-
4	A-70244	SX708	深鉢・側～底部	斜浜・織文LJ 織位施文、底部：ナゲ	-	-

第356図 埋設土器出土遺物(8)



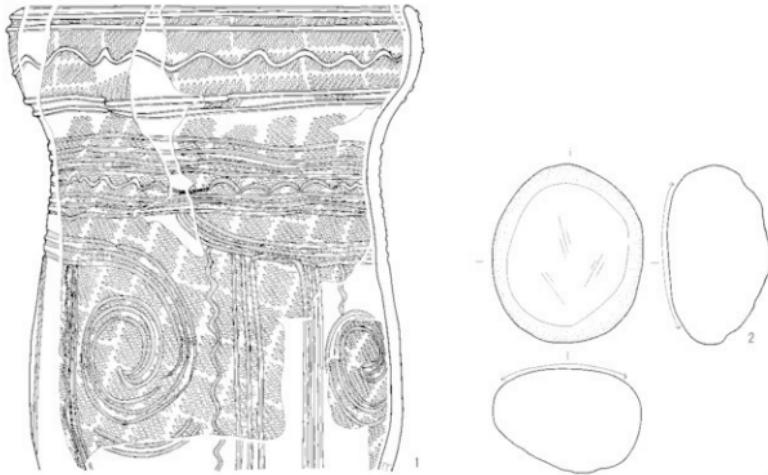
第357図 埋設土器出土遺物(9)

No.	登錄番号	遺構	鉢形・部位	文様等	備考	厚直(成形)
1	A-76525	SX710	深鉢・口縁一底部	網目・圓点・單位沈線文、縞文LR・單位施文		200-1

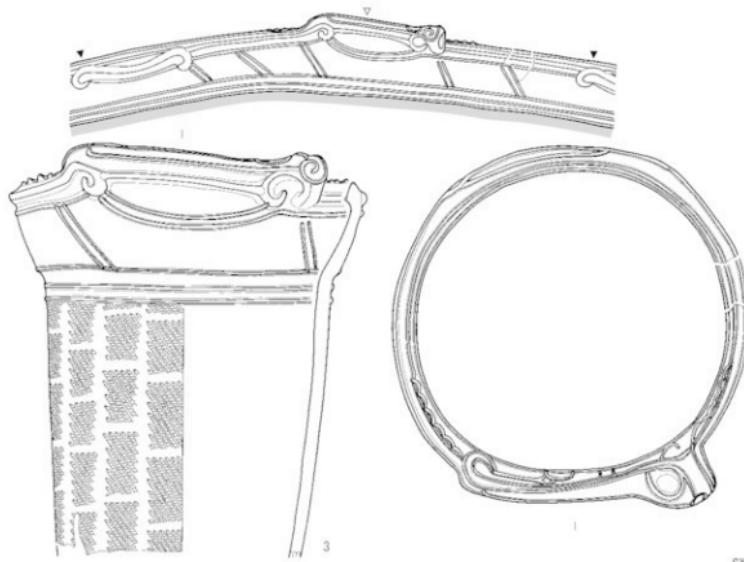


No.	登録番号	造 稿	器形・部位	文様等	備 考	参考文献
1	A-70526	SK711	深鉢・口縁部～胴部	口縁部:有輪・圓巻・波状・橫位陣沈羅文、繩文凹、橫位施文、頭部:無支部・無位陣沈羅文、胴部:圓巻・縱位陣羅文、繩文凹、橫位施文。		287-9

第358図 埋設土器出土遺物(10)



SK711



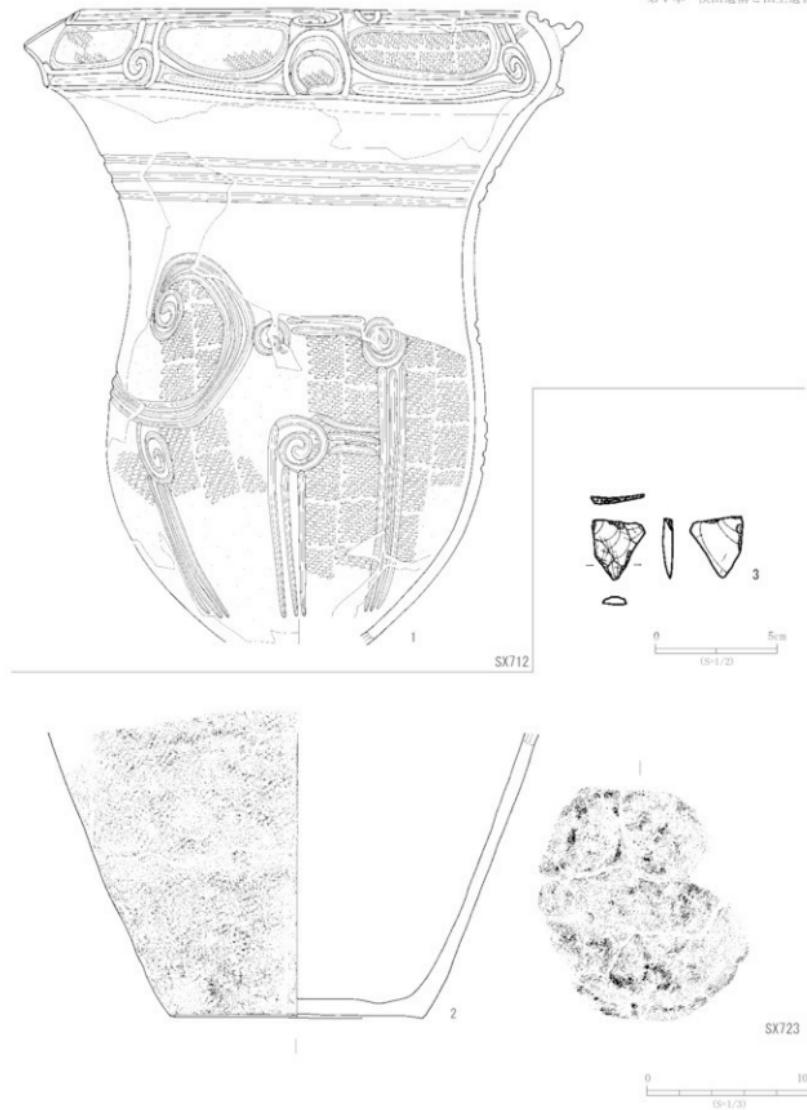
SK728

0 10cm
(S:1/3)

No.	登録番号	遺 様	型形・部位	文様等	施 考	写真図版
1	A-76527	SK711	深鉢・口縁～胴部	口縁部：波状・横位隠瓣文、繩文LR 横位施文。颈部：波状・横位沈瓣文。胴部：渦巻・波状・横位施文、繩文LR 斜位施文。		287-6
3	A-76528	SK728	深鉢・口縁～胴部	口縁部：横位把手・弧状・横位・継位隠瓣文、繩文施文→ナゲ。颈部：横位隠瓣文・斜部：繩文LR 斜位施文。		288-5

No.	登録番号	遺 様	型 形	石 質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	施 考	写真図版
2	Ke-a-7642	SK711	磨石器	安山岩	110.5	91.5	64.5	821.0	帶1：被熱によるヒビ割れ有り。	

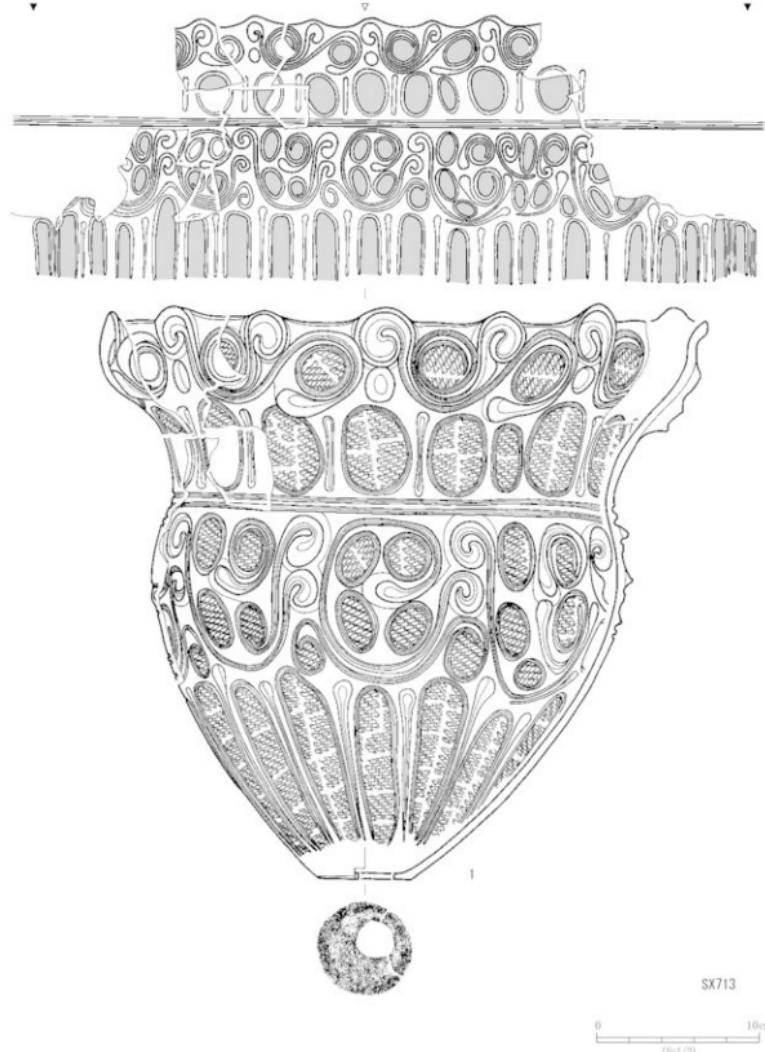
第359図 墓設土器出土遺物(11)



No.	登録番号	遺構	型・模	文様等	参考	写真成版
1	A-70529	SX712	深鉢・口縁～胴部	口縁部：横位渦巻陳比羅文、繩文。胴部：横位比羅文。側面：渦巻・横位比羅文。	-	-
2	A-70530	SX719	深鉢・胴～底部	側面：繩文扭、縞位比羅文。底部：子母。	-	-

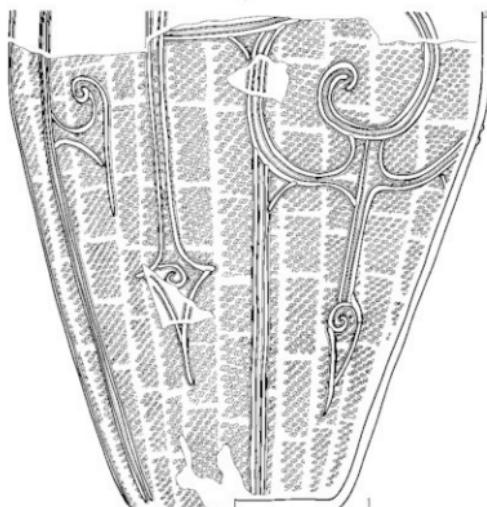
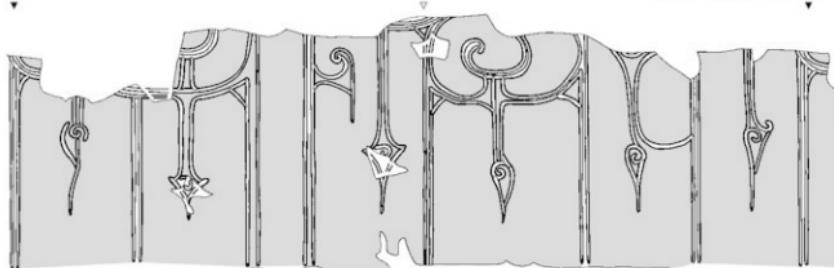
No.	登録番号	遺構	型・模	石 質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	参考	写真成版
3	Kah-7011	SX723	石器	珪質頁岩	17.8	15.9	2.7	0.7	-	-

第360図 埋設土器出土遺物(12)

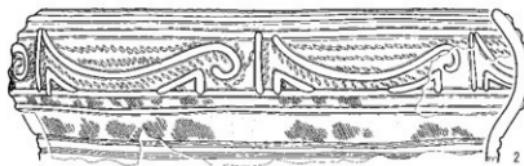


地	登録番号	造	形	器形・部位	文様等	規	写真枚数
1	A-76031	SX713	深鉢	口縁・内側・底面	(1)縁部・側面・底面・縦目文 (2)字紋・内側縁端文 (3)伏虎面文、幾支上葉緋印・斜紋無文、底面・子字、底面浮凸 (4)縫合部	規	200-2

第361図 埋設土器出土遺物(13)



0
(S-1/3) 10cm
SX715

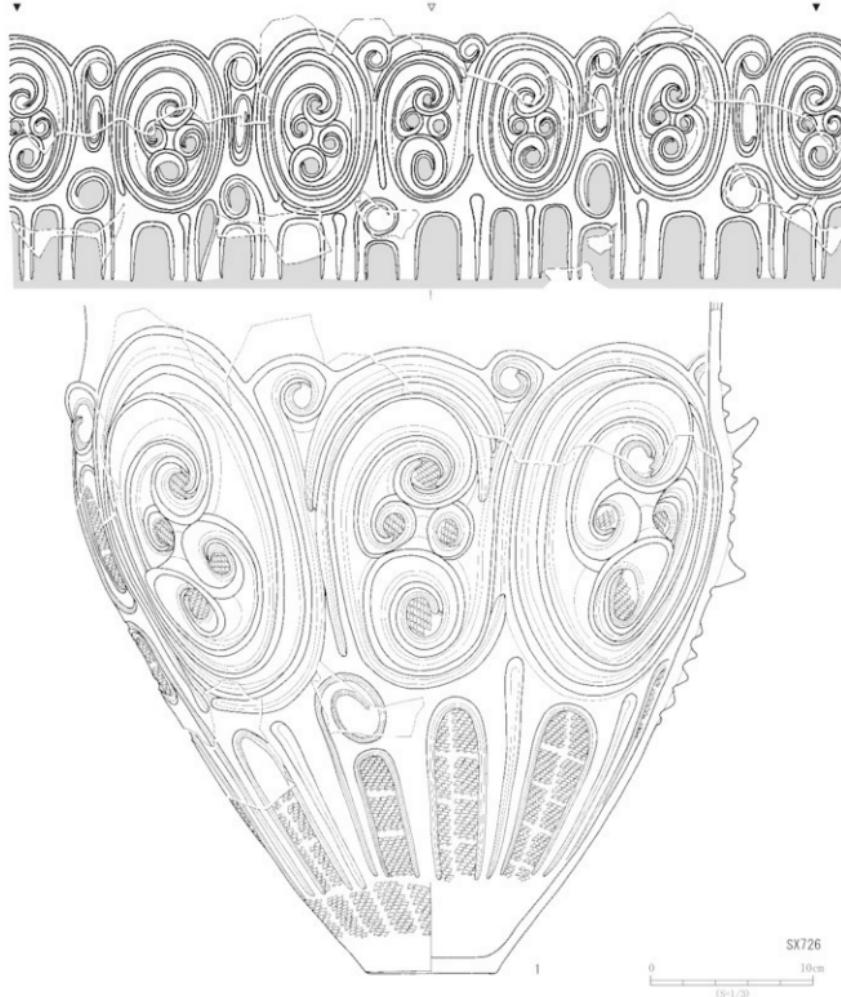


SX724

0
(S-1/3) 10cm

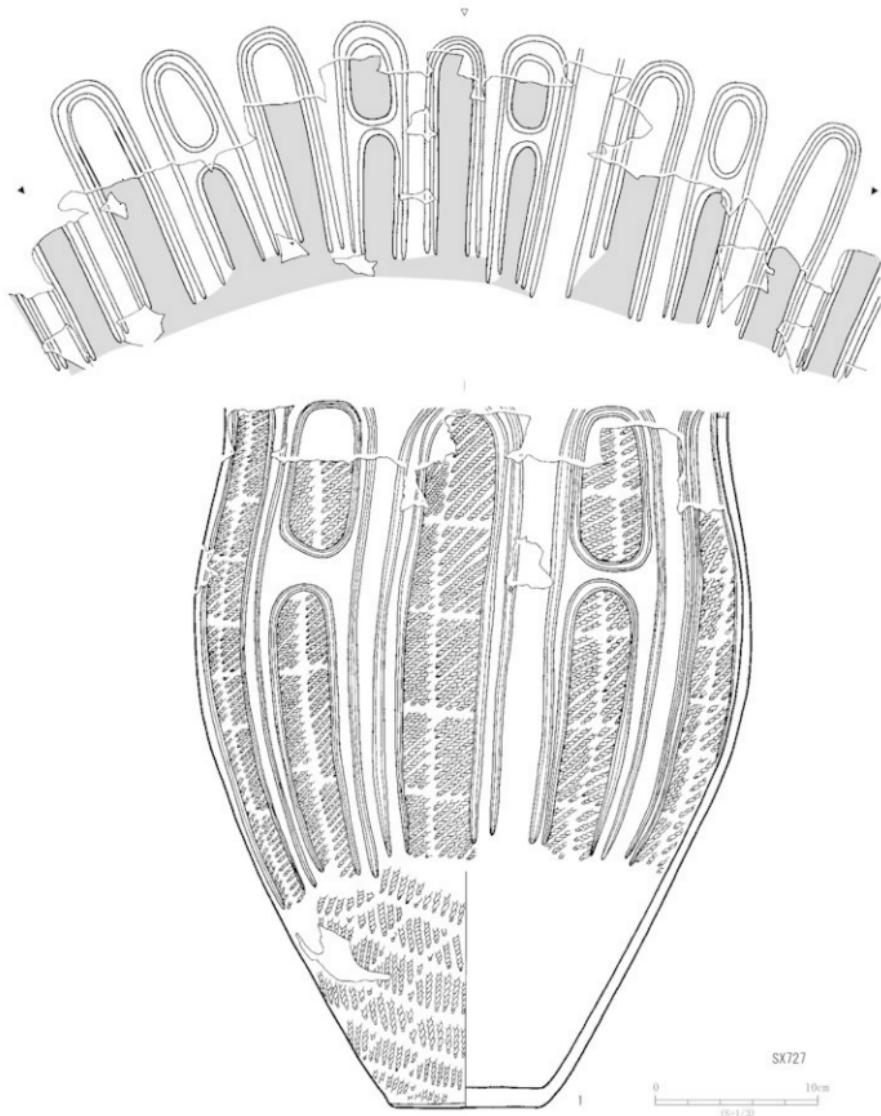
No.	設計番号	遺構	割引・面紋	文様等	備考	実測箇数
1	A-76032	SX715	複脚・刺～既底	刺底、有脚・面紋：既位既底文、繩文L尺、割引既位既底文、既底：ナゲ。	S-1/3,	200-2
2	A-76033	SX724	複脚・口縁～既部	口縁部：既底、張孔既底文、押住繩文L尺、既部：既位既底文、繩文L尺、既位既底文～ナゲ。	-	-

第362図 埋設土器出土遺物(14)



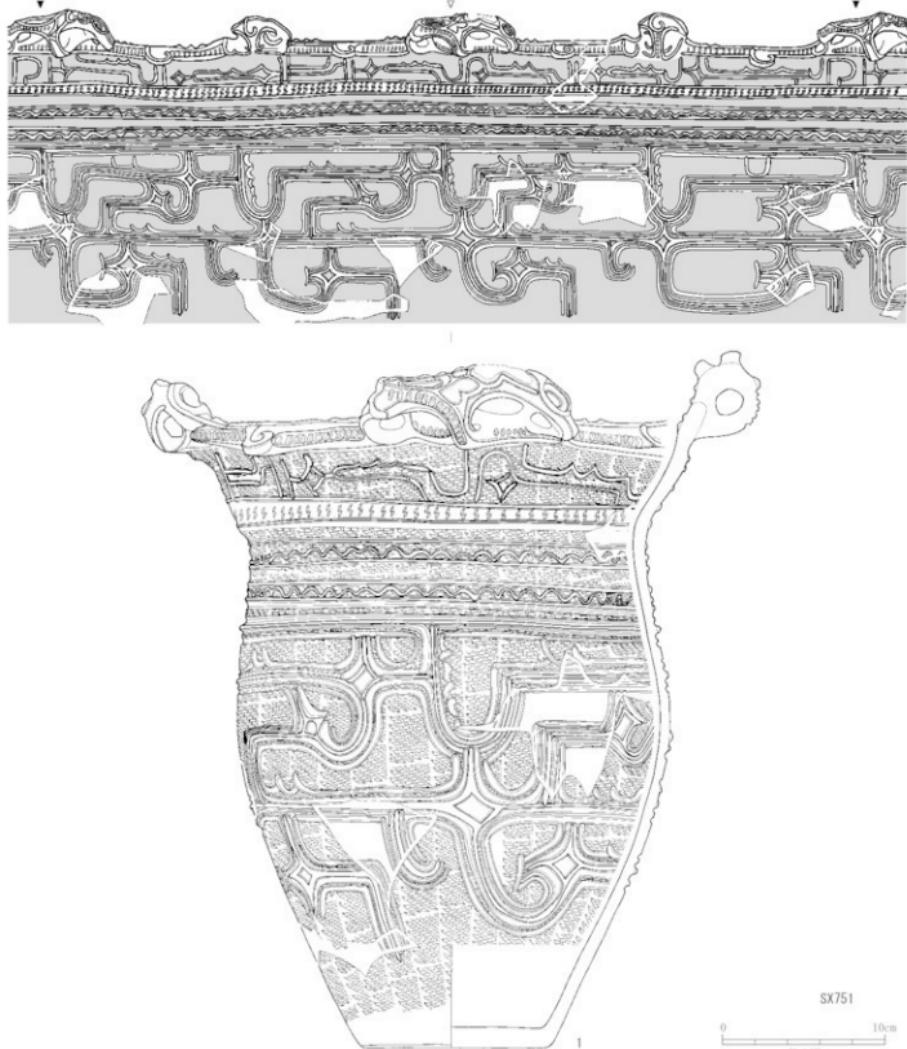
品目	登録番号	遺 墓	器形・部位	文様等	備 考	参考文献
1	A-76034	SK726	深鉢・側～底部	刺繍：曲夷縞各陣沈綴文、「六」狀沈綴文、網文和、巻文無文、底部：ナゲ。		参考文献

第363図 埋設土器出土遺物(15)



No.	登錄番号	遺構	形状・部位	文様等	備考	参考図版
1	A-70049	SX727	深鉢・鉢～瓶	網目・「△」字状波線文、縦文扭、網目・斜位施文、乳頭・子口		200-4

第364図 埋設土器出土遺物(16)



施	登録番号	造	構	器形・部位	文様等	備考	写真箇数
I	A-7038 SX751			深鉢・口縁～底部	口縁部：蟠伏把手・透鉢斜交文、クラシック状・夔形・弧状隣接文、井注繩文LR組位文、繩文LR組位無文。頭部：横臣・流鉢隣接文。胴部：クラシック状・夔形・弧状隣接文、繩文LR組位無文、底部：ナゲ。	-	208-6

第365図 埋設土器出土遺物(17)

5. 配石遺構

配石遺構は第7次調査で4基が検出された。いずれも第7次調査1区中央に位置し、Ⅲ層上面で検出された（第366図）。第7次調査1区では表土掘削後の遺構確認を行う段階で多数の礫が検出されたことから、主に10cm以上の礫について出土地点を記録してから礫の取り外しを行った。以下、ここで説明する配石遺構は、この段階で検出された礫の中で連なった状態の配列が認められるものや、大型の礫がまとまった状態で検出された部分について遺構認定したものである。第366図には配石遺構が検出されたE・F-39～41グリッド周辺から同一面で検出された礫を合わせて図化している。なお、図中に記した標高は配石および礫の検出面のものであり、東側に向かって緩やかに傾斜している。以下、各遺構毎に説明する。

SX714配石遺構（第366図、図版95）

第7次調査1区西側南寄りのF-41グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北東側にS X705・714埋設土器、西側にS I 702・710堅穴住居跡、北東側にS X719配石遺構が存在する。重複する位置の下層および周辺からピットが検出されているが本遺構との関係は不明である。20～30cm大のやや大型で扁平な礫を用いて南北方向に110cmの範囲で長軸方向に連なる配石がなされ、中央では一部重複して二列になる部分も認められる。北側で礫の配置が東側へと弯曲していくことから、当初複式炉の石畳部の残存である可能性も考えられたが、東側で礫が検出されなかったことや焼け面が認められなかったことなどから配石遺構とした。長軸方向はN-22°-Wである。本遺構に伴う明瞭な掘り方は確認されなかった。遺物は二次加工のある剥片1点、微細剥離痕のある剥片1点、礫石器10点、石皿3点が検出されており、礫石器1点、石皿1点を第367図に示した。

SX719配石遺構（第366図、図版95）

第7次調査1区西側南寄りのF-41グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北側に隣接してS K7011土坑、西側にS I 702堅穴住居跡、南東側にS X714配石遺構が存在する。重複する位置の下層および周辺からピットが検出されているが本遺構との関係は不明である。20～30cm大の大型で扁平な礫を用いて北西から南東方向へ160cmの範囲に配石がなされている。中央付近では礫が検出されず、扁平な角礫が垂直に立った状態で検出されている。また同地点から南方へ150cm付近のS X714配石遺構との中间地点付近では25～30cmの扁平礫が垂直に2個並んだ状態で検出された。長軸方向はN-69°-Wである。本遺構にともなう明瞭な掘り方は確認されていない。遺物では微細剥離痕のある剥片2点、礫石器1点が出土しているが図化はしていない。

SX721配石遺構（第366図、図版95）

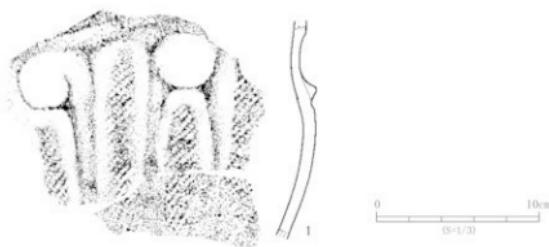
第7次調査1区西側南寄りのG-42グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北側のSK7012土坑、南側のSK7019土坑に挟まれた位置に存在する。重複する位置の下層からピットが検出されているが本遺構との関係は不明である。30～45cmの大型で扁平な礫を用いて東西方向に140cmの範囲で配石がなされており、大型の礫は全て平坦な面を上に向けた状態で検出された。長軸方向はN-68°-Eである。本遺構に伴う掘り方などは確認されていない。第367図に礫の間から出土した深鉢の胴部破片を図示した。石器は礫石器1点、砥石1点が検出されたが図化はしていない。

SX722配石遺構（第366図）

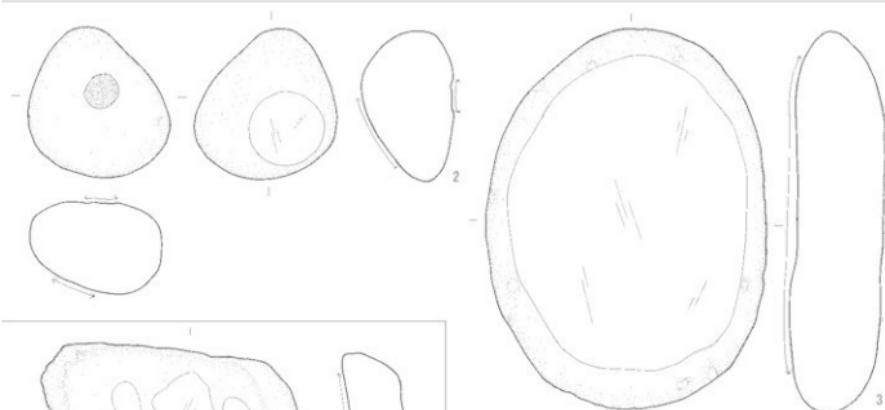
第7次調査中央のF-39グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にS I 709堅穴住居跡、南側にS X711埋設土器が存在する。重複する位置の下層からピットが検出されているが、本遺構との関係は不明である。30～40cmの扁平な礫と小型の礫によって「T」字状の配石がなされている。北側中央で扁平な角礫が平坦な面を上に向けた状態で検出され、周りの礫に比べてやや高い位置に存在しており、本来垂直な状態にあったものが倒れた可能性も考えられる。東西方向の列の方向はN-68°-E、南北方向の列の方向はN-32°-Wである。本遺構に伴う明瞭な掘り方などは確認されなかった。遺物は石器で礫石器1点、石皿3点が出土し、石皿1点を第367図に示した。



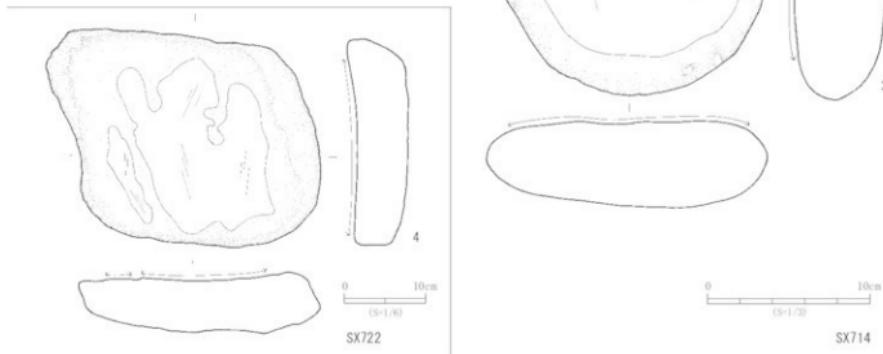
第366図 配石構造



SX721



3



SX722

No.	登録番号	遺構	形状・部位	文様等	備考	参考文
1	A-79037	SX711	塊体・側部	曲面・網目隠伏彫文、縞文	1	200-7

No.	登録番号	遺構	形態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	重さ(t)	場所	参考文
2	Kd-d-7907	SX714	碑石型	安山岩	93.0	87.0	55.0	230.0	壁1、門1	200-8
3	Kd-a-7908	SX714	石頭	安山岩	234.0	173.0	55.0	2941.0	壁1	200-9
4	Kd-a-7917	SX722	石頭	安山岩	269.0	339.0	70.0	8864.0	壁1、部分の石頭表面有り、S=1/6,	200-10

第367図 配石遺構出土遺物

6. 集石

集石は第7次調査1区のⅢ層上面において検出されている（第368図）。第7次調査1区は表土掘削後に行った遺構確認の精査時において調査区のほぼ全面から礫が検出されていたが、本遺構が存在しているF・G-36・37グリッド周辺では特に礫が密集した状態にあった。礫を残しながら下層へと掘り下げていった結果、中央で42cm×36cmの大型の石皿（Kd-a-7018）が平坦な面を上に向けた状態で検出され、そのやや東側からは南北方向へ広がる15cm以下の小型礫を主体とする集中部が3ヵ所認められた。ここでは石皿を中心とした周囲に大小の礫が分布している範囲全体をSX701集石とし、特に礫が集中していた部分を北側のものから順に集中部A・B・Cとした。個別の位置を示す際には上記の石皿を用いて以下説明する。

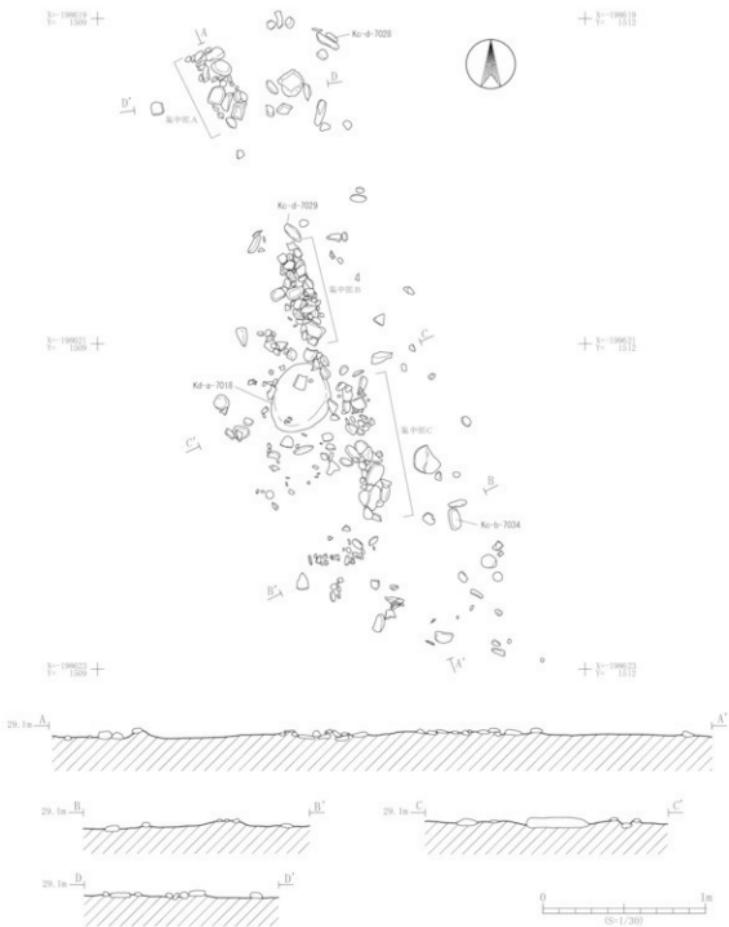
SX701集石（第368図、図版96）

第7次調査1区東側中央のF・G-36・37グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にSX731焼土跡が存在する。また南東側にはS I 711竪穴住居跡の複式炉が存在し、本遺構とは位置的に重複関係にあるものと考えられるが直接の関係は不明である。南北約4.0m、東西約2.0mの範囲に礫の集中した分布が認められる。中央で42cm×36cmの石皿が平坦な面を上に向けた状態で検出され、そのやや東側では15cm以下の小型礫を主体とする集中部が3ヵ所で認められた。集中部全体の軸方向はN-21°-Wである。

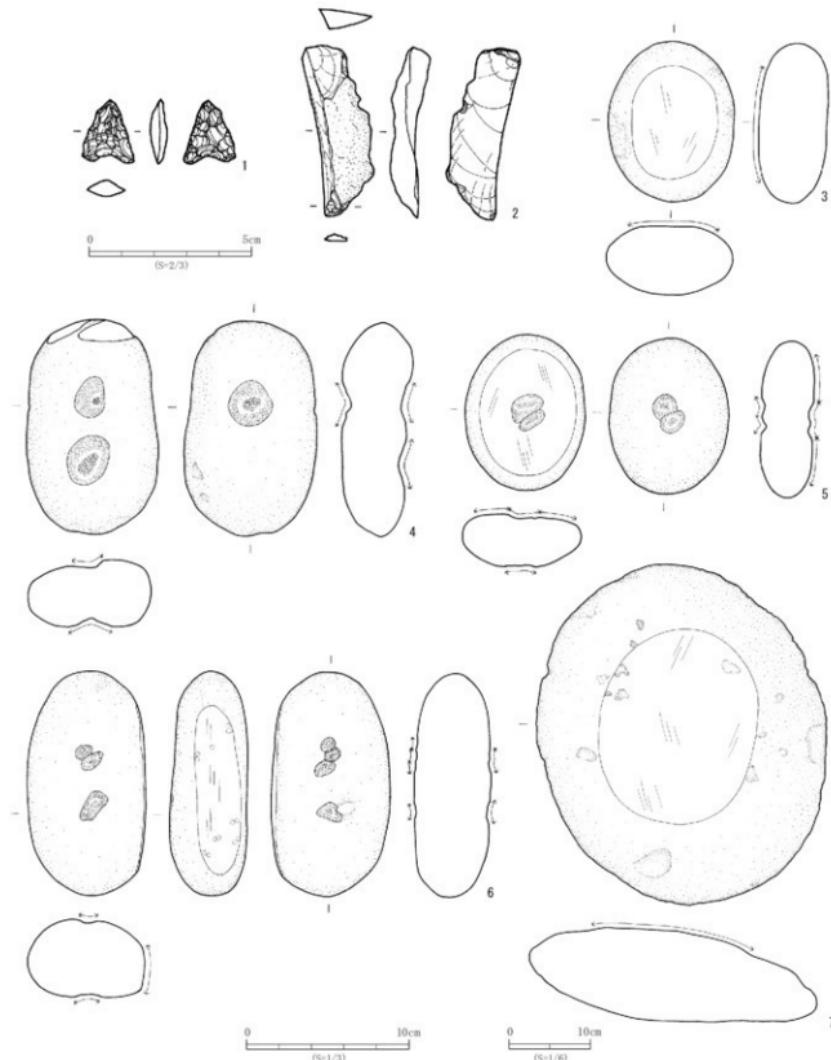
集中部Aは石皿から北へ2.0mの位置にあり、平面形が51cm×22cmの長方形の範囲に15cm未満の礫が集積された状態で検出された。長軸方向はN-25°-Wである。特に礫の大きさや配置に規則性は認められず、掘り方も確認されていない。その他、集中部Aの東側部は礫がやや散漫な状態で分布している。

集中部Bは石皿の北側に隣接し、平面形が100cm×20cmの長方形の範囲に10cm未満の礫が集積された状態で検出された。長軸方向はN-18°-Wである。集中部Aから約80cm離れる。礫の大きさや配置は規則性は認められないが、礫が重なり合って重層的に存在しており、この集中部の中では最も多くの礫が検出された。掘り方などは確認されていない。

集中部Cは石皿の南東に接し、平面形が95cm×19cmの長方形の範囲に10～15cmの礫が集積された状態で検出された。長軸方向はN-13°-Wである。集中部Cは中間の空白地帯を挟んで礫がやや散漫な状態の北側と礫が密に存在する南側の2ヵ所にまとまりをみることもできるが、同じ長軸方向であることから同一のものとして扱っておく。礫の配置などに規則性は認められず、掘り方なども確認されていない。また、集中部Cの周囲に礫が散漫な状態で分布している。出土遺物は石器では石鏨2点、石錐2点、礫石器5点、石皿2点が出土しており、その中から石鏨1点、石錐1点、礫石器4点、石皿1点を第369図に示した。



第368図 集石

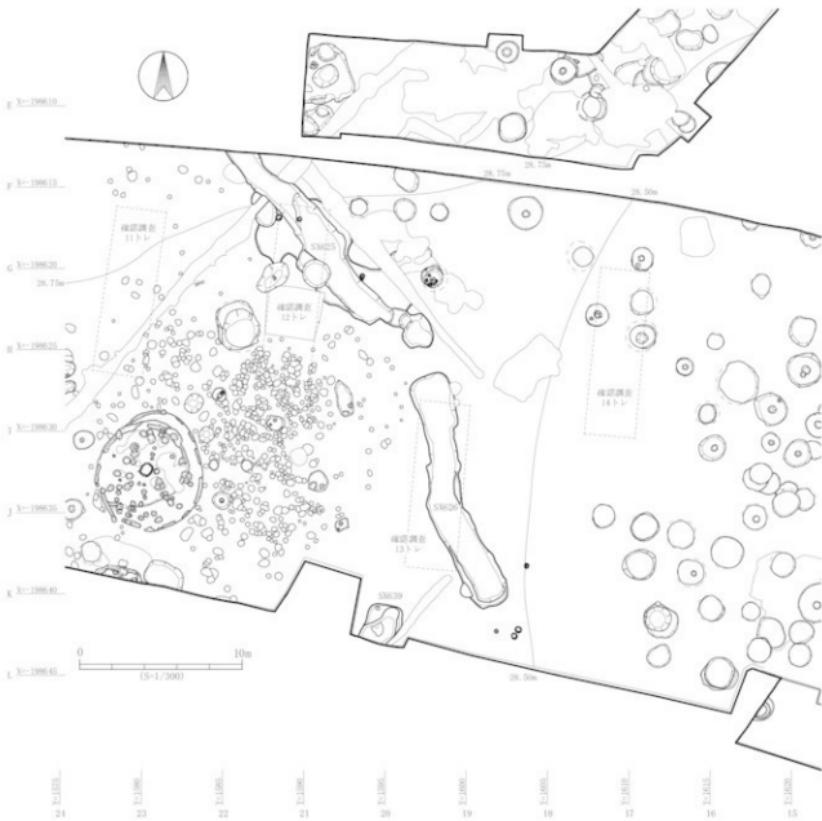


第369図 集石出土遺物

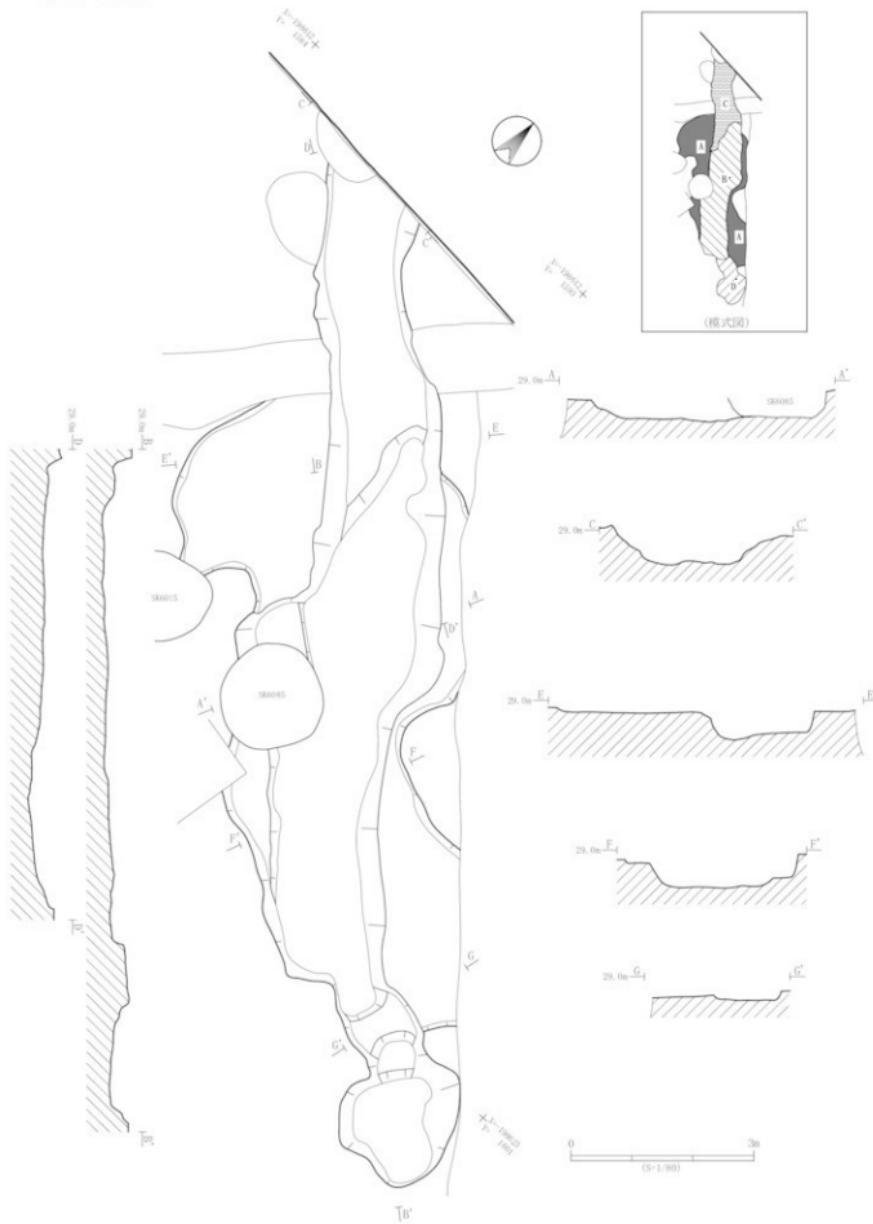
No.	登録番号	遺 務	器 物	石 質	長さ (mm)			幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備 考	() 現存
					(S=1/3)	(S=1/6)	(S=1/12)					
1	Ka-b-7022	SX701	G磨	玉髓	—	—	—	(19.0)	5.1	(1.2)	左脚部欠損。	299-11
2	Ka-b-7022	SX701	石磨	玉髓	51.8	16.5	8.0	—	—	—	—	299-12
3	Ke-a-7043	SX701	神石磨	安山岩	99.0	77.5	47.0	—	—	—	—	299-13
4	Ke-b-7043	SX701	研石器	(ディサイ)	122.5	81.0	42.0	(69.0)	72.4	1	—	299-14
5	Ke-d-7039	SX701	研石器	安山岩	96.0	73.0	32.0	—	—	—	—	299-15
6	Ke-d-7039	SX701	研石器	安山岩	137.5	72.5	46.0	74.0	74.0	14枚	円3-4。	299-16
7	Ke-d-7040	SX701	石磨	安山岩	149.0	36.0	129.0	188.0	18.0	—	被熱鉄、黑色付着物有り、S=1/6。	299-17

7. 溝状の落ち込み

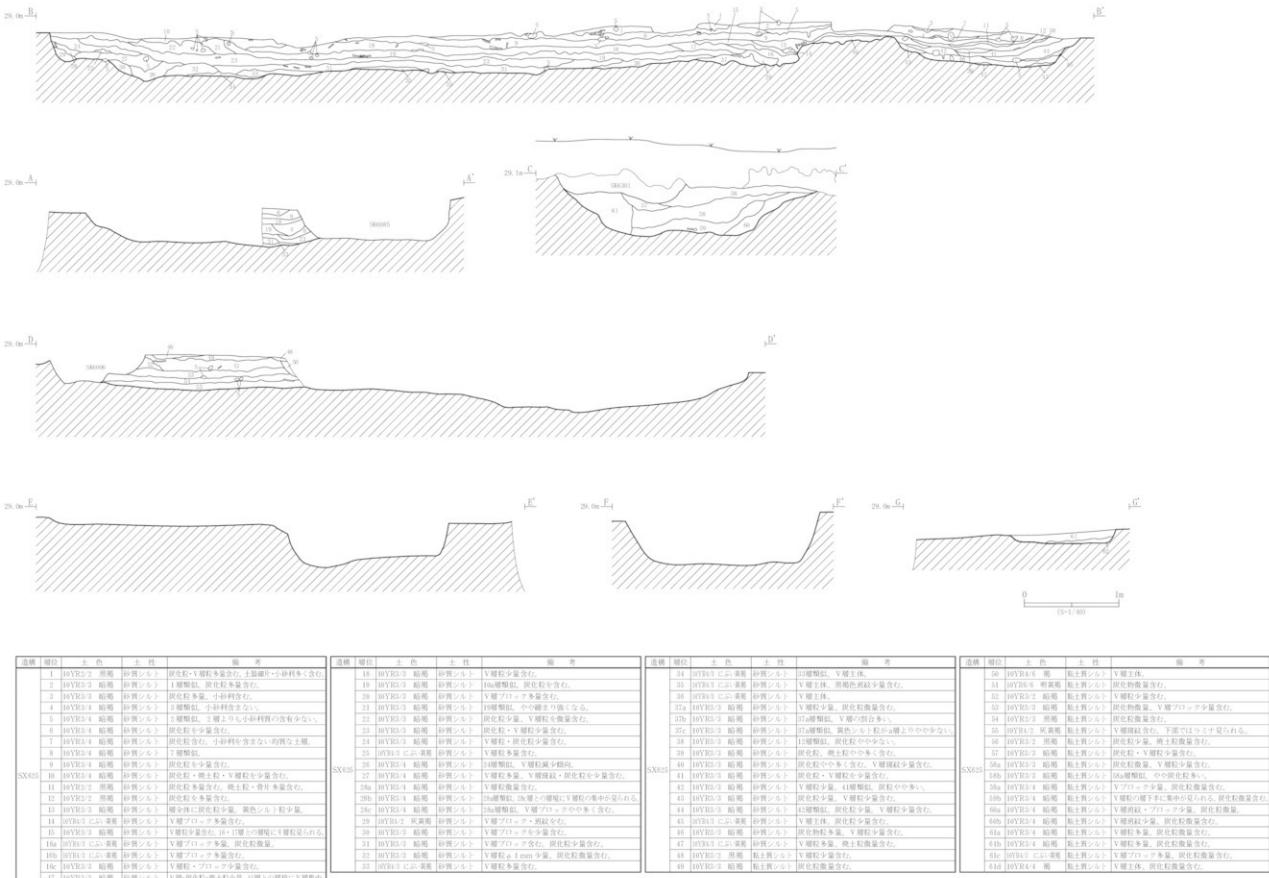
第6次調査1区では東側部分の表土掘削後に行った遺構確認の精査時に、大量の土器・石器がまとまって分布する状態が認められた。平成15年度の確認調査で多量の土器や石器などの遺物が検出されていた12トレンチの「遺構重複状プラン」と13トレンチの「SX1」は前記した遺物分布範囲の遺物集中部分にあたる。これらの土器の中には完形土器や大型破片などが多く含まれており、遺物を現位置に保ったまま掘り下げていったところ北側と南側に分布のまとまりが認められ、北側のものを「遺物集中1」、南側のものを「遺物集中2」とした。更に掘り下げを行って、溝状に長く延びた椭円形あるいは長方形が連結したような不整な溝状のプランを検出し、北側のものをSX25、南側のものをSX26とし、名称については形態から「溝状の落ち込み」とした(※1)。また、調査区南壁際に検出された、調査時にSX635土坑としたものも堆積土中から完形土器を含む土器が多量に出土しており、上記の遺構と類似点が認められることから整理時に「SX639溝状の落ち込み」への遺構名称の振り替えを行った。また、前記した遺物集中1・2については、前者をSX637としてSX625溝状の落ち込みの上層遺物、後者をSX638と



第370図 溝状の落ち込み配置図



第371図 SX625溝状の落ち込み(1)



第372図 S X 625溝状の落ち込み(2)

してS X626溝状の落ち込み上層遺物に振り替えてそれぞれを扱っている。

第370図は上記したS X625・626・639溝状の落ち込みとその周辺から検出された縄文時代の遺構を図示したものである。北から順にS X625、626・639溝状の落ち込みが西側を円の中心点とした弧状に配置がなされる。各遺構間には重複がなく、S X625とS X626、S X626とS X639の間は遺構が検出されない空白地帯となっている。また溝状の落ち込みに注目して周りの縄文時代の遺構の配置を見ると、これらの遺構を境に西側ではS I 604竪穴住居跡をはじめ多数のピットが存在するなど遺構の密度が高いに対し、東側では北側のS X626周辺で一部土坑が見られるものの、S X626溝状の落ち込みの東側には遺構が存在せず空白地帯となる。その東側ではフ拉斯コ状土坑を主体とする土坑群が広がり、遺構を挟んだ東西で検出される遺構の様相が異なっている。

以下、それぞれの遺構毎に説明する。

※1 名称を「溝」とした場合には区画や流・排水などを目的とした意味を含む用語であると考えたためその平面形態から「溝状」とし、これまでの調査例ではこのような溝状の掘り方はあまり知られていないことから「落ち込み」という名称を用いた。

SX625溝状の落ち込み（第371・372図、図版97～100）

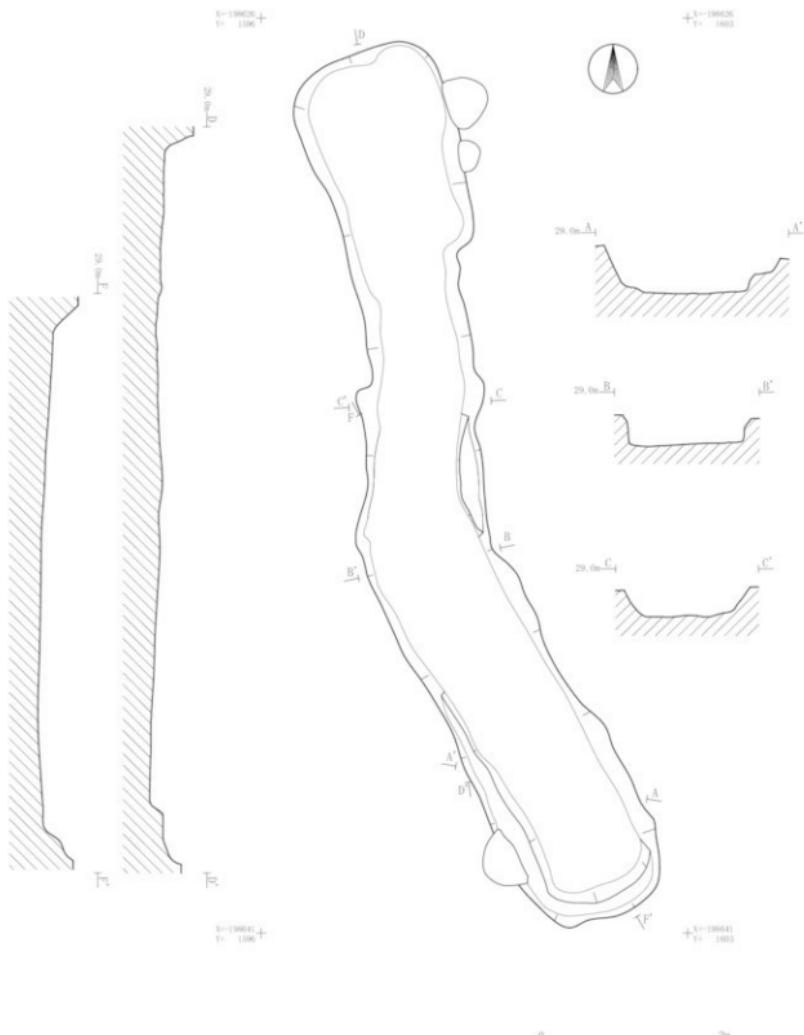
第6次調査1区中央から北側のE-21・F-20・21、G-19・20グリッドに位置する。平成15年度確認調査12トレンチで遺構重複複合プランとして検出されたものと同一である。遺物はⅢ層上面から出土しているが、遺構の平面形はV層上面で確認された。東側にSK6012・6046～6048・6059・6087土坑、南東側にS X626溝状の落ち込みが存在する。SK6015・6083・6085・6300土坑、SD610溝跡と重複関係にあり、本遺構はSK6015・6085・6300土坑、SD610溝跡より古く、SK6083土坑よりも新しい。また、堆積土中にS X603・604・619・620埋設土器が存在する。複数の不整形の掘り込みがおおむね北西から南東方向へ溝状に連なっている。平面や断面での新旧関係は認められず、北側を除いて遺物の分布がこれらの全範囲におよぶことなどからこれら全てを同一遺構として扱った。北側が調査区外のため全体の規模は不明であるが、南東端部から北西壁際までの長さは16.8mである。これらは断面形が皿形となる浅い部分と、逆台形となる深い部分から成り、前者の平面形は東西に広がる不整形である。また後者では方向がほぼ同一であることから一連のものと考えられるが、底面に段差が認められることから、ここでは各部分を説明する際には便宜的に浅い部分をS X625A、中央の深い部分をS X625B、これよりも北側の部分をS X625C、また南側をS X625Dと呼称する（第371図模式図参照）。また断面図で直接連続しないものは全て通し番号で表記した。

S X625AはS X625Bの東西およびS X625Dの南側に広がる浅い部分である。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは6cmである。堆積土は黒褐色粘土質シルトを主体とし、南側のS X625Dの北側部分で土器がややまとまって出土している。

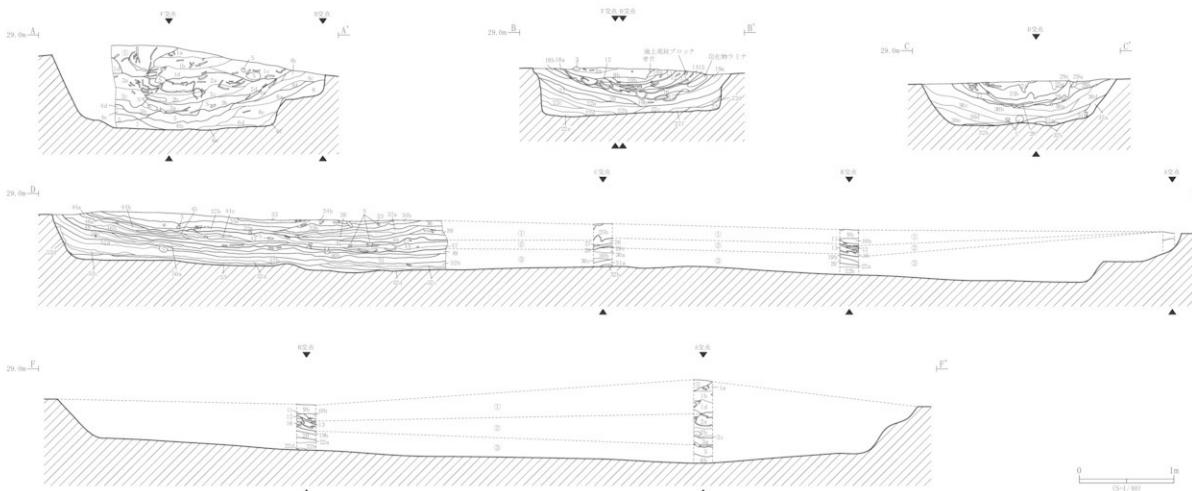
S X625Bは長方形または長楕円形で長さ9.7m、最大幅110cmである。S X625B中央を通る方向は北側でN-22°-W、南側はこれからやや西に傾いてN-47°-Wとなる。疊層を底面としており凹凸が見られるがほぼ平坦である。北側の底面におけるS X625Cとの高低差は4cmでS X625Bの方が深い。堆積土は黒褐色粘土質シルトを主体とする。遺物は堆積土の上層から中層にかけて出土しておりS X625溝状の落ち込みの中で最も多く遺物が出土した部分でもある。

S X625Cは北側が調査区外に延びており、6.6mの長さで検出され、幅は1.4～1.0mである。底面が砂礫層であるため凹凸があり、壁は底面から開いた角度で立ち上がり、断面形は逆台形である。検出面からの深さは調査区北壁の断面では62cmである。堆積土は黒褐色粘土質シルト～暗褐色粘土質シルトを主体としてV層粒や炭化物粒の混入により細分される。遺物は土器・石器が出土しているが、その他の部分に比べて極端に少ない。

S X625Dは南西の200cm×195cmの歪んだ形の落ち込みとS X626Bが幅1.1mの溝状の浅い落ち込みからなって



第373図 SX626溝状の落ち込み(1)



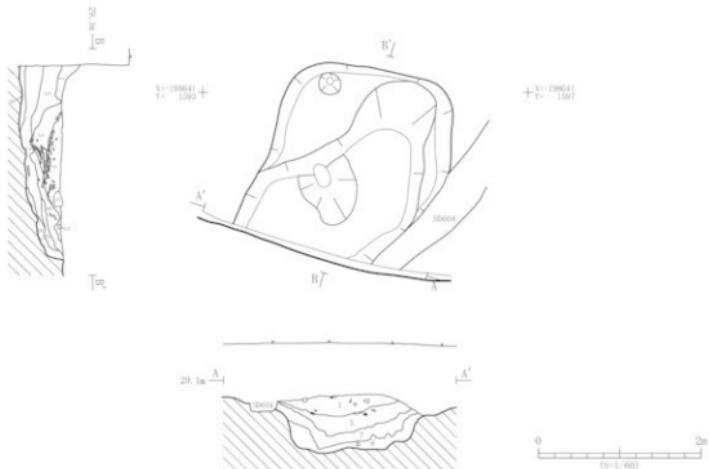
第374図 S X 626溝状の落ち込み(2)

いる。これらを結んだ中央を通る方向はN-57°-Wである。底面はほぼ平坦で壁は開いて立ち上がり、断面形は逆台形である。堆積土では暗褐色粘土質シルトを主体としており焼土や炭化物が互層状に認められた。遺物では土器・石器が上層から中層にかけて多く出土している。

本遺構ではSX625Bを中心とする部分の堆積土上層から中層にかけて多量の土器・石器が出土している。中に土器が潰れた状態で検出されたものもある。土器・土製品を第376～413図、石器を第505～513図に示した。

SX626溝状の落ち込み（第373・374図、図版101～105）

第6次調査1区東側中央のH-I-19、J-18・19、K-18グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。平成15年度確認調査13トレンチのSX1として確認されていたものである。北西側にSX625溝状の落ち込み、南側にSX608～611埋設土器、南西側にSX639溝状の落ち込みが存在する。SK6060・6100土坑と重複関係にあり、本遺構はSK6060土坑より古く、SK6100土坑よりも新しい。隅丸長方形が連結した溝状のもので、中心を通る長さは13.9mで、方向は北側部分からN-10°-W、N-6°-E、N-28°-Wとなり中央部で屈折して「く」の字状となっている。幅は1.7～2.4mである。底面には細かい凹凸があるが概ね平坦で、壁は底面からほぼ垂直あるいはやや開いた角度で立ち上がり、断面形は箱形～逆台形である。検出面からの深さは北側で43cm、中央で36cm、南側で56cmである。堆積土は黒褐色～暗褐色粘土質シルトを主体にしており、上層から中層にかけて炭化物または焼土を含む層などが圧縮されて互層になった状態が確認され、一部ラミナ状の堆積も見られる。なお、第374図の断面では断面図が連続していない場合、各部分の断面毎にA～Dの順に通しの番号をふっており、全体が連番となるような整合性はとれていない。D-D'の断面にB-Cの断面の交点、F-F'にはA-Bの交点を加え、対応関係が想定される層を点線で表現した。土器を多量に含む層とその上下で①～③層に大別し、その特徴をB-B'断面をもと



第375図 SX639溝状の落ち込み

遺構	層位	土色	土性	備考	遺構	層位	土色	土性	備考
SX639	1 10YR2-2 黑褐色	粘土質シルト	炭化物少量、焼土微量、上部少、底部等多く含む。		5 10YR3-3 に少し黒褐色	粘土質シルト	V層板多量含む。		
	2 10YR2-2 黑褐色	粘土質シルト	炭化物少量、焼土微量多量、層間隙・透水多い。		6 10YR3-4 黑褐色	粘土質シルト	V層板含む。		
	3 10YR2-2 黑褐色	粘土質シルト	炭化物多量、焼土微量含む、透水等多量土上。		7 10YR2-1 黑褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土多量含む。		
	4 10YR2-2 黑褐色	粘土質シルト	炭化物がうっすら土に堆積見られる。		8 10YR4-3 に少し黒褐色	粘土質シルト	V層板含む。		

に説明する。①層-1～3層は黒褐色～暗褐色粘土質シルトを主体とするもので炭化粒・焼土粒を含み、これらに混じって骨片も検出されている。②層-4～10層は黒褐色粘土質シルトを主体としており多量の遺物が出土している。また堆積土中から検出された微少な骨片の中に刺突具およびヤスの骨角器が含まれ、炭化粒・焼土粒を多量に含む。③層-11～15層は暗褐色粘土質シルト主体で遺物の出土は全体として少ない。中央の深い部分に向かって緩やかに落ち込むラミナ状の堆積なども一部で認められる。

出土遺物ではSX625溝状の落ち込みと同様に完形土器を含む多量の土器・石器が出土しており、土製品では皮袋形土製品などが含まれていた。土器・土製品類を第414～434図、石器を第513～526図に示した。

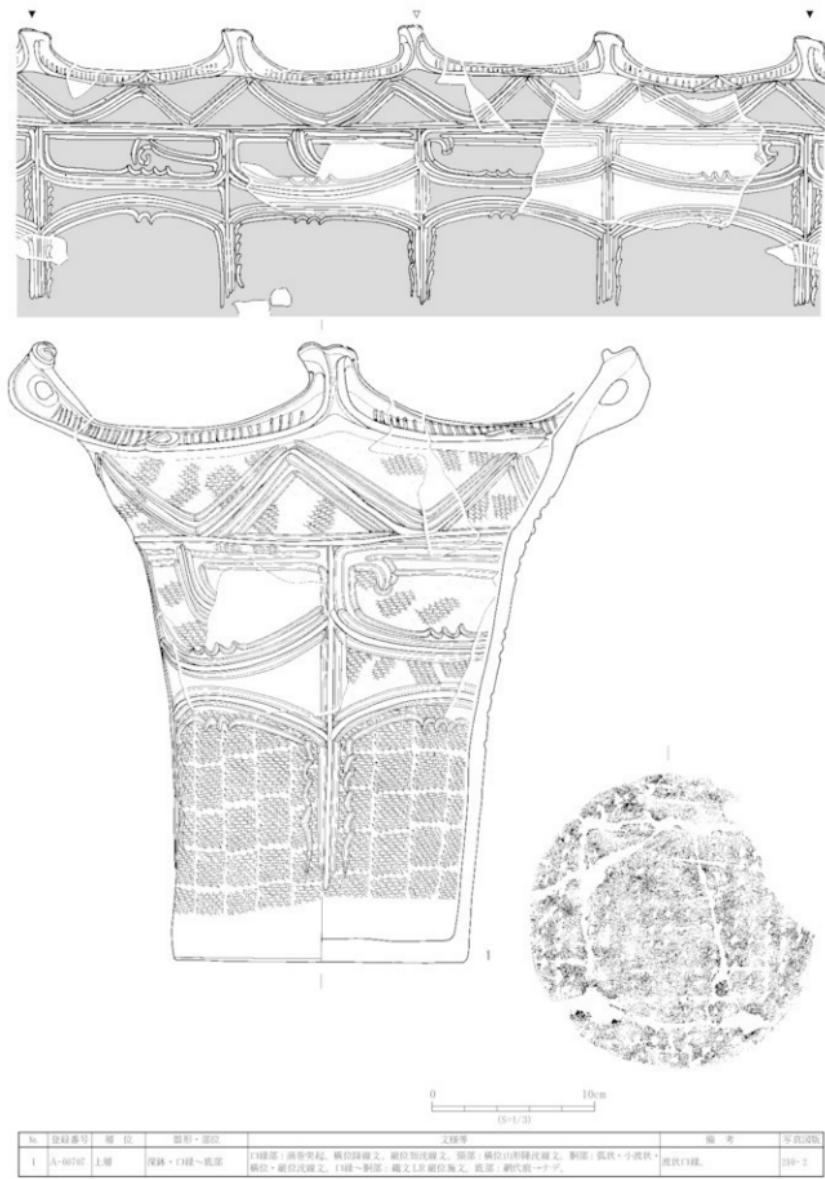
SX639溝状の落ち込み（第375図、図版106）

第6次調査1区東側中央南側のK-19・20グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北側にSX626溝状の落ち込みが存在する。SD604溝跡とは重複関係にあり本遺構が古く、東側が一部削平されている。南側が調査区外のため全体は不明であるが、検出された部分では南北2.4m以上、東西2.2mの歪んだ隅丸方形である。上端の平面形を基準にして長軸を南北とした場合の方向はN-18°-Eである。底面には凹凸が認められるがほぼ平坦であり、検出面からの深さは南壁断面で70cm、北側で42cmである。底面の中央からやや西ではピット状の落ち込みが見られ、底面からの深さは23cmである。また、北西側では検出面から14cmの浅いテラス状の平坦部を有しており南側に向かって緩やかに傾斜している。また北壁際からは28×25cmの円形のピットが検出され、テラス面からの深さは27cmである。壁は底面からほぼ垂直またはやや開いた角度で立ち上がり、断面形は逆台形となる。堆積土は暗褐色粘土質シルトを主体とし、上層から中層にかけて完形土器となるものを含み、土器・石器などの遺物が多く出土した。遺物は土器を第435～504図、石器を第527～529図に示した。

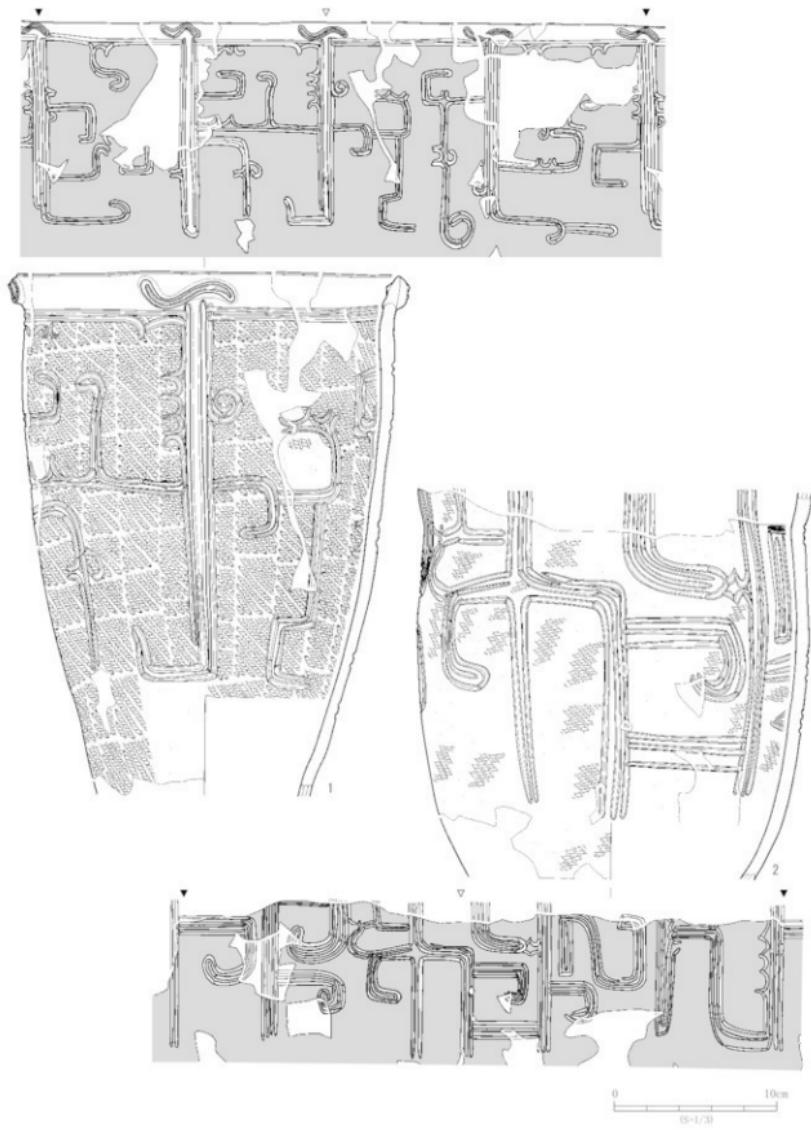


第376図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(1)

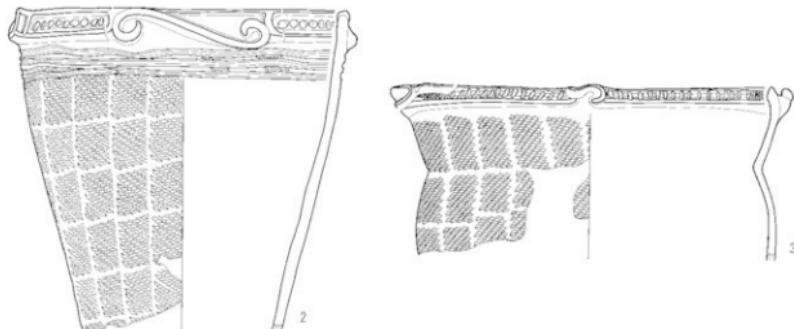
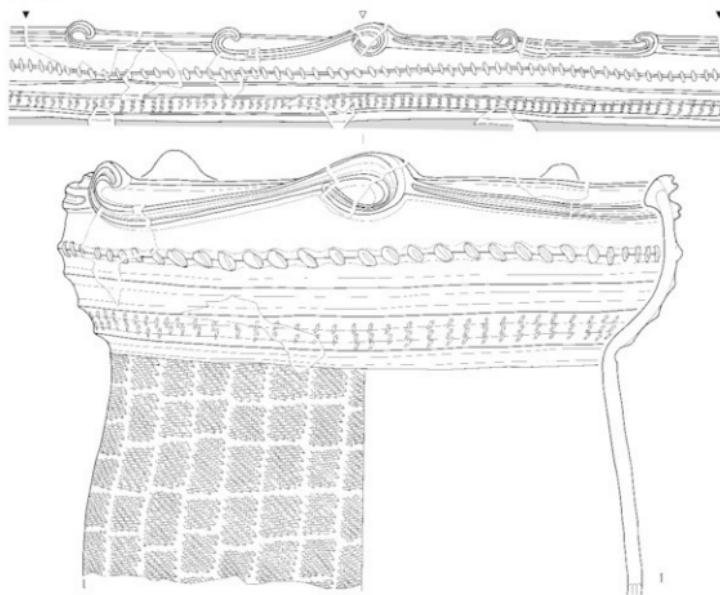
品 名	登 記 番 号	場 位	器形・部位	文様等	備 考	写真回数
I	A-66796	上層	深鉢・口縁～底部	口縁部：溝巻・横巻・縦位隠羅文、織文LR 斜位施文。頭部：横位沈羅文、織文LR 斜位施文。胴部：網先狀・溝巻・横巻・縦位沈羅文、織文LR 縦巻・斜位施文。底部：網代机。	-	210-1



第377図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(2)



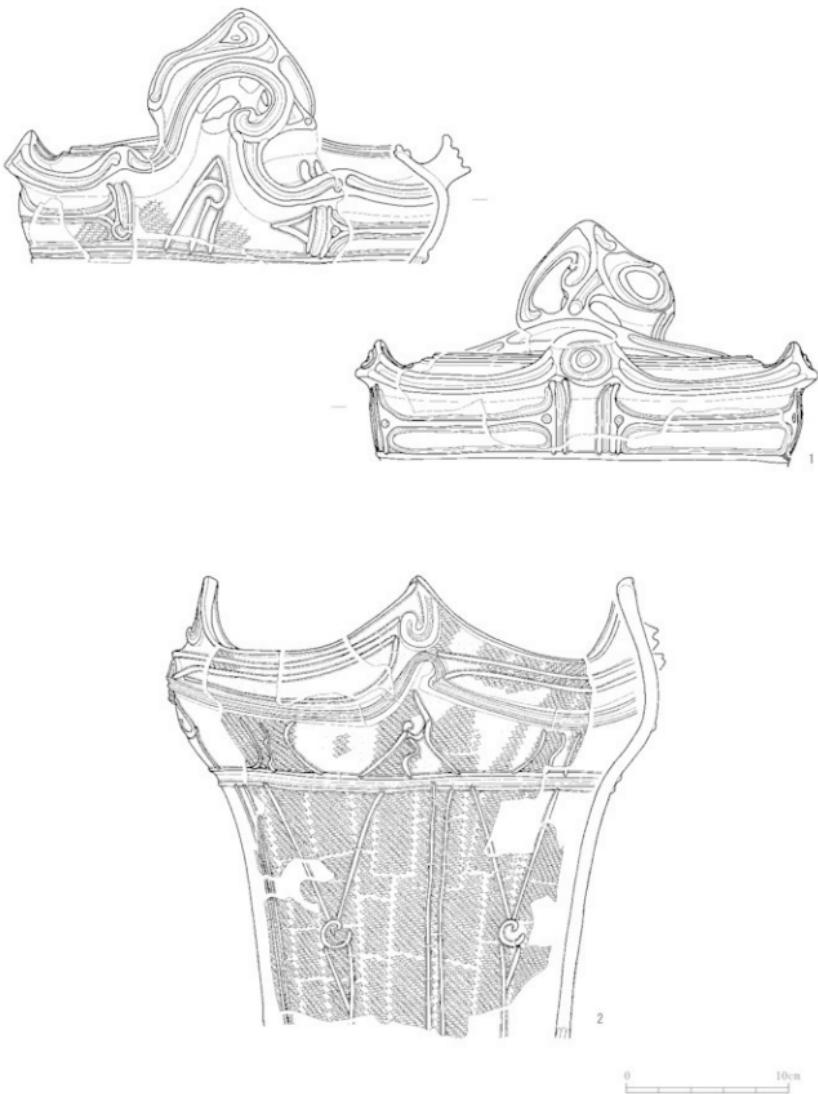
第378図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(3)



0 10cm
(S=1/3)

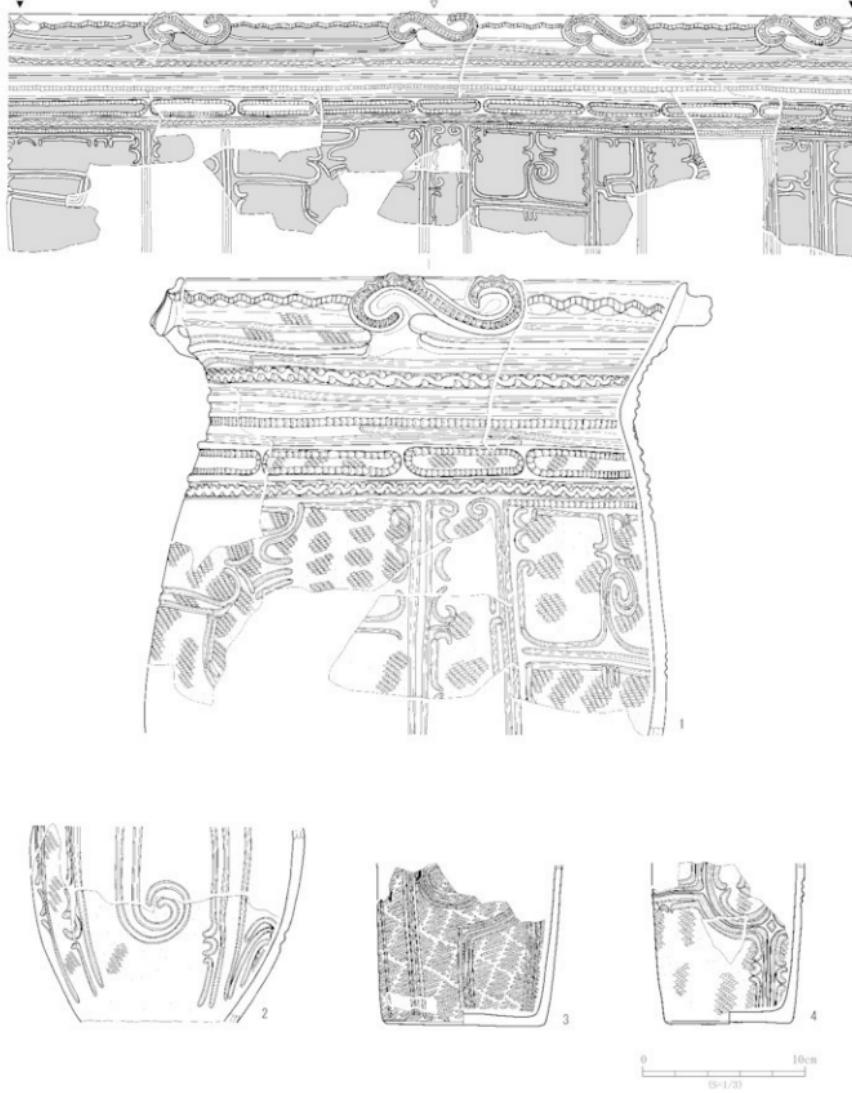
施	登録番号	場	形	器形・部位	文様等	備考	写真出版
1	A-66710	上層	深鉢	口縁～胴部	口縁部：曲垂突起、横位斜沈綱文、橫位斜江捺綱文、橫位斜綱文。頭部：押江綱文。胴部：網位施文、網文L形網位施文。	210-4	
2	A-66711	上層	深鉢	口縁～胴部	口縁部：L字状突起、横位逆綱斜綱文。頭部：横位茂綱文。胴部：網文L形網位施文。	210-5	
3	A-66712	上層	深鉢	口縁～胴部	口縁部：曲垂突起、横位斜沈綱文、胴部：網位施文。	210-6	

第379図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(4)

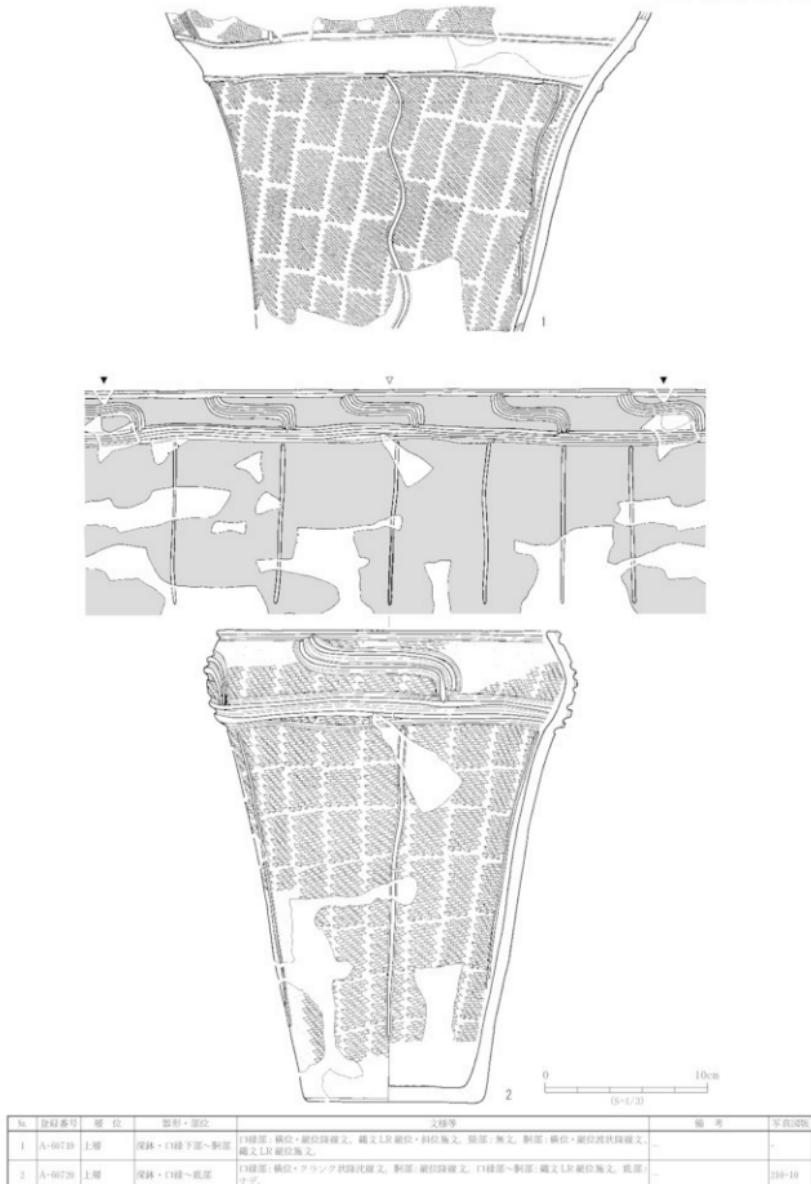


第380図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(5)

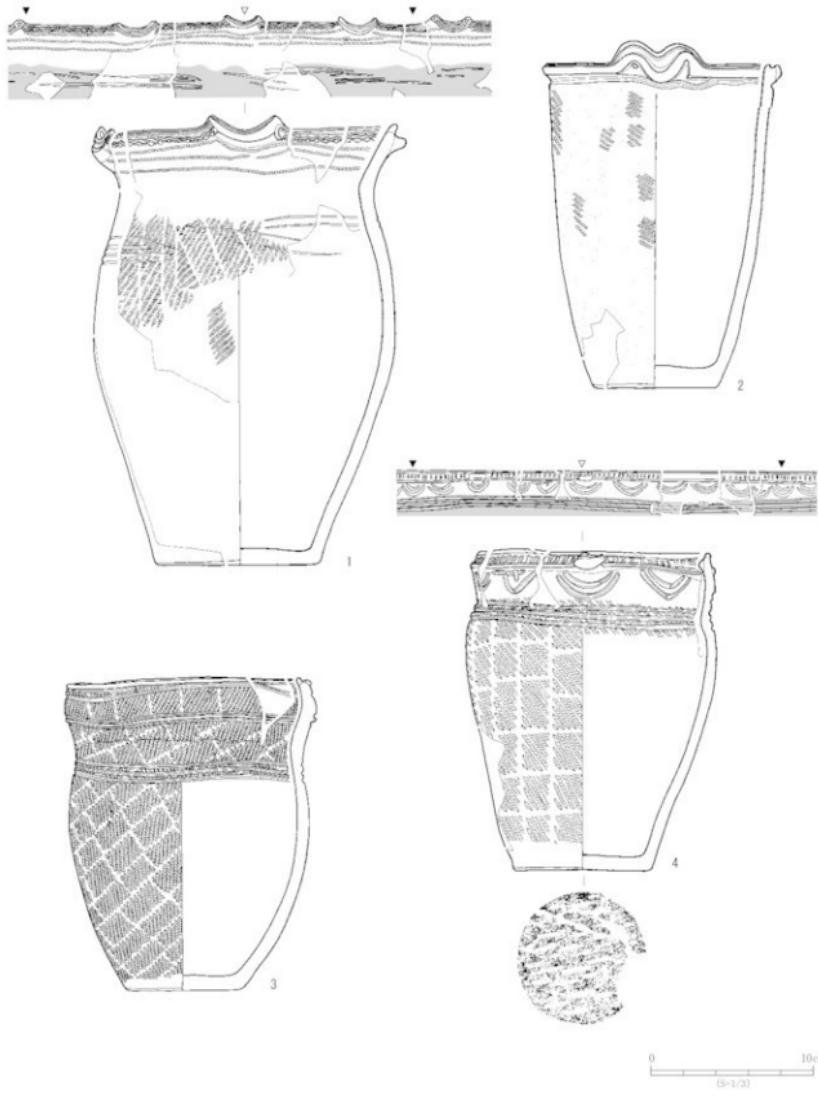
登録番号	場所	形状・部位	文様等	備考	写真箇数
1 A-60713	海側土	深鉢・口縁部	装飾把手、円形突起、円形刻文字、弧形鋸齿彫文、弧状・横位・縦位虎彫文、繩文口沿横位施文	-	210-7
2 A-60714	上層	深鉢・口縁一部部	口縁部:虎彫・横位虎彫彫文、弧状・横位・縦位虎彫文、繩文口沿横位施文。側部:溝階「Y」字状・横位・縦位虎彫文、繩文口沿横位施文。	弧状口縁、	210-9



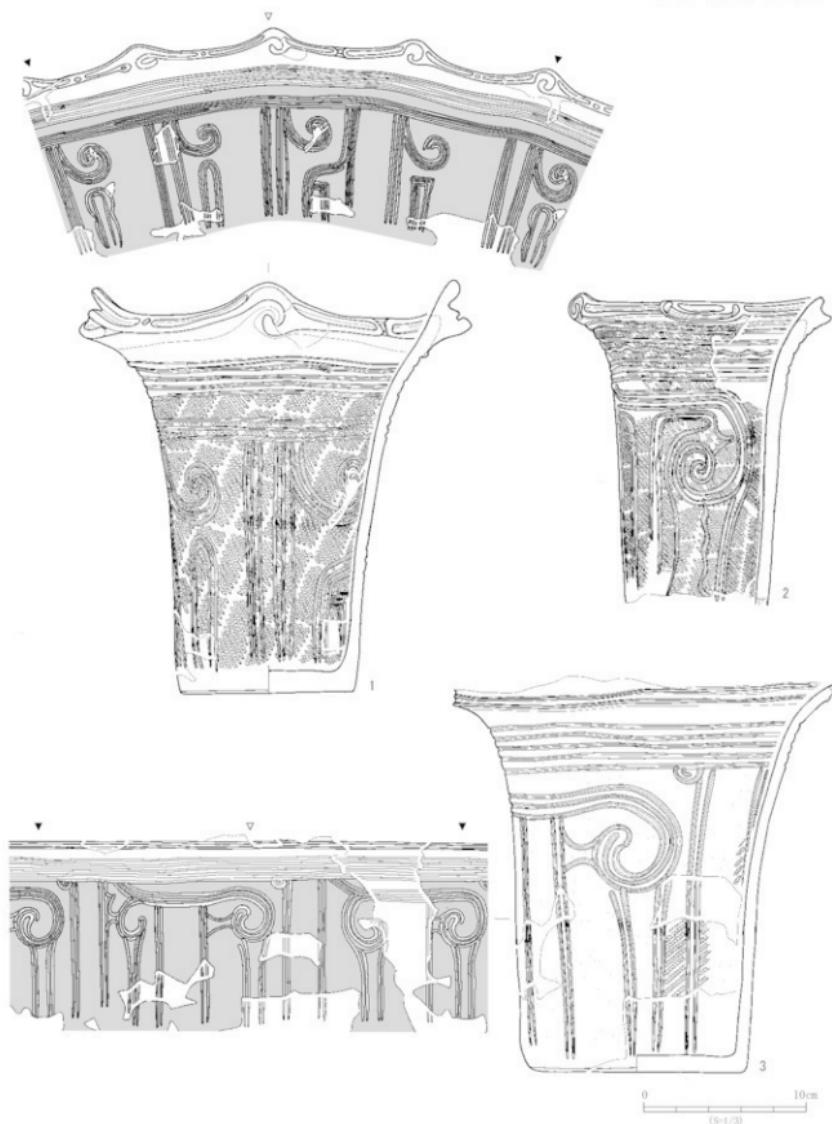
第381図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(6)



第382図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(7)

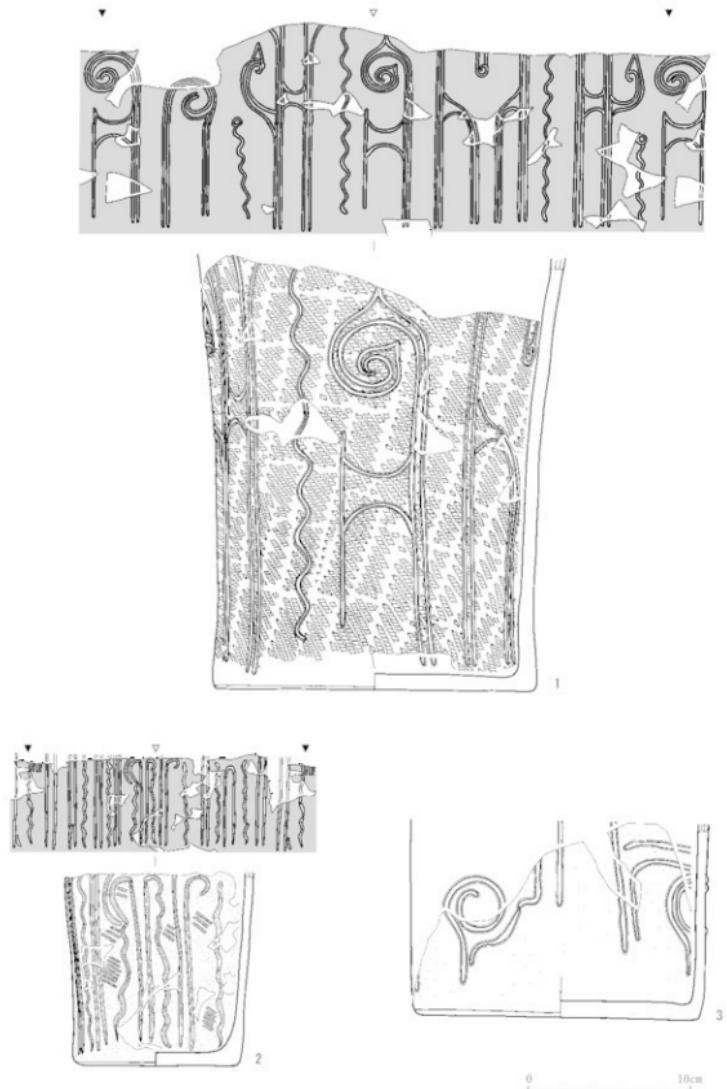


第383図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(8)

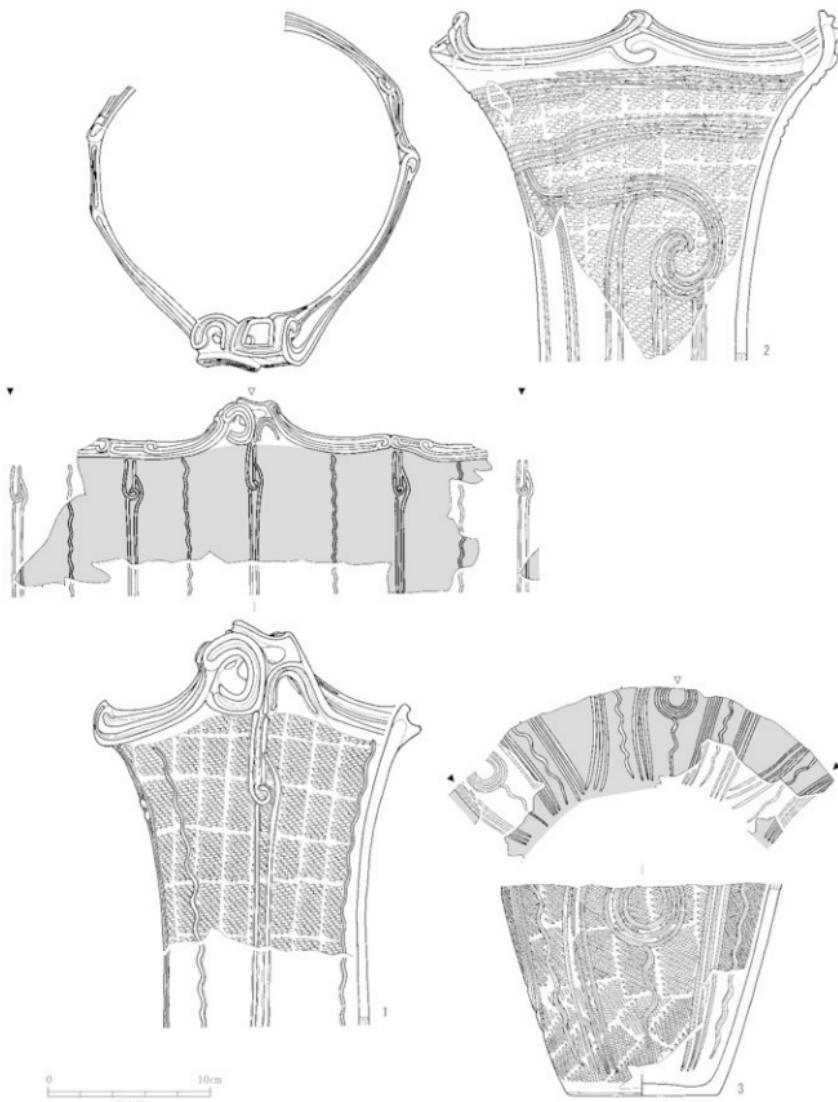


第384図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(9)

No.	資料番号	層位	部位・部位	文様等	備考	参考文献
1	A-66725	上層	廻柱・口縁～側部	口縁部：頭部半起・横位頭形波文、横位波文。頭部：無文。側部：渦卷・乳頭・葉型・螺旋形波文。	直折口縁。	211-3
2	A-66726	上層	廻柱・口縁～側部	口縁部：頭部半起・横位頭形波文、横位小波形波文、横位沈没文。側部：頭部・葉型・螺旋形・小波形・橫位・縱位波文。織文LR面位・斜位波文。		211-2
3	A-66727	上層	廻柱・口縁下部～底部	口縁部：横位頭形文、頭部・横位波文、織文RL・織位波文。底部：ナデ・摩滅激しい。		211-4

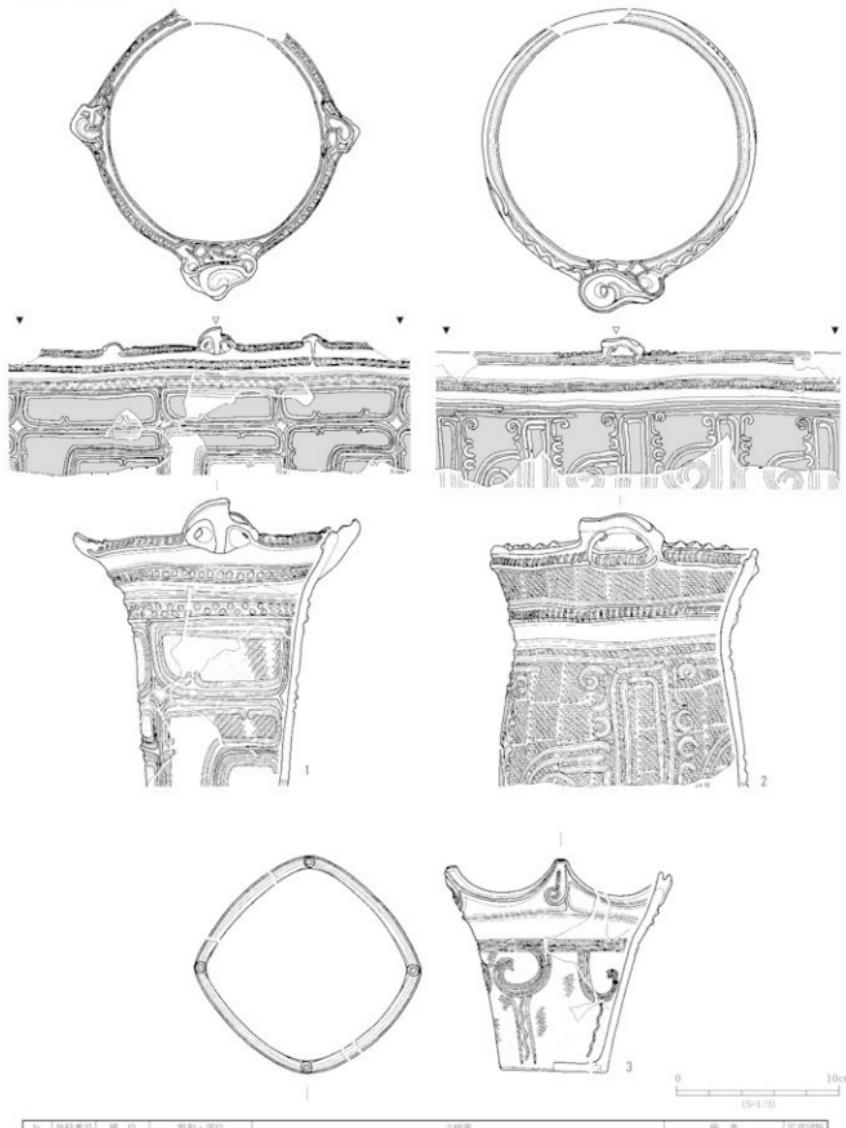


第385図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(10)



No.	登録番号	場所	图形・部位	文様等	備考	等級或類
1	A-66731	I層	深鉢・口縁～側部	(口縁部) 漆器把手、渦形、波状、網目、網位降龍文、繩文 L 形網位施文。	-	21F-6
2	A-66732	I層	深鉢・口縁～側部	(口縁部) 漆器把手、網位降龍文、網位、渦形、網位、網位降龍文、繩文 T 形網位施文。	波狀口縫。	21F-8
3	A-66733	I層	深鉢・側部～底部	網位、円形、波状、直孔、網位降龍文、繩文 L 形網位、網位施文、乳頭、ナギ。	-	21I-7

第386図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(11)

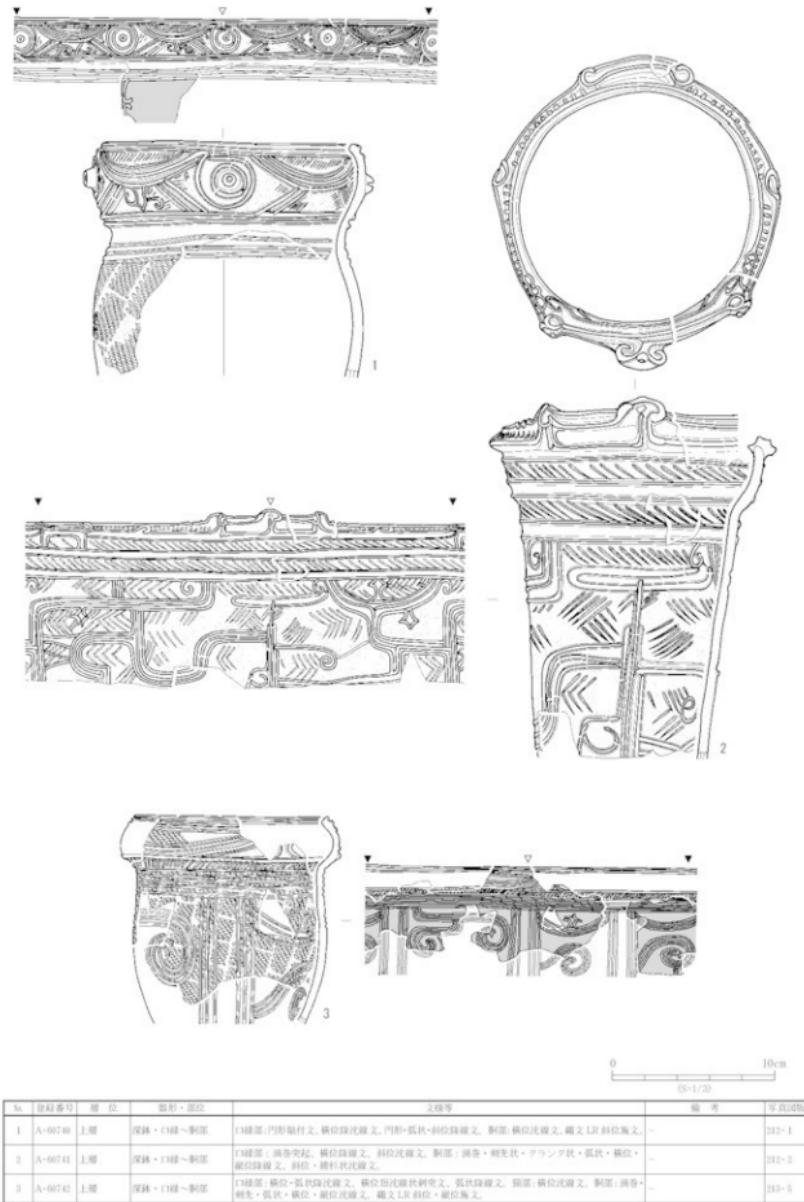


第387図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(12)

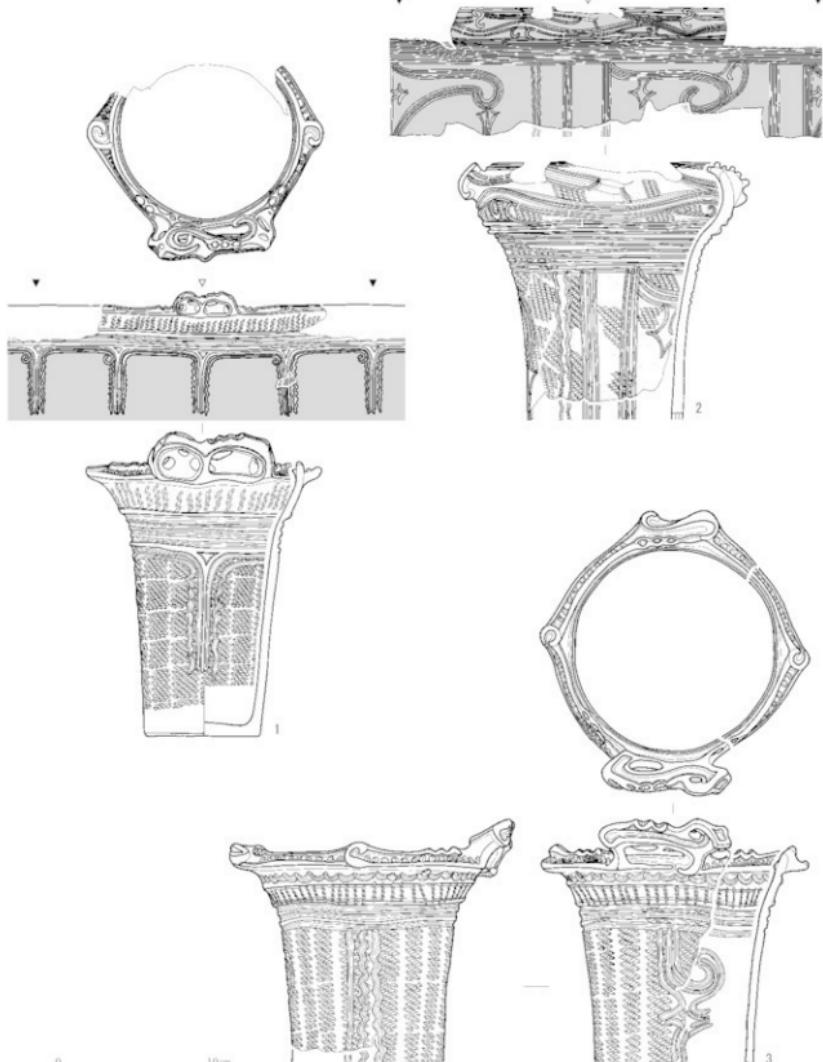


No.	登録番号	部位	图形・部位	文様等	備考	参考図版
1	A-66737	上層	深鉢・口縁～側部	口縁部：横文LH 形位加彌文。側部：横位刃彌文。側部：「丁」字形・弧形・横位・横位刃彌文。 横文LH 形位加彌文。		211-9
2	A-66738	上層	深鉢・口縁～側部	口縁部：横文・有輪雲頭文。側部：横位刃彌文。横文LH 形位加彌文。側部：横位刃彌文。 側部：弧形・横位・横位刃彌文。横文LH 形位加彌文。		211-10
3	A-66739	上層	深鉢・口縁～側部	口縁部：口縁丸手・側丸・弧形・横位刃彌文。側部：横位刃彌文。側部：横位・弧形・横位・横位刃彌文。横文LH 形位加彌文。		211-7

第388図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(13)

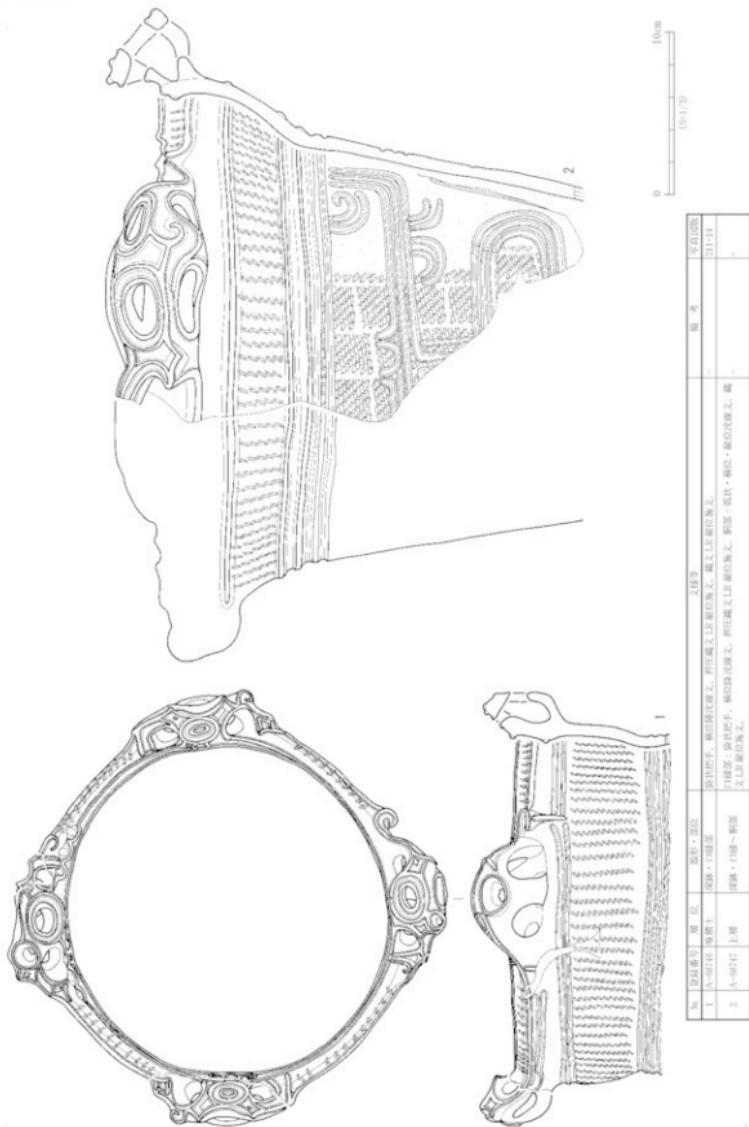


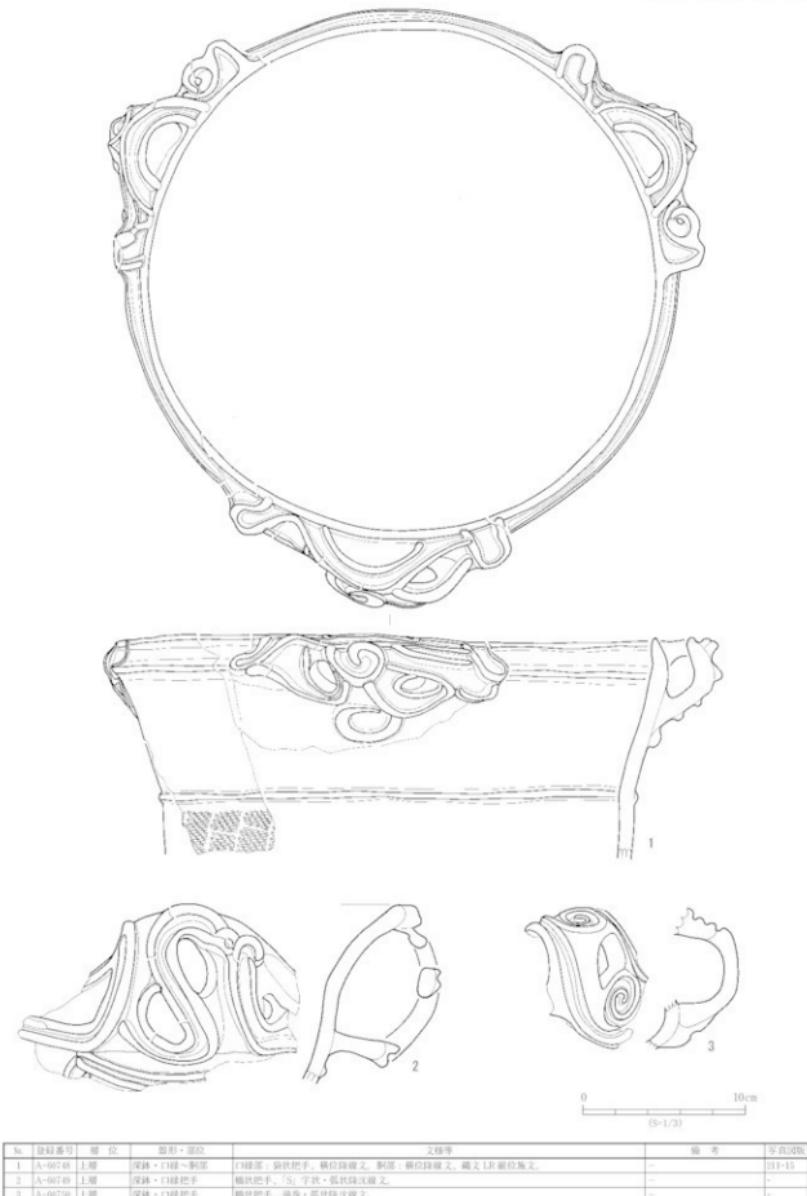
第389図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(14)



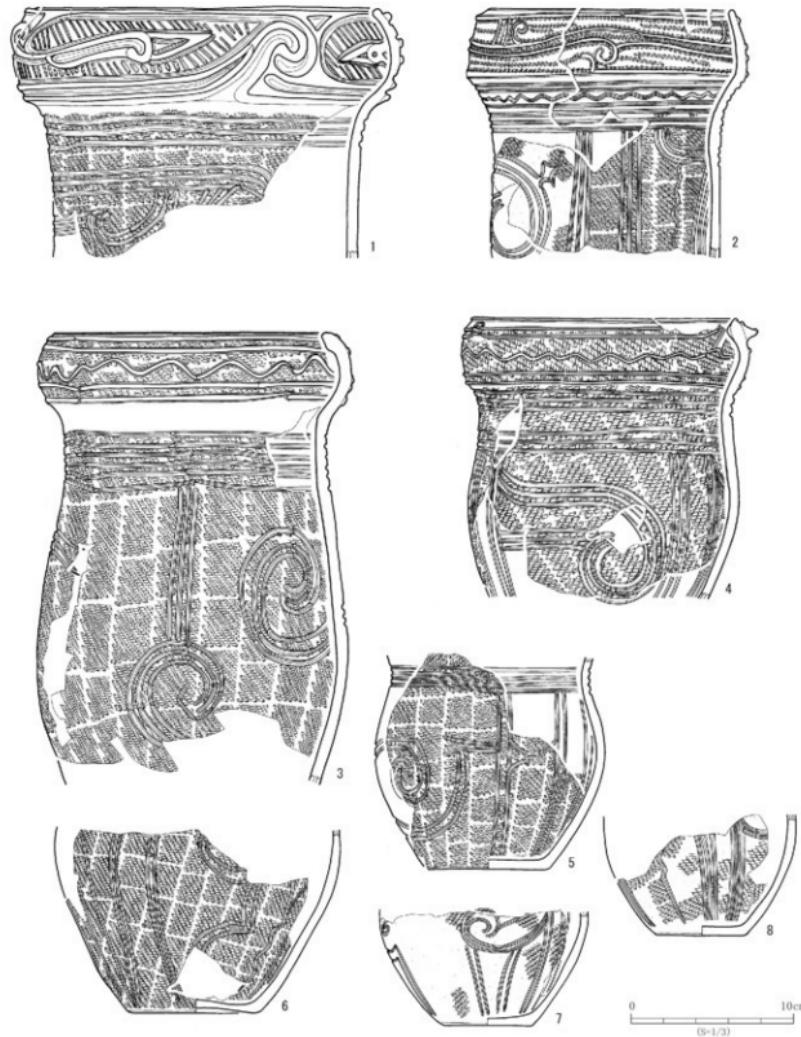
No.	登録番号	場所	断面・部位	文様等	参考	写真回数
1	A-60743	上層	深鉢・口縁～底部	口縁部：S；子供把手、油壺突起、押抜織文、押抜文口縫部位施文。底部：模位沈綴文。側部：模位・網目陣羽文、油壺・模位小規模沈綴文、織文口縫部位施文。	211-8	
2	A-60744	上層	深鉢・口縁～側部	口縁部：S；子供把手、油壺突起、模位織文、張模・模位沈綴文、模位沈綴文、側部：模位沈綴文、側部：油壺、張模・模位・織位沈綴文、織文口縫部位施文。	211-13	
3	A-60745	上層	深鉢・口縁～側部	口縁部：S；子供把手、油壺突起、模位織文、張模・模位沈綴文、模位口縫部位施文、模位・網目陣羽文、側部：油壺・模位・小規模・模位沈綴文、織文口縫部位施文。	211-1	

第390図 SX625溝状の落ち込み出土物(15)



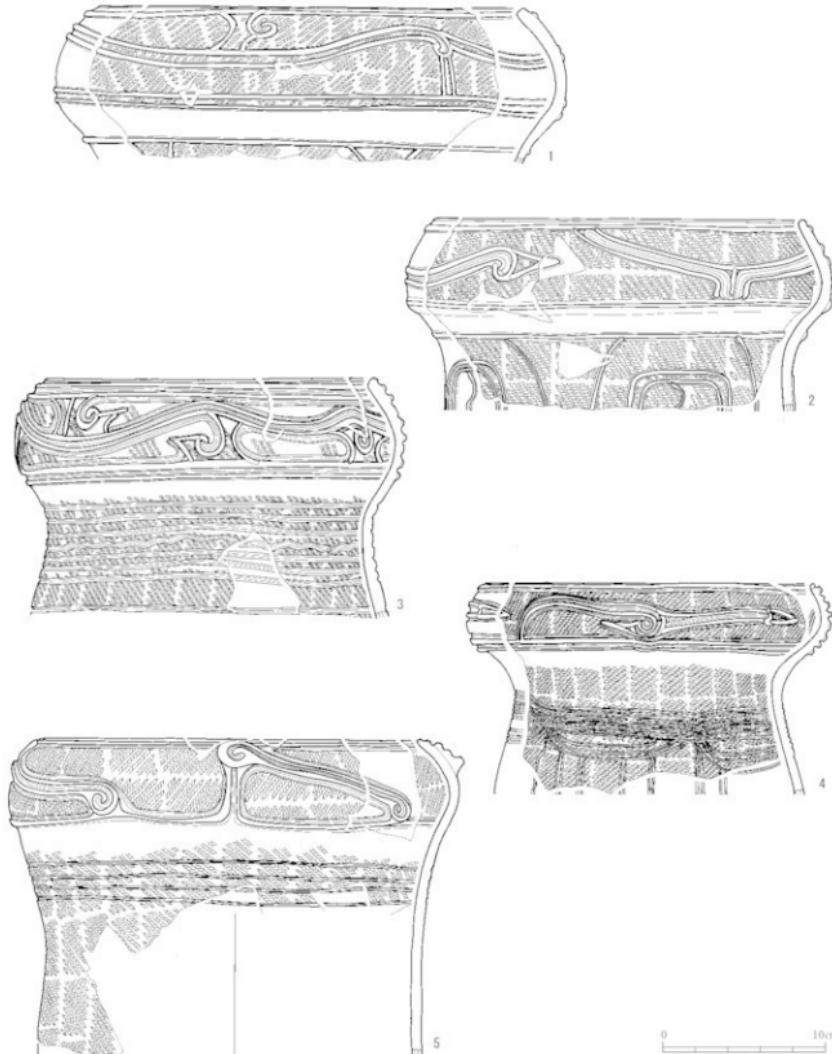


第392図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(17)

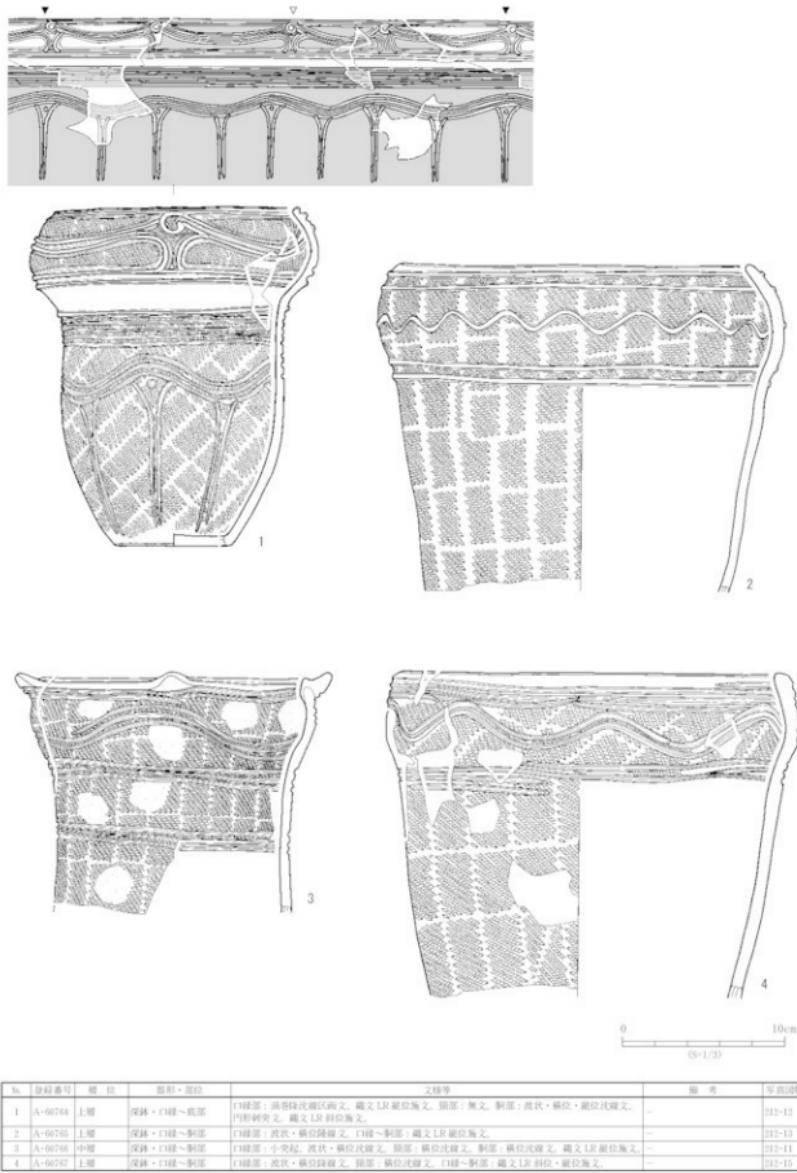


号	登錄番号	場位	器形・部位	文様等	備考	写真図版
1	A-60734	上層	深鉢・口縁一部	口縁部：有棘浦包接元羅文。頭部：橫位沈羅文。側面：圓渦・橫位沈羅文。縞文上に網位施文。		312-3
2	A-60732	上層	深鉢・口縁一部	口縁部：有棘浦羅文。頭部：橫位沈羅文。側面：圓渦・橫位沈羅文。縞文上に網位施文。		312-4
3	A-60733	上層	深鉢・口縁一部	口縁部：圓渦・横位施文。		312-5
4	A-60734	上層	深鉢・口縁一部	口縁部：圓渦・横位施文。頭部：橫位沈羅文。側面：圓渦・橫位・網位・網位沈羅文。縞文上に網位施文。		312-6
5	A-60735	上層	深鉢・頭部一部	頭部：圓位沈羅文。側面：圓渦・橫位・網位・網位沈羅文。縞文上に網位施文。		-
6	A-60736	複数点	深鉢・頭・底部	頭部：圓渦・橫位沈羅文。縞文上に網位施文。底部：ナデ。		-
7	A-60737	上層	小型深鉢・側下部～底部	側面：圓渦・網位沈羅文。縞文上に網位施文。底部：ナデ。		-
8	A-60738	上層	小型深鉢・側下部～底部	底部：圓渦・橫位・網位・網位沈羅文。縞文上に網位・網位施文。底部：ナデ。		-

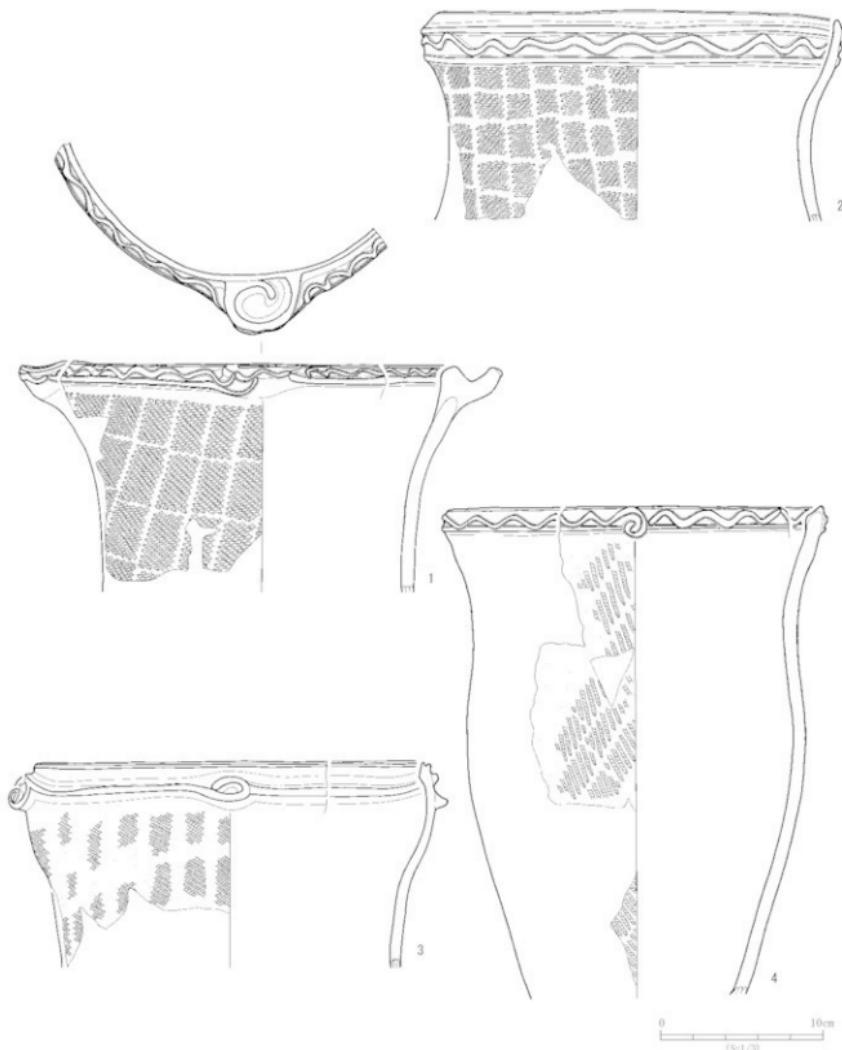
第393図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(18)



第394図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(19)

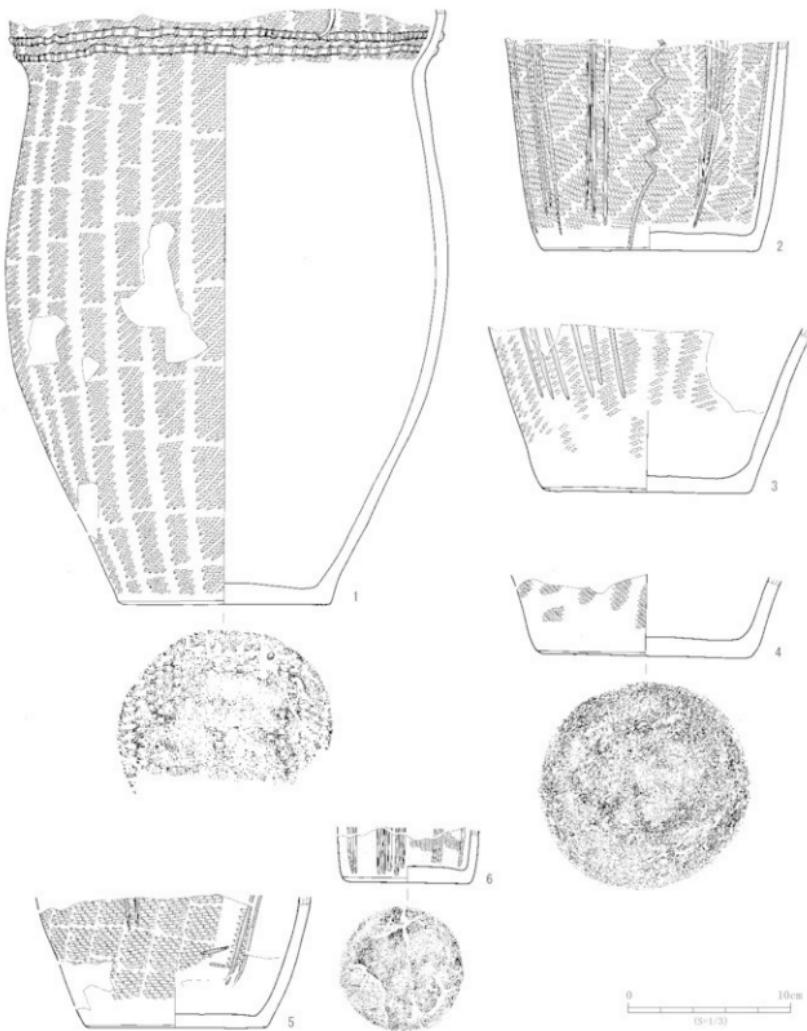


第395図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(20)



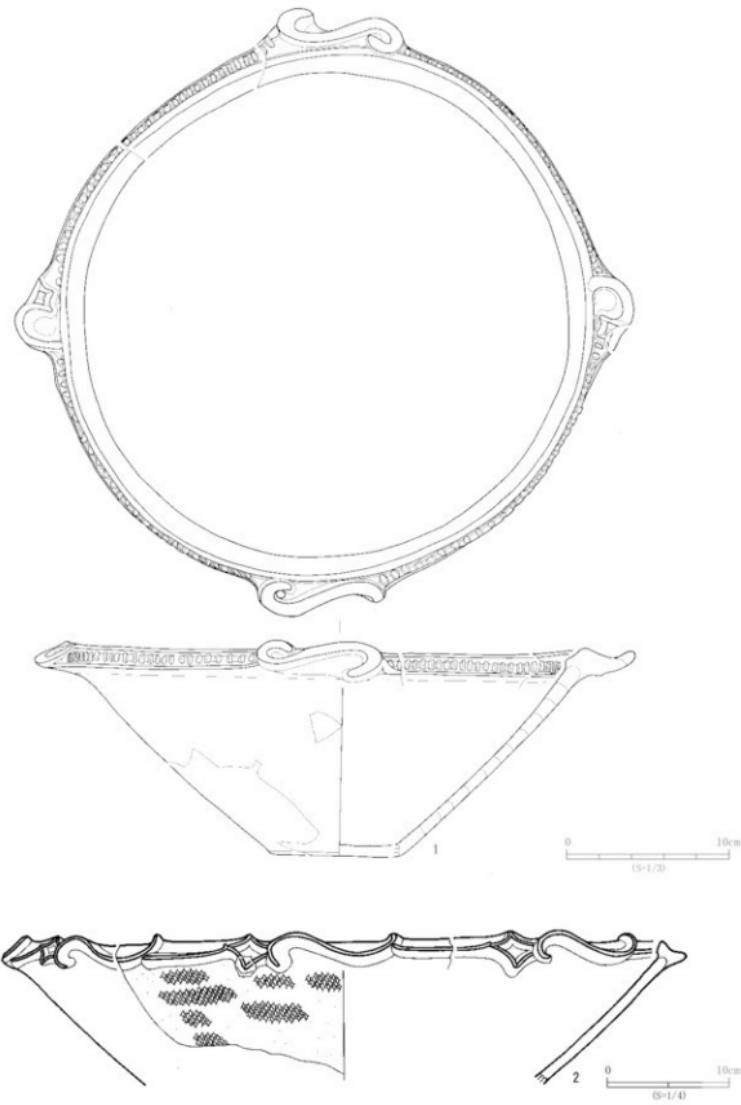
No.	登録番号	場所	器形・部位	文様等	備考	写真類別
1	A-66708	上層	深鉢・口縁一部上部	口縁部：網目突起、波状斜線文。側面：織文LJR前位施文。	-	-
2	A-66709	上層	深鉢・口縁一部上部	口縁部：波状・横位置斜線文。側面：織文LJR前位施文。	-	-
3	A-66710	上層	深鉢・口縁一部上部	口縁部：網目突起、波状斜線文。側面：織文LJR前位施文。	摩滅著しい。	-
4	A-66771	中層	深鉢・口縁一部部	口縁部：網目、波状斜線文。側面：織文LRC斜位施文。	-	-

第396図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(21)



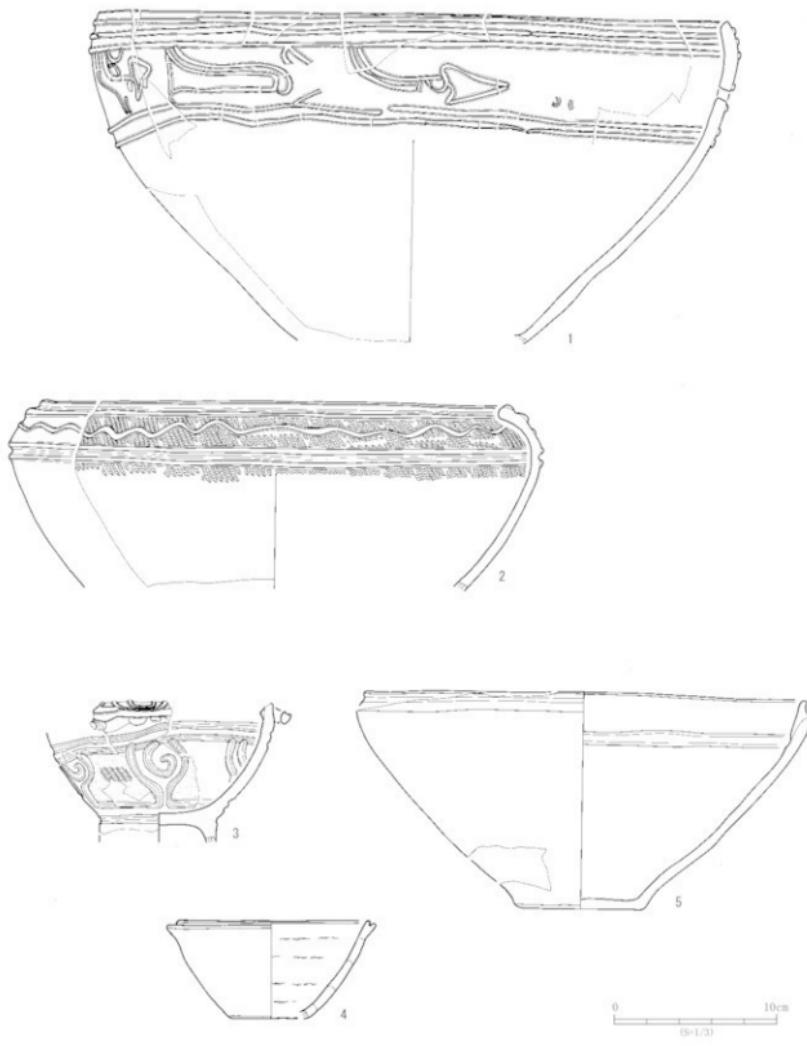
No.	登録番号	場所	器形・部位	文様等	備考	写真2枚
1	A-66772	上層	深鉢・口縁下部～底部	口縁部：弧状縦線文、有刺縦線文、口縁～斜面：織目施文、底部：網代施。		337-14
2	A-66773	上層	深鉢・斜下部～底部	斜面：直弦、織目施文、織目施文、斜面無し、底部：テグ。		-
3	A-66774	上層	深鉢・斜下部～底部	斜面：織目施文、織目施文、斜面無し、底部：テグ。		-
4	A-66775	上層	深鉢・斜下部～底部	斜面：織目施文、織文U字網代施文、底部：テグ。		-
5	A-66776	上層	深鉢・斜下部～底部	斜面：織目施文、織文U字網代施文、底部：テグ。		-
6	A-66777	上層	小型深鉢・斜下部～底部	斜面：織目施文、織文U字網代施文、底部：木製柾 - テグ。		-

第397図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(22)

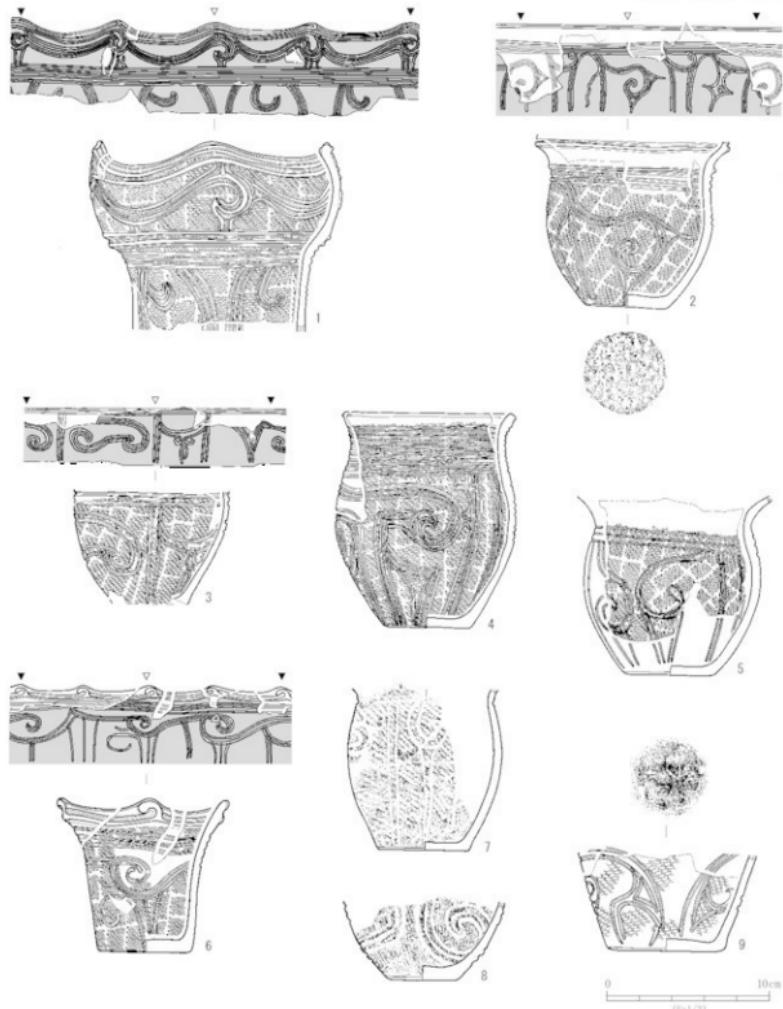


記号	登録番号	場所	断面・部位	文様等	備考	年月(西暦)
1	A-00178	上層	浅鉢・口縁～底部	(口縁部)「S」字状・「C」字状駆け文、横肋降継文、連続斜突文、斜面：ナガ。	-	192-17
2	A-00179	上層	浅鉢・口縁～駆け部	(口縁部)「S」字状・菱形格子文、斜面：横肋降継文、斜面：ナガ。	30-1/4	-

第398図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(23)

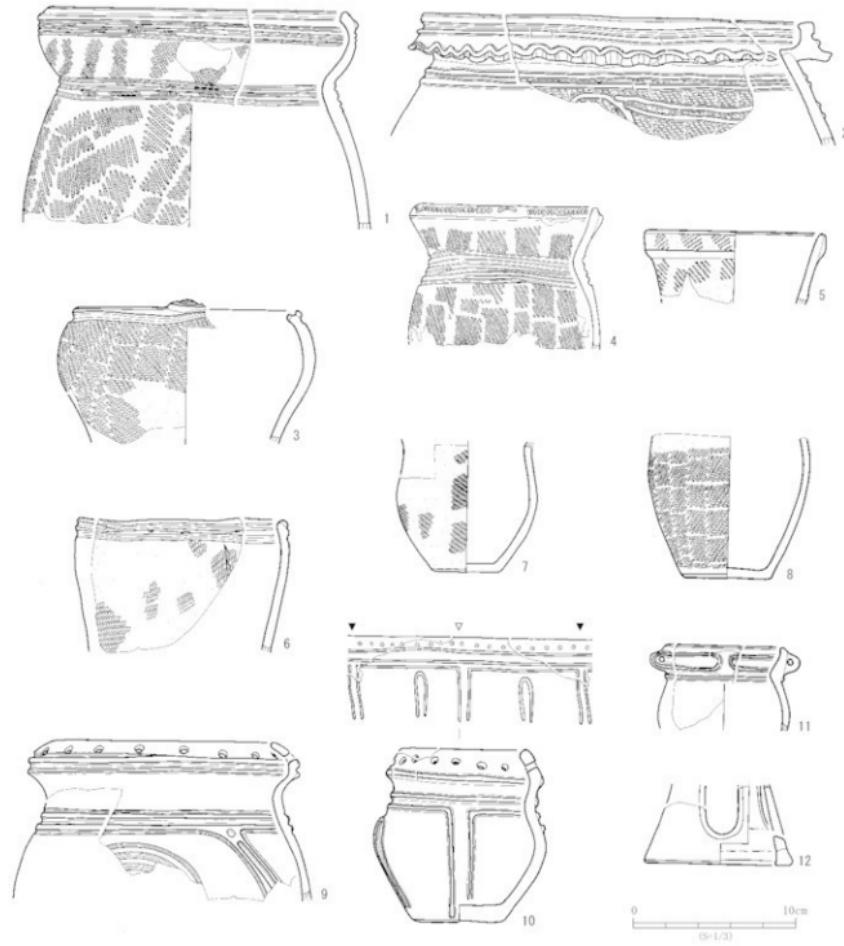


第399図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(24)



No.	登録番号	場所	個別・部位	文様等	備考	参考図版
1	A-66735	上層	小型複縫、口縫～軋縫	白練地、横帯～弧状・網目地文、頭部、模様片断2種類文、脚部、弧状・網目地文、輪文LR斜位施文、斜狀口縫。		214-2
2	A-66736	上層	小型複縫、口縫～軋縫	白練地、横帯波状文、頭部、模様片断2種類文、脚部、有輪帶各1種、輪狀口縫文、輪文LR斜位施文、底部、網目地。		214-8
3	A-66737	上層	小型複縫、軋縫	渦巻、弧状、網目、網位波文文、輪文LR斜位施文。		214-12
4	A-66738	上層	小型複縫、口縫～軋縫	白練地、ナデ、頭部、網位波文文、脚部、渦巻、弧状、網位波文文、頭部～軋縫：輪文		214-5
5	A-66739	上層	小型複縫、頭部～軋縫	頭部、ナデ、軋縫、渦巻、横帯、網位、網位波文文、輪文LR斜位、斜位波文、底部、ナデ。		214-6
6	A-66730	上層	小型複縫、口縫～軋縫	白練地、渦巻波文文、網位波文文、頭部～軋縫、横帯、弧状、網位、網位波文文、輪文LR斜位施文、底部、ナデ。	直狀口縫。	214-10
7	A-66731	上層	小型複縫、頭部～軋縫	頭部、油呑各、橫帯、網位波文文、頭部～軋縫：輪文LR斜位施文、底部：ナデ。		*
8	A-66732	上層	小型複縫、軋縫～底縫	頭部、油呑各、輪文波文文、輪文LR斜位施文、底部：ナデ。		*
9	A-66733	上層	小型複縫、軋縫～底縫	頭部、油呑各、弧状、網位波文文、輪文LR斜位施文、底部：ナデ。	底部内面に「Ψ」	214-11

第404図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(25)



No.	登錄番号	種類	器形・部位	文様等	備考	参考文献
1	A-60794	上縁	深鉢・口縁・側面	口縁部: 縞文・横波線文。側位: 横波線文。縞文: 口縁部・側位施文。縞文: 上部施文。		214-16
2	A-60795	上縁	深鉢・口縁・側面	口縁部: 細波状施文。側位: 橫波線文。縞文: 斜波施文。縞文: 上部施文。		*
3	A-60796	上縁	小型深鉢・口縁・側面	口縁部: 漢字施文。側位: 橫波線文。口縁: 斜波・縞文: 上部施文。		*
4	A-60797	上縁	小型深鉢・口縁・側面	口縁部: 過練斜文。長波状施文。側位: 橫波・縞文: 口縫部・側位: 縞文: 上部施文。		214-7
5	A-60798	上縁	小型深鉢・口縁・側面	口縁部: 縞文・横波施文。側位: 縞文: 上部施文。	等級表なし。	*
6	A-60799	上縁	小型深鉢・側面	側面: 縞文: 口縫部施文。口縫: 斜波・縞文: LRC斜位施文。	等級表なし。	*
7	A-60800	上縁	小型深鉢・側面・底面	側面: 縞文: 口縫部施文。底面: ナラ。	等級表なし。	*
8	A-60801	上縁	小型深鉢・側面・底面	側面: 縞文: 口縫部施文。底面: ナラ。	等級表なし。	214-9
9	A-60802	上縁	小型深鉢・口縁・側面	口縫部: 門孔列。側位: 橫波・縞文: 斜波・側位: 斜波・縞文。		214-2
10	A-60803	上縁	小型深鉢・口縁・側面	口縫部: 門孔列。側位: 橫波・縞文。側面: 区隔状施文。		214-4
11	A-60804	上縁	小型深鉢・口縁・側面	口縫部: 門孔列。側位: 橫波・縞文。側面: ナラ。		*
12	A-60805	台部	表面: ナラ。内面: 横波施文。			*

第401図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(26)

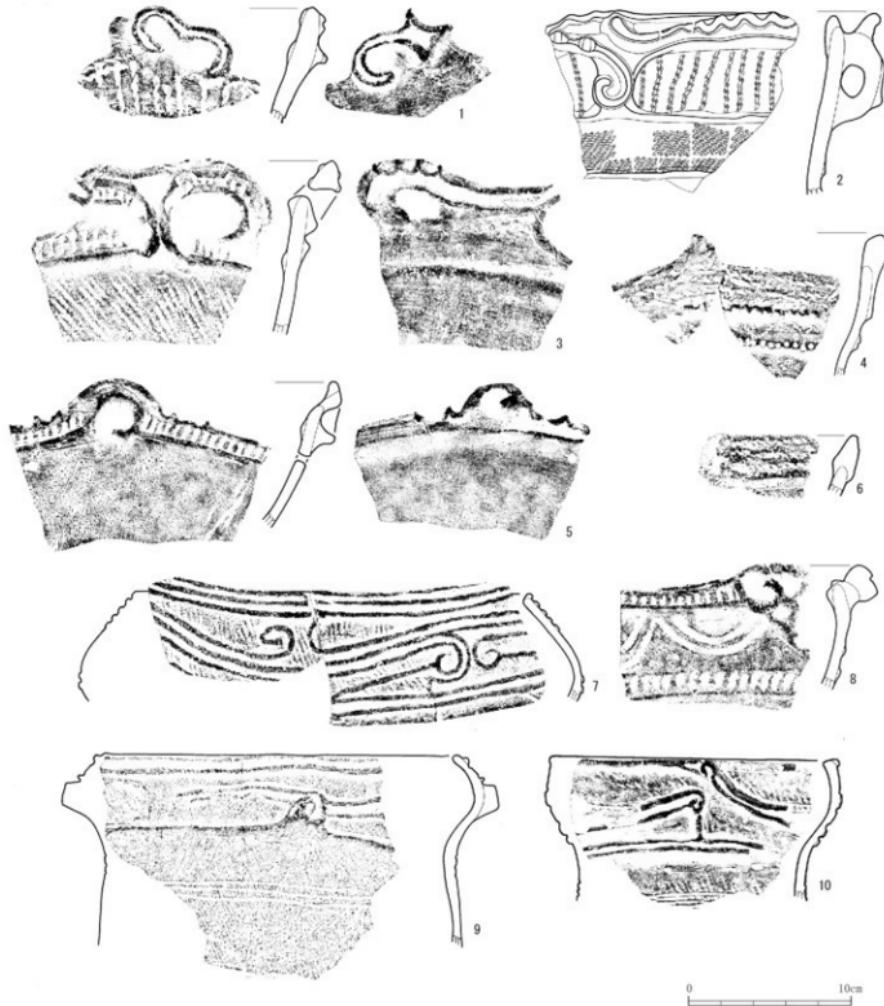


No.	登録番号	層位	器形・部位	文様等	備考	写真面版
1	A-60506	上層	深鉢・口縁部	波状・横目隕神文・縞文L形網目隕文	-	-
2	A-60507	堆積土	深鉢・口縁部	横目隕神文・縞文類・横目隕文	-	-
3	A-60508	上層	深鉢・口縁部	波状・横目・横目隕神文・縞文L形網目隕文	-	-
4	A-60509	堆積土	深鉢・口縁部	波状・波状・横目・横目隕神文・縞文L形網目隕文	-	-
5	A-60510	上層	深鉢・口縁部	波状・波状・横目隕神文・縞文L形網目隕文	-	-
6	A-60511	堆積土	深鉢・口縁部	口縁突起・横目・縞文・斜目隕神文・斜目隕文	-	-
7	A-60512	上層	深鉢・口縫・側部	口縫突起・横目・縞文・斜目隕行文・斜目・波状・横目・斜目隕神文・縞文L形網目隕文	-	-
8	A-60513	堆積土	深鉢・口縫・側部	口縫突起・横目・縞文・斜目隕神文・縞文L形網目隕文	-	-

第402図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(27)

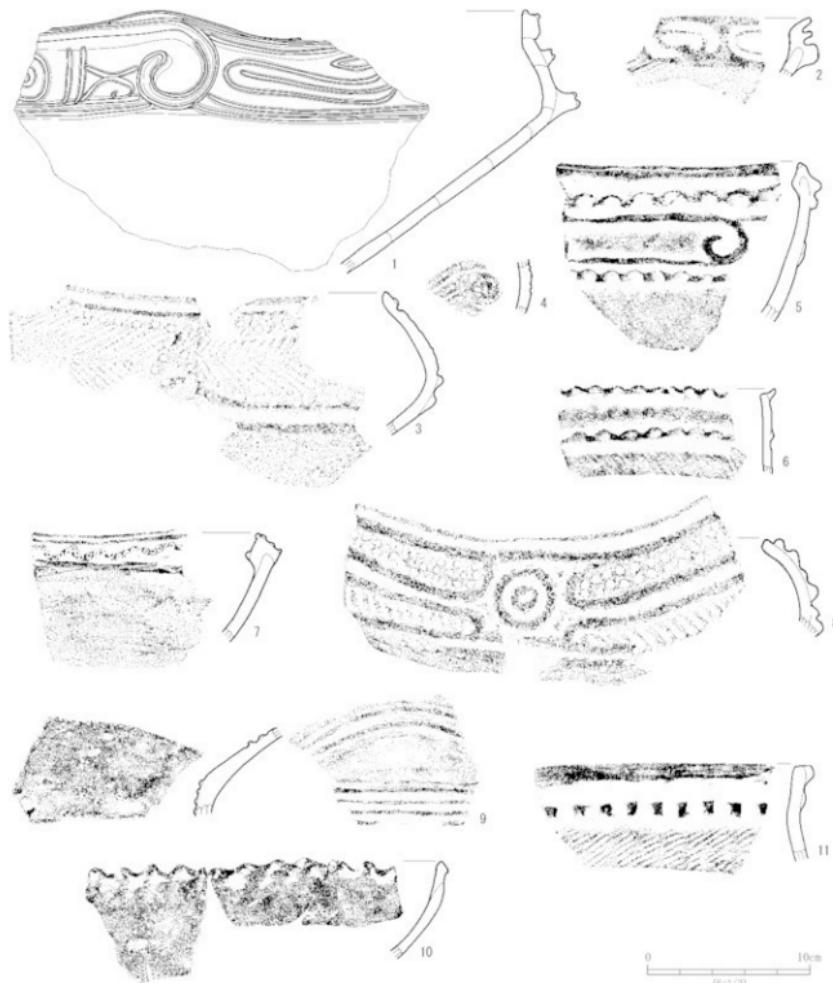


第403図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(28)



No.	目録番号	場所	器形・部位	文様等	備考	写真図版
1	A-60820	上層	深鉢・口縁部	外面：刺先状突起。押圧縦文凹。網粒施文。内面：張袂縫痕。	-	-
2	A-60821	上層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：横紋把手。通身：小底纹。橫紋縫痕文。押圧縦文LR斜位施文。胴部：縦文L/R斜位施文。	-	-
3	A-60822	上層	深鉢・口縁部	口縁部：横紋把手。有刺隙痕文。刺先：織文L/R斜位施文。	-	-
4	A-60823	堆積土	深鉢	口縫突起。柄位有刺隙痕文。押圧縦文L/R斜位施文。	-	-
5	A-60824	上層	深鉢・口縁部	口縫突起。柄位有刺隙痕文。ナデ。内面：柄位縫痕文。	補修孔	-
6	A-60825	上層	深鉢・口縁部	押圧縦文L/R斜位施文。	-	-
7	A-60826	上層	深鉢・口縁部	通身：張袂。柄位有刺隙痕文。縦文LR斜位施文。	-	-
8	A-60827	上層	深鉢・口縁部	口縫突起。柄位有刺隙痕文。張袂縫痕文。	-	-
9	A-60828	上層	深鉢・口縫～胴部	口縫部：通身突起。橫紋縫痕文。縦文L/R斜位施文。胴部：無文。刺部：柄位縫痕文。縦文LR斜位施文。	-	-
10	A-60829	上層	深鉢・口縫～胴上部	口縫部：通身：張袂。柄位：網粒狀縫痕文。刺部：柄位縫痕文。口縫～胴部：縦文L/R斜位施文。	-	-

第404図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(20)



第405図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(30)



No.	登記番号	場所	様形・部位	文様等	備考	参考文献
1	A-60841	埴生土	深鉢・口縁部	楕状把手・楕円形・弧状・楕位隣沈縞文。	-	-
2	A-60842	上縁	口縁把手	楕状把手・曲面・楕位隣沈縞文。	-	-
3	A-60843	埴生土	深鉢・口縁部	楕状把手・弧状・楕位隣沈縞文。	-	-
4	A-60844	上縁	深鉢・口縁部	楕状把手・楕位隣沈縞文・楕位隣縞文・楕位施文。	-	-
5	A-60845	埴生土	口縁把手	楕状把手・弧状・楕位隣沈縞文。	-	-
6	A-60846	埴生土	深鉢	楕状把手・曲面・楕位隣沈縞文。	-	-
7	A-60847	埴生土	深鉢・口縁部	楕状把手・弧状・弧状・楕位・楕位隣沈縞文・楕位施文・斜位施文・斜位・楕位施文・楕位施文。	-	-
8	A-60848	埴生土	深鉢・口縫～領部	口縫部・楕位隣沈縞文・山形沈縞文・神正織文L形施位施文・領部・楕位施文・楕位施文・楕位織文L形施位施文。	-	-

第406図 SXS25溝状の落ち込み出土遺物(31)



0 10cm
(S-1/3)

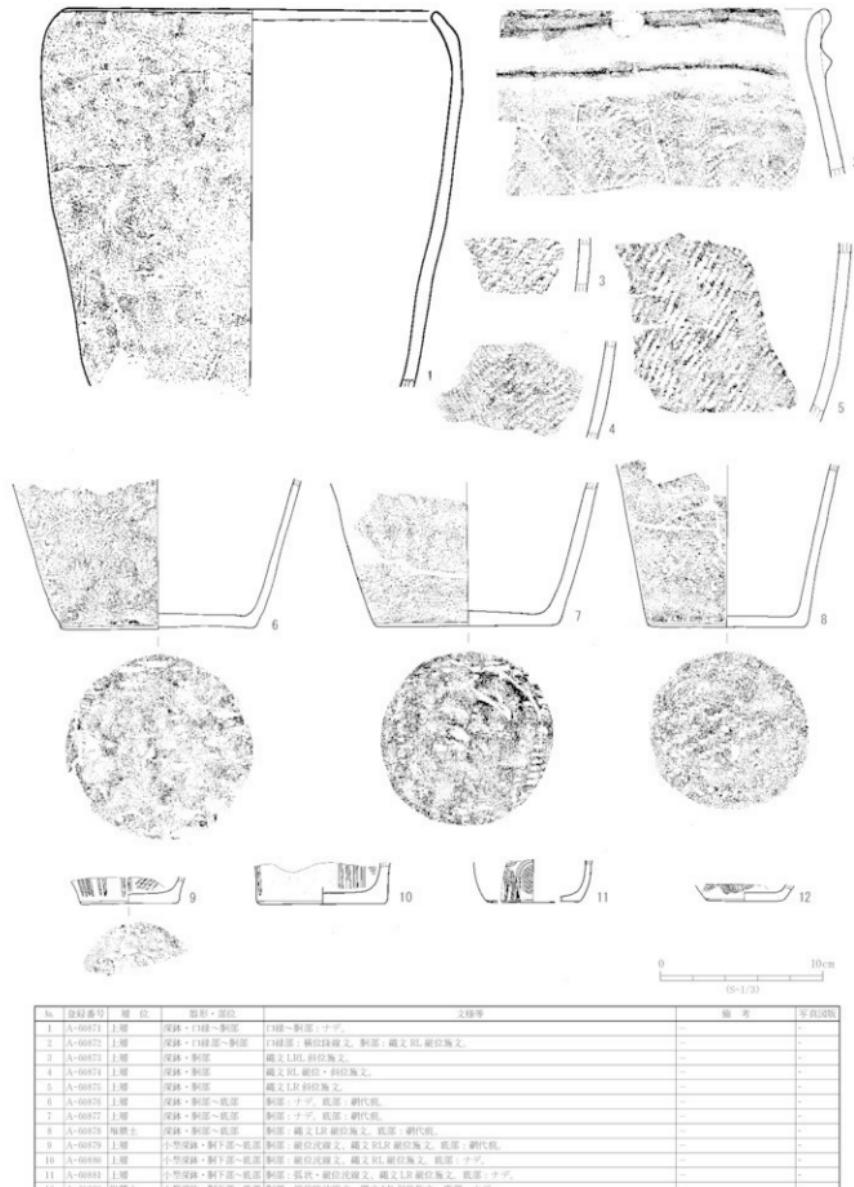
号	登錄番号	種類・部位	器形・部位	文様等	備考	学芸会版
1	A-66549	上縁	深鉢・口縁部	内縁部・柄部有輪郭文、乳状・柄部浅縫文、円形・柄部縫文・柄部施文、側面・縫文L形・側面施文、テナデ。	-	-
2	A-66550	上縁	深鉢・口縁部	柄部有輪郭文、柄部浅縫文、縫文L形・側面施文。	-	-
3	A-66551	上縁	深鉢・口縁部	柄部有輪郭文・側面有輪郭文、縫文・縫文L形・側面施文。	-	-
4	A-66552	堆積土	深鉢・口縁部	柄部有輪郭文、柄部浅縫文、縫文L形・側面施文。	-	-
5	A-66553	堆積土	深鉢・口縁部	乳状縫文。	-	-
6	A-66554	堆積土	深鉢・口縁部	乳状縫文、縫文L形・側面施文。	-	-
7	A-66555	堆積土	深鉢・口縁部	縫文・縫文L形・側面施文。	-	-
8	A-66556	上縁	深鉢・口縁下部	小乳状・縫文浅縫文。	-	-
9	A-66557	上縁	深鉢・側上部	側面有輪郭文・側面有輪郭文・山形に輪文。	-	-
10	A-66558	上縁	深鉢・口縁部	側面有輪郭文、張口・縫文浅縫文、縫文L形・側面施文。	-	-
11	A-66559	堆積土	深鉢・口縁部	側面有輪郭文、側面浅縫文、門形・側面有輪郭文。	-	-
12	A-66560	上縁	深鉢・側上部	縫文・縫文浅縫文、縫文L形・側面施文。	-	-
13	A-66561	上縁	深鉢・側部	縫文・縫文浅縫文、縫文L形・側面施文。	-	-
14	A-66562	上縁	深鉢・側上部	縫文縫文・縫文L形・側面施文。	-	-
15	A-66563	堆積土	深鉢・側部	乳状・側面・側面施文、縫文L形・側面施文。	-	-

第407図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(32)

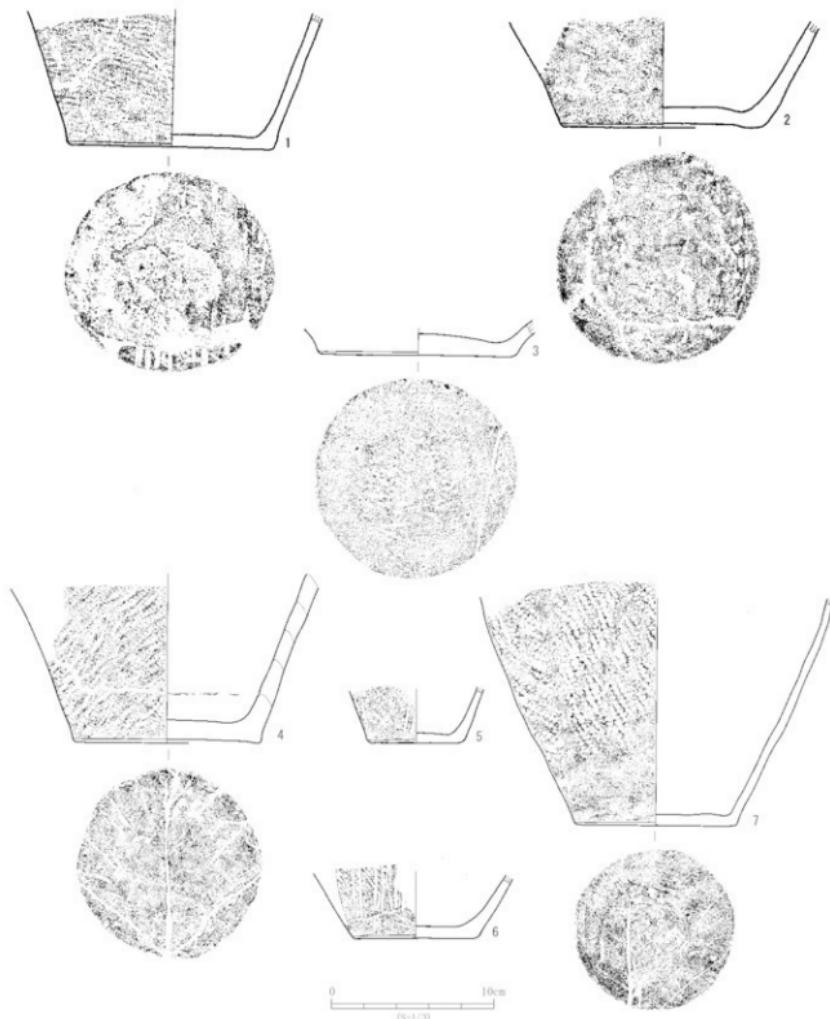


第408図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(33)

No.	登録番号	場 位	器形・部位	文様等	備 考	写真回数
1	A-000614	上槽	深鉢・口縁下部～側面	内縁部：横位螺旋文。側部：無文。側部：直身、横折、弧折、橫位、縱位螺旋文。縞文LR、横位螺旋文。	-	-
2	A-000615	上槽	深鉢・口縁～側面	内縁部：弧折、橫位螺旋文。側部：有横渦唇、弧折、橫位、縱位螺旋文。口縁～側面：縞文LR、横位螺旋文。	-	-
3	A-000616	施槽上	深鉢・口縁～側面	内縁部：弧折口縁、弧折、橫位螺旋文。ナジ、側面：直身、横折、縱位螺旋文。縞文LR、横位螺旋文。	-	-
4	A-000617	上槽	深鉢・側面	弧折、弧折、横位螺旋文、縞文LR、横位螺旋文。	-	-
5	A-000618	上槽	深鉢・側面	直身、弧折、縱位螺旋文、縞文LR、横位螺旋文。	-	-
6	A-000619	施槽上	深鉢・側面	網文、弧折、横位螺旋文、縞文LR、横位螺旋文。	-	-
7	A-000620	上槽	深鉢・側面	網文、弧折、横位螺旋文、ナジ、直身：ナジ。	-	-

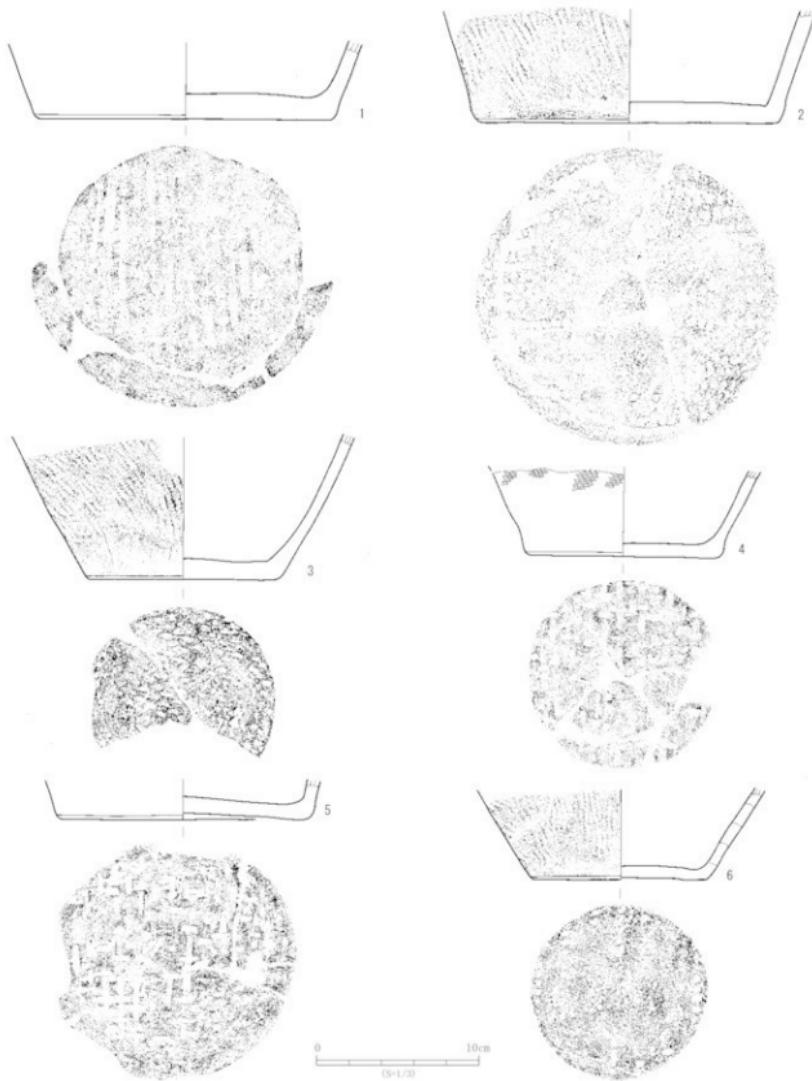


第409図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(34)

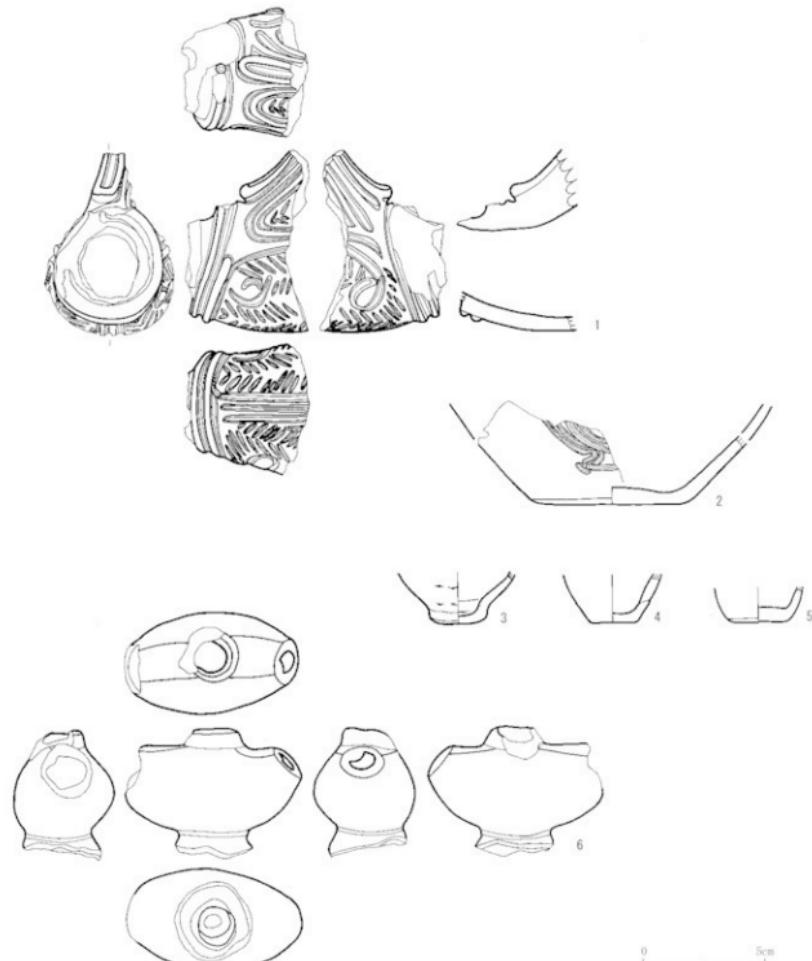


No.	資料番号	層位	断面・底面	文様等	参考	写真箇所
1	A-60550	上層	深鉢・脚部～底部	網目・縞文L形・斜交彫文、底部：網代模。	-	-
2	A-60554	上層	深鉢・脚部～底部	網目・縞文施文+ナガ、底部：網代模。	-	-
3	A-60555	上層	深鉢・脚部	網代模。	-	-
4	A-60556	上層	深鉢・脚部～底部	網目・縞文L形・斜交彫文、底部：木葉模。	内面輪摺模。	-
5	A-60557	上層	小型深鉢・脚下部～底部	縞文施文、網代彫文、底部：ナゲ。	-	-
6	A-60558	上層	小型深鉢・脚下部～底部	縞文施文、網代彫文、底部：ナゲ。	-	-
7	A-60559	上層	深鉢・脚部	網目・縞文L形・斜交彫文、底部：木葉模。	-	-

第410図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(35)

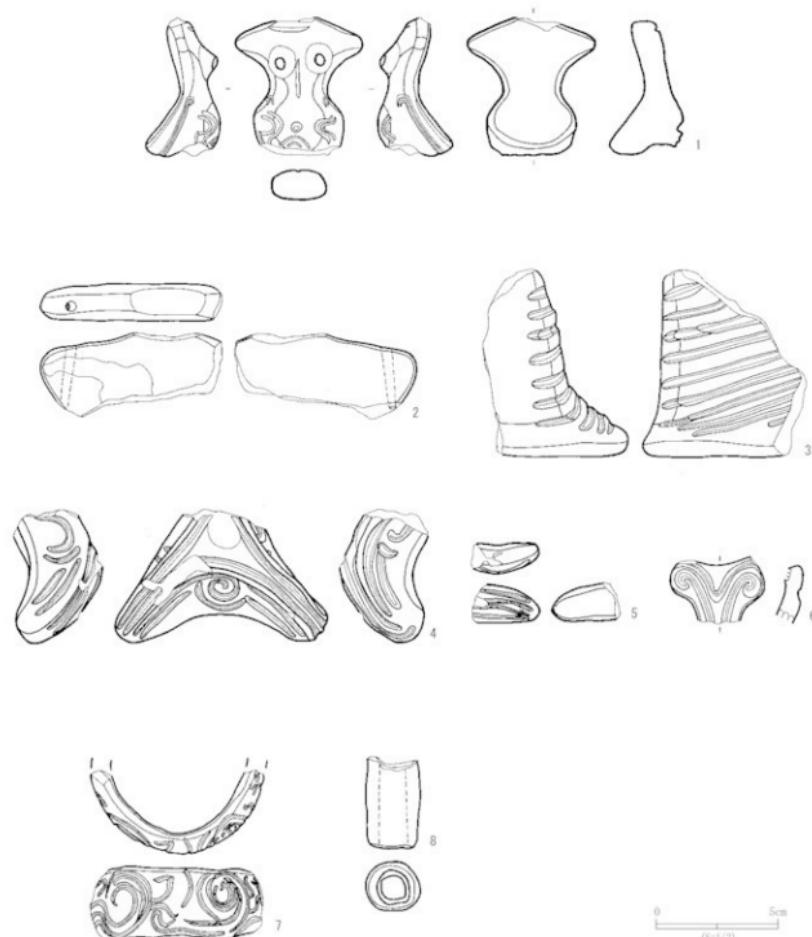


第411図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(36)



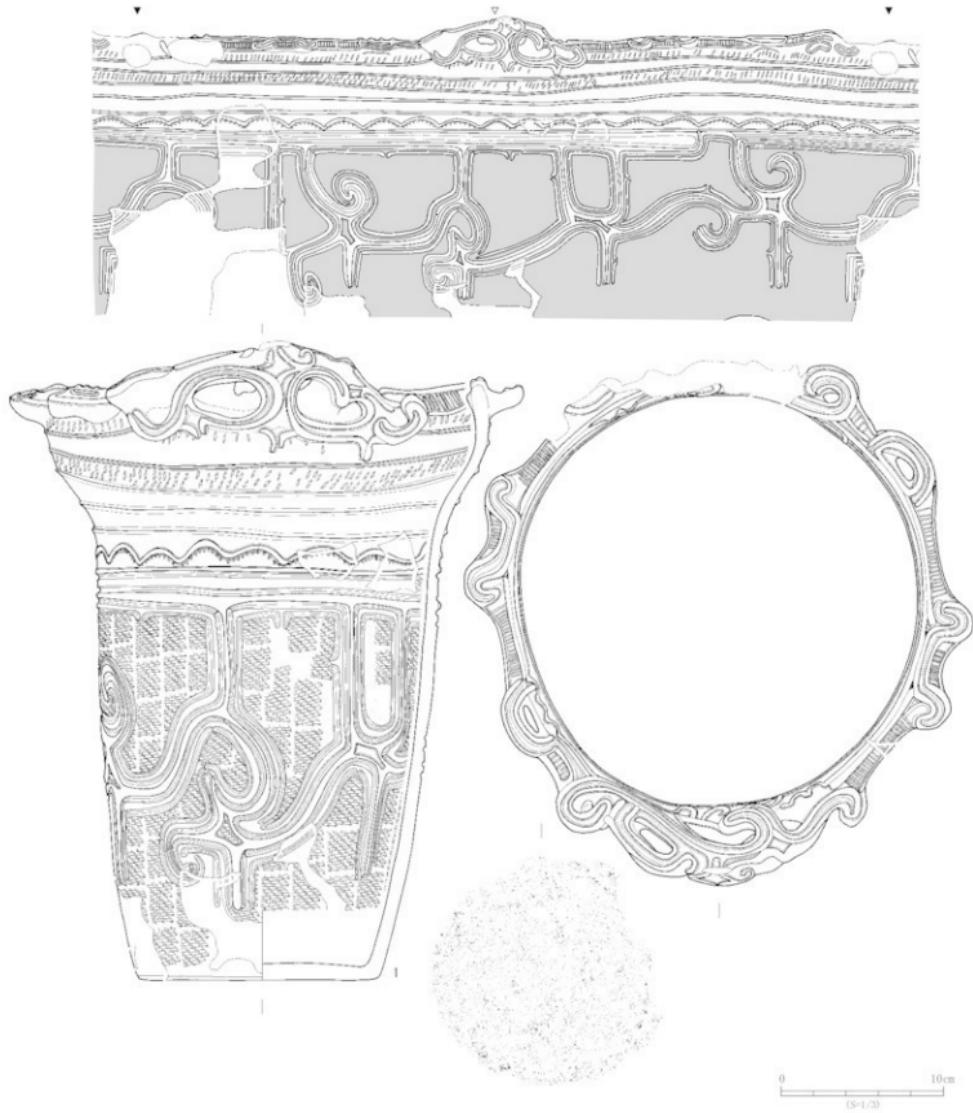
No.	登録番号	場所	形状・部位	文様等	種類等	参考文献
1	P-6021	上層	皮袋形土製品?	縦波線文、横波状沈線文。	S-1/2,	225-11
2	P-6022	上層	皮袋形土製品	刷毛:乳頭・楕円沈線文。ナデ、底面:ナデ。	平面柄門點、S-1/2,	225-8
3	P-6023	上層	(?)土器・刷~底部	刷毛:ナデ、底面:ナデ。	S-1/2,	-
4	P-6024	海綿土	(?)土器・刷~底部	刷毛:ナデ、底面:ナデ。	S-1/2,	-
5	P-6025	上層	(?)土器・刷~底部	刷毛:ナデ、底面:ナデ。	S-1/2,	-
6	P-6026	上層	高形土製品	ナデ。	S-1/2,	225-3

第412図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(37)



第413図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(38)

No.	登錄番号	埋 位	鉢形・底位	文様等	備 考	参考文献
1	P-6037	埴生土	土偶・脚底	斜文、曲線状文、ナガ。	S-1/2,	252-4
2	P-6038	埴生土	土偶・胸足・脚底	円孔、ナガ。	S-1/2,	252-7
3	P-6039	上層	土偶・脚底	横粒状文、ナガ。	S-1/2,	252-1
4	P-6040	上層	三角形土製品	通条・横粒状文。	S-1/2,	252-2
5	P-6041	上層	三角形土製品	通条・横粒状文。	S-1/2,	252-6
6	P-6042	上層	三角形土製品	通条状文。	S-1/2,	252-5
7	P-6043	上層	輪軸形土製品	通条・弧状文。	S-1/2,	252-9
8	P-6044	上層	圓形土製品	ナガ。	S-1/2,	252-10

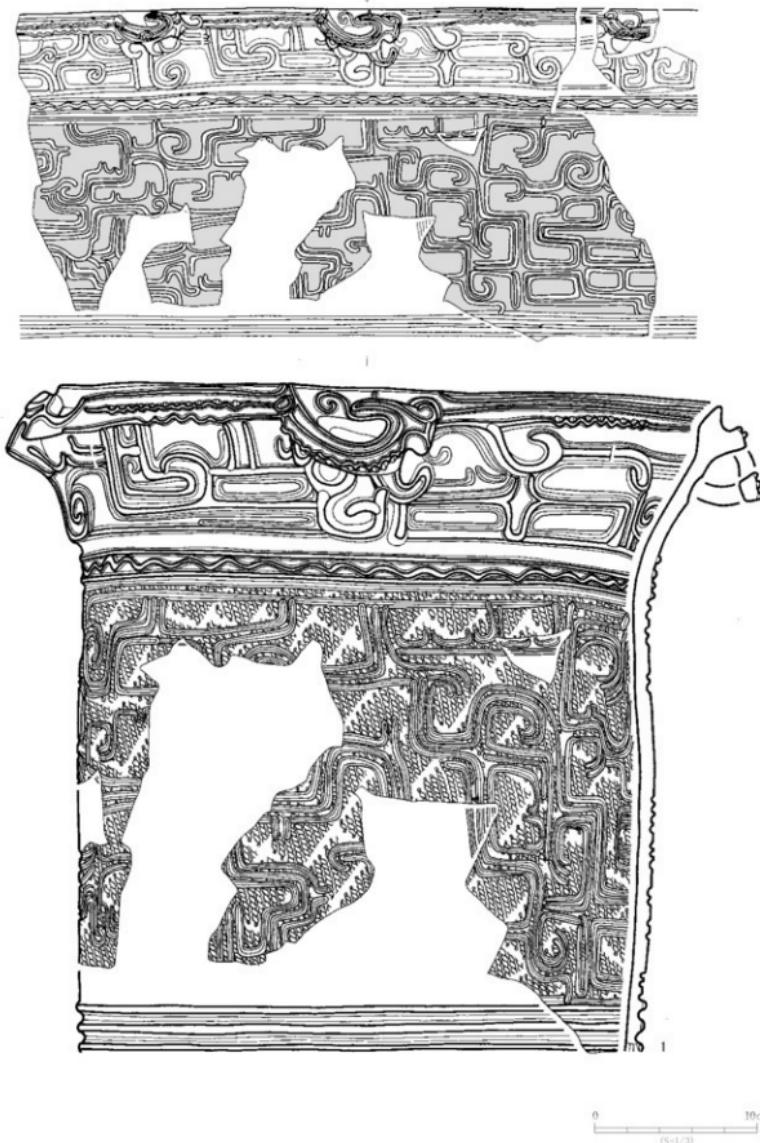


施	登録番号	場	位	形	面	文様等	備	考	等級或版
1	A-00496	①～⑤層	深鉢・口縁部～乳部	口縁部：輪状把手、楕円降龍文、螺旋加茂頭、押住繩文JR前位施文。頭部：波状降龍文、港統刺突文。 側部：渦巻丸頭文、繩文JL前位施文。底部：網目文。				211-1	

第414図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(1)

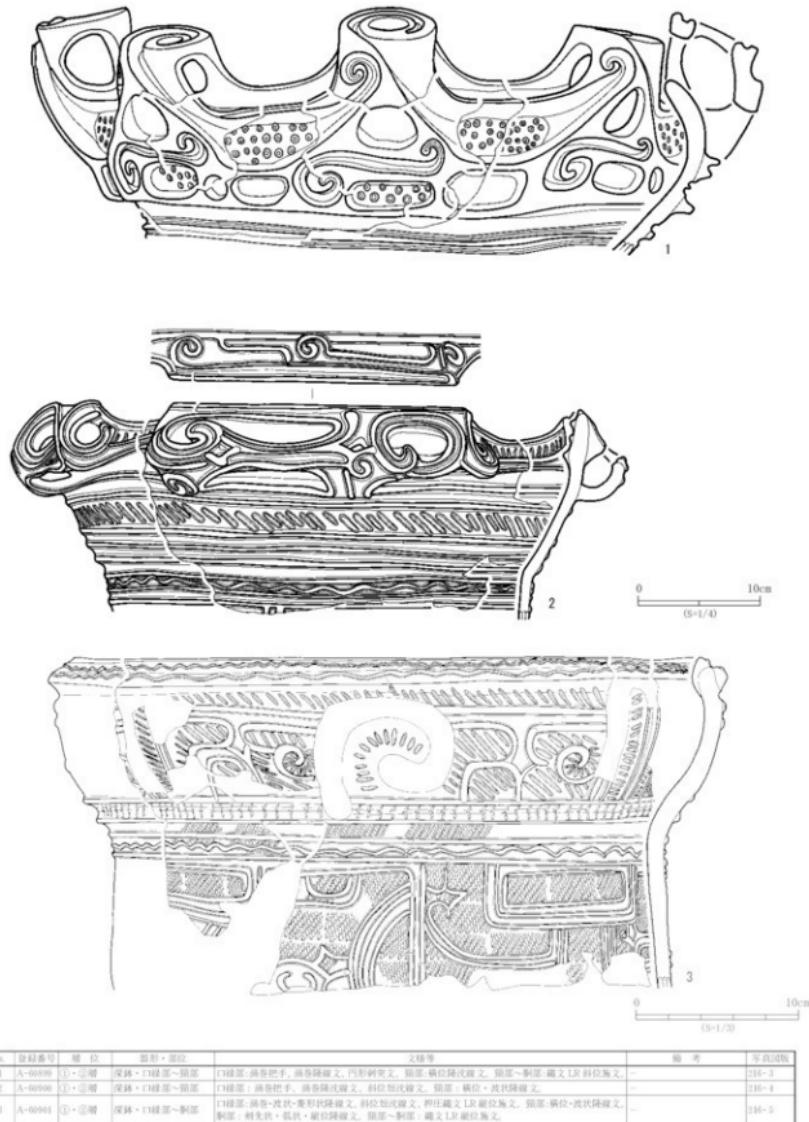


第415図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(2)

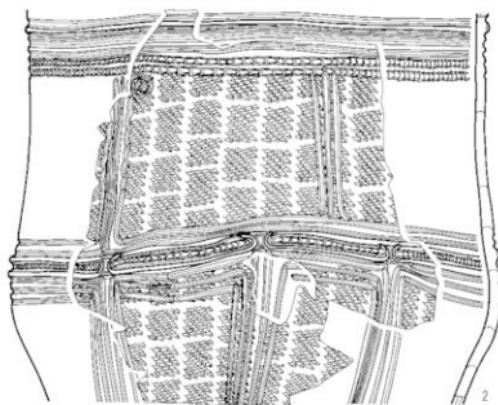
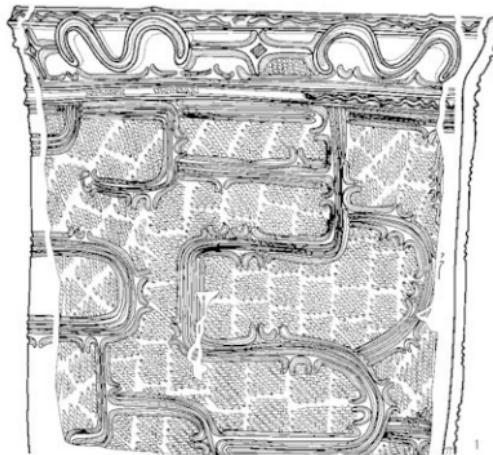


第416図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(3)

No.	登録番号	場所	图形・部位	文様等	備考	厚さ(実物)
1	A-66888	①・②層	深鉢・口縁部～側部	口縁部：横乳頭手・斜安小波折隣織文、渦巻・葉形起伏・区画折隣虎彌文。斜面：渦巻・ラング状・葉形起伏・弧狀沈織文、横乳頭沈織文、織文U字形位無。		216.1



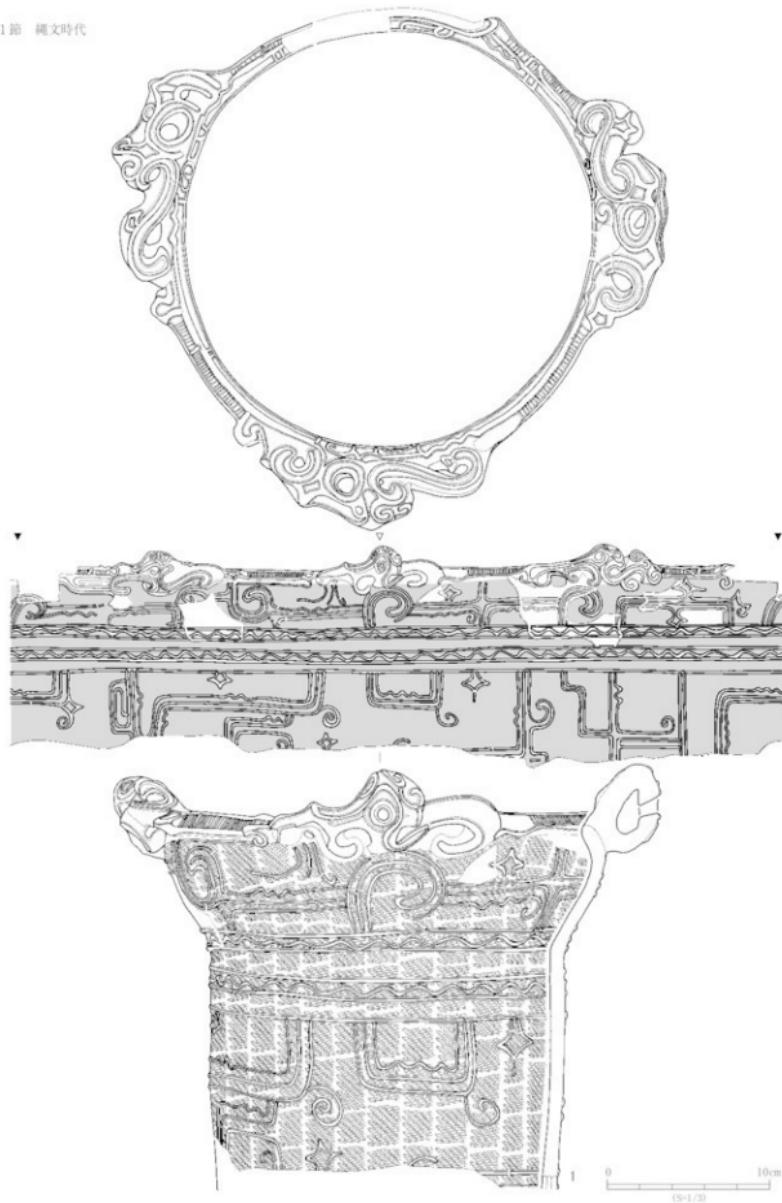
第417図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(4)



0 10cm
(S=1/4)

No.	登録番号	場所	形状・部位	文様等	参考	実測寸法
1	A-00902	25b層	複数・口回り～側面	口縁部：直角・菱形状、側面斜丸波文。側面：直角・波状斜丸波文。縦文：直角部位施文。	S-1/L	216-8
2	A-00903	①・③層	複数・側面	側面斜丸波文、側面・縦位波綱文、側位斜打文、縦文直筋斜施文。	S-1/L	215-5

第418図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(5)

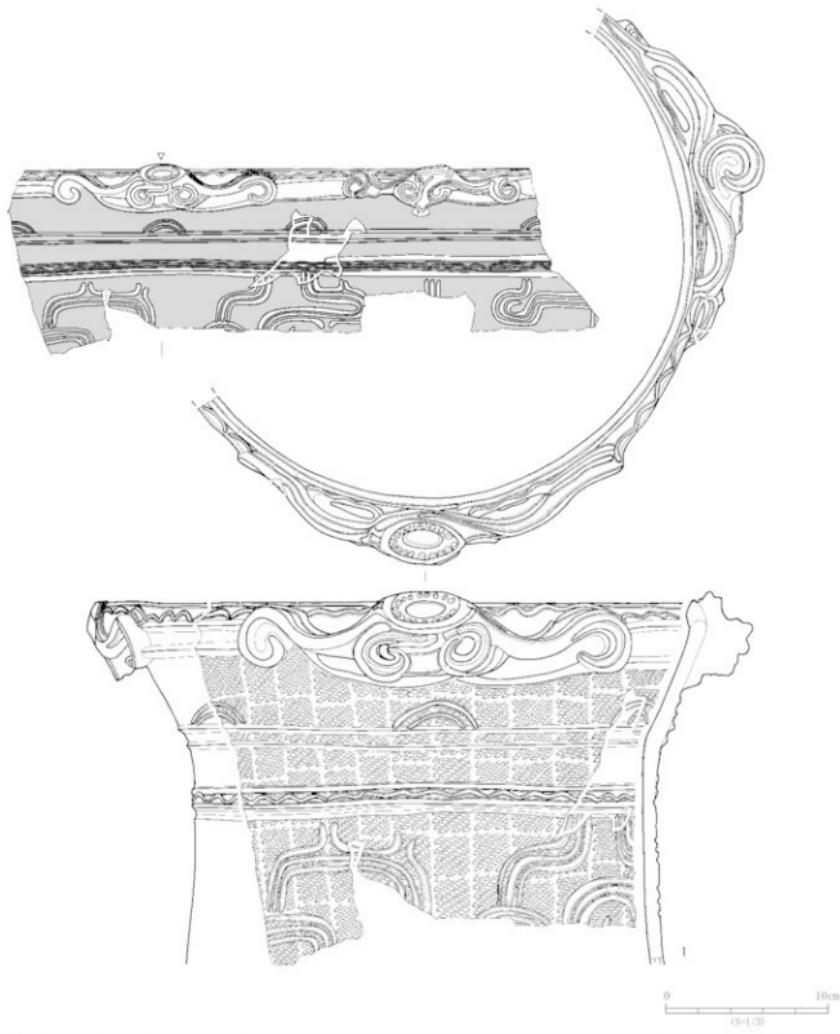


No.	登錄番号	場所	地點・部位	文様等	備考	写真箇数
1	A-60984	①・③層	深鉢・口縁部～側部	(口縁部) 滅共把手、撇位加波瀬文、渦巻・劍先狀・十字紋陣羅文、側部・柄位・側部・滅共陣羅文、劍部・渦巻・劍先狀・滅共・「二」共陣羅文、(口縁部～側部) 繩文 LP 側位施文。		211-2

第419図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(6)

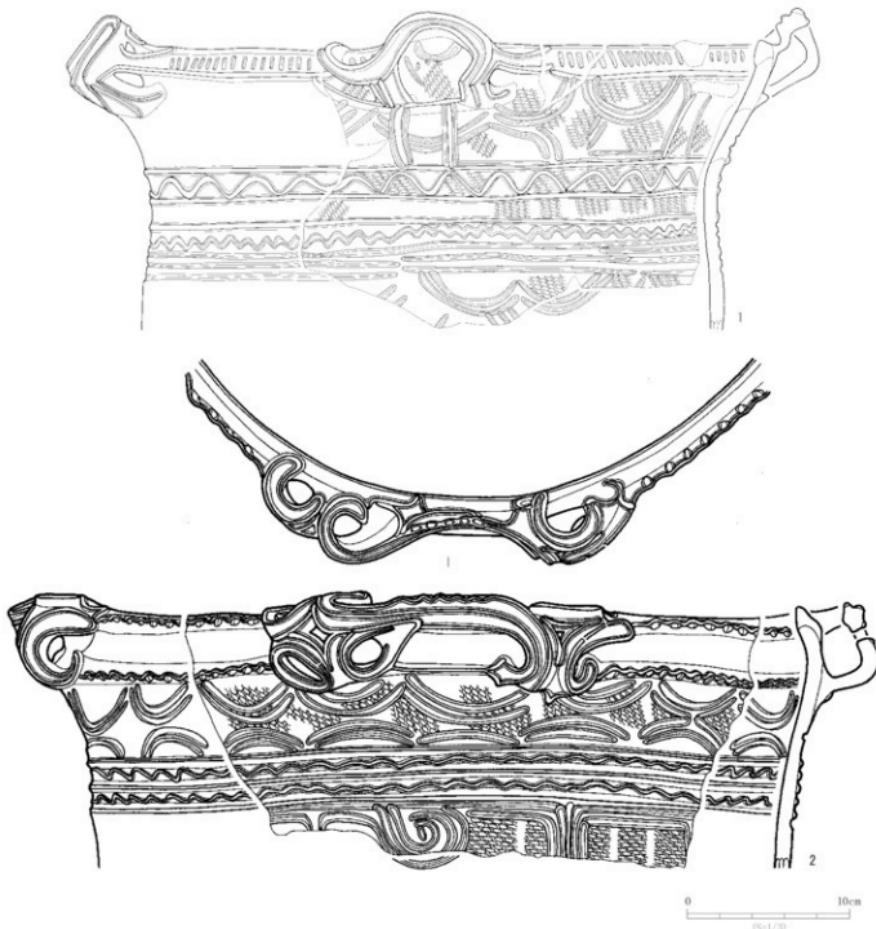


第420図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(7)



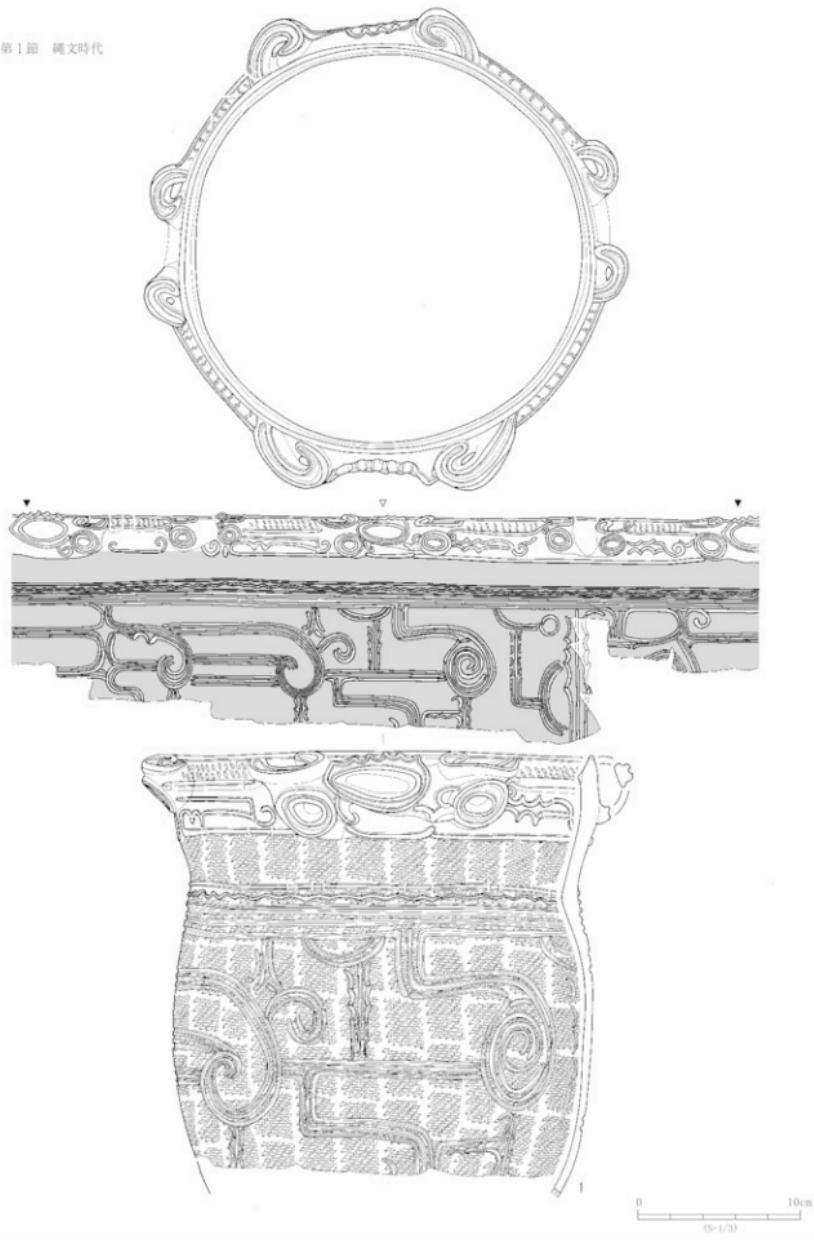
第421図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(8)

No.	登記番号	場所	形・部位	文様等	備考	写真選択
1	A-00006	①・芯層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：円形・渦巻突起、渦巻・弧状隣接文。胴部：楕位・弧状隣接文。胴部：渦巻・アランク狀・弧状隣接文。口縁部～胴部：繩文列、網目彫文。		211-8



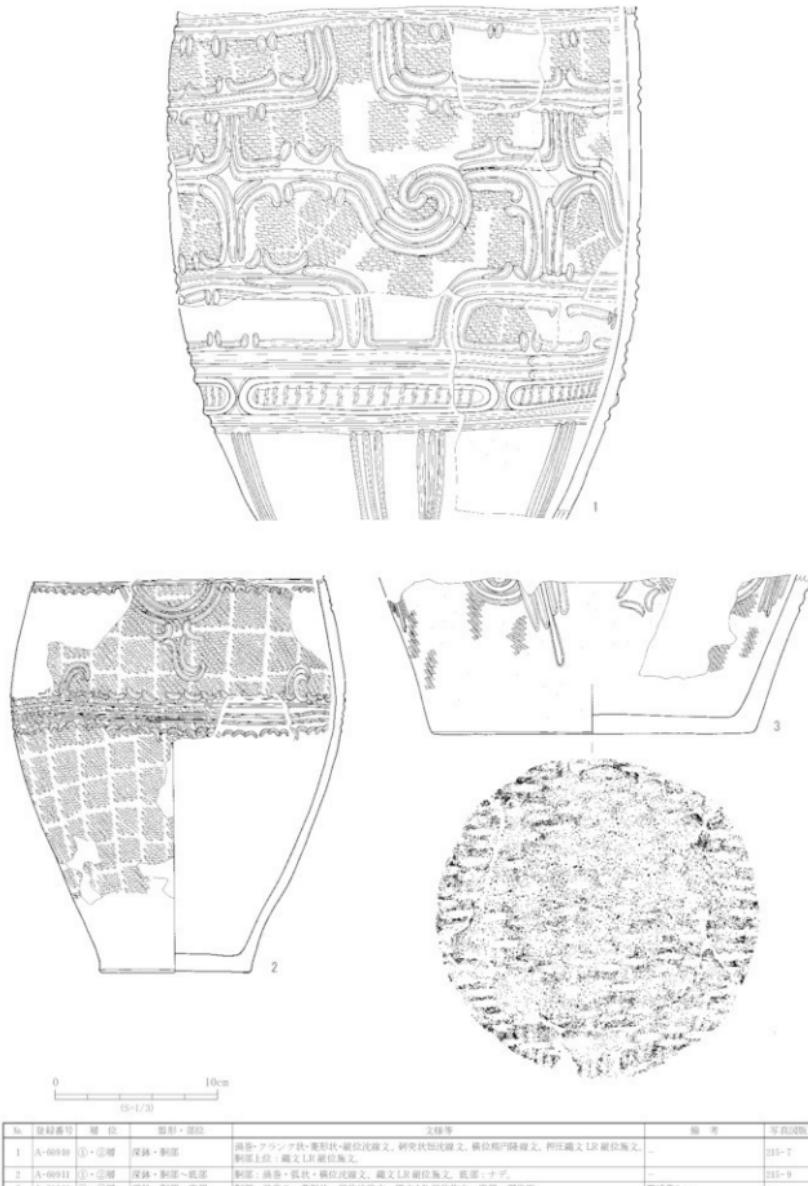
第422図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(9)

No.	登録番号	場所	型形・部位	文様等	備考	写真箇所
1	A-00007	①・②層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：横狹把手。縦位加沈漫文、弧狀・縦位沈漫文。頭部：横位・横狀沈漫文。胴部：弧狀・縦位沈漫文。口縁部～胴部：繩文LR斜位施文。	-	-
2	A-00008	①・②層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：横狹・横狹把手。互瓦刺身小波狀降漫文。弧狀沈漫文。頭部：横位・弧狀降漫文。胴部：渦巻・橫位沈漫文。口縁部～胴部：繩文LR縦位施文。	-	-

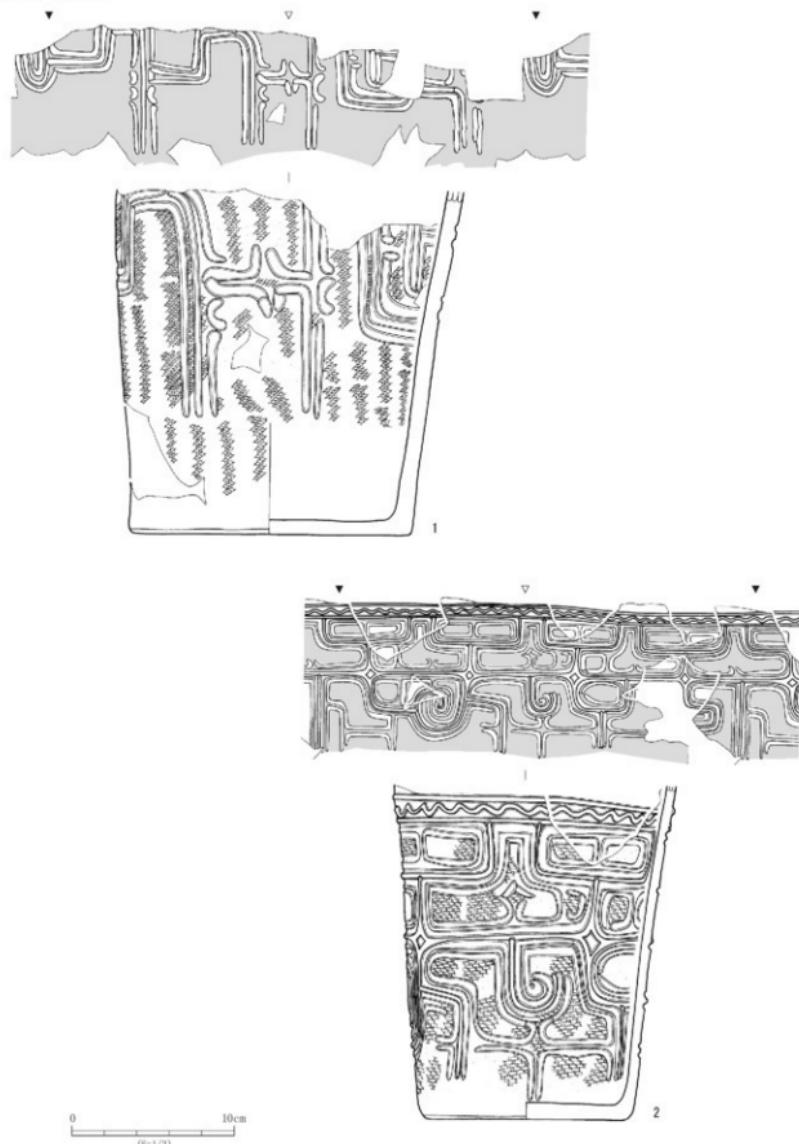


第423図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(10)

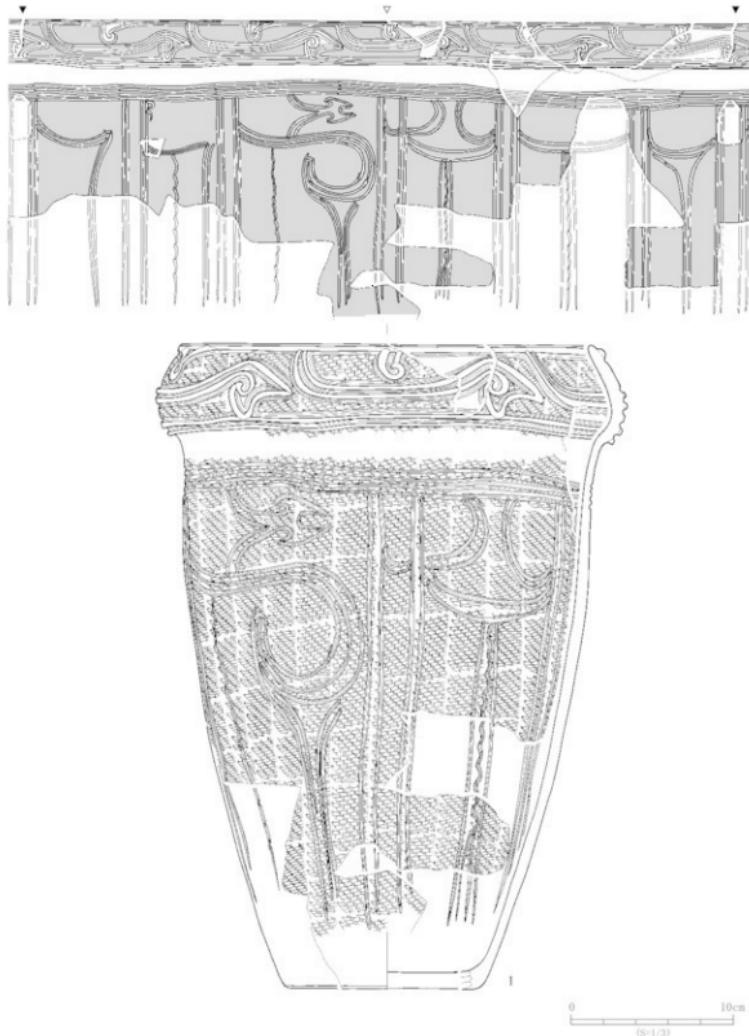
No.	登録番号	場所	形形・部位	文様等	備考	写真回数
1	A-60909	三山層	復路・口沿部～胴部	口縁部：内側蛇行文、圓筒・弧状・橫位螺旋文。齊往繩支文。網位輪旋文。頭位輪旋文。頭面：朱文。底氏・楕位・楕位螺旋文。軸添：圓筒・フランク氏。弧狀弦紋文。頭區～胴區：繩支文。新往輪旋文。	..	211-4



第424図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(1)

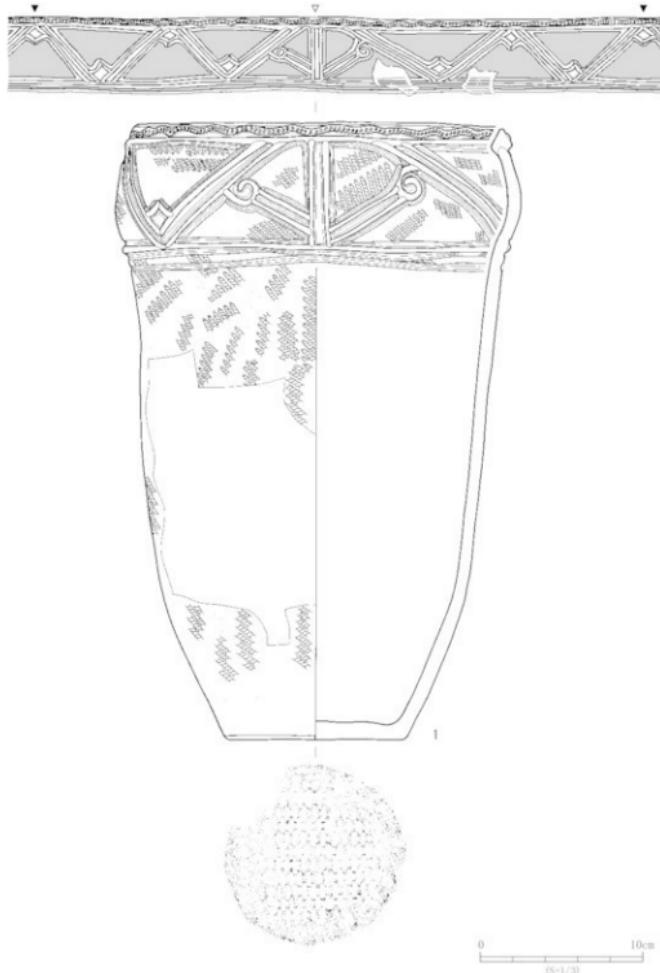


第425図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(12)



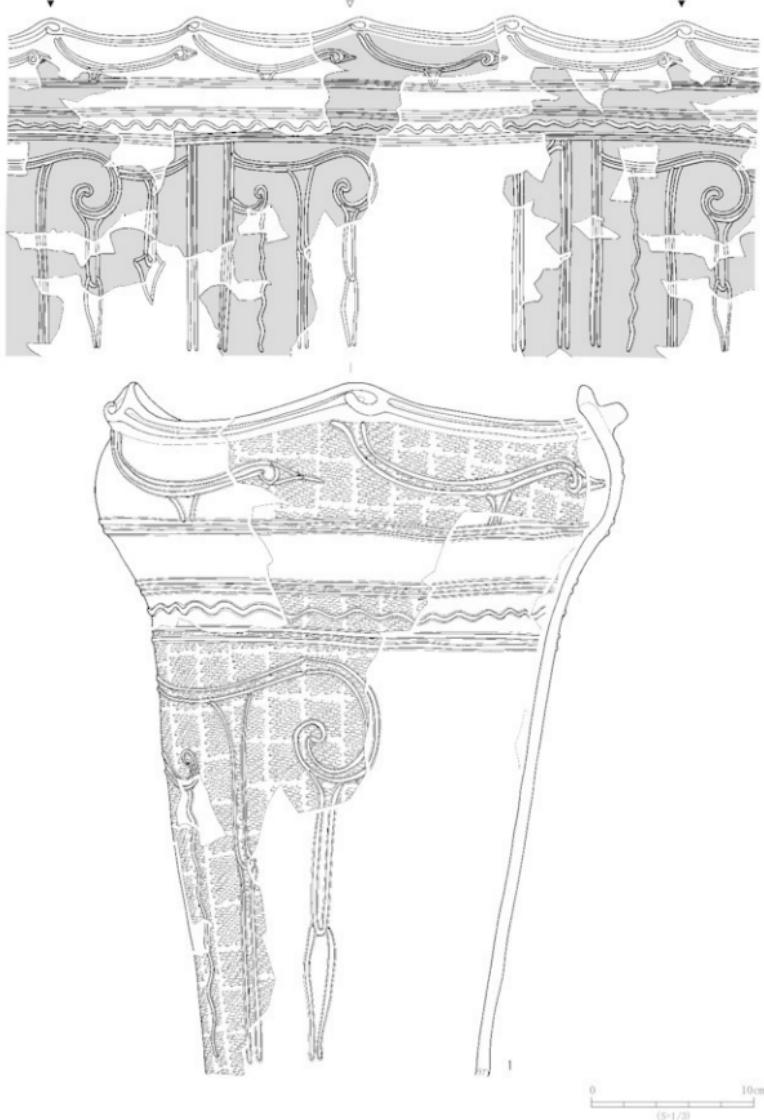
第426図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(13)

番	登録番号	場所	断面・部位	文様等	備考	写真通版
1	A-40015	①層	深鉢・口縁部～乳頭	口縁部：有輪・渦巻・弧状・横波彫沈繰文。頭部：無文。側面：渦巻・弧状・綱紋沈繰文。 口縁部：刻墨：繩文L江綱の無文。		217-1



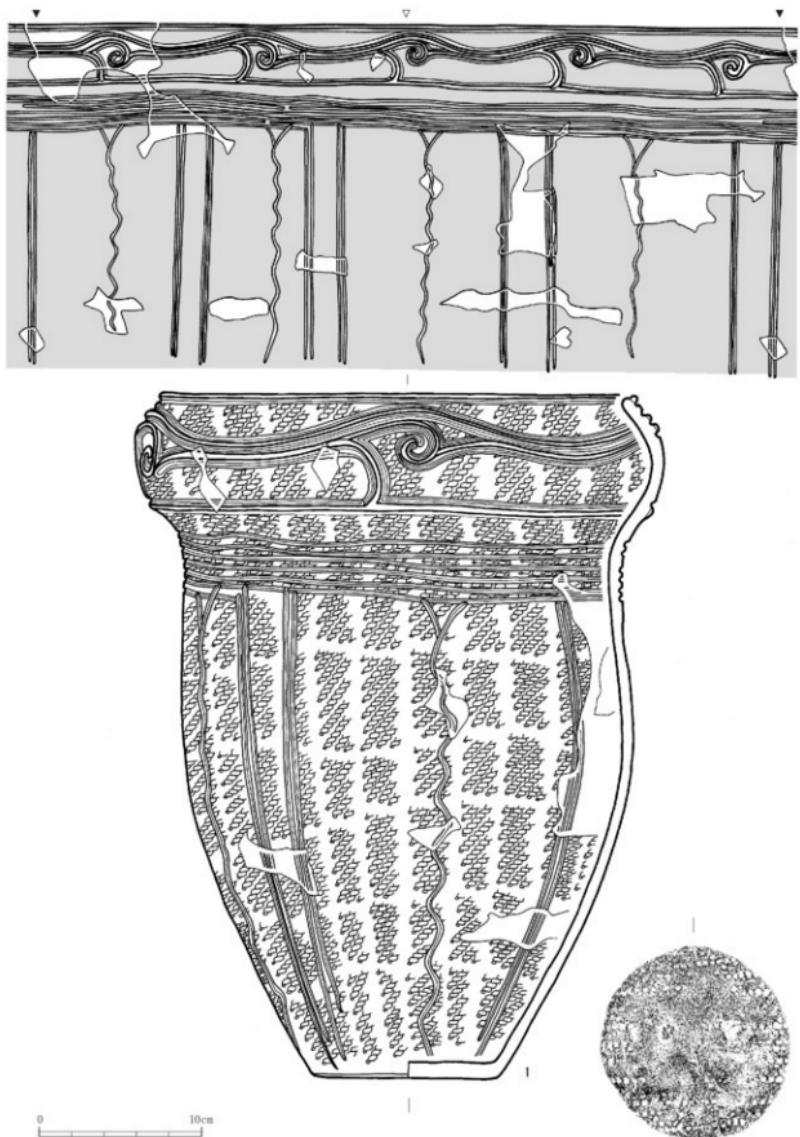
第427図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(14)

名	登録番号	場所	形・部位	文様等	備考	参考
I	A-60936	①・三層	深鉢・口縁部～底部	(1)縹延・有目波状縪織文、渦巻・山形・楕円波状縪織文、口縁～側面・縹文上に重ね文、底部・網代織、		217-2

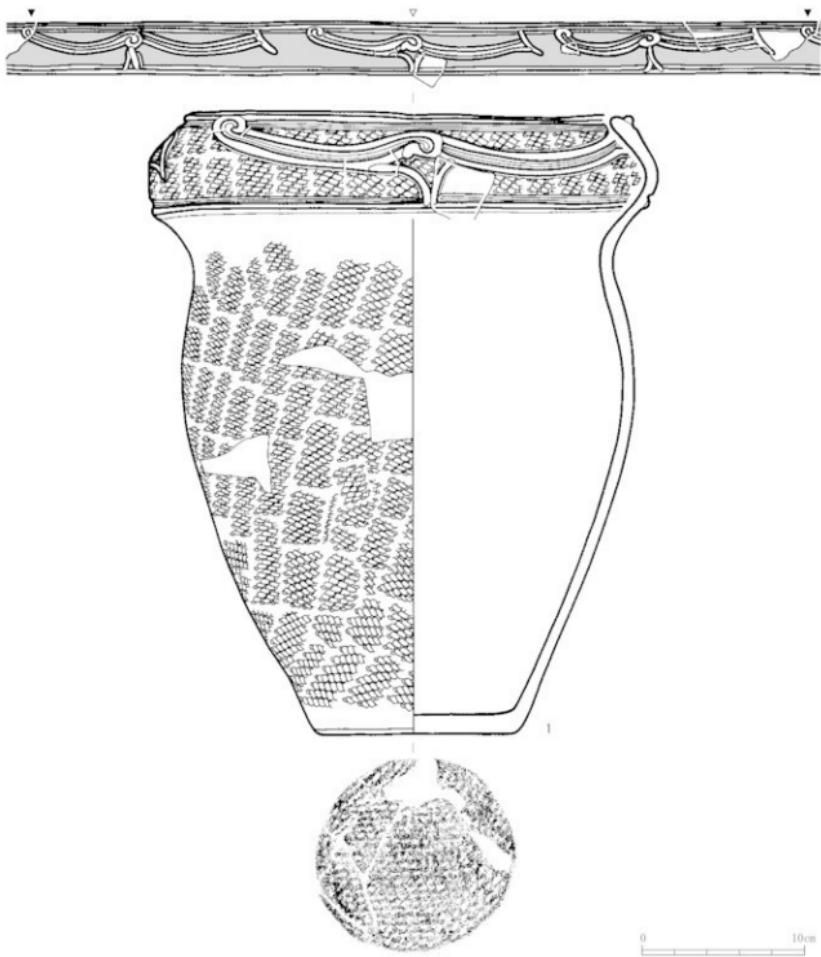


第428図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(15)

索引	登録番号	種 位	型形・部位	文様等	備考	写真図版
1	A-66937	①・笠觸	深鉢・口縁部～斜底	口縁部：曲唇突起。楕位：波状或縹文。有縫通帶：波状・楕位・縫位或縹文。頭部：波状・楕位或縹文。斜底部：波状・縹文。楕位或縹文。口縁部～斜底：縹文或波状。	波状口縁。	317-3

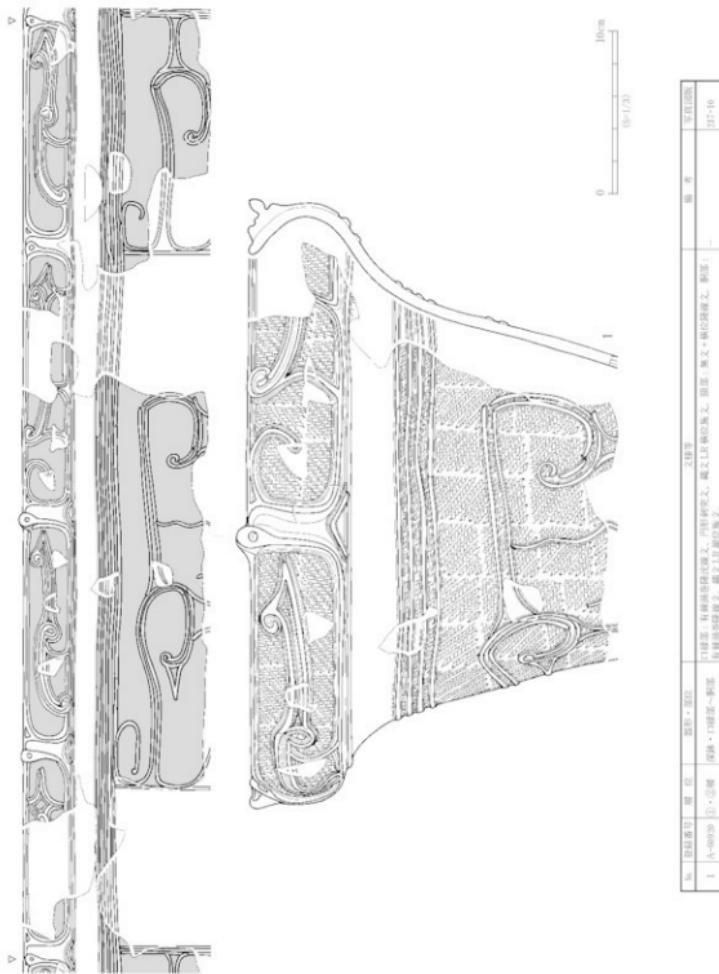


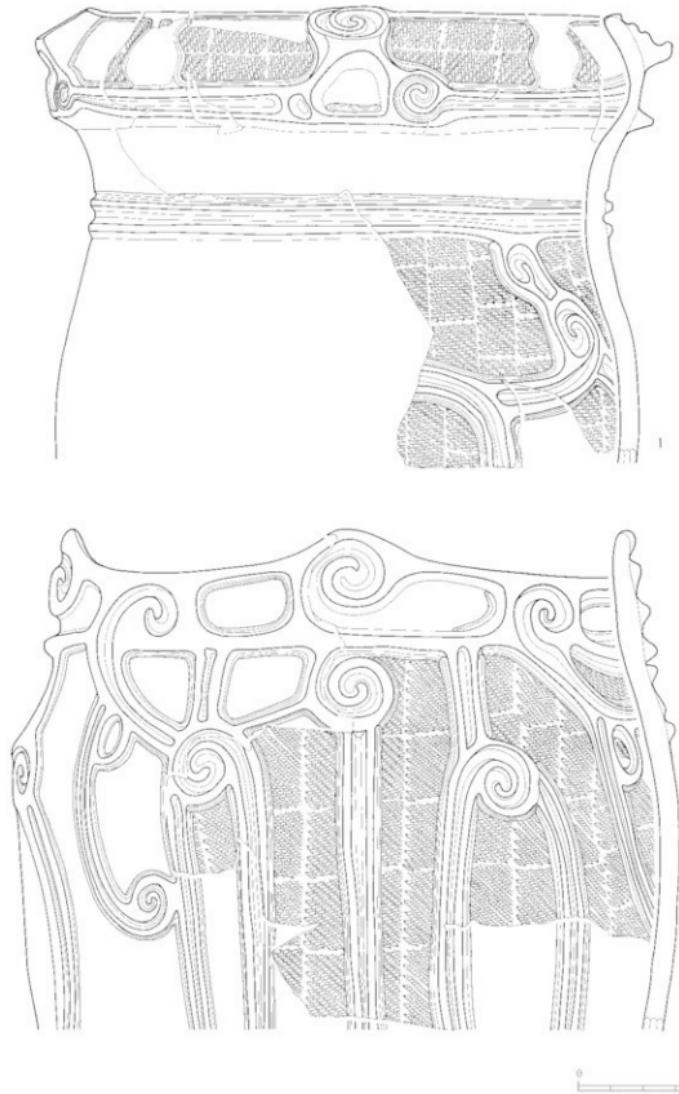
第429図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(16)



種類番号	層位	形状・部位	文様等	編考	写真番號
I-A-60019	⑩・二層	深鉢・口縁部～底部	(口縁部) 滴落・抵抗・横粒跡状織文、底部・無文、(口縁部・斜面) 織文凹、底部・研磨痕	217-5	

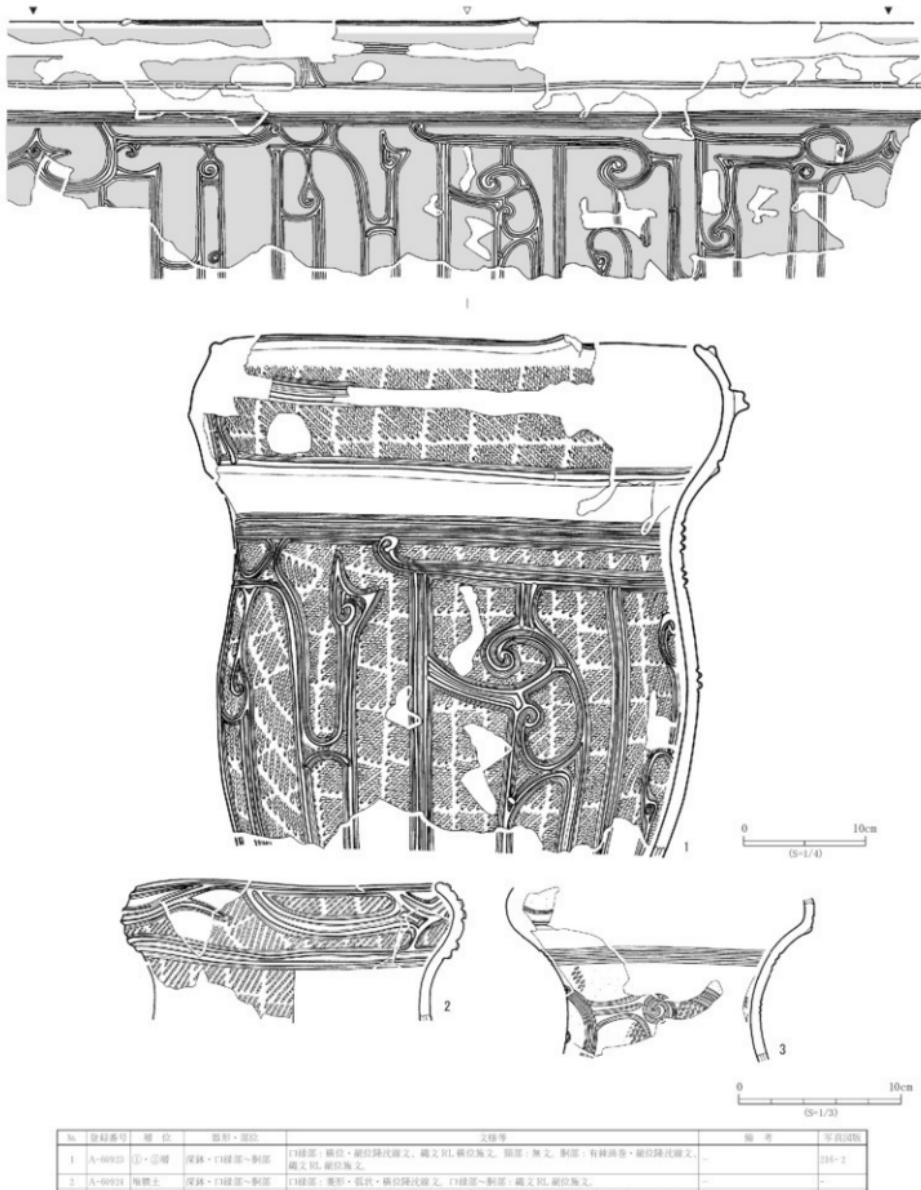
第430図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(17)



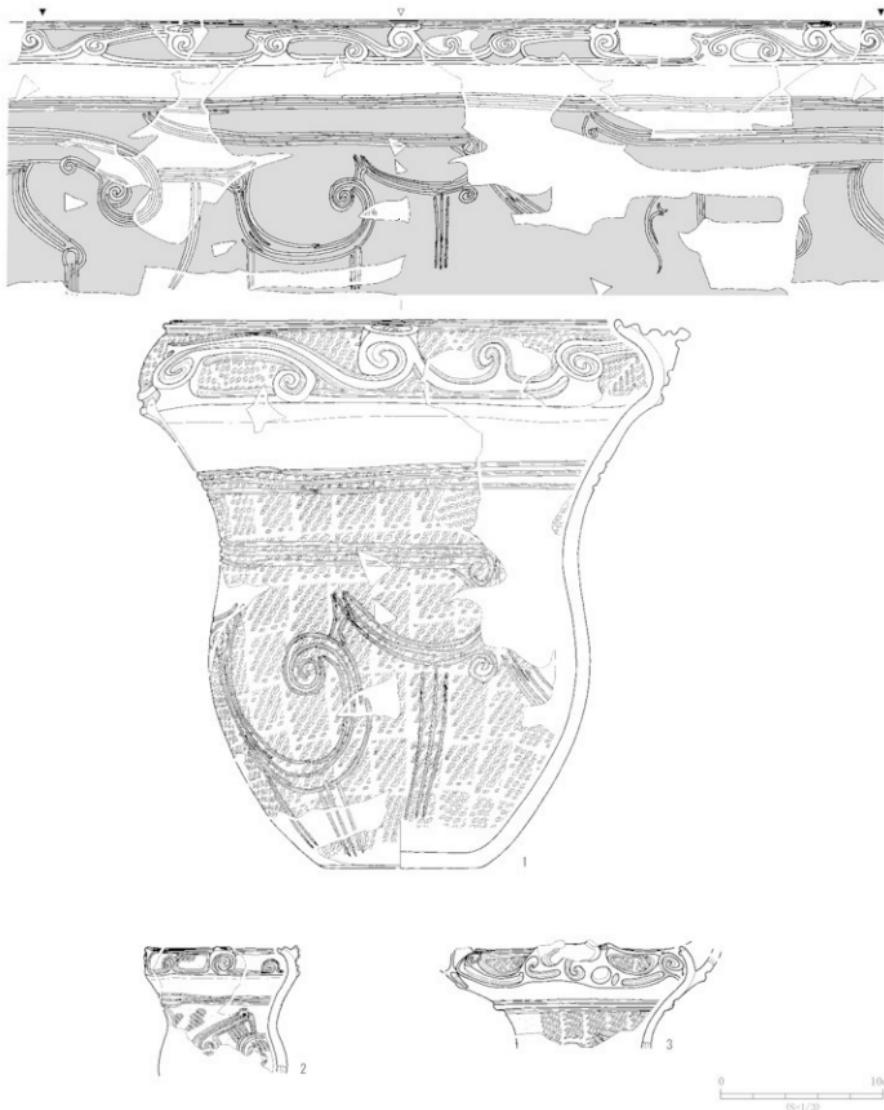


第432図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(19)

No.	登録番号	種 位	部 位	文様等	編 号	写真通版
1	A-66921	①・②層	深体・口縁部～胴部	口縁部：無文突起、尚各隣沈腹文、縞文LR 横位施文。胴部：無文。胴部：低式・巻位降低腹文、縞文LR 前位施文。	216-11	
2	A-66922	①層	深体・口縁部～胴部	口縁部：無多隣沈腹文、胴部：尚各・巻位降低腹文、縞文LR 前位施文。	—	216-12

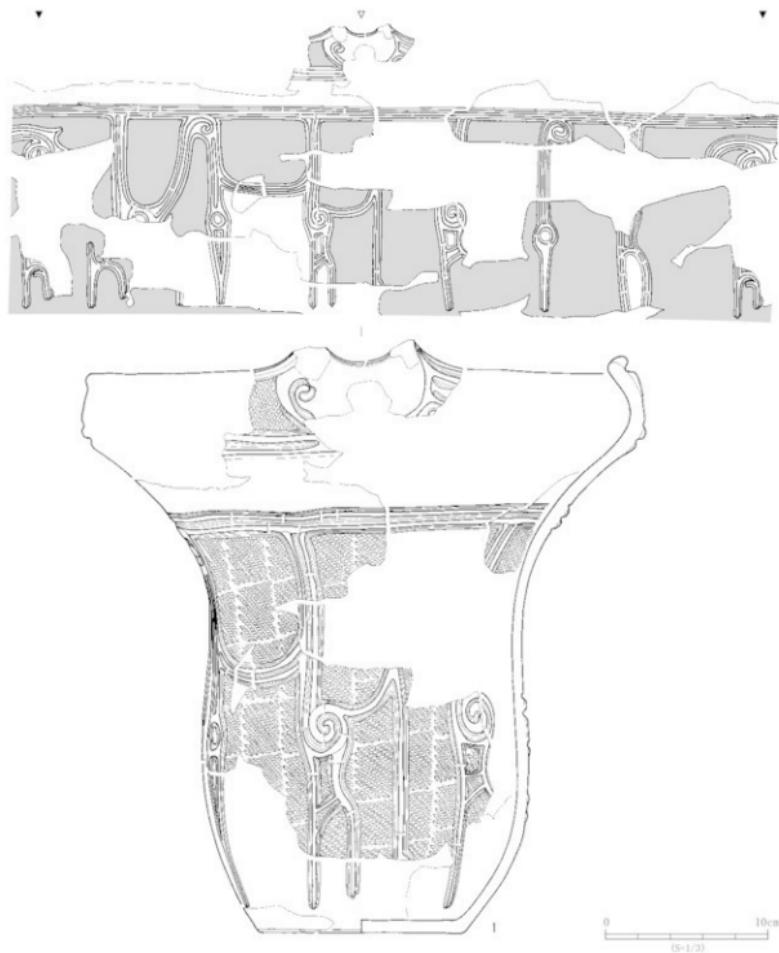


第433図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(20)



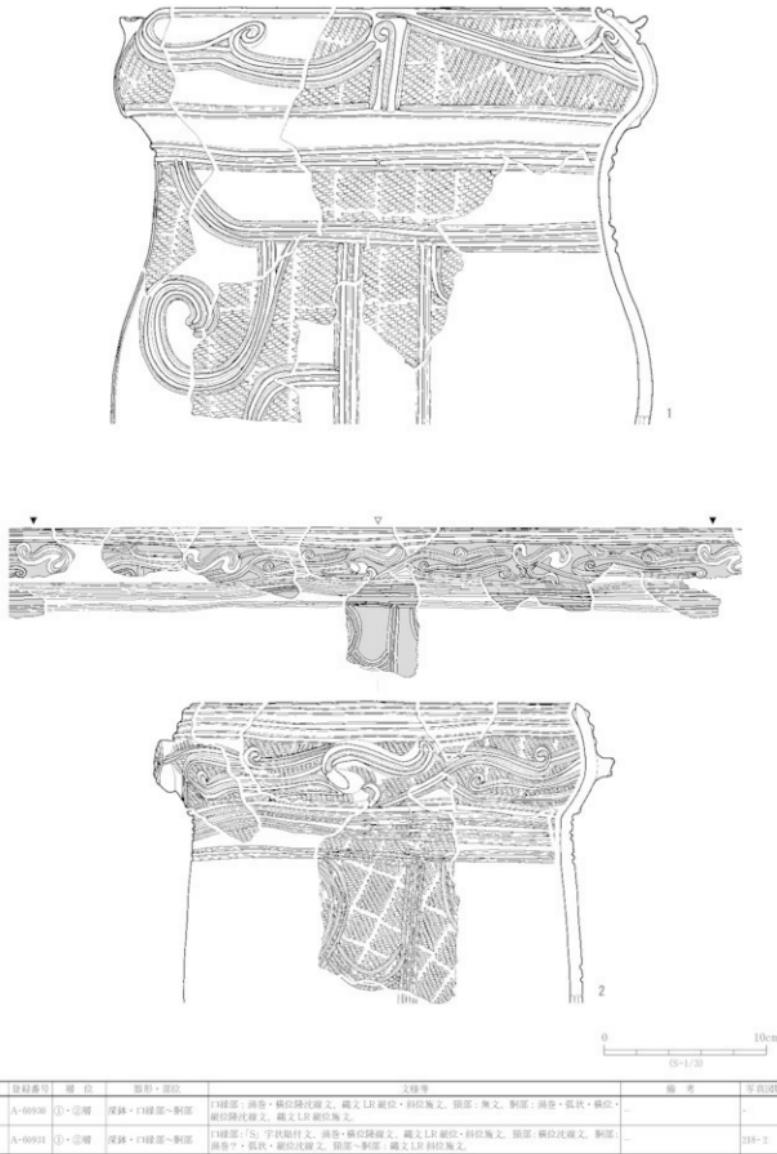
No.	登記番号	種類	图形・部位	文様等	備考	写真番號
1	A-60936	①・②層	深鉢・口縁部～乳部	口縁部：尚書變起、渦各頭沈羅文。頭部：無文。側面：有頭渦首・橫位沈羅文。口縫部・側部：圓丈狀片巻位施之。頭部：無文。		317-6
2	A-60927	①・②層	小型深鉢・口縫部～側面	口縫部：渦各頭沈羅文。頭部：橫位沈羅文。側面：曲流渦首沈羅文。		-
3	A-60938	①・②層	小型深鉢・口縫部～側面	口縫部：輪狀把手。渦各頭沈羅文。頭部：橫位沈羅文。側面：沈羅文の一部。		-

第434図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(2)

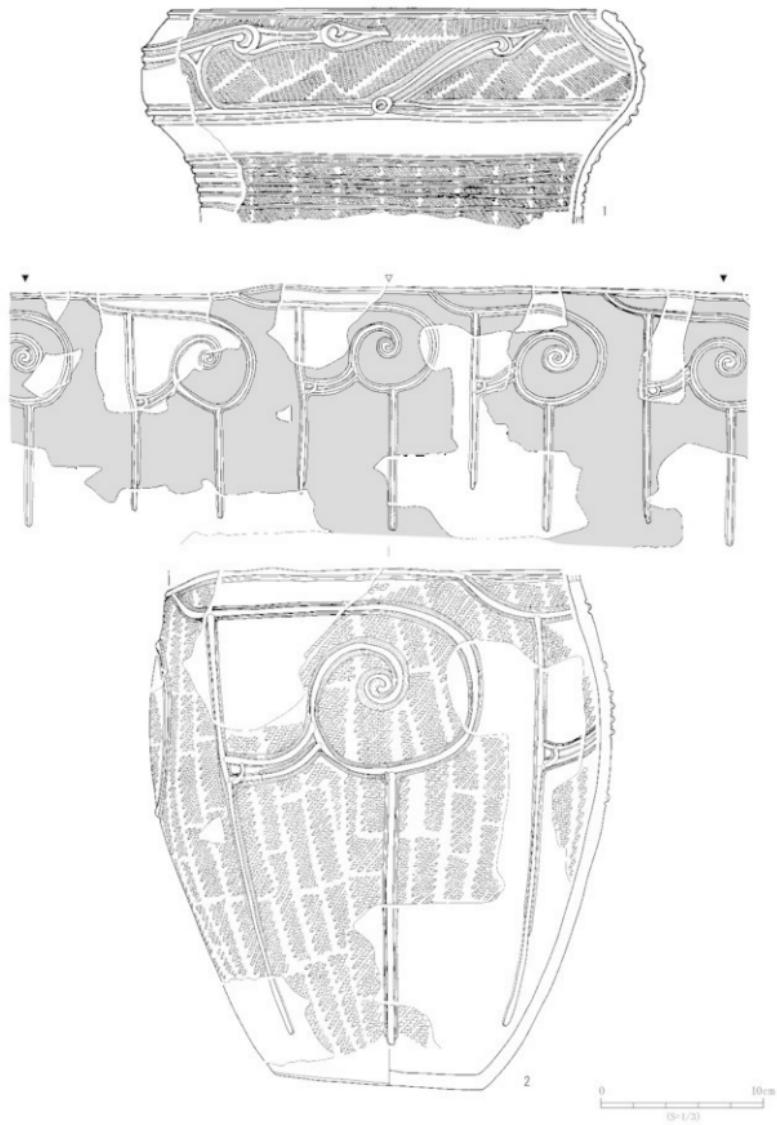


第435図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(22)

No.	登録番号	種類	图形・部位	文様等	備考	参考文献
1	A-59929	①・②層	深鉢・口縁部～底部	口縁部：渦巻・楕円陣状縞文、縞文LR 構位施文。細底：無文。 側面：渦巻・楕円・網目陣状縞文、縞文LR 構位施文。	把手跡。	218-9 (S-1/3)

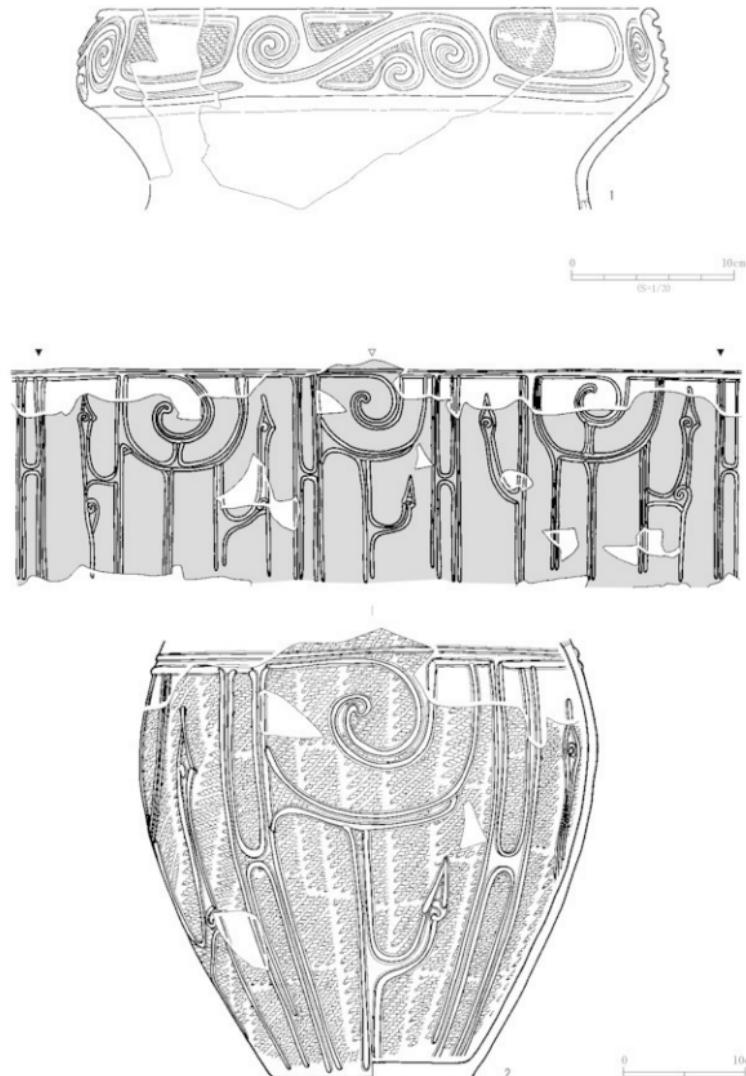


第436図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(23)



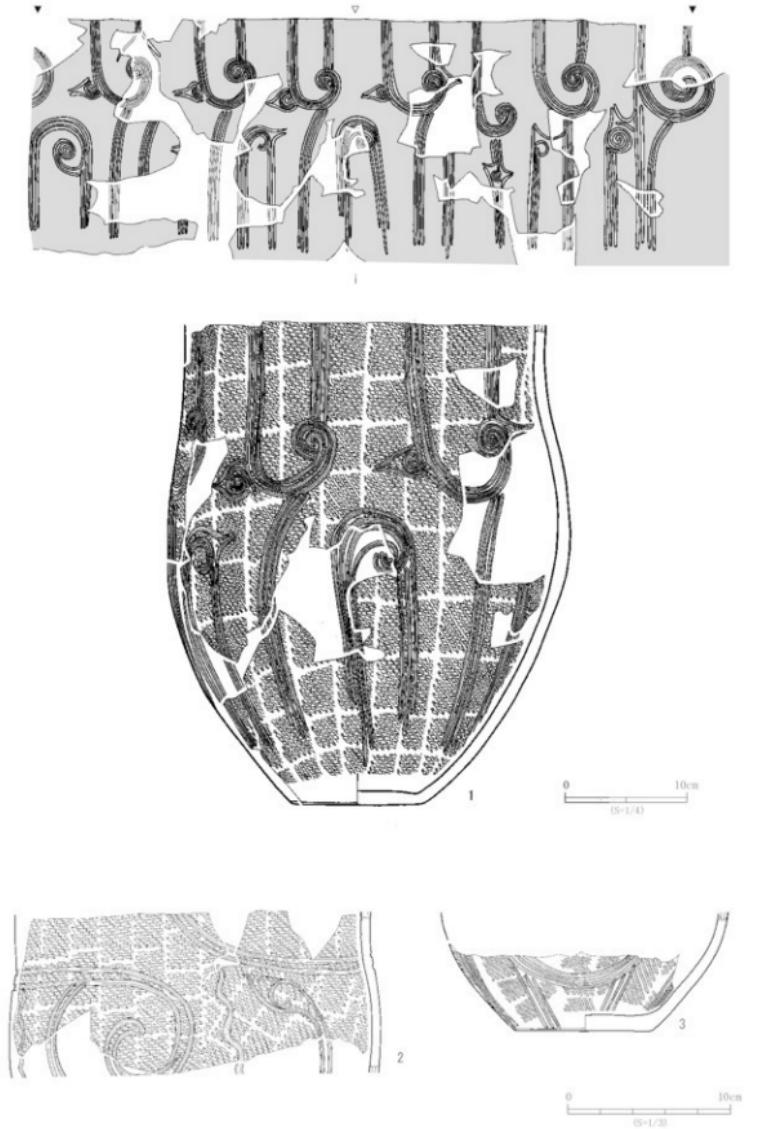
第437図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(24)

No.	登録番号	場所	形態・部位	文様等	備考	写真図版
1	A-60932	①・③層	深鉢・口縁裏～頸部	口縁裏：有縫織部、楕円筒状環文。縄文LR斜板・斜位施文。頸部：無文。剥離：楕位斜縫文。	-	-
2	A-60933	①・③層	深鉢・剥離	剥離：楕状、楕位斜状環文、縄文列、斜位施文。	-	218-3

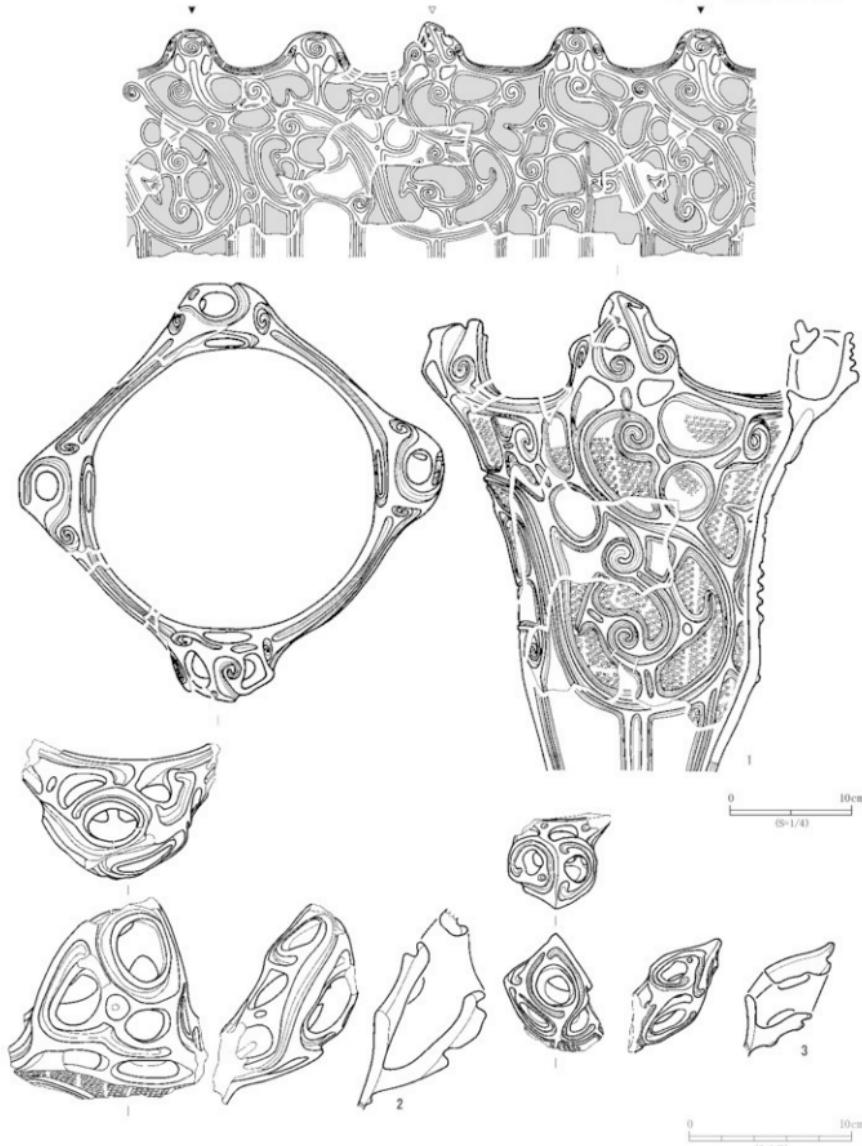


第438図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(2)

No.	登録番号	埋 立 位 置	形 態 ・ 部 位	文様等	施 考	写真類別
1	A-6034	海側土	複数・口縁部～瓶底	口縁部：海側焼泥文、長折沈泥文、織文LR 斜位施文、瓶底：無文	-	-
2	A-6035	(1)・口縁	複数・瓶底～瓶底	瓶底：有縫・滴落・斜位焼泥文、織文LR 斜位施文、瓶底：ナゲ	-	21B-6

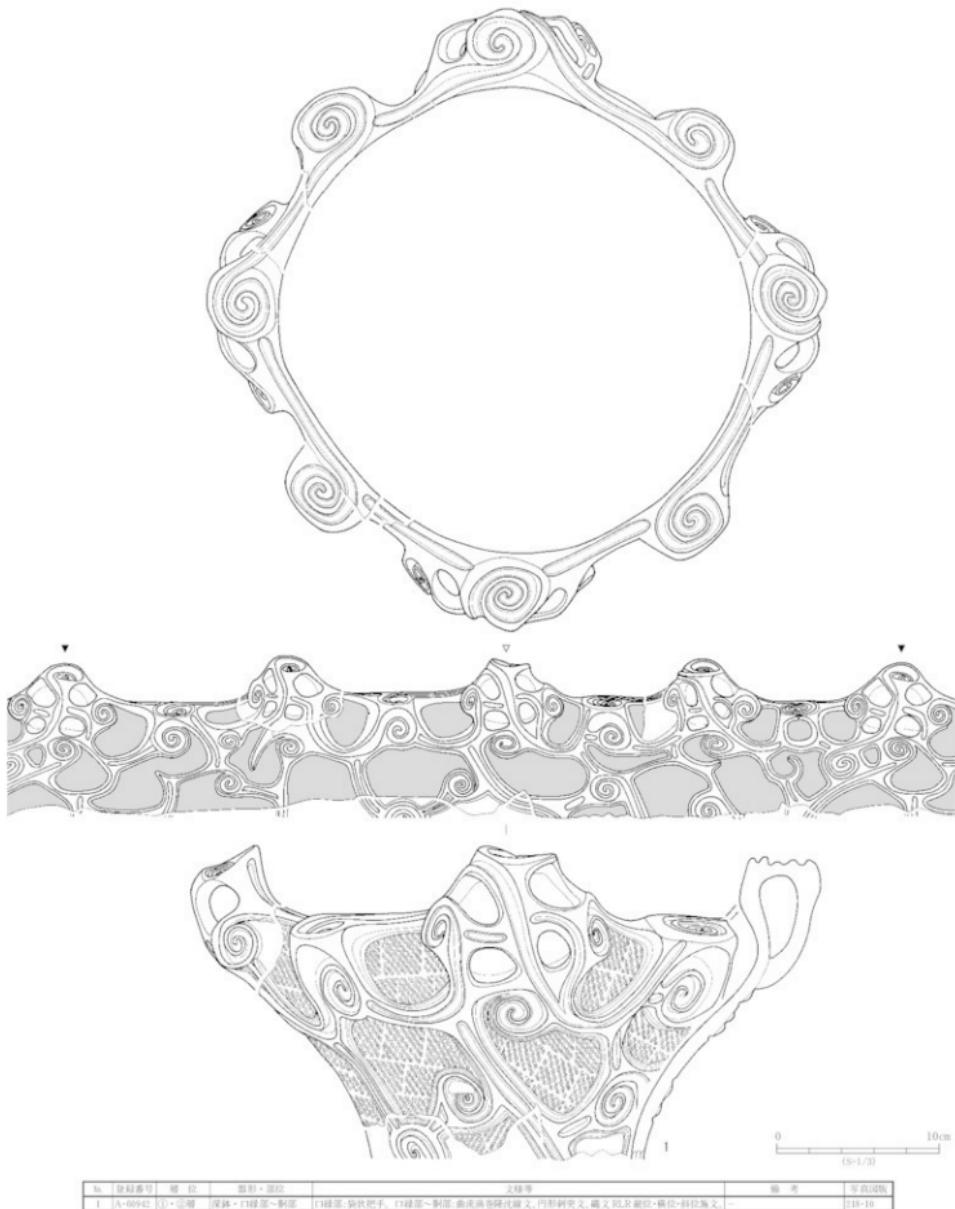


第439図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(26)

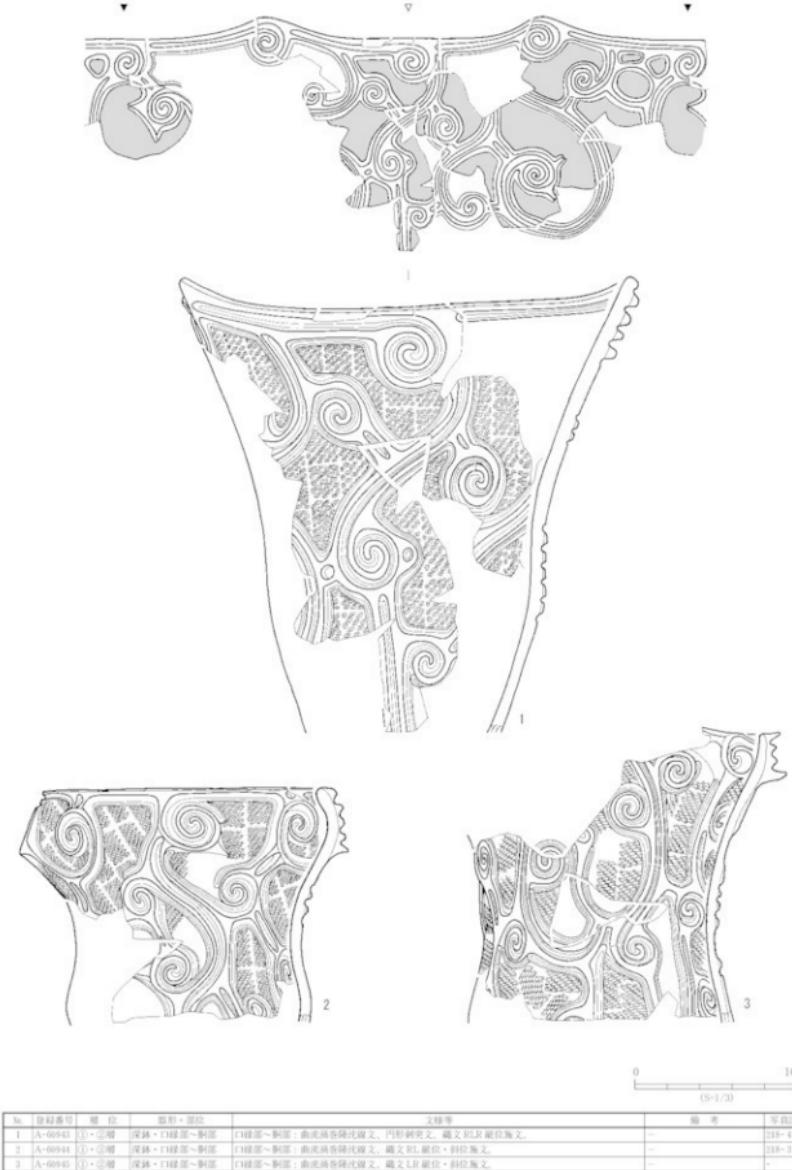


No.	登錄番号	埋 納	地 形・部 位	文様等	編 号	写真枚数
1	A-00939	① 二層	深縫・口縫茎～脚部	口縫茎：斜抜把手、口縫茎～脚部：曲底與突陰文、鶴文切妻紋飾無文。	217-7	
2	A-00940	① 二層	口縫把手	斜抜把手、浅縫文、円形刻空文、鶴文切妻紋飾無文。	214-5	
3	A-00941	① 二層	口縫把手	斜抜把手、浅縫文、円形刻空文、鶴文切妻紋飾無文。	-	-

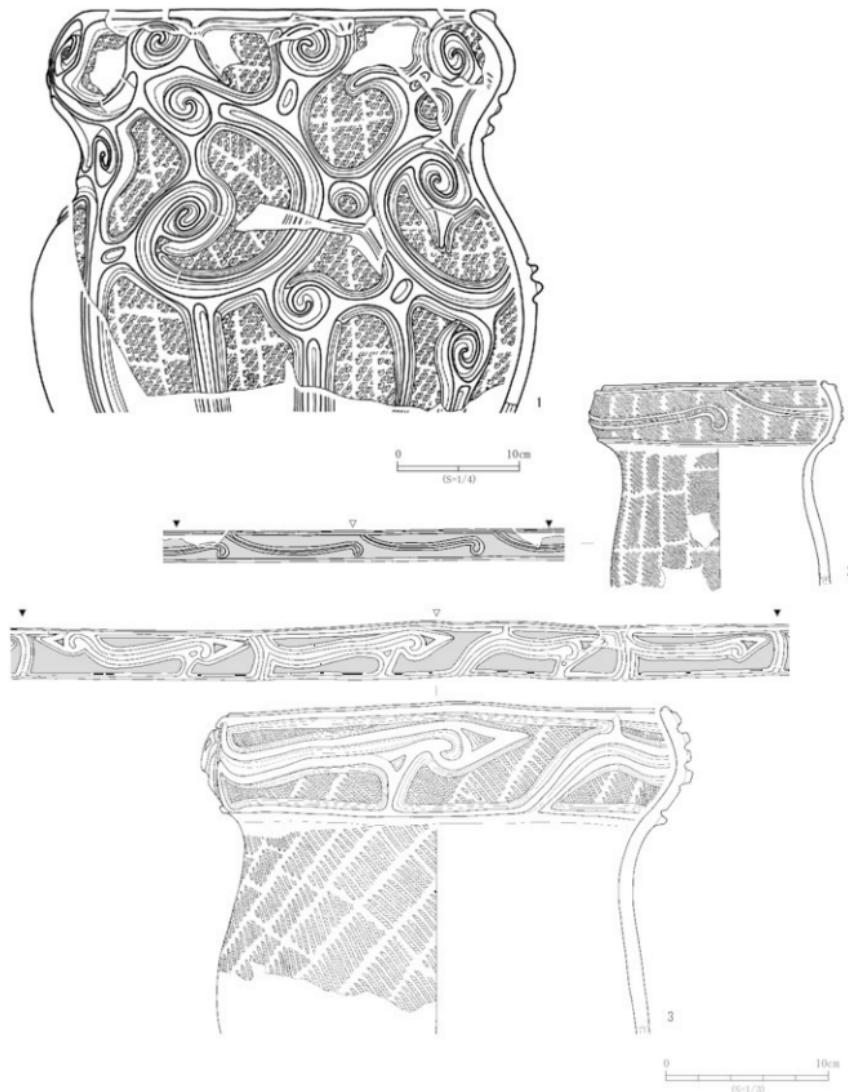
第440図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(27)



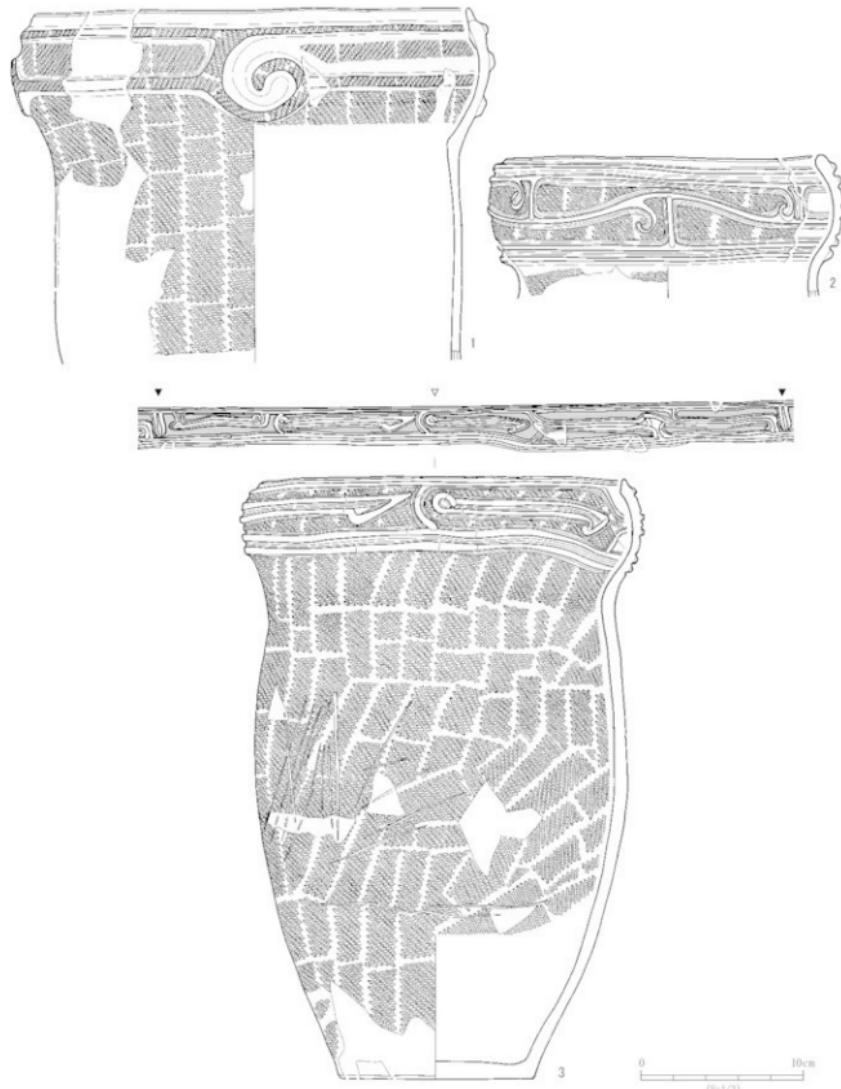
第441図 SX626溝状落ち込み出土遺物(28)



第442図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(29)

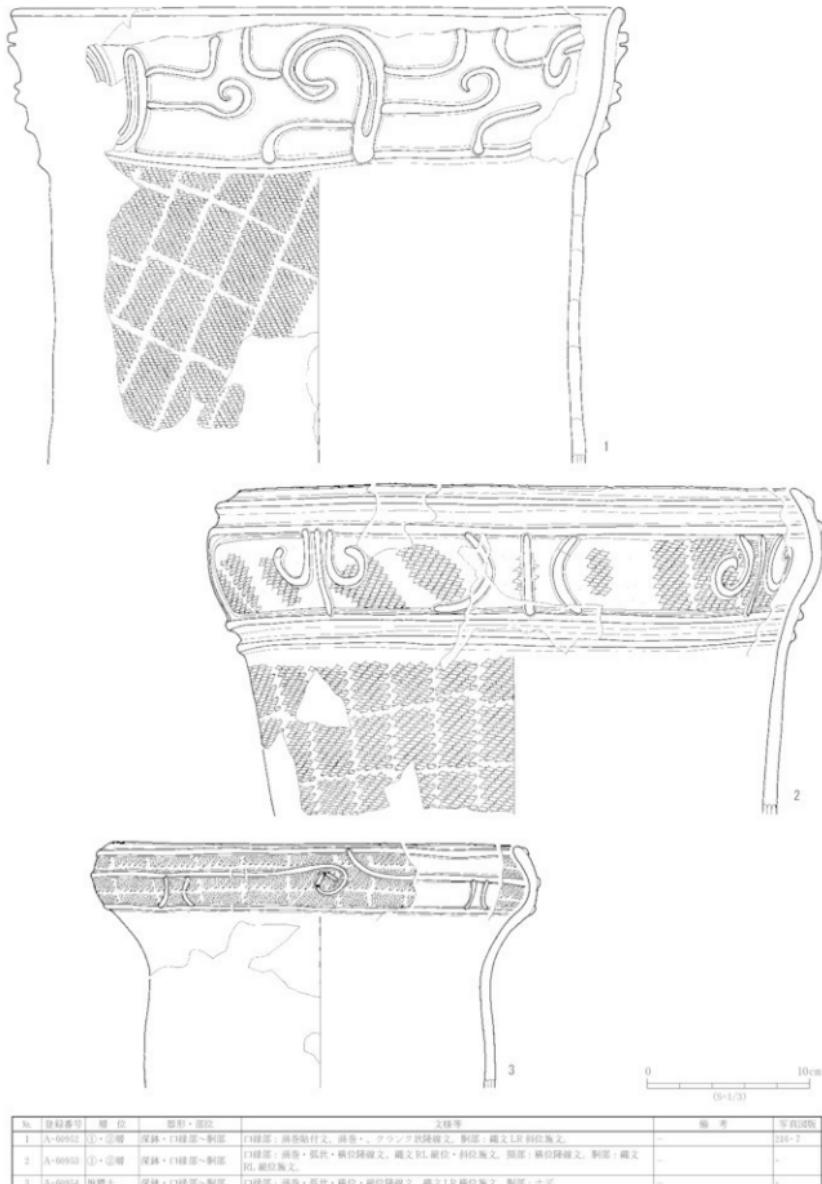


第443図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(30)

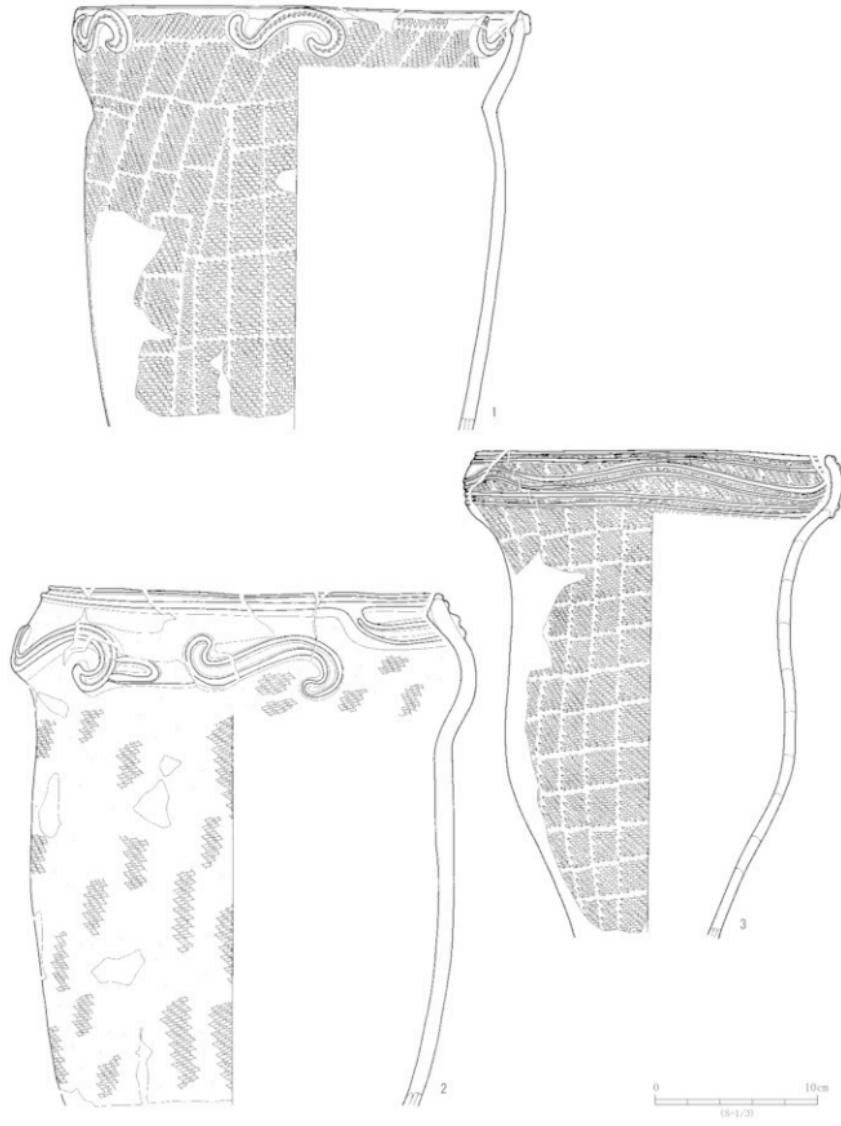


第444図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(31)

No.	登録番号	場所	器形・部位	文様等	参考	写真箇数
1	A-6949	①・②層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：滴落・横印彫文、織文LR柄位彫文、頭部～胴部：織文LR柄位彫文。	-	217-12
2	A-6950	①・②層	深鉢・口縁部～頭部	口縁部：滴落・透孔・横孔・織文LR柄位彫文、口縁部～胴部：織文LR柄位彫文。	-	-
3	A-6951	①・②層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：有縫滴落・透孔・織位彫文、口縁部～胴部：織文LR柄位・頭部彫文。	-	218-13

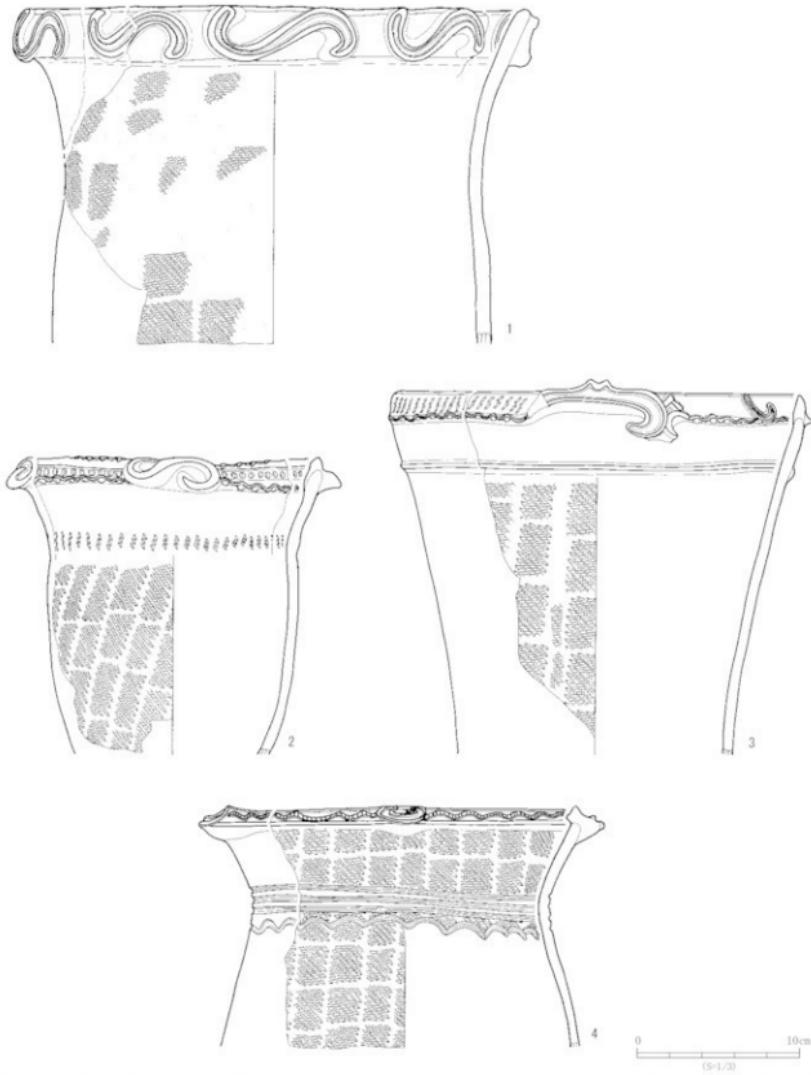


第445図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(32)



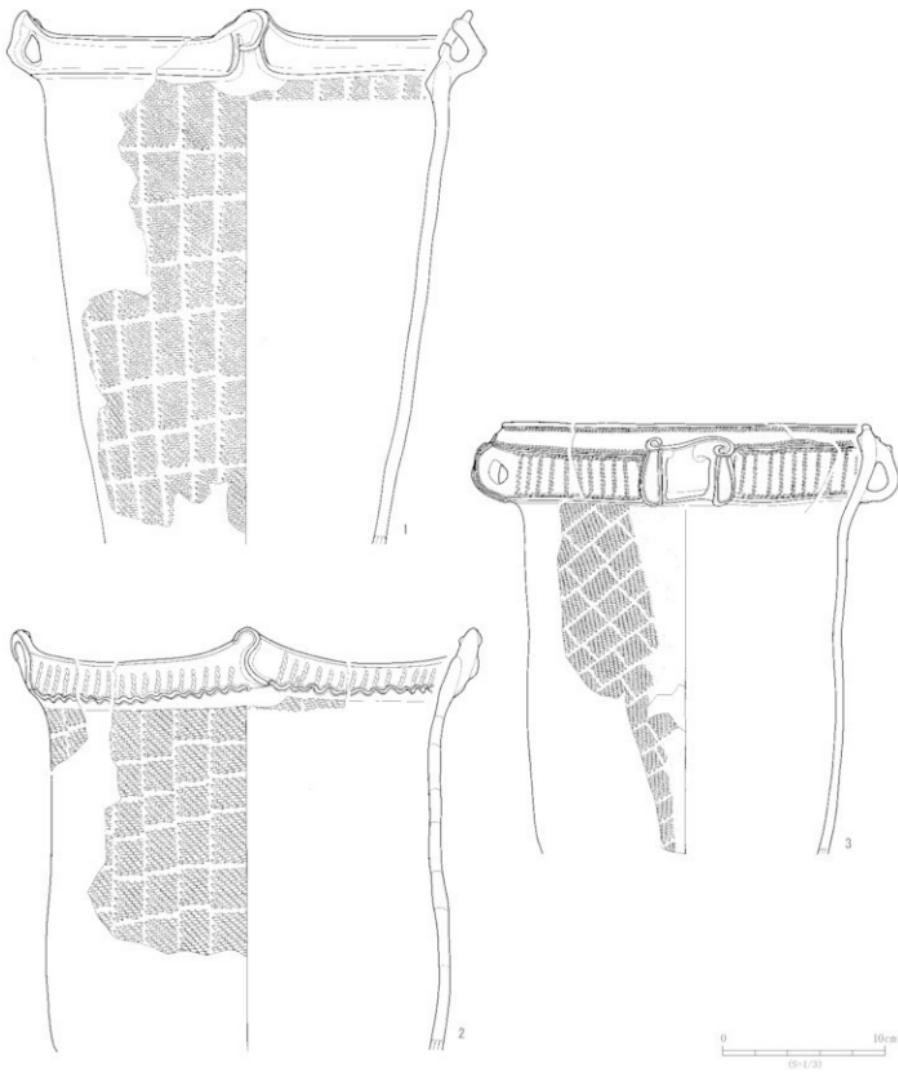
第446図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(33)

No.	登録番号	層位	箇所・面印	文様等	備考	参考例
1	A-69955	①・三層	深鉢・口縁部～側部	口縁部：S. 字状輪行文、筋付文上押圧捺文招、縫丁L形横拉彫文。側部：織文L形耐位彫文。		21E-6
2	A-69956	①・三層	深鉢・口縁部～側部	口縁部：S. 字状輪行文、筋状陣合文。口縁部～側部：織文L形耐位彫文。		21E-9
3	A-69957	①・三層	深鉢・口縁部～側部	口縁部：浅鉢・穂の陣微文。口縁部～側部：織文L形耐位彫文。		21E-10



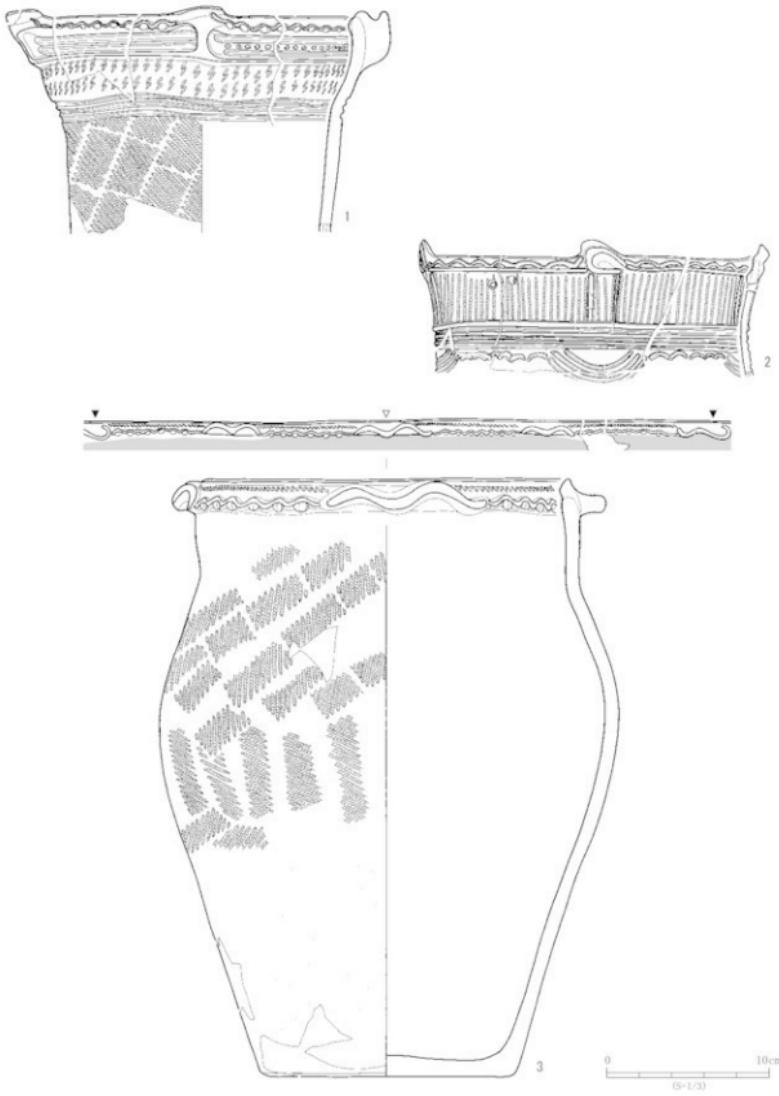
号	登録番号	種	形	縹	底	文様等	文様等	縹	考	写真出版
1	A-69918	①・三層	深鉢・口縁部～胴部	△縹	△縹	S字状點什文・網目・縞文L形網目無文。	-	-	-	-
2	A-69919	①・三層	深鉢・口縁部～胴上	△縹	△縹	S字狀點什文・網目小波狀縹文・円錐刺史文・網目・齊江繩文L形網目無文・網目・縞文L形網目無文。	-	-	-	-
3	A-69920	①・三層	深鉢・口縁部～胴部	△縹	△縹	點點什文・網目小波狀・網目無文・齊江繩文L形網目無文・網目・縞文L形網目無文。	-	-	-	-
4	A-69921	①・三層	深鉢・口縁部～胴部	△縹	△縹	點點什文・網目小波狀無文・網目・齊江繩文L形網目無文・網目・縞文L形網目無文。	-	-	-	-

第447図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(34)

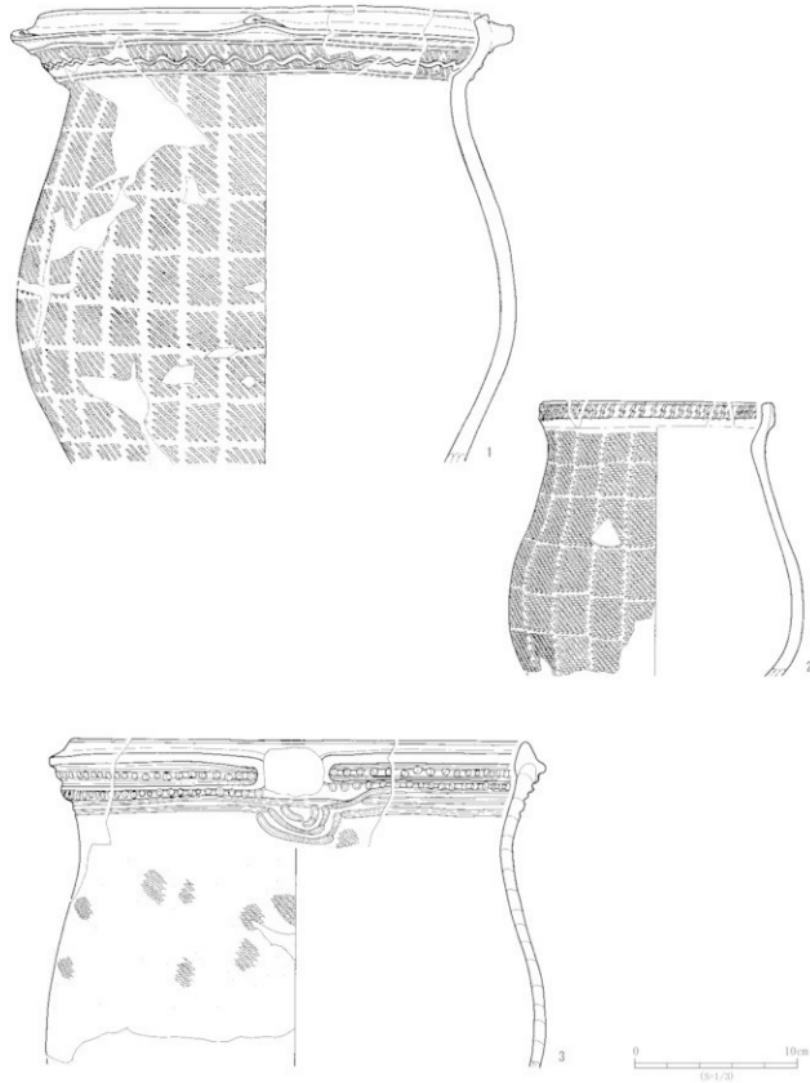


第448図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(35)

号	登録番号	層位	形・部位	文様等	編考	参考図版
1	A-60952	①・三層	深鉢・口縁部～側部	△縹緥：輪狀把手、轍位隣微文、胴底：繩文LR斜位施文。	-	21B-13
2	A-60953	①・三層	深鉢・口縁部～側部	△縹緥：輪狀把手文、隣微文、并往繩文其綱位施文。胴底：繩文LR斜位施文。	-	-
3	A-60954	①・三層	深鉢・口縁部～側部	△縹緥：輪狀把手、轍位隣微文、并往繩文L及轍位、轍位施文。胴底：繩文LR斜位施文。	-	-

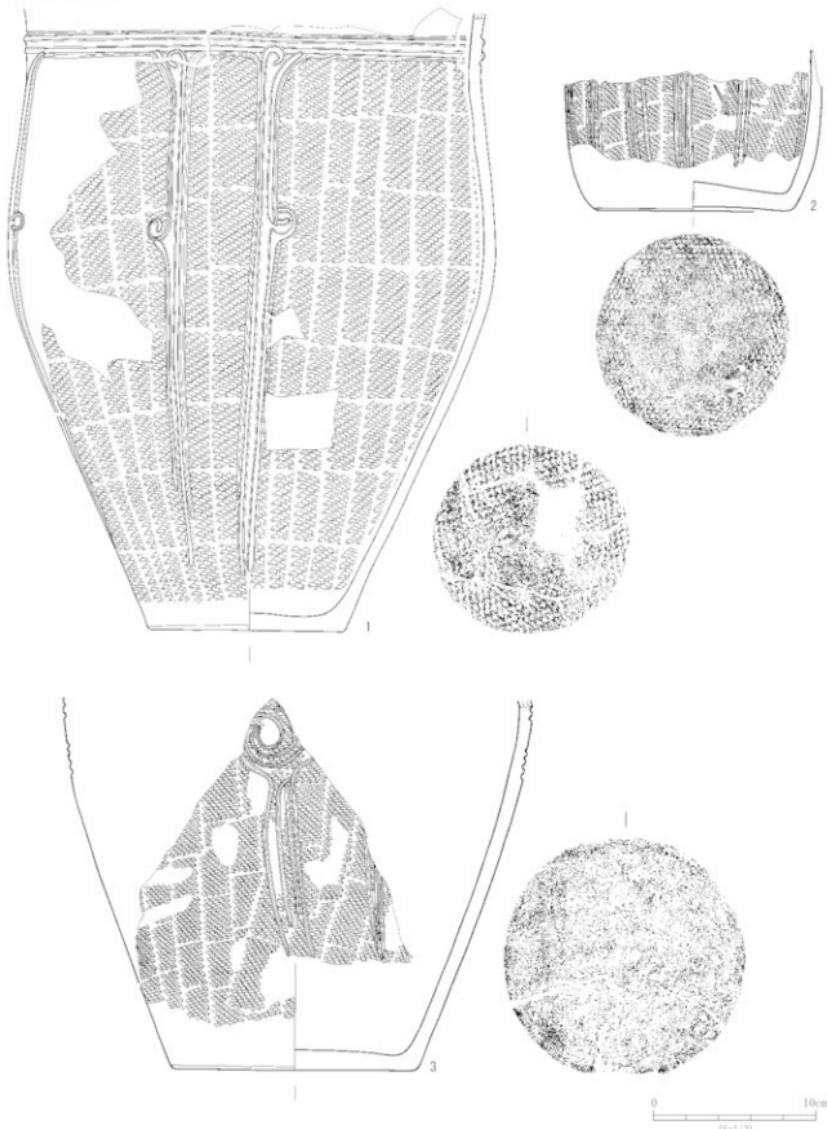


第449図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(36)



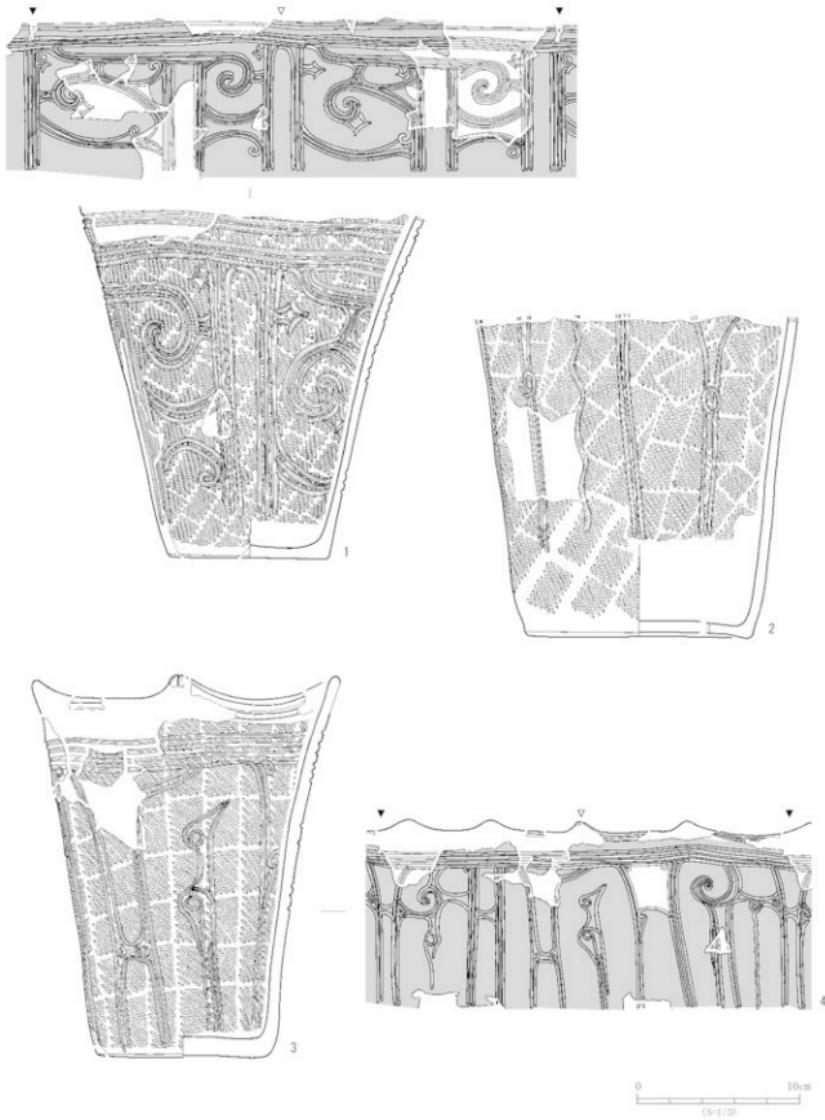
第450図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(37)

No.	登録番号	場所	型形・部位	文様等	施考	参考文献
1	A-69908	①・2層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：曲条文起、波状、楕位隣瓣文。口縁下部～胴部：織文L反瓣位無文。	-	219-14
2	A-69909	①・2層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：折行織文L反瓣位無文。胴部：織文L反瓣位無文。	-	219-16
3	A-69910	①・2層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：楕位隣瓣文、波状沈瓣文、円形斜突出。胴部：織文L反瓣位無文。	突起判明。	-



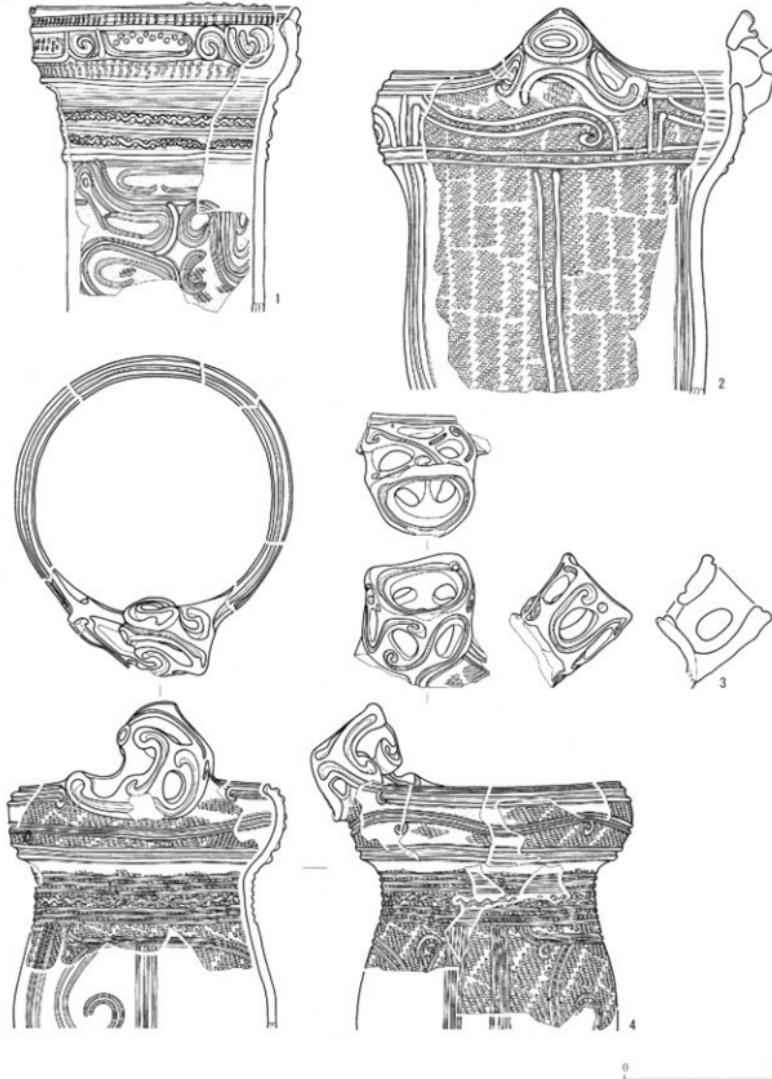
第451図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(38)

No.	登録番号	場所	形態・部位	文様等	参考	厚直(成数)
1	A-66971	①・三層	深鉢・鋤面～底層	鋤面：渦巻。模様。模様。網目降低複文。硫文列。網目無文。底層：網代紋。	-	217-9
2	A-66972	①・三層	深鉢・鋤面～底層	鋤面：網目複文。硫文LR網目無文。底層：網代紋。	-	219-6
3	A-66973	①・三層	深鉢・鋤面～底層	鋤面：渦巻。網目複文。硫文LR網目無文。底層：チテ。	-	219-7



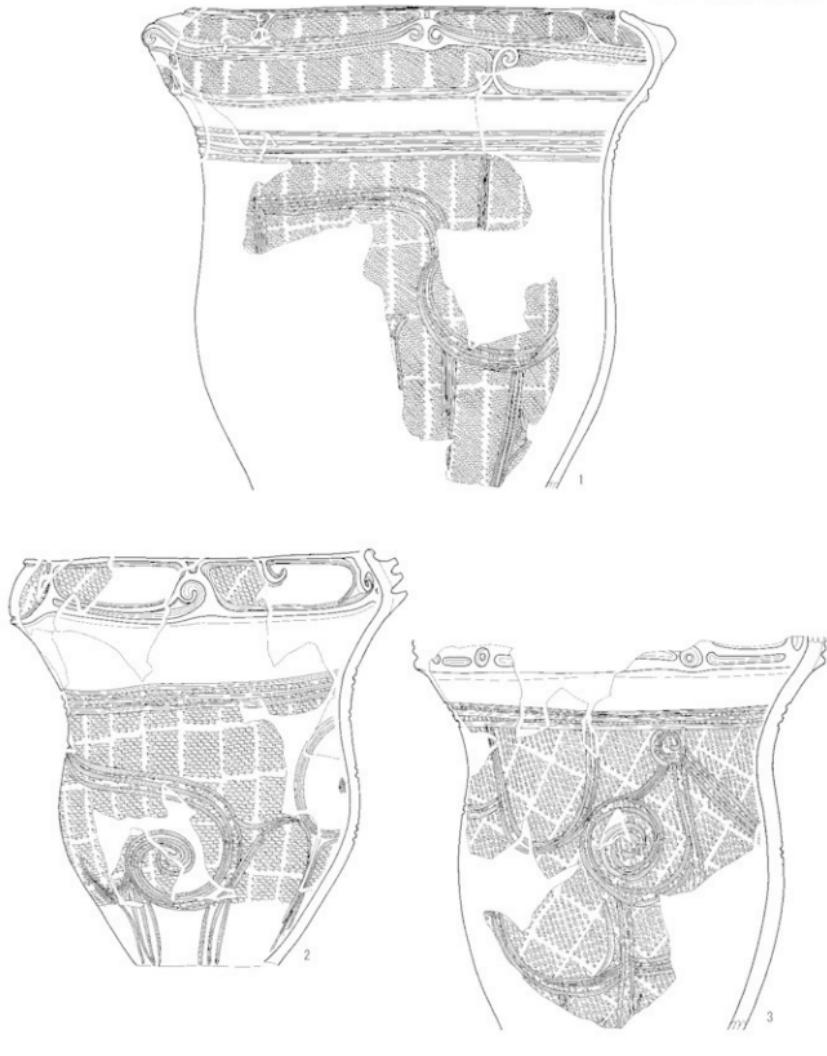
第452図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(39)

No.	登録番号	種類	想定・測定	文様等	編 号	参考
1	A-60974	①・Ⅱ層	深鉢・側面～底層	刺繡：渦巻、斜生折、弧折、網位沈綴文、織文LR斜位施文、底部：ナデ。	-	21F-1
2	A-60975	①・Ⅱ層	深鉢・側面～底層	刺繡：渦巻、波状、網位沈綴文、織文LR斜位施文、底部：ナデ。	-	21F-2
3	A-60976	①・Ⅱ層	深鉢・口縁部～底層	口縫部：横山陰綴文、網位沈綴文、刺繡：有縫渦巻、網位沈綴文、織文LR斜位施文。	渡沢口縫	21F-3



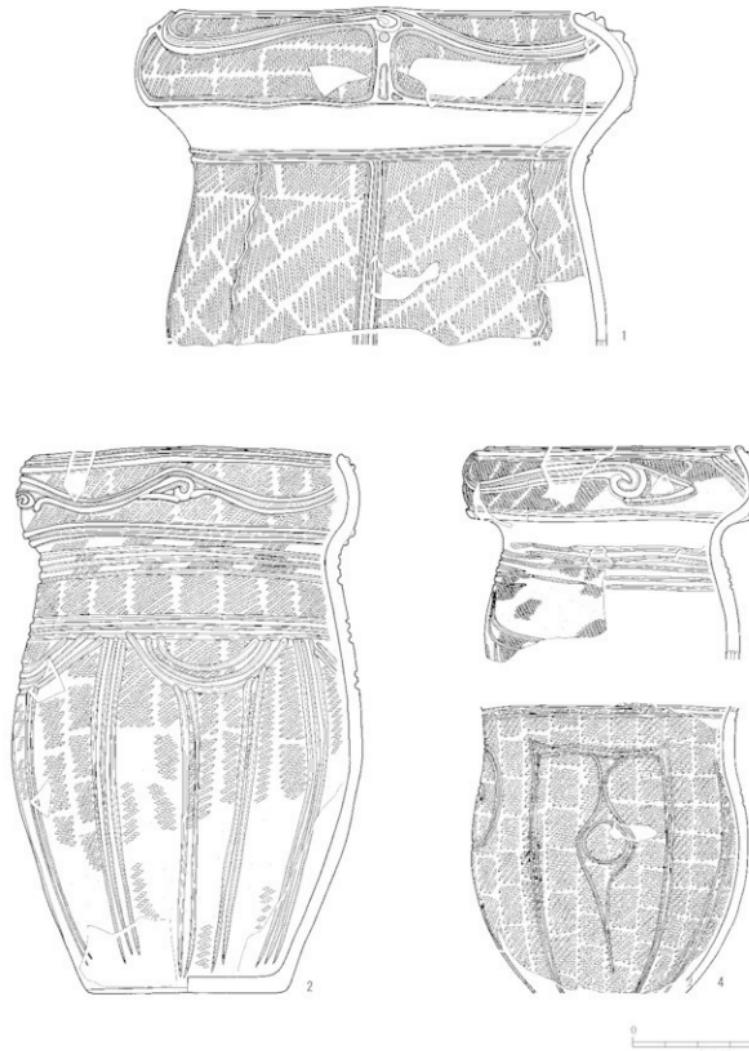
第453図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(40)

No.	登録番号	埋位	地點・深度	文様等	備考	実測回数
1	A-60977	①・Ⅱ層	深路・口縁部～胴部	口縁部：網目加輪文、曲乳渦文、円形斜文。胴部：新位施文、網目、横位隣波綱文、刺繡、曲乳渦文。斜文斜刻文、網目斜文。縫文Ⅰ・Ⅲ位施文。		21B-8
2	A-60978	①・Ⅱ層	深路・口縁部～胴部	口縁部：袋状把手、圓蓋・底状・楕位、網目渦綱文、縫文Ⅱ・Ⅲ位施文。胴部：網位、網位施文。		21B-4
3	A-60979	堆積土	口縫把手	袋状把手、圓蓋沈綱文、円形斜文、縫文Ⅱ・Ⅲ位施文。		21B-6
4	A-60980	①・Ⅱ層	深路・口縁部～胴部	口縫把手：網目把手、底状、網位隣波綱文。頭部：網位沈綱文。頭部：圓蓋・底状、網位沈綱文。縫文Ⅰ・Ⅲ位施文。		21B-5



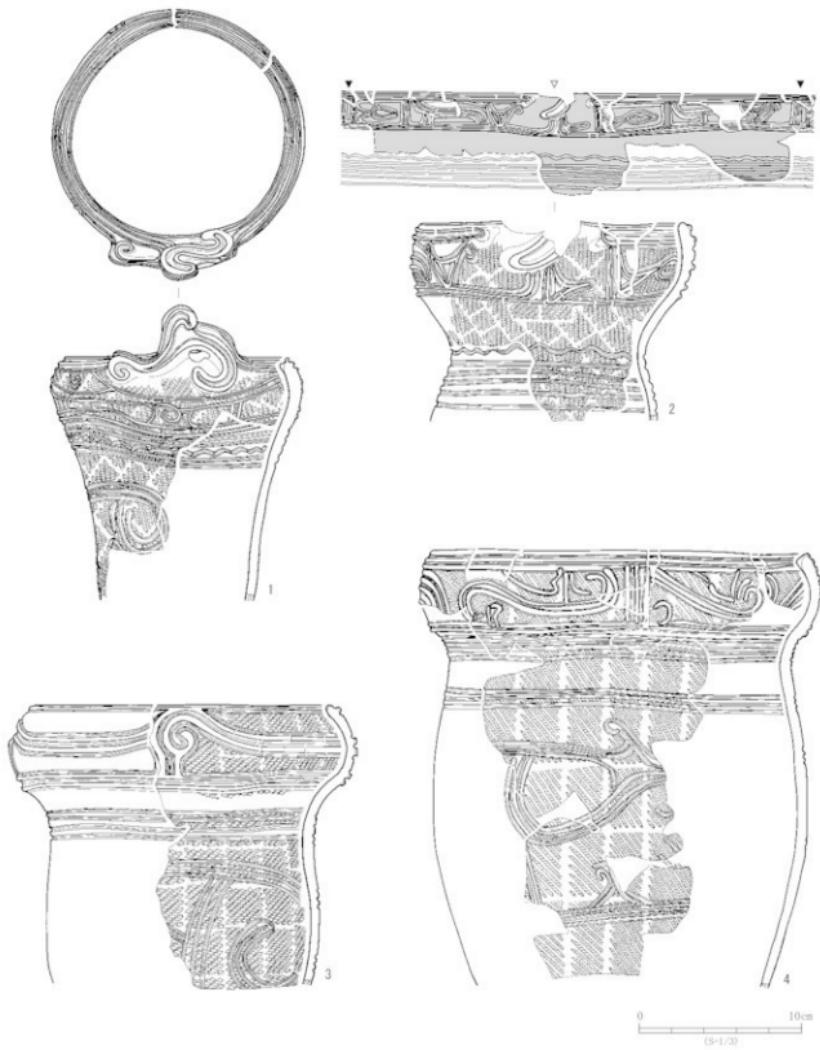
第454図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(41)

号	登録番号	場所	形・部位	文様等	編号	写真直版
1	A-60991	①・②層	深鉢・口縁部～脚部	口縁部：溝帶・横位沈線文。頭部：無文+横位沈線文。脚部：溝帶？+弧状・横位・縱位沈線文。 口縁部・制限：織文LR 斜位施文。	21B-8	
2	A-60992	①・②層	深鉢・口縁部～脚部	口縁部：溝帶文起。頭部：無文+横位沈線文。脚部：曲流溝 制限：織文LR 斜位施文。		
3	A-60993	堆積土	深鉢・口縁下部～脚部	口縁下部：区画溝沈線文。円形斜文。頭部：無文+横位沈線文。脚部：曲流溝各沈線文。織文 IGLR 斜位施文。		21B-15



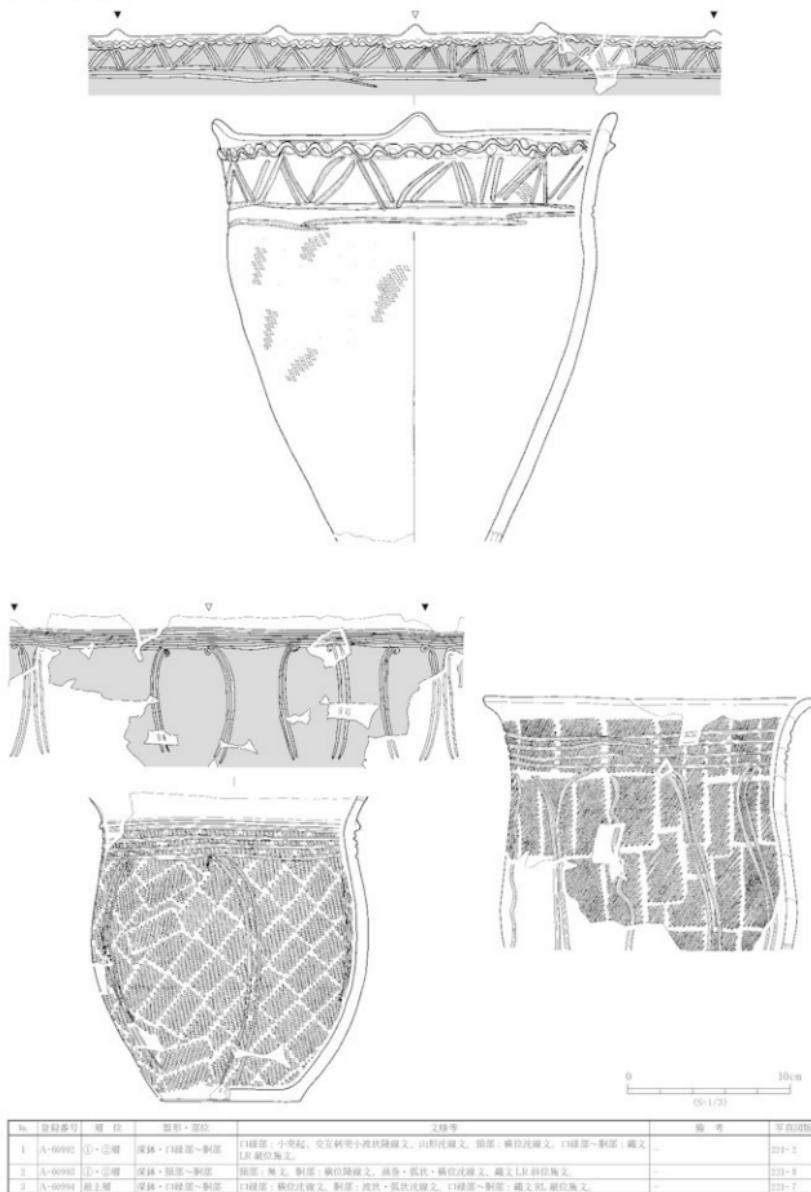
第455図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(42)

No.	登録番号	場所	形形・部位	文様等	備考	参考出版
1	A-60984	①・③層	深鉢・口縁部～側部	口縁部：網目陣沈硫文、横波線文、網突文、繩文LR 橫位沈硫文、側部：無文、側面：弧状・橫位陣硫文、網位陣沈硫文、繩文LR 橫位、側位施文。		219-9
2	A-60985	①・③層	深鉢・口縁部～底部	口縁部：有鍍滿脊・橫位陣硫文、側部：橫位汎縫文、側部：弧状・橫位・網位沈硫文。口縫部～側部：網文RL、網位施文、底部：ナギ。		219-17
3	A-60986	①・③層	深鉢・口縁部～側部	口縫部：有鍍滿脊・橫位陣硫文、側部：無文、側面：弧状・橫位汎縫文。口縫部～側部：繩文LR 橫位施文。		219-10
4	A-60987	①・③層	深鉢・側部	有鍍滿脊・側部：網位沈硫文、繩文RL、網位施文。		219-11

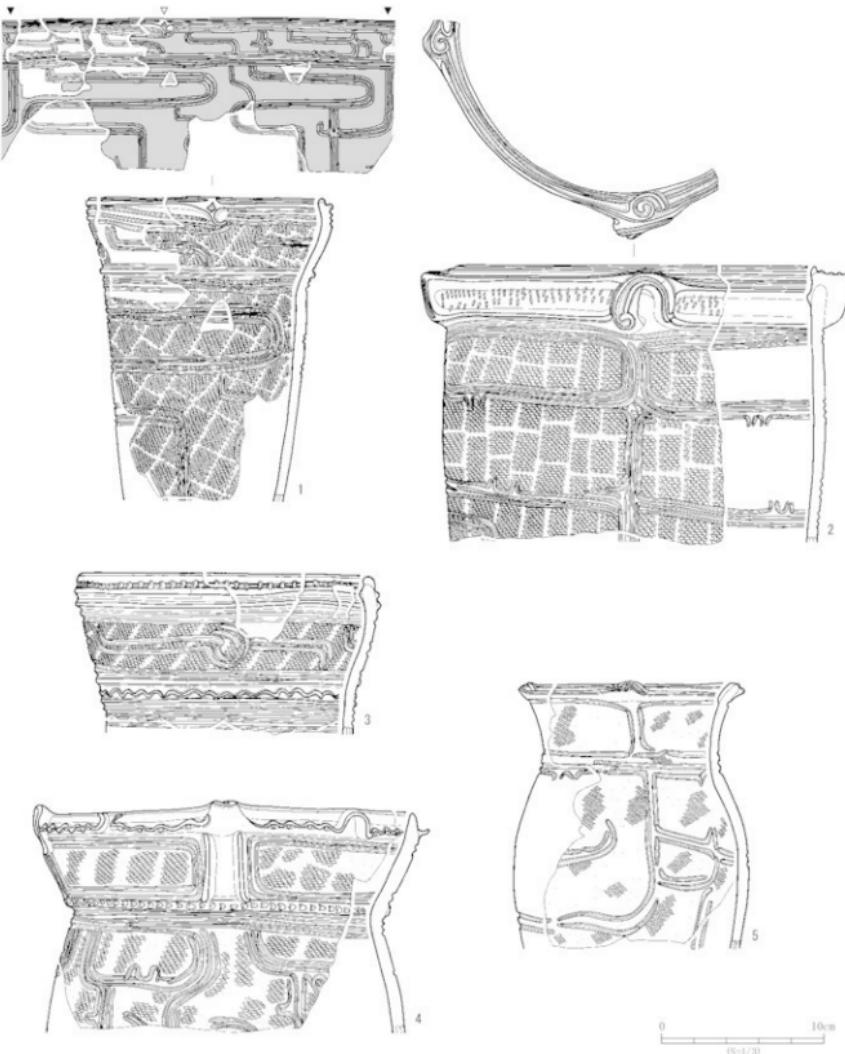


第456図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(43)

No.	登録番号	場所	型形・部位	文様等	編号	写真複板
1	A-60998	①・②層	深鉢・口縁部～側面	口縁部：摘垂把手。口縁部～側面：渦条、波状、弧状、沈線文。織文J系底付施文。	-	211-4
2	A-60999	①・②層	深鉢・口縁部～側面	口縁部：摘垂、三叉状降沈線文。側面：波状、橫位沈線文。口縁部～側面：織文J系。底付：斜位施文。突起判斷。	211-3	
3	A-60999	①・②層	深鉢・口縁部～側面	口縁部：摘垂、弧状降沈線文。側面：無文。側面：摘垂、横位沈線文。口縁部～側面：織文J系。底付施文。	-	
4	A-60991	堆積土	深鉢・口縁部～側面	口縁部：摘垂、弧状、橫位降沈線文。側面：摘垂、橫位沈線文。側面：渦条、橫位沈線文。織文J系底付施文。	-	-

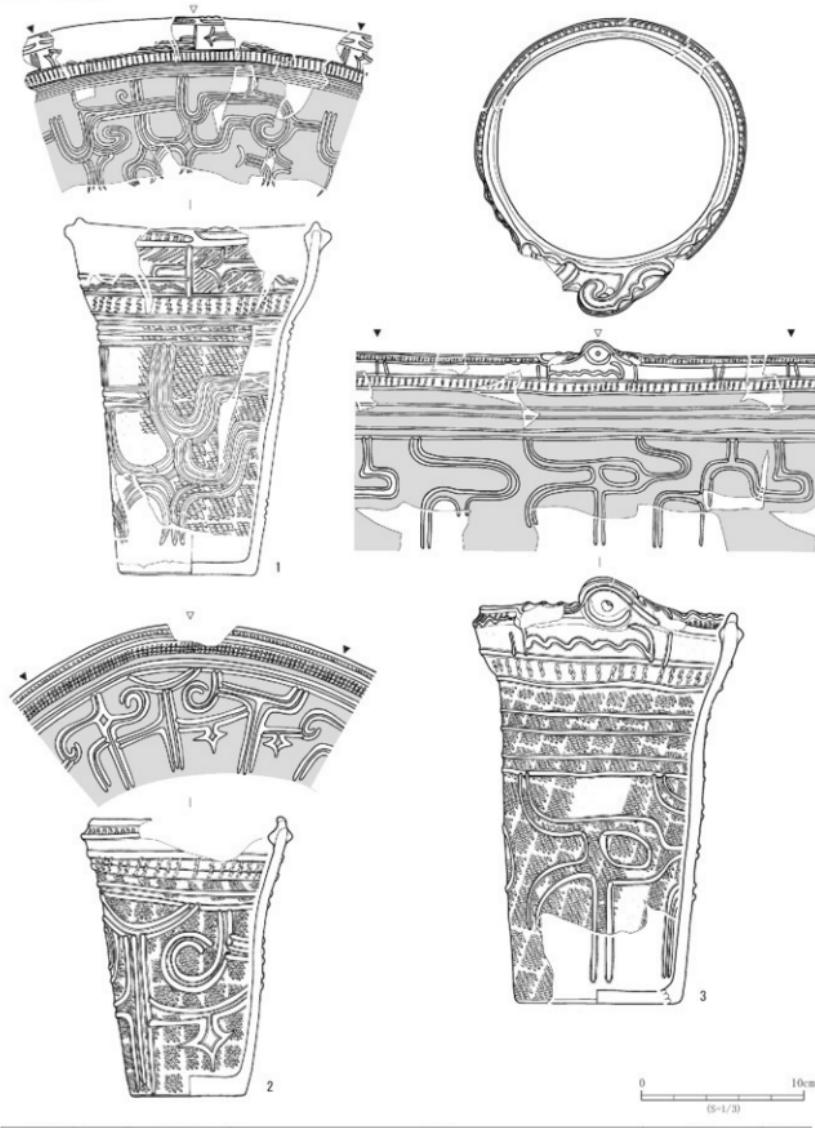


第457図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(44)

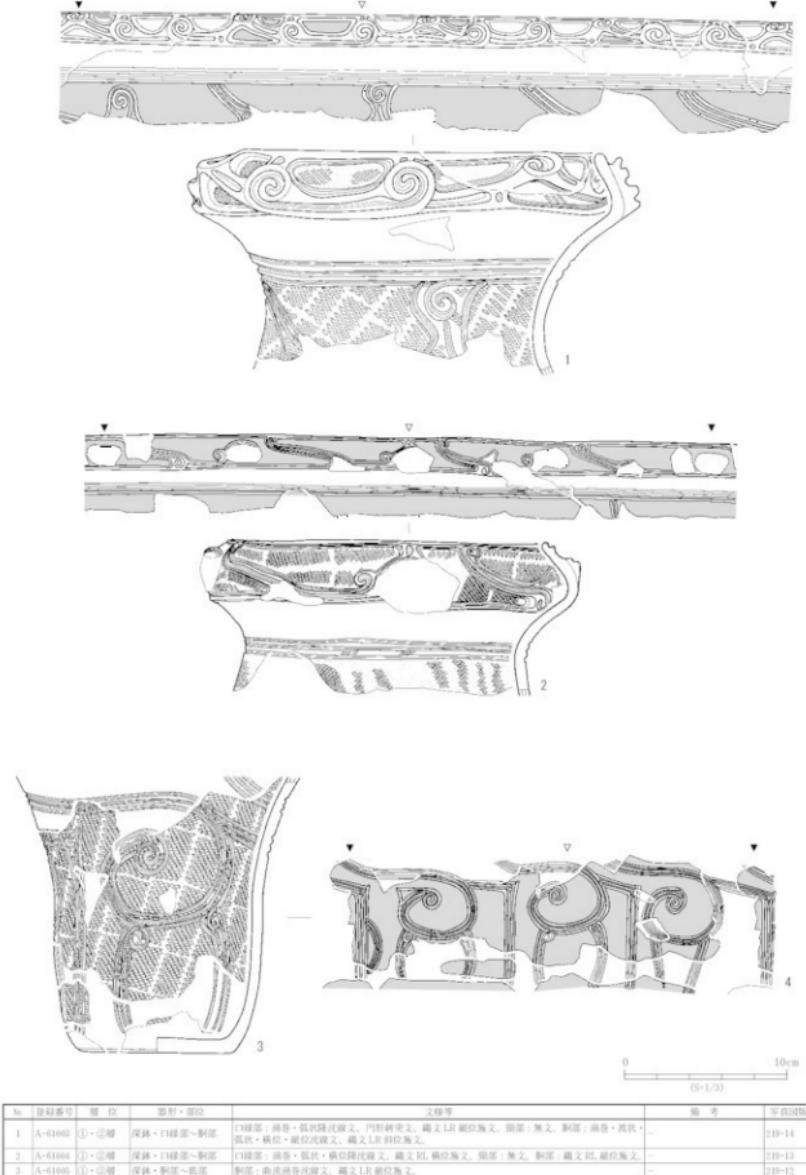


第458図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(45)

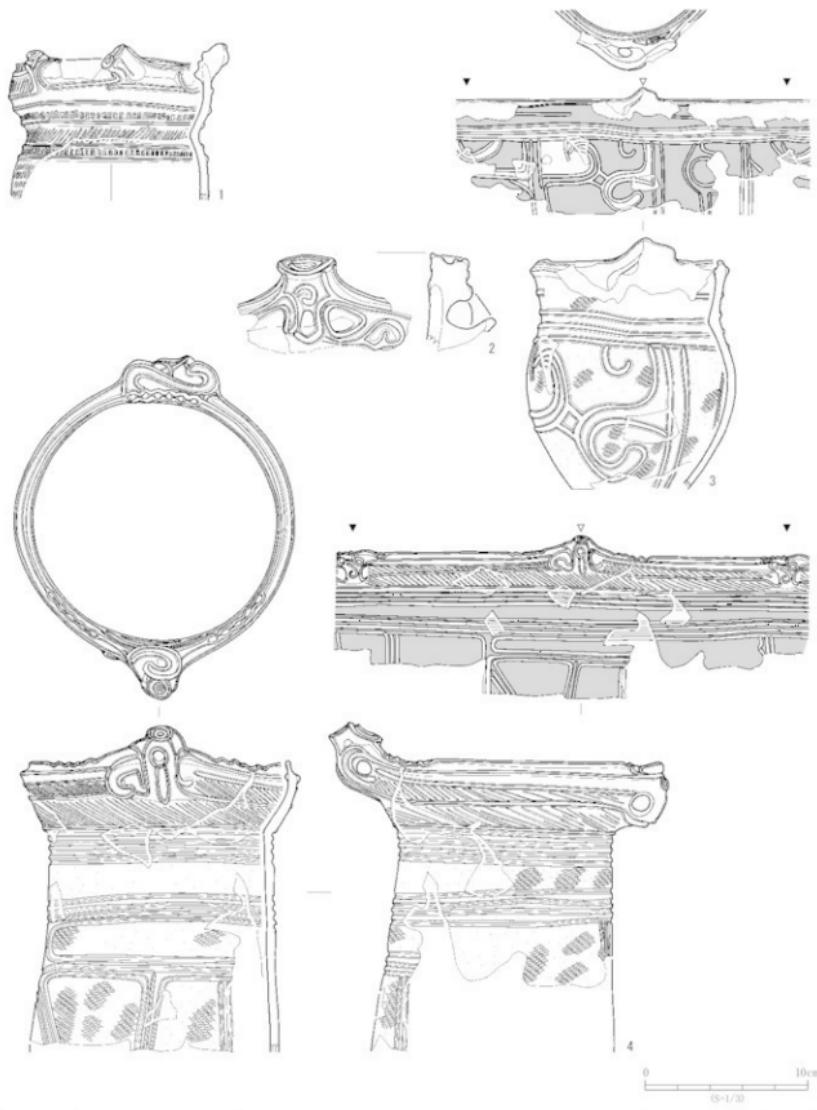
登録番号	種 類	形 态・部位	文様等	編 号	参考図版
1 A-66996	①・三層	深鉢・口縁部～側面	△縞部・側面：縞垂・十字鉄・クラック状沈線文、横位隕沈線文。縞支LR 斜位施文。	-	231-11
2 A-66996	①・三層	深鉢・口縁部～側面	△縞部：筒型突起、押庄文 LR 斜位施文。側面：十字状・弧状沈線文。	-	231-12
3 A-66997	①・三層	深鉢・口縁部～側面	△縞部：筒型・クラック状沈線文、透底斜文、横位隕沈線文。縞支LR 斜位施文。側面：筒状沈線文、横位沈線文。	-	231-9
4 A-66998	①・三層	深鉢・口縁部～側面	△縞部：側小孔状隕沈線文、透底斜文。側面：曲線状沈線文。丁縞部～側面：縞文(茶褐色施文)。	-	231-10
5 A-66999	①・三層	深鉢・口縁部～側面	△縞部：小孔起、口縁部～側面：弧状・縞垂、側位外縫文、縞支LR 斜位施文。	-	231-13



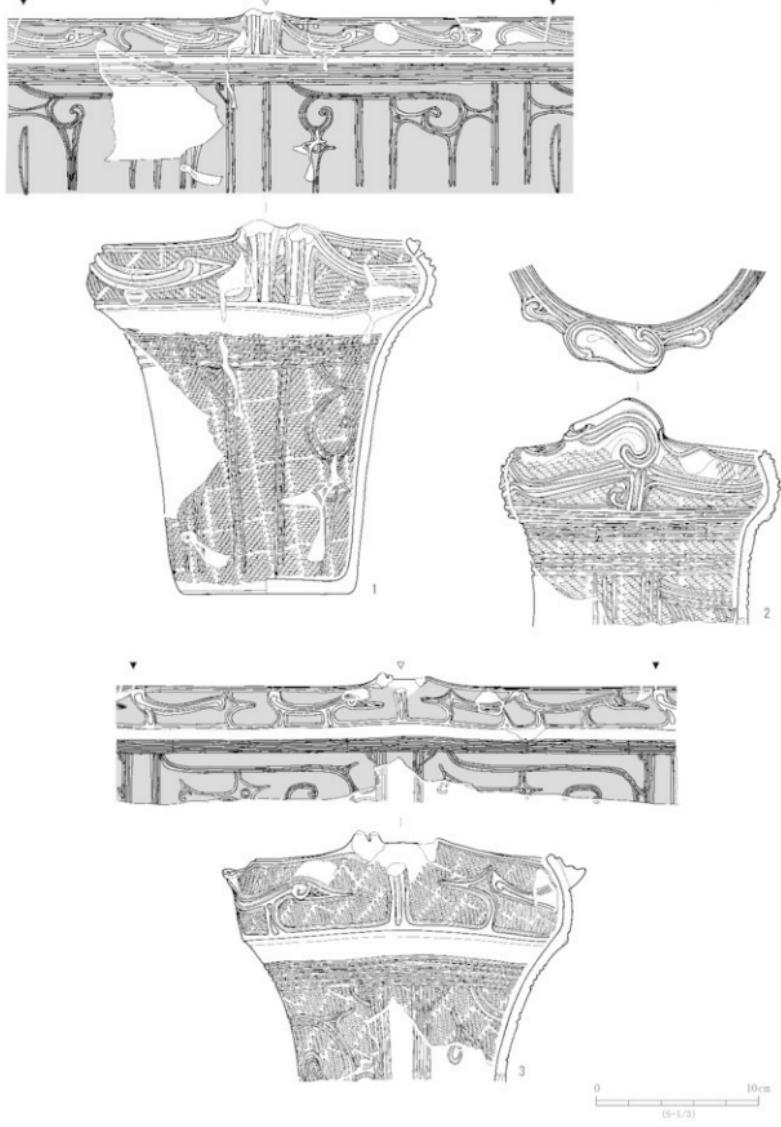
第459図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(46)



第460図 SX626構状の落ち込み出土遺物(47)

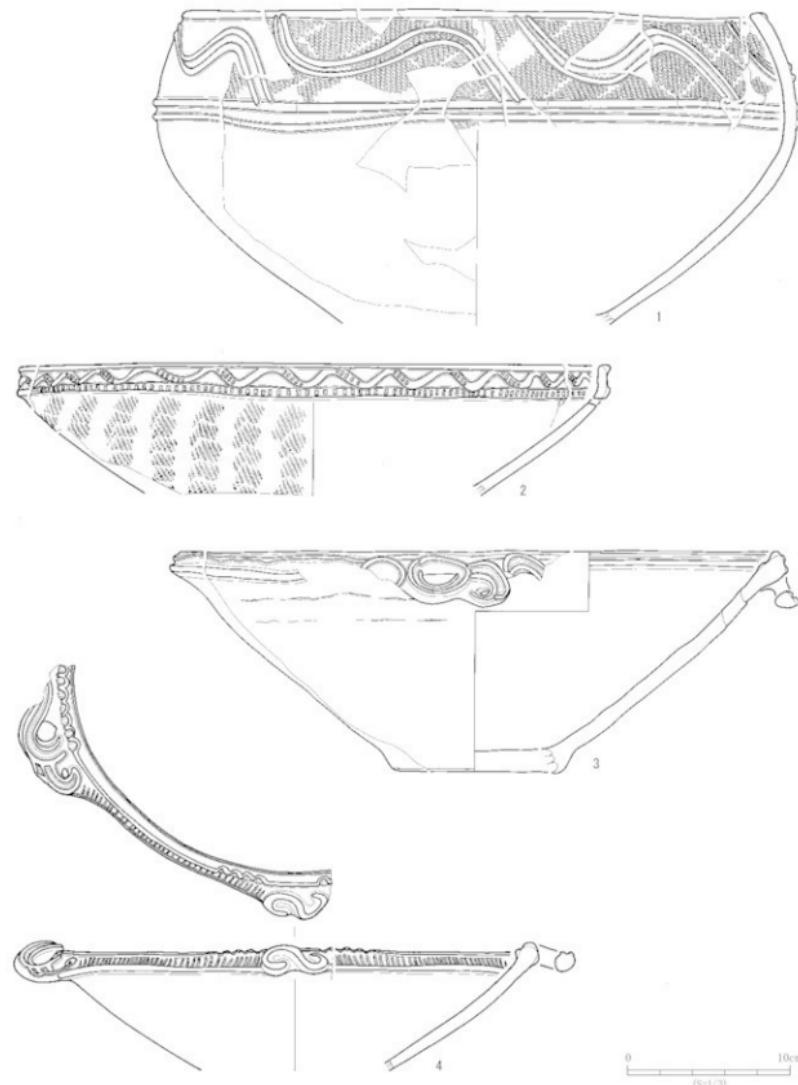


第461図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(48)



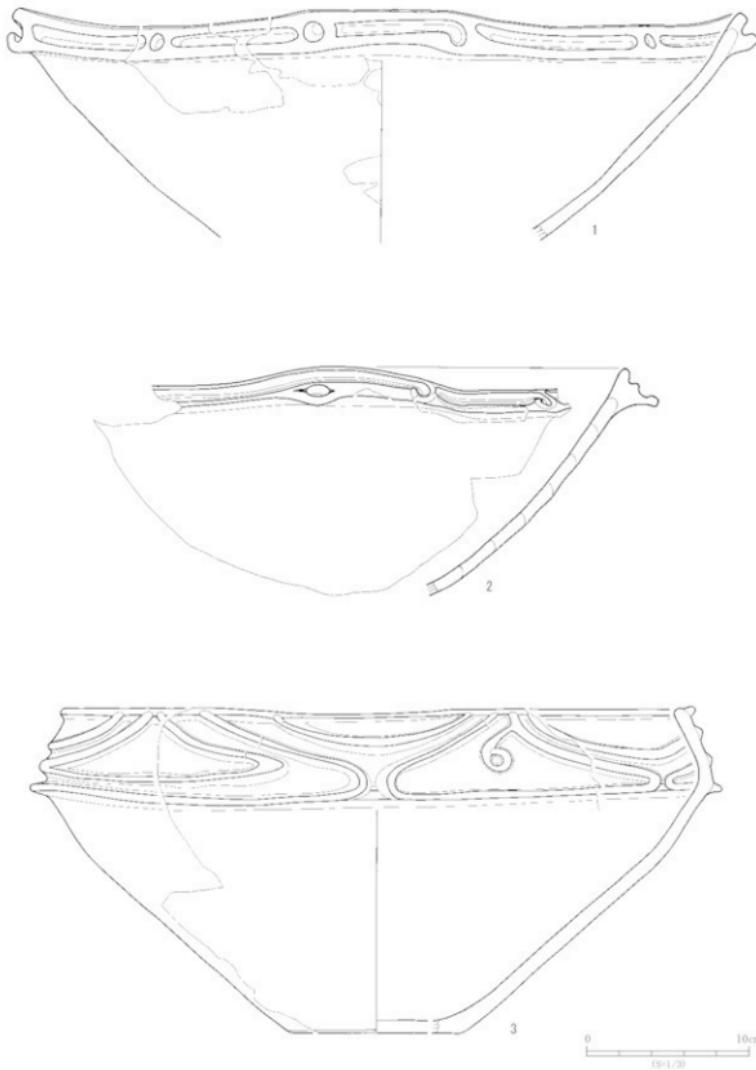
第462図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(49)

No.	登録番号	場所	形態・部位	文様等	備考	写真番號
1	A-6109	①・②層	深鉢・口縁部～鉢底	口縁部：有輪滑巻・弧状陣沈羅文・織文LR・柄位無文。鉢底：無文。斜面部：有輪滑巻・柄位無文。	-	219-21
2	A-61011	①・②層	深鉢・口縁部～鉢底	口縁部：S字状把手・弧状陣沈羅文。鉢底：弧状・柄位・側位沈羅文。口縁～鉢底：織文LR・柄位無文。	-	219-19
3	A-61012	①・②層	深鉢・口縁部～鉢底	口縁部：吳笠突起・有輪滑巻陣沈羅文。鉢底：無文。斜面部：有輪滑巻・柄位・側位沈羅文。口縁部・	-	219-20



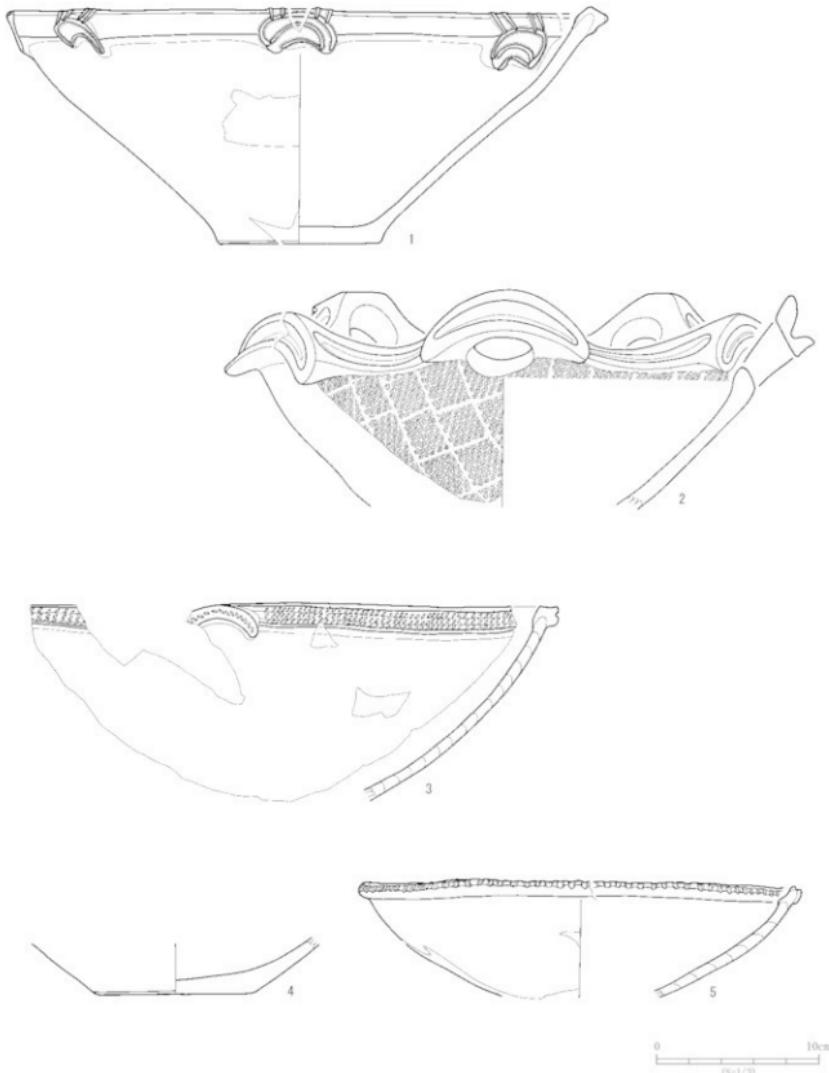
第463図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(50)

品目・登録番号	場所	器形・部位	文様等	期	参考文献
1. A-61012 ①・Ⅲ層	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部：波状・楕円陣波文、縞文LR斜位鳥文、刺繍：ナゲ。	—	—	230-12
2. A-61014 ①・Ⅲ層	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部：楕円陣波文、波状・楕円有田隨波文、刺繍：縞文L斜位鳥文。	—	—	230-14
3. A-61015 ①・Ⅲ層	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部：波状・円筒輪行文、楕円陣波文、刺繍：ナゲ。	—	—	—
4. A-61016 ①・Ⅲ層	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部：波状・S字状輪行文、楕円陣波文、刺繍：ナゲ。	—	—	—



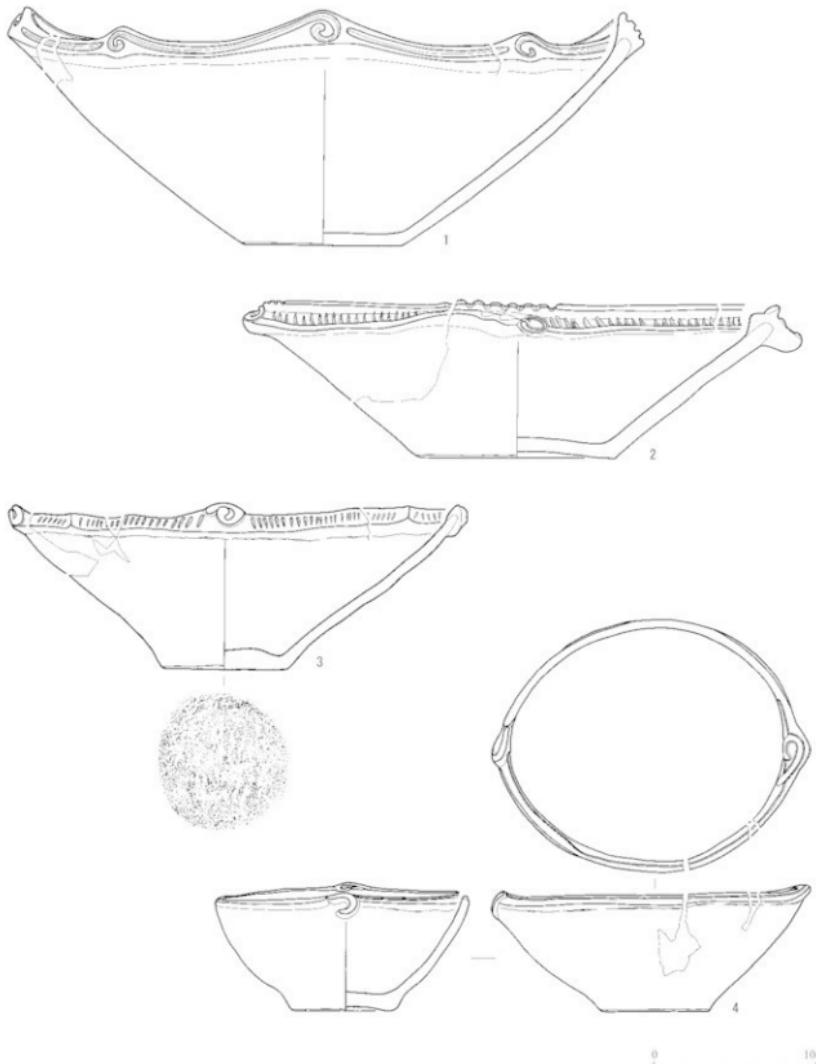
第464図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(51)

No.	登録番号	場所	形態・部位	文様等	備考	参考図版
1	A-61037	最上層	浅鉢・口縁部～側部	口縁部：模彷比翼文、円形軸突文、側部：ナギ。	-	230-13
2	A-61038	①・二層	浅鉢・口縁部～側部	口縁部：模彷龍虎文、側部：ナギ。	-	230-11
3	A-61039	①・二層	浅鉢・口縁部～側部	口縁部：曲多・三角形・弧状隕羅文、側部：ナギ。	-	-



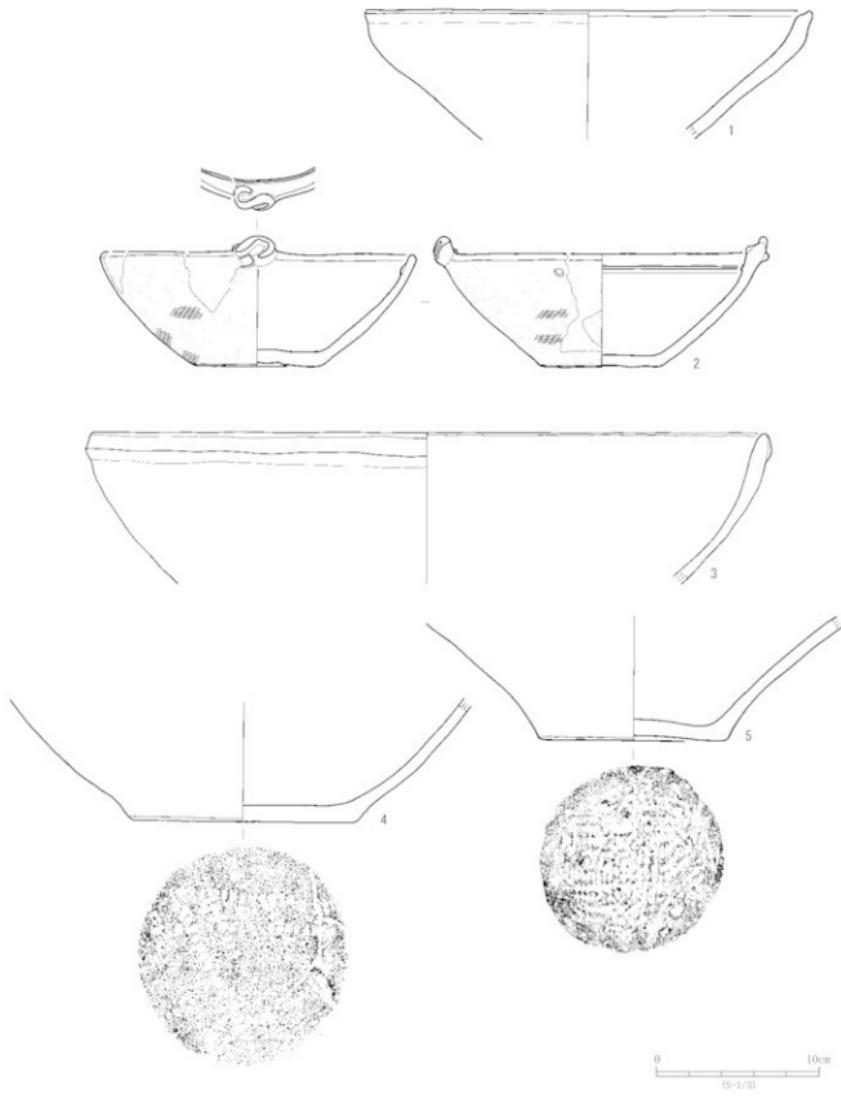
登録番号	種 類	組群・部位	文様等	器 形	写真回数
1. A-61629 ①・口縁	浅鉢	口縁下部～乳頭	口縁部：C字状施文。側面：ナゲ、乳頭：ナゲ。	—	22-15
2. A-61621 丂柄上	浅鉢	口縁部～側面	口縁部：円孔。側面：織文組合斜紋施文。	浅鉢口縁	—
3. A-61622 ①・口縁	浅鉢	口縁部～側面	口縁部：S字マ焰形文上に押住文。側面縁文上に斜紋施文。側面：ナゲ。	—	—
4. A-61623 ①・口縁	浅鉢	乳頭	側面：ナゲ。	—	—
5. A-61624 丂柄上	浅鉢	口縁部～側面	口縁部：有田燒褐文。側面：ナゲ。	—	—

第465図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(52)

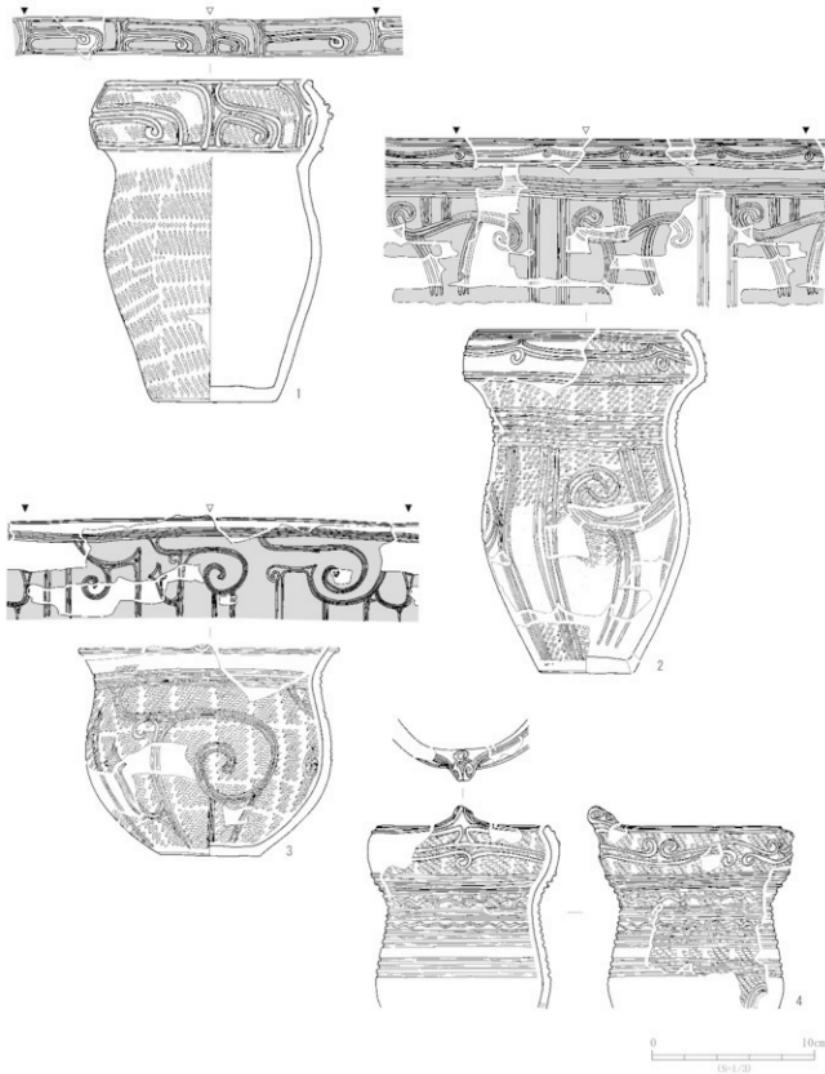


第466図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(53)

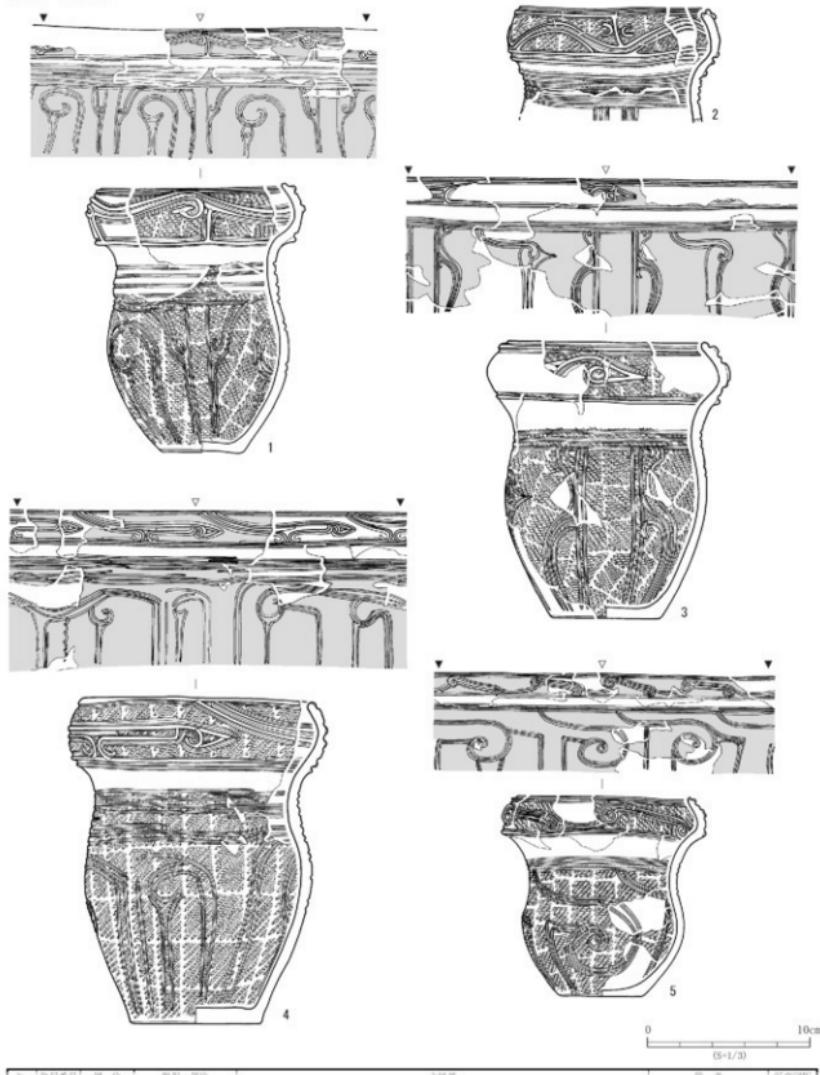
No.	登録番号	種	形・基	文様等	施	参考文献
1.	A-61605	①・Ⅱ期	浅鉢・口縁部～底部	口縁部：漁舟・乳頭状突起、刺繡：ナデ、底部：ナデ。	-	230-16
2.	A-61606	①・Ⅱ期	浅鉢・口縁部～底部	口縁部：漁舟突起、漁舟縫織文、芯沈織紋突起、口沿部押花小波状、刺繡：ナデ、底部：ナデ。	-	-
3.	A-61607	①・Ⅱ期	浅鉢・口縁部～底部	口縁部：漁舟突起、芯沈織紋突起、刺繡：ナデ、底部：ナデ。	-	230-17
4.	A-61608	①・Ⅱ期	浅鉢・口縁部～底部	口縁部：漁舟突起、刺繡：ナデ、底部：ナデ。	-	-



第467図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(54)

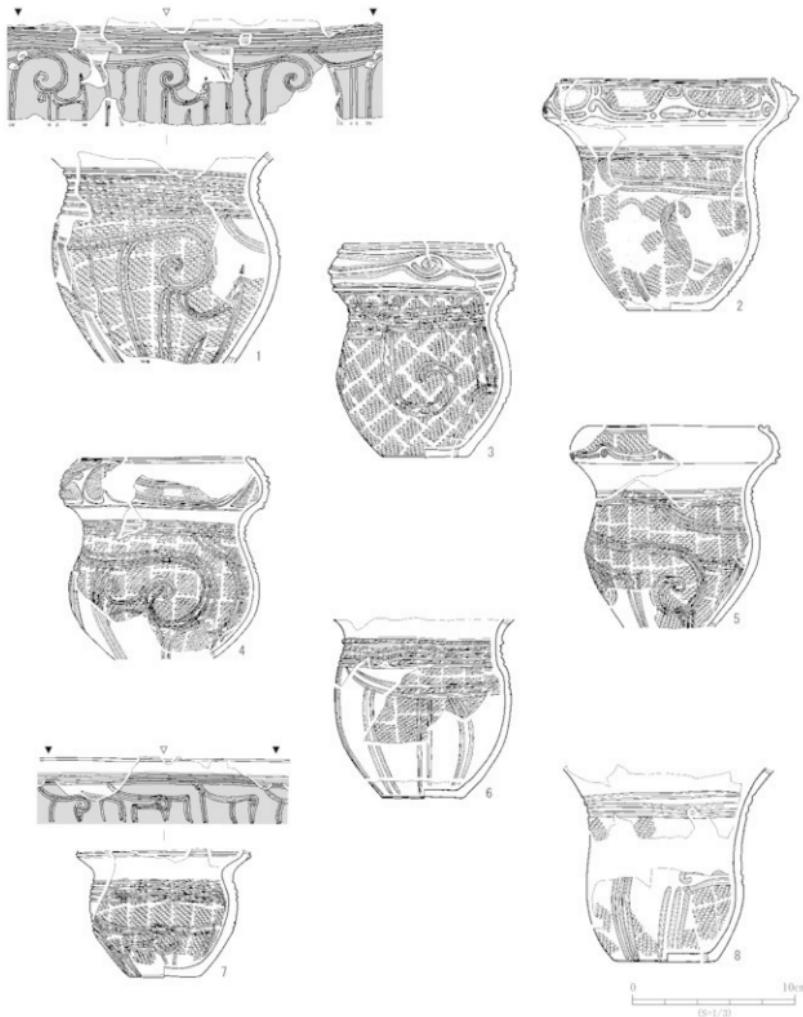


第468図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(55)



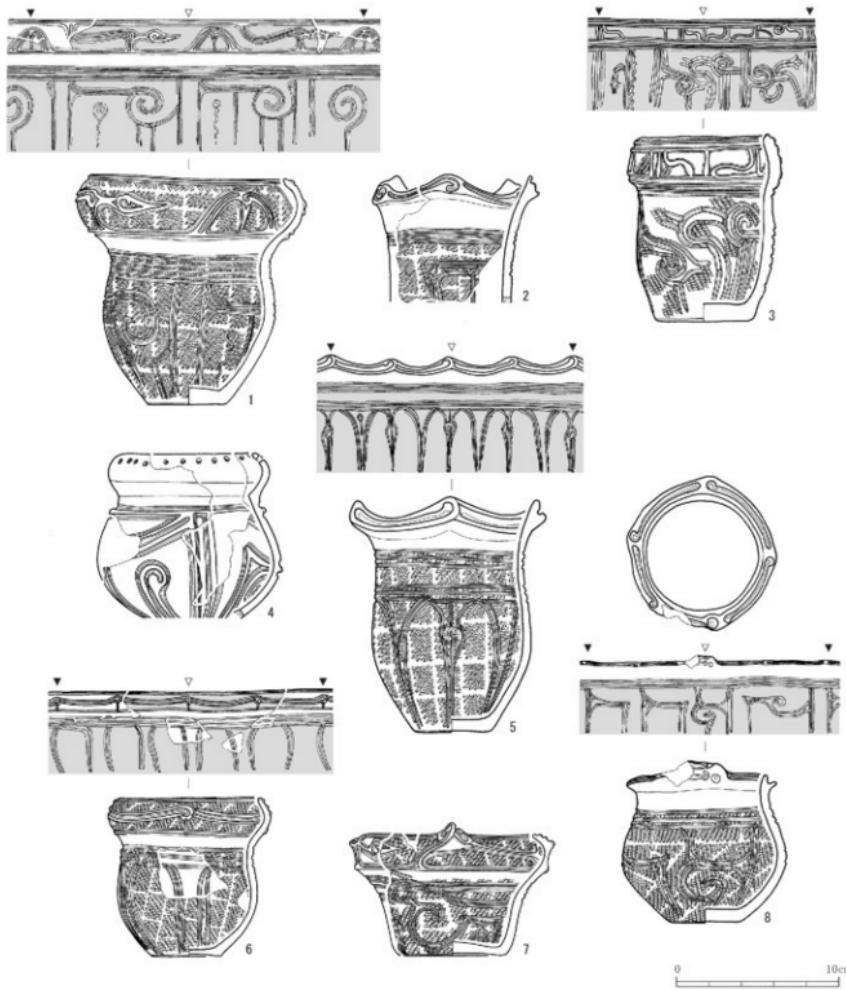
No.	登錄番号	種類	器形・部位	文様等	編考	厚さ
1	A-61038	①・②層	小型深鉢・口縁部～底面	口縁部：有隕曲巻、虎紋、橫位。底位隕沈繩文。頭部：無文。側部：渦卷、橫位。底位沈繩文。	-	222-1
2	A-61039	最上層	小型深鉢・口縫部～斜面部	口縫部：虎紋、弧狀、橫位。底位隕沈繩文。頭部：橫位沈繩文。側部：底位沈繩文。口縫部～側部：繩文。頭部：無文。	-	222-22
3	A-61040	①・②層	小型深鉢・口縫部～底面	口縫部：有隕曲巻隕沈繩文。頭部：無文。側部：渦卷、弧狀、橫位。底位：橫位沈繩文。口縫部～側部：繩文。頭部：無文。	-	222-2
4	A-61041	①・②層	小型深鉢・口縫部～底面	口縫部：有隕曲巻、虎紋。頭部：無文。側部：渦卷、橫位。底位：橫位沈繩文。口縫部～側部：繩文。頭部：無文。	-	222-3
5	A-61042	①・②層	小型深鉢・口縫部～底面	口縫部：渦卷。底位隕沈繩文。頭部：無文。側部：渦卷、弧狀沈繩文。側部：橫位。底位：無文。	-	222-6

第469図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(56)



No.	登録番号	場所	形態・部位	文様等	編号	写真版
1	A-61043	①・三層	小型深鉢・縁部～胴部	縁部：楕位沈線文、胴部：有棘渦曲文、須部～脚部：織文LH脚位施文。	-	222-7
2	A-61044	①・三層	小型深鉢・口縁部～底部	口縁部：須部突起、須部隨代線文、須部側變文、織文LH脚位施文、須部：無文、胴部：須部側變文、織文LH脚位施文、底部：ナデ。	-	222-4
3	A-61045	①・三層	小型深鉢・口縁部～底部	口縁部：須部、楕位沈線文、須部：楕位沈線文、胴部：渦渦沿線文、須部～脚部：織文LH脚位施文。	-	222-5
4	A-61046	①・三層	小型深鉢・口縁部～胴部	口縁部：須部側變文、織文LH脚位施文、須部：無文、胴部：有棘渦曲線文、織文LH脚位施文。	-	-
5	A-61047	①・三層	小型深鉢・口縁部～胴部	口縁部：須部隨代線文、織文LH脚位施文、須部：無文、胴部：須部側變文、織文LH脚位施文。	-	222-8
6	A-61048	①・三層	小型深鉢・脚部～底部	須部：楕位沈線文、胴部：楕位沈線文、須部～脚部：織文LH脚位施文、須部：ナデ。	-	-
7	A-61049	①・三層	小型深鉢・脚部～底部	須部：無文、胴部：渦渦沿線文、須部～脚部：須位施文、須部：ナデ。	-	222-14
8	A-61050	上層	小型深鉢・縁部～胴部	須部：無文、胴部：渦渦、楕位沈線文、織文LH脚位施文、底部：ナデ。	-	-

第470図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(57)



No.	登錄番号	場所	形態・部位	文様等	備考	写真類別
1	A-61001	①・Ⅲ層	小型深鉢、口縁部～底部	口縁部：有施墨痕・弧状降沈線文、縹文・LR構位・斜位施文、頭部：横位・弧状・頭位・降沈線文、縸文・LR・縦位施文、底部：ナデ。	-	
2	A-61002	角繩土	小型深鉢、口縁部～底部	口縁部：頭部・弧状降沈線文、頭部：無文、側部：弧状・構位・縦位降沈線文、縸文・LR・縦位施文、底部：弧状口縫。	-	
3	A-61003	①・Ⅲ層	小型深鉢、口縁部～底部	口縁部：フランク氏・縦位降沈線文、構位降沈線文、縸文・LR・構位施文、頭部：頭部降沈線文、縸文・LR・斜位施文、底部：ナデ。	221-9	
4	A-61004	①・Ⅲ層	小型深鉢、口縁部～底部	口縁部：円柱列・頭部・施文・頭部・縦位降沈線文。	-	221-12
5	A-61005	①・Ⅲ層	小型深鉢、口縁部～底部	口縁部：構位降沈線文、頭部・頭部・弧状・構位降沈線文、縸文・LR・斜位施文、頭部：無文、側部：弧状・構位降沈線文、底部：ナデ。	221-15	
6	A-61006	①・Ⅲ層	小型深鉢、口縁部～底部	口縁部：頭部・頭部降沈線文、縸文・LR・斜位施文、頭部：無文、側部：弧状・構位降沈線文。	-	221-28
7	A-61007	角繩土	小型鉢、口縫部～底部	口縫部：有施墨痕降沈線文、頭部：頭部降沈線文、縸文・LR・縦位施文、底部：ナデ。	-	221-19
8	A-61008	①・Ⅲ層	小型深鉢、口縫部～底部	口縫部：降沈線文、円形斜位文、頭部：無文、側部：頭部降沈線文、縸文・LR・構位・斜位施文、底部：ナデ。	(縦)重起欠落。	221-01

第471図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(58)



No.	登録番号	種位	盤形・底形	文様等	備考	写真版
1	A-6109	①・Ⅲ層	小型深鉢・口縁部～底部	口縁部：輪形容手、有刻度折隠瓣文、渦巻、橫位・縱位隠瓣文。頭部：横位隠瓣文。粗沈羅柄刺史文。剣部：渦巻、剣先狀、クランク状隠瓣文。底部：ナゲ。	—	223-1
2	A-6109	①・Ⅲ層	小型深鉢・口縁部～底部	口縁部：弧状浅羅文。剣部：三叉状、弧状、橫位隠瓣文。口縫部～剣部：織文LR・縱位隠瓣文。底部：ナゲ。	—	—
3	A-6109	①・Ⅲ層	小型深鉢・口縁部～底部	口縫部：渦巻突起。頭部：横位隠瓣文。剣部：織文LR・縱位隠瓣文。底部：ナゲ。	—	223-2
4	A-6109	角標上	小型深鉢・剣部～底部	剣部：剣先狀、曲羅文・織位隠瓣文。底部：ナゲ。	摩滅薄い。	—
5	A-6109	①・Ⅲ層	小型深鉢・剣部	渦巻、剣先狀、織位隠瓣文。織文LR・縱位隠瓣文。	—	—
6	A-6109	①・Ⅲ層	小型深鉢・剣部～底部	渦巻、クランク状、弧状隠瓣文。渦巻貝？縦位無文。	—	—
7	A-6109	①・Ⅲ層	小型深鉢・剣部	渦巻、剣先狀、弧状、縦位隠瓣文。織文LR・縱位隠瓣文。	—	—

第472図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(59)



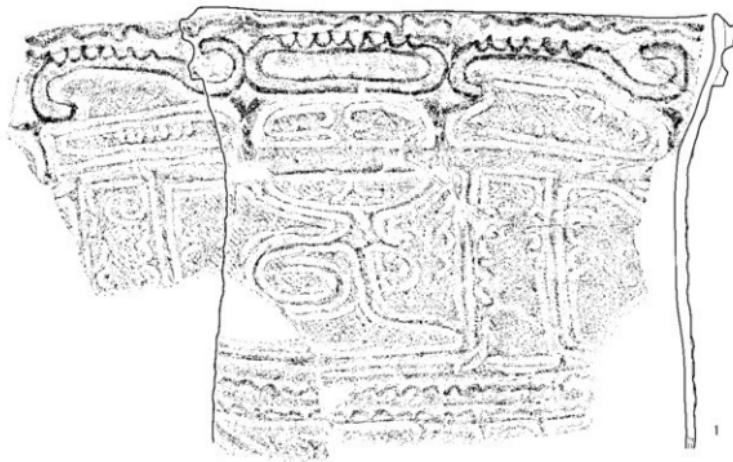
No.	登錄番号	部位	断面・部位	文様等	備考	写真版
1.	A-6166	①・②層	小型深鉢、頭部～乳頭	頭部：無文・横位沈底文、側部：曲底渦巻文・縹文、縹文LR、縹位無文、底部：ナデ。	-	222-16
2.	A-6167	角墻上	小型深鉢、口縁部	横位沈底文、内斜斜突文。	-	-
3.	A-6168	①・②層	小型深鉢、口縁部～側部	口縁部：ナデ、側部：曲底渦巻文・縹文、縹文LR、縸位無文。	-	-
4.	A-6169	角墻上	小型深鉢、口縁部～乳頭	口縁部：渦巻花文文、側部：曲底渦巻文・縸文、縸位無文、底部：ナデ。	渡浜口縁。	222-5
5.	A-6170	①・②層	小型深鉢、頭部～乳頭	頭部：被扒・縸位沈底文、側部：渦巻・弧状・網目沈底文、頭部～側部：縸文RL、縸位無文、底部：ナデ。	-	222-10
6.	A-6171	①・②層	小型深鉢、口縁部～側部	口縁部：渦巻・弧状・網目沈底文、頭部：無文、側部：横位沈底文、口縫部・縸部：縸文RL、縸位無文。	-	222-13
7.	A-6172	角墻上	小型深鉢、頭部～乳頭	頭部：被扒・縸位沈底文、縸文LR、縸位無文、底部：ナデ。	-	-
8.	A-6173	上層	小型深鉢、側部～乳頭	側部：被扒・縸位沈底文。	摩滅強しい。	-
9.	A-6174	①・②層	小型深鉢、側部～乳頭	側部：被扒・縸位沈底文、ナデ、底部：ナデ。	-	-
10.	A-6175	①・②層	小型深鉢、側部～乳頭	側部：縸文LR、縸位無文、底部：ナデ。	-	222-11
11.	A-6176	角墻上	小型深鉢、口縁部～乳頭	口縫部・側部：ナデ、	-	222-4
12.	A-6177	①・②層	小型深鉢、口縁部～乳頭	口縫部・側部：縸文LR、縸位沈底文、底部：ナデ。	-	222-3

第473図 SX26溝状の落ち込み出土遺物(60)



登録番号	場所	様形・部位	文様等	場所	参考	参考図版
1. A-61078	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；横脊？・低伏・網目波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—
2. A-61079	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；横脊？・網目波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—
3. A-61080	①・三層	小型窓跡・側面～側面	網目；横位波線文、側面；有棘頭状波線文、網目～側面、織文LR斜面無し。	—	—	—
4. A-61081	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；横位波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—
5. A-61082	①・三層	小型窓跡・口縁部～側面	口縫；無記、側面；低伏・網目、網目波線文、織文LR斜面無し。	—	—	—
6. A-61083	①・三層	小型窓跡・側面～側面	網目；横位波線文、側面；低伏・網目波線文、織文LR斜面無し。	—	—	—
7. A-61084	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；側面；網目波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—
8. A-61085	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；側面；低伏・網位波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—
9. A-61086	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；低位波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—
10. A-61087	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；低位波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—
11. A-61088	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；横脊？・網目波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—
12. A-61089	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；横脊？・低伏・網目波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—
13. A-61090	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；横位波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—
14. A-61091	海綿土	小型窓跡	網代。	—	—	—
15. A-61092	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目波線文、織文LR斜面無し、底部：ナデ。	底座穿孔	—	—
16. A-61093	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；網位波線文、織文LR斜面無し、底部：木製鉢？	—	—	—
17. A-61094	①・三層	小型窓跡・側面～底面	網目；織文LR斜面無し、底部：ナデ。	—	—	—

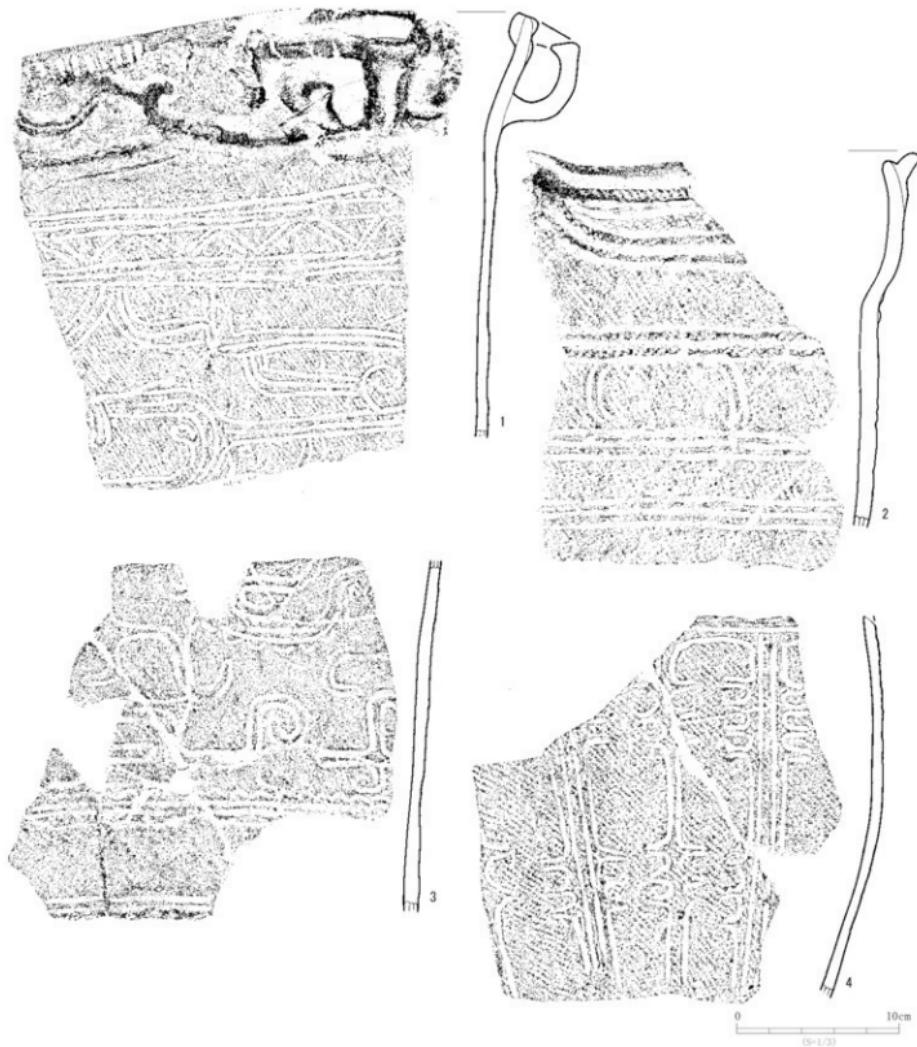
第474図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(61)



0
(S=1/2)
10cm

No.	登錄番号	層位	類別・部位	文様等	備考	参考文献
1	A-41085	①・②層	深鉢・口縁部～側部	口縫部・渦巻・小波紋・横内「Y」字状隕羅文、軸部・渦巻・斜生紋・弧状隕沈羅文、小波紋隕羅文。	15回～	228-1
2	A-41086	①・②層	深鉢・側部	小波紋隕羅文、渦巻・クラック紋・弧状隕羅文、繩文1区割印施文。	15回～	228-2

第475図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(62)



No.	登記番号	場所	形形・部位	文様等	施号	写真番号
1	A-61097	①・Ⅱ層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：輪状把手、瓶口形沈文、渦巻、弧状降臨文。胴部：渦巻、山形、瓶口形沈文。縞文L字形～網目形：縞文L字形降臨文。	-	229-3
2	A-61098	①・Ⅱ層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：口縫突起、瓶口形降臨文、降臨上押江縞文L字形沈文。胴部：弧状・瓶口形沈文。口縫突起～網目形：縞文L字形降臨文。	-	-
3	A-61099	①・Ⅱ層	深鉢・胴部	渦巻・クリンク状・弧状・瓶口形沈文。縞文L字形～網目形沈文。	-	230-4
4	A-61100	①・Ⅱ層	深鉢・胴部	弧状・瓶口・瓶口形沈文。縞文L字形～網目形沈文。	-	230-5

第476図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(63)



No.	登録番号	場所	型形・断面	文様等	備考	参考図版
1	A-61101	①・②層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部: 滅帝貼付文、透底斜突文、十字孔降羅文。縹部: 弧状・縹位沈文。胴部: 滅帝・弧状・縹位沈文。縹文LJR 席位施文。	-	-
2	A-61102	角盤上	深鉢・口縁部	口縁部: 滅帝・弧状・縹位降羅文、クラシック状・縹位透底文。縹文LJR 席位施文。	-	-
3	A-61103	①・②層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部: 滅帝・弧状・縹位降羅文、クラシック状・縹位透底文。縹部: 滅文・縹位沈文。縹文LJR 席位施文。	-	-
4	A-61104	角盤上	深鉢・胴部～脚部	縹部: 無文・縹位沈文。脚部: 曲底曲唇口縫文。縹文LJR 席位施文。	-	-
5	A-61105	①・②層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部: 純色降羅文。胴部: 純色貼付文。脚部: 弧状・縹位沈文。縹部: 弧状・弧状・縹位降羅文。縹部: 純色・縹位施文。	-	-

第477図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(64)



第478図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(65)



No.	登記番号	場所	組形・部位	文様等	備考	写真版
1.	A-61142	塙地	深鉢・口縁部～側面	口縁部：網目・横山阿彌文、押付錐被文。側面：硫文上口周文。	-	-
2.	A-61143	(1)・塙	深鉢・口縁部～側面	口縁部：(5)・字状錐付文、横山阿彌文、押付錐被文。側面：硫文上口周文。	-	-
3.	A-61144	(1)・塙	深鉢・口縁部～側面	口縁部：字状錐付文、横山阿彌文、押付錐被文。側面：硫文上口周文。	-	-
4.	A-61145	(1)・塙	深鉢・口縁部～側面	口縁部：(5)・字状錐付文、横山阿彌文、押付錐被文。側面：硫文上口周文。	-	-
5.	A-61146	(1)・塙	深鉢・側面	口縁部：網目・ランク状・波状錐被文、口縁部～側面：硫文上口周文。	-	-

第479図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(66)



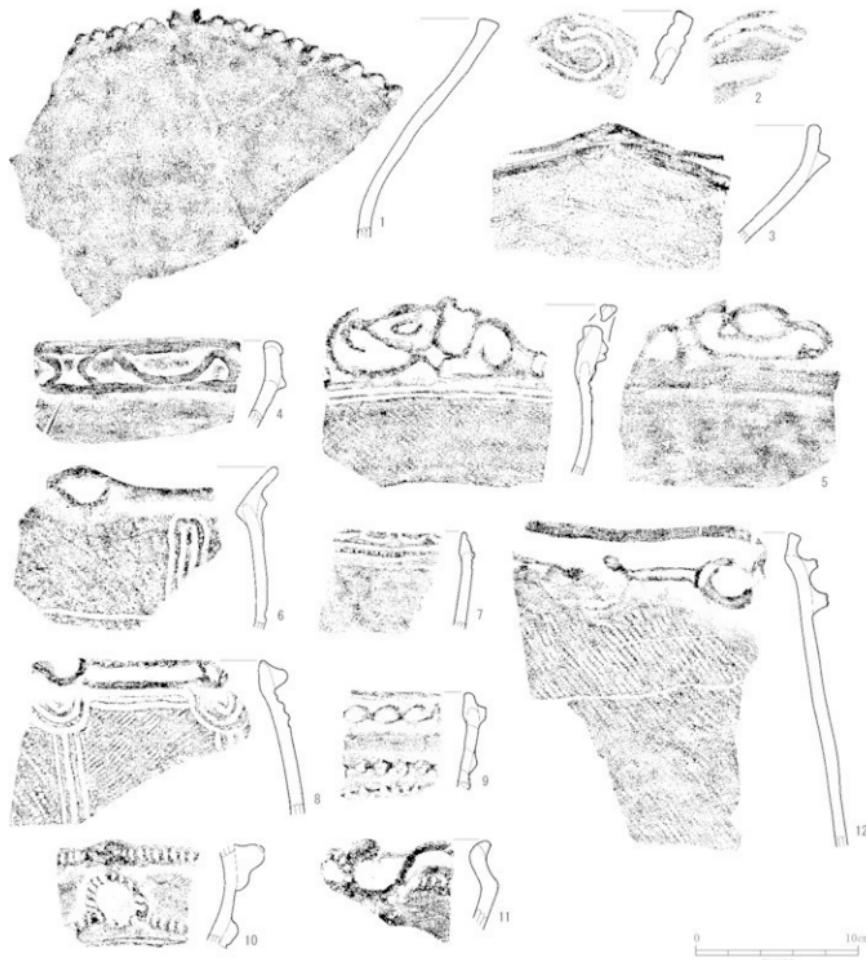
No.	登録番号	場所	組合・部位	文様等	参考	写真版
1.	A-61107	(1)・(2)層	複数・口縁部～胴部	口縁部：弧状・横山陣線文、頭部：横山陣線文、(1)縫合から胴部：織文LR+網目無文。	-	-
2.	A-61108	(1)・(2)層	複数・口縁部～胴部	口縁部：波状・弧状・横山陣線文、織文LR+網目無文、頭部：無文+横山陣線文。	-	-
3.	A-61109	(1)・(2)層	複数・口縁部～胴部	口縁部：口縁把手・橫山陣線文、頭部：波氏・横山陣線文、(1)縫合～頭部：織文LR+網目無文。	-	-
4.	A-61130	(1)・(2)層	複数・口縁部～胴部	(1)縫合：字伏筋行文、縫合・縫合陣線文、口縫合～胴部：織文LR+網目無文。	-	-
5.	A-61131	角標上	複数・口縁部～胴部	口縁部：弧状・横山陣線文、頭部：無文、口縁部・胴部：織文LR+網目無文。	-	-

第480図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(67)



No.	登錄番号	場所	形狀・部位	文様等	備考	写真類
1	A-6112	海掛土	浅鉢・口縁部～胴部	内縁部：波状・幾何模様文、底面：幾何模様文、柄部：硫文(?)・網目模様文、胴部：硫文(?)・網目模様文。	補修孔。	258-6
2	A-6113	(1)・(2)	浅鉢・口縁部～胴部	内縁部：(縦)螺旋起、底面：網目模様文、柄部：硫文(?)・網目模様文、胴部：硫文(?)・網目模様文。		258-7
3	A-6114	海掛土	浅鉢・口縁部～胴部	内縁部：(横)螺旋文、門形模様文、柄部：硫文(?)・網目模様文。		
4	A-6115	(1)・(2)	浅鉢・口縁部～胴部	内縁部：(横)螺旋文、柄部：硫文(?)・網目模様文、胴部：無文。		
5	A-6116	(1)・(2)	浅鉢・口縁部～胴部	内縁部：(横)螺旋文、柄部：無文。		
6	A-6117	(1)・(2)	浅鉢・口縁部～胴部	内縁部：(横)螺旋文、柄部：ナゲ。		
7	A-6118	(1)・(2)	浅鉢・口縁部～胴部	内縁部：門形・網目模様文、柄部：ナゲ。	補修孔。	

第481図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(68)



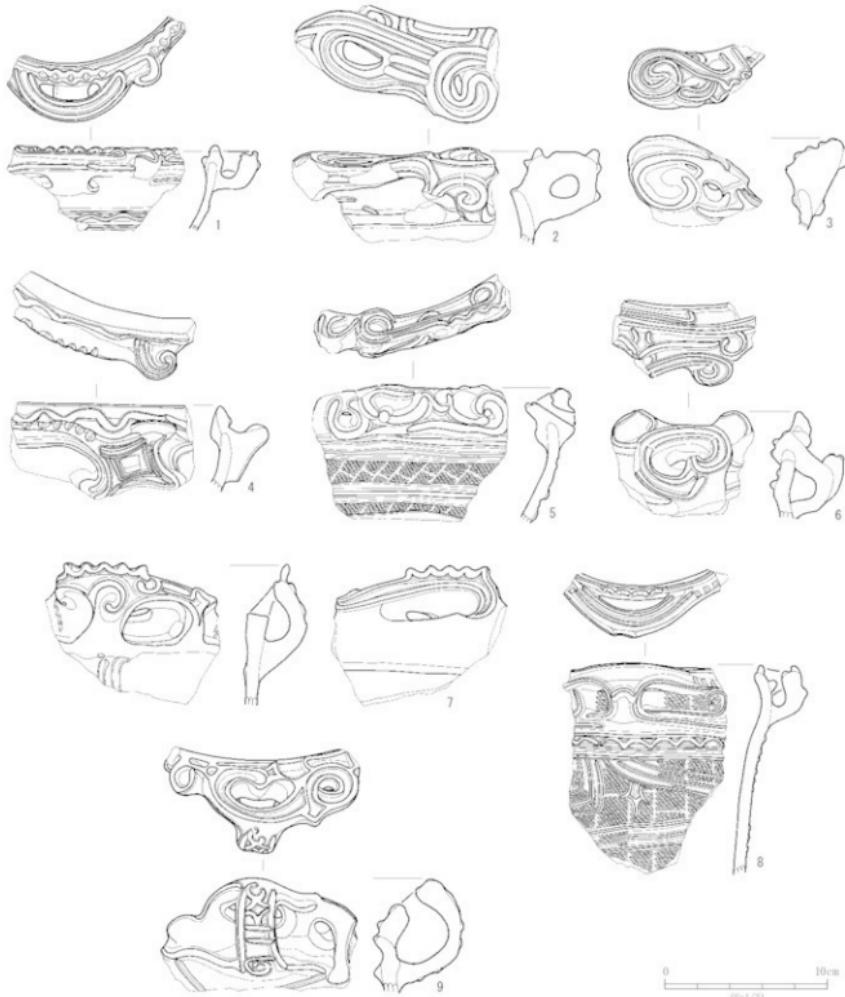
発見番号	層位	器形・部位	文様等	参考	参考地點
1. A-61129	①・Ⅲ層	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部：網目状模様、剥離。ナデ。		228-10
2. A-61130	海螺壳	浅鉢・口縁部	海生紋様、内面：乳状、横位波線文。		-
3. A-61131	①・Ⅲ層	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部：網目状模様、剥離。ナデ。		-
4. A-61132	①・Ⅲ層	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部：網目、低地波線文、剥離。ナデ。		-
5. A-61133	①・Ⅲ層	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部：網目把手、網目、重形式波線文、剥離。織文LJR前位施文。		-
6. A-61134	海螺壳	深鉢・口縁部	小尖起、網目、網目波線文、織文LJR前位施文。		-
7. A-61135	①・Ⅲ層	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：網目、網目波線文、有孔隙複文、剥離。ナデ。		-
8. A-61136	海螺壳	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：網目、網目波線文、剥離。前位。織文LJR前位施文、織文LJR前位施文。		-
9. A-61137	①・Ⅲ層	深鉢・口縁部	網目波線複文。		-
10. A-61138	海螺壳	深鉢・口縁部	内形、網目有孔隙複文。		-
11. A-61139	海螺壳	深鉢・口縁部	(S) 手形有孔隙複文。		-
12. A-61140	海螺壳	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：網目、網目波線文、剥離。織文LJR前位施文。		-

第482図 SX262溝状の落ち込み出土遺物(69)



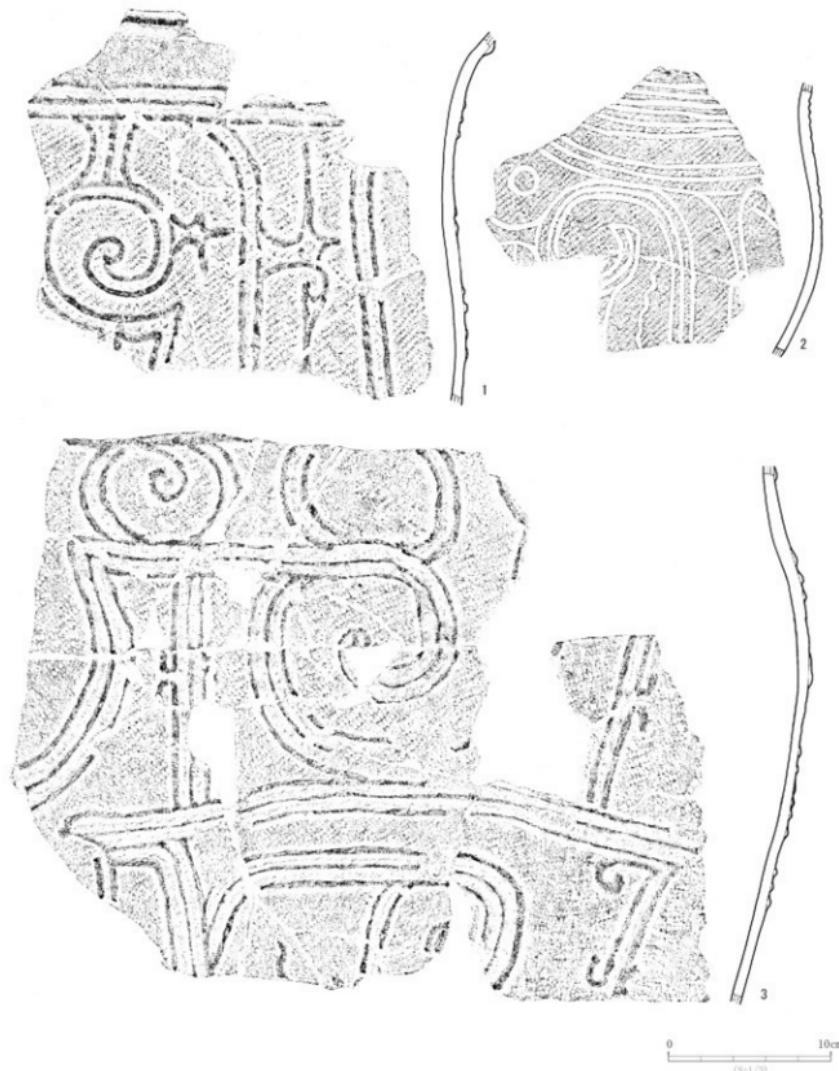
No.	目録番号	種類	地質・部位	文様等	編考	参考文献
1	A-61141	角櫛土	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：横孔螺旋文、胴部：繩文列、網目施文。	-	-
2	A-61142	角櫛土	深鉢・口縁部～胴部	口縁部：横孔螺旋文、胴部：繩文列、網目施文。	-	-
3	A-61143	角櫛土	深鉢・口縁部	有孔螺旋文、横孔螺旋文、網目施文。	-	-
4	A-61144	角櫛土	深鉢・口縁部	口縫螺旋文、網目：斜位青銅火綱文。	-	-
5	A-61145	①・Ⅱ・Ⅲ期	深鉢・口縁部	口縫螺旋文、凹形斜刺突起、網目：斜位沈綱文。	-	-
6	A-61146	角櫛土	深鉢・口縁部	網目：網目螺旋文。	補修孔	-
7	A-61147	角櫛土	深鉢・口縁部	網目：網目螺旋文、網目：横孔螺旋文。	-	230-3
8	A-61148	①・Ⅱ・Ⅲ期	深鉢・口縫部～胴部	口縫部：網目、弦式：横孔螺旋文、網目：次火綱文、胴部：横孔螺旋文。	-	229-7
9	A-61149	①・Ⅱ・Ⅲ期	深鉢・口縫部	網目螺旋文、内面：斜刺突起。	-	-
10	A-61150	角櫛土	深鉢・口縫部～胴部	口縫部：横孔螺旋文、網目：斜位沈綱文、先端斜切突起、胴部：網目螺旋文。	-	-
11	A-61151	①・Ⅱ・Ⅲ期	深鉢・口縫部	口縫螺旋文、先端斜切突起。	-	-
12	A-61152	角櫛土	深鉢・口縫部	横孔螺旋文、網目螺旋文、先端斜切突起。	-	-

第438図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(70)

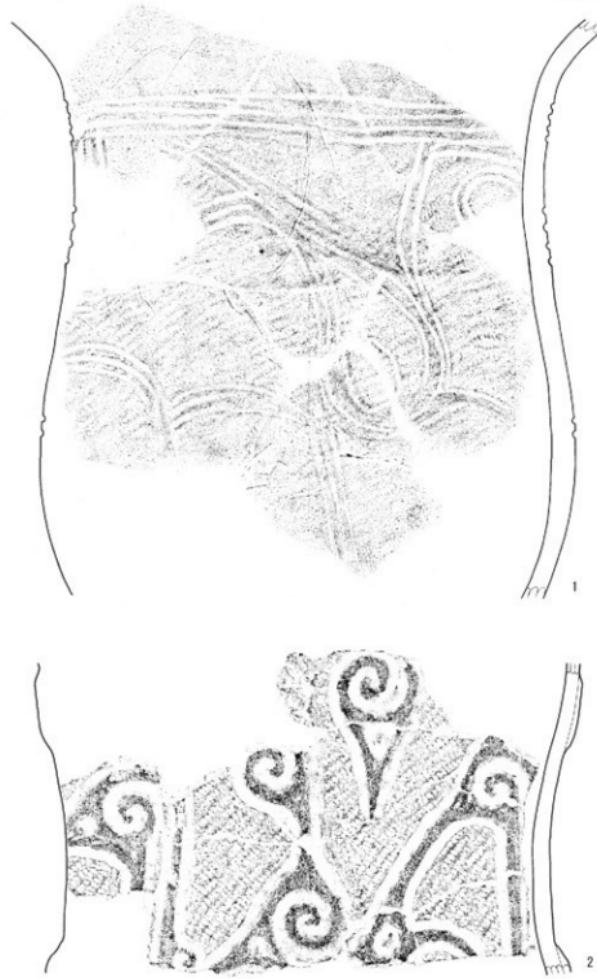


No.	登録番号	種類	地形・部位	文様等	備考	写真場所
1	A-61158	①・三層	深鉢・口縁部	C) 字伏雲起・斜突小伏抜口縁、底抜・横位隕丸彫文。	-	
2	A-61154	①・三層	深鉢・口縁部	渦巻雲起・底抜・横位隕丸彫文。	-	
3	A-61155	角盤上	深鉢・口縁部	渦巻雲起。	-	
4	A-61156	①・三層	深鉢・口縁部	渦巻雲起・底抜・横位隕丸彫文・口唇部削目。	-	
5	A-61151	①・三層	深鉢・口縁部～腹部	(口縁部) 渦巻・底抜・洗式・横位隕丸彫文、(腹部) 橫位隕丸彫文、織文LR斜位施加。	-	
6	A-61159	角盤上	深鉢・口縁部	渦巻雲起。	-	
7	A-61157	角盤上	口縁把手	横位把手・渦巻沈透文・斜压小伏抜文。	-	
8	A-61158	①・三層	深鉢・口縁部～腹部	(口縁部) 横位把手・透抜・斜壓文、(腹部) 斜先抜・底抜・横位・継丸LR斜位施加。	-	
9	A-61161	角盤上	口縁把手	横位把手・渦巻沈透文。	-	

第484図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(71)



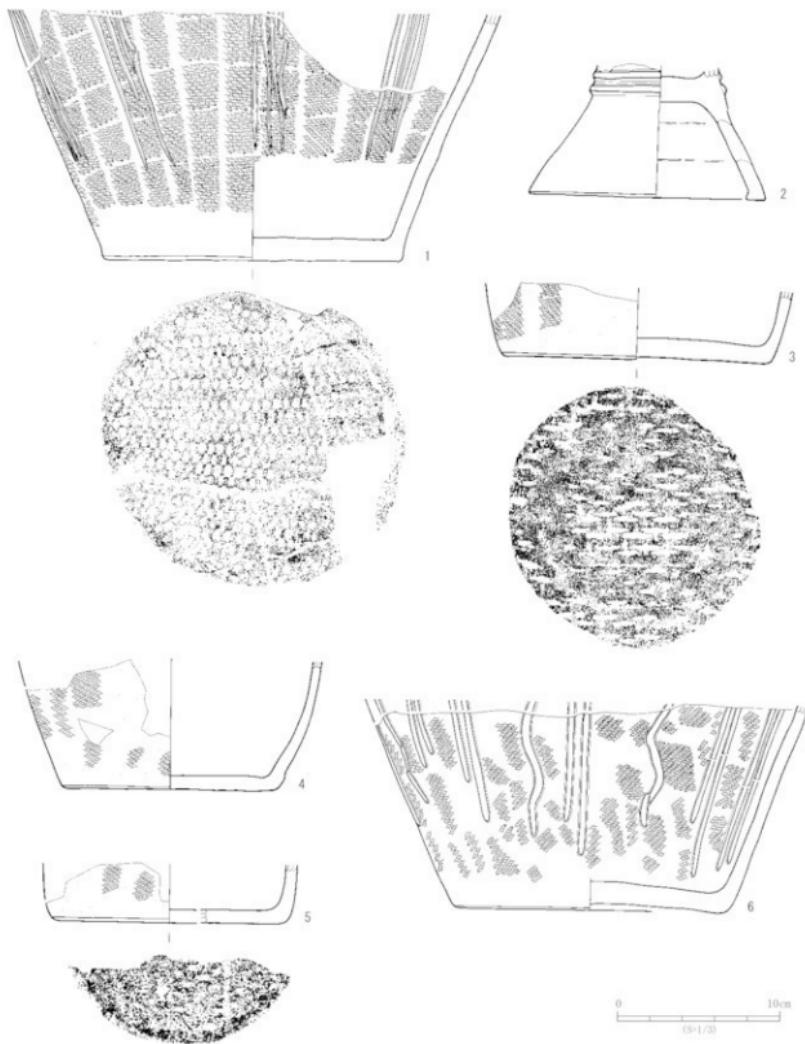
第485図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(72)



0
(S-1/3) 10cm

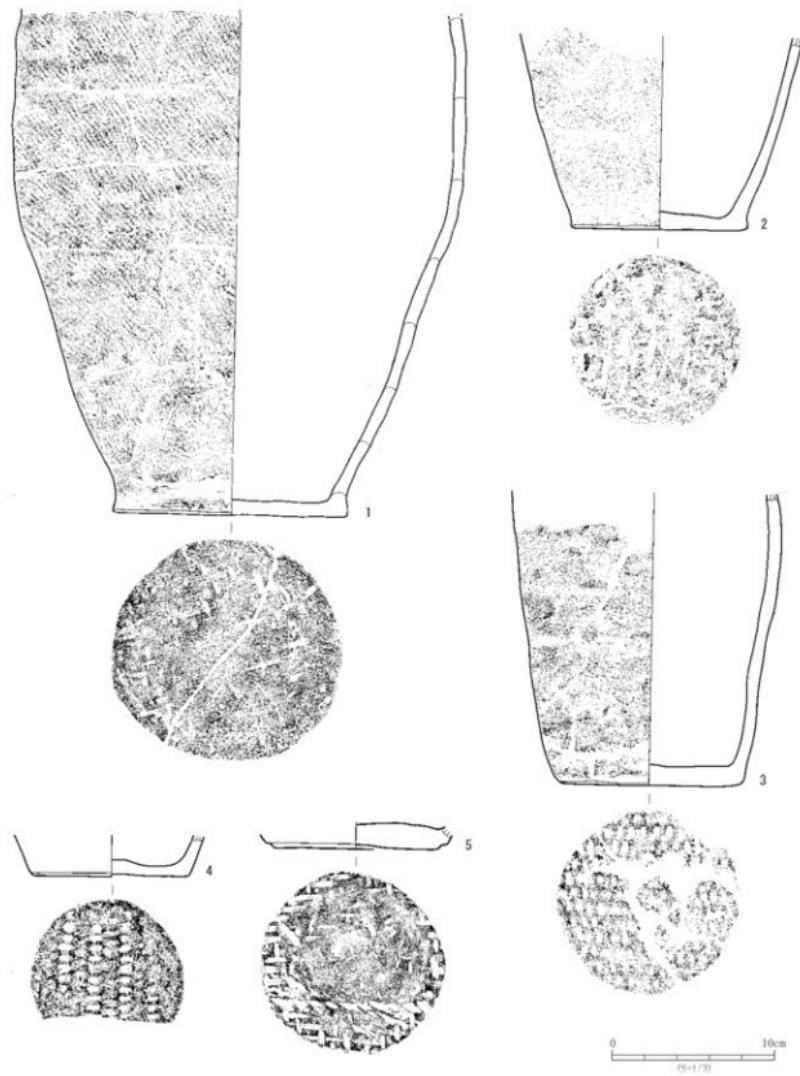
No.	登録番号	場所	形状・部位	文様等	備考	写真図版
1	A-01100	③・④層	浅鉢・底面・側面	頭形・縄文・回・網目・幾何・アーチ・斜面・乳頭・横切・網目・沈模文・縦文・頭形・網目・幾何	-	-
2	A-01100	③・④層	浅鉢・側面	有頭形・斜面・縄文・頭形・回・網目・幾何	-	-

第486図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(73)



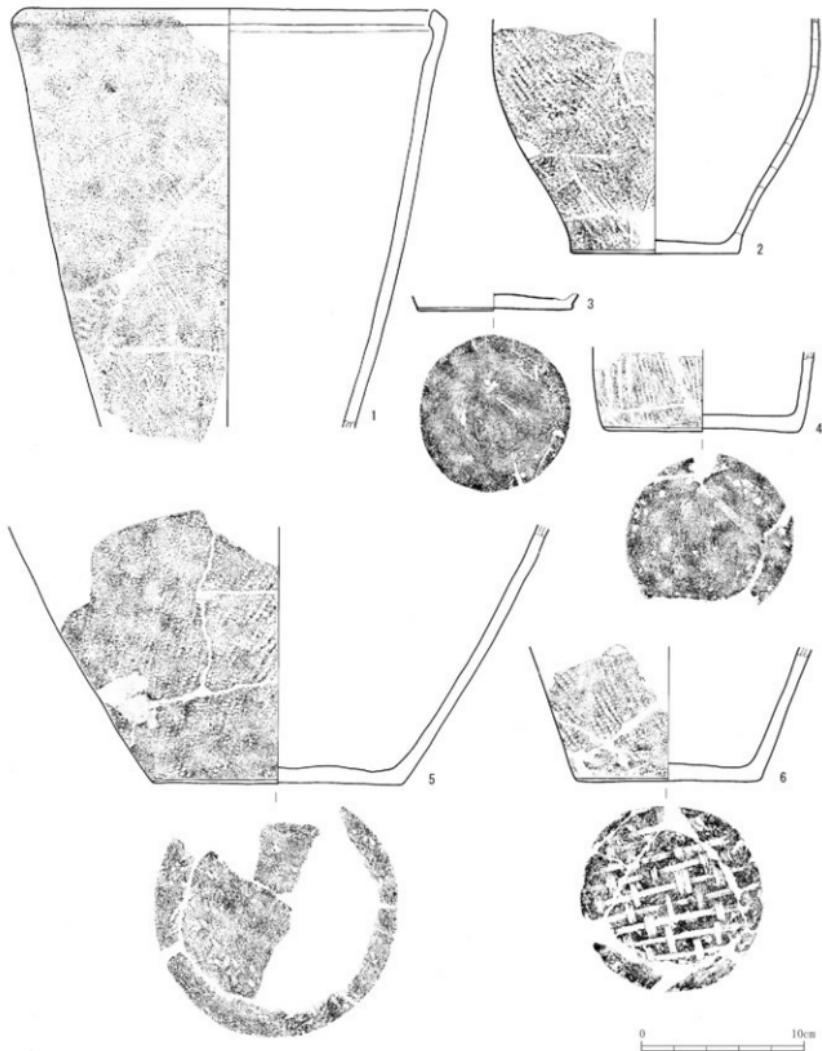
No.	登録番号	場所	想形・定位	文様等	備考	写真箇所
1	A-6116	海側土	深鉢・斜底～鉢底	斜面・網目状模文、縞文上に網目状模文、底面：網代模。	—	—
2	A-61160	海側土	竹竹土器・板立高～台面	聯合雲柄状模文、竹筋・ナデ。	—	—
3	A-61160	海側土	深鉢・斜底～鉢底	斜面・縞文上に網目状模文、底面：網代模。	—	—
4	A-61170	①・縛	深鉢・斜底～鉢底	斜面・縞文上に網目状模文、底面：ナデ。	—	—
5	A-61171	①・縛	深鉢・斜底～鉢底	斜面・縞文上に網目状模文、底面：網代模。	—	—
6	A-61172	①・縛	深鉢・斜底～鉢底	斜面・縞文上に網目状模文、底面：ナデ。	—	—

第487図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(74)



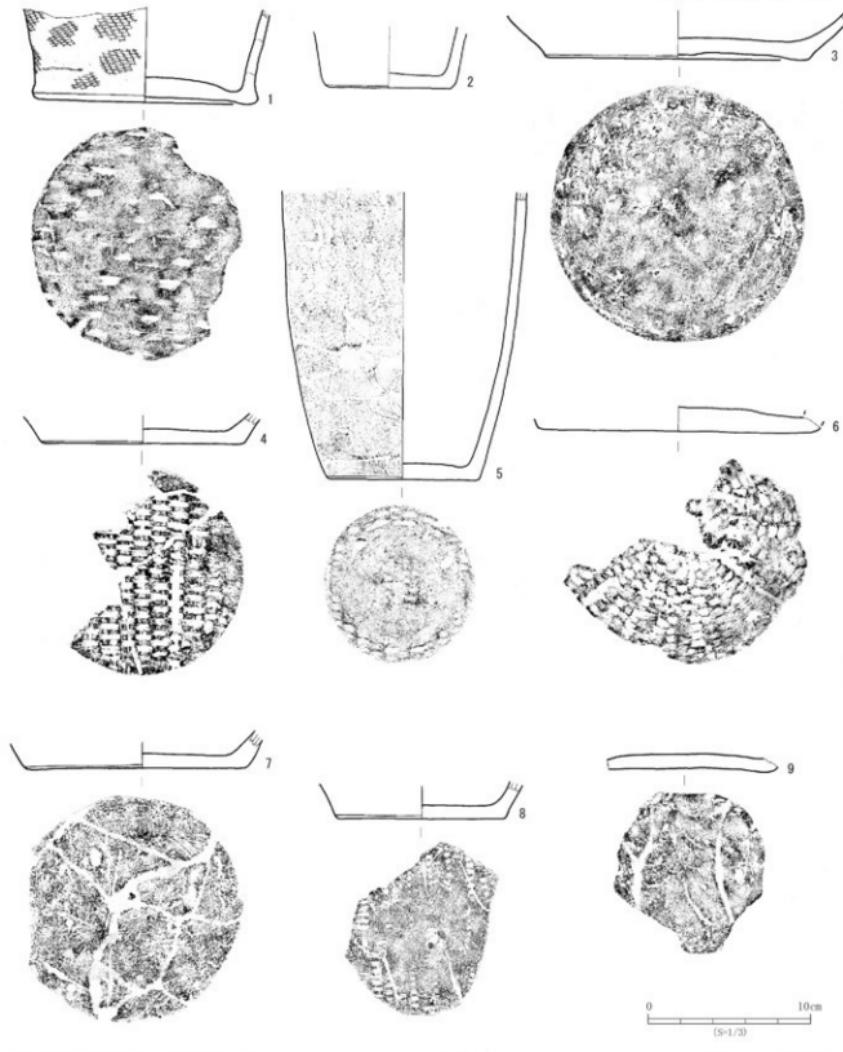
第488図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(75)

No.	登録番号	種類	組形・部位	文様等	測定	写真回数
1.	A-61163	(1)・口縁	深鉢・側面～底面	刺文(?)・縦目(?)、底面：網代目。	—	—
2.	A-61171	(1)・口縁	深鉢・側面～底面	刺文(?)・縦目(?)、底面：網代目。	—	—
3.	A-61175	(1)・口縁	深鉢・側面～底面	刺文(?)・ナグ、底面：網代目。	—	—
4.	A-61176	(1)・口縁	深鉢・側面～底面	刺文(?)、底面：網代目。	—	—
5.	A-61177	舟標上	深鉢・底面	網代目。	—	—



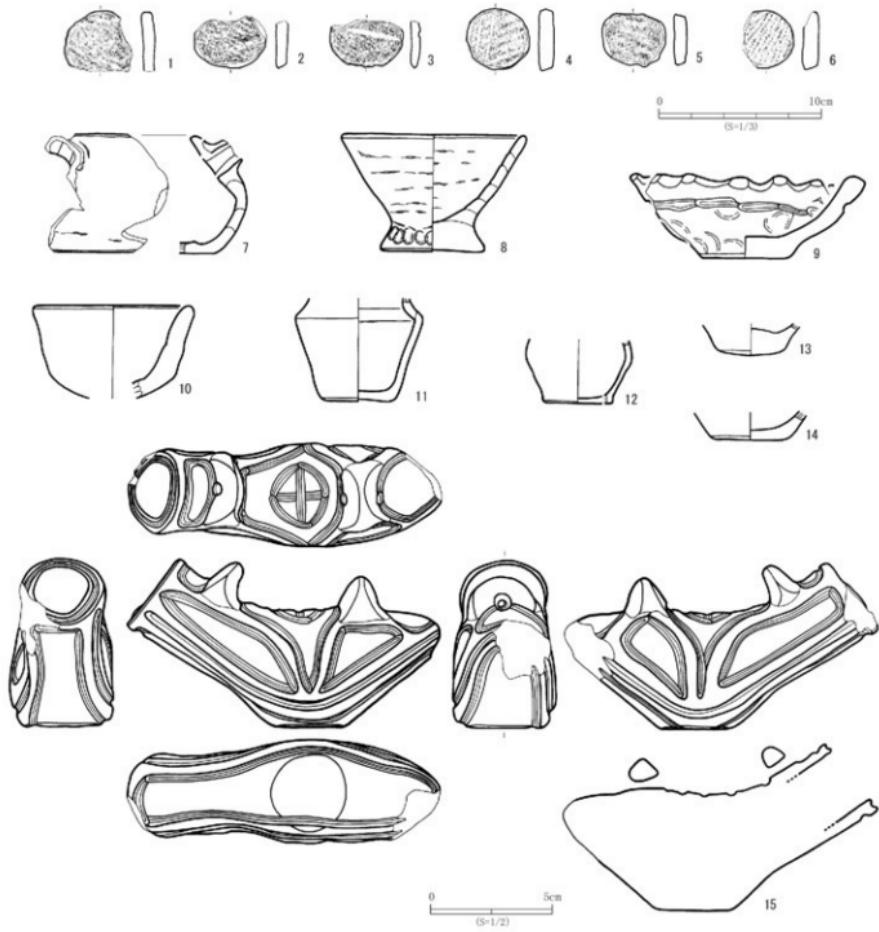
No.	登録番号	場所	想形・定位	文様等	図考	写真類
1	A-61118	③・Ⅲ層	深鉢・口縁部～脚部	口縁部～脚部：縞文。口縁部に施文。	-	-
2	A-61119	③・Ⅲ層	深鉢・脚部～底部	脚部：縞文。口縁部～脚部：ナデ。	-	-
3	A-61120	③・Ⅲ層	深鉢・底部	ナデ。	-	-
4	A-61121	③・Ⅲ層	深鉢・脚部～底部	脚部：縞文。脚部施文。底部：ナデ。	-	-
5	A-61122	③・Ⅲ層	深鉢・脚部～底部	脚部：縞文。脚部施文。底部：網代紋。	-	-
6	A-61123	③・Ⅲ層	深鉢・脚部～底部	脚部：縞文。脚部施文。底部：網代紋。	-	-

第489図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(76)



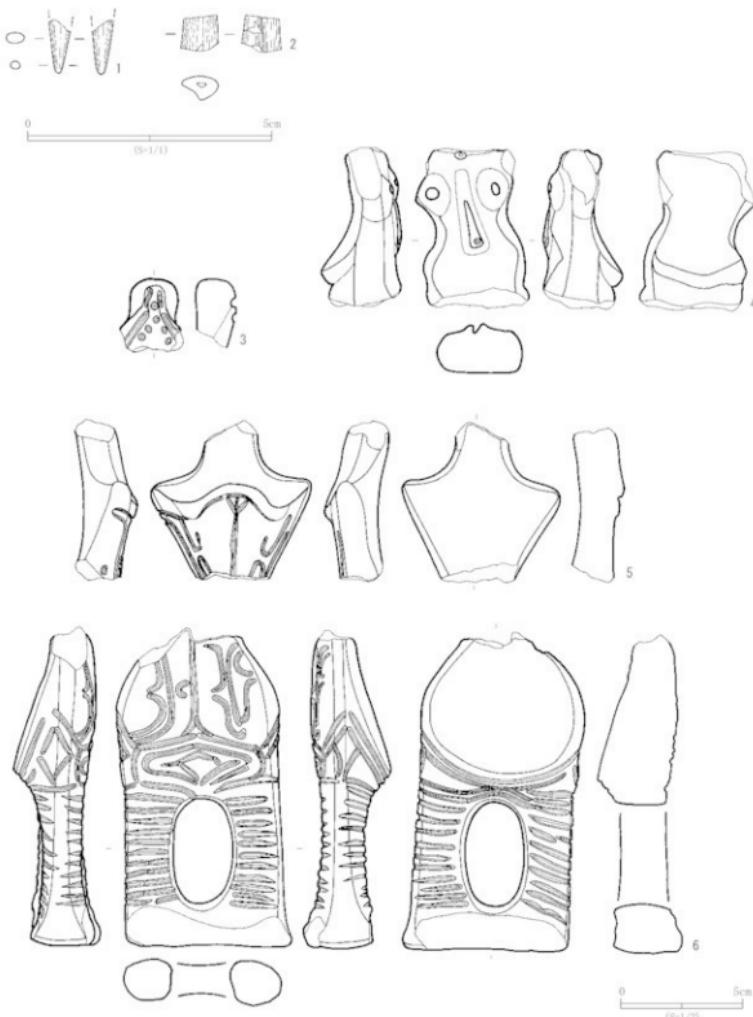
第490図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(77)

第1節 硏文時代



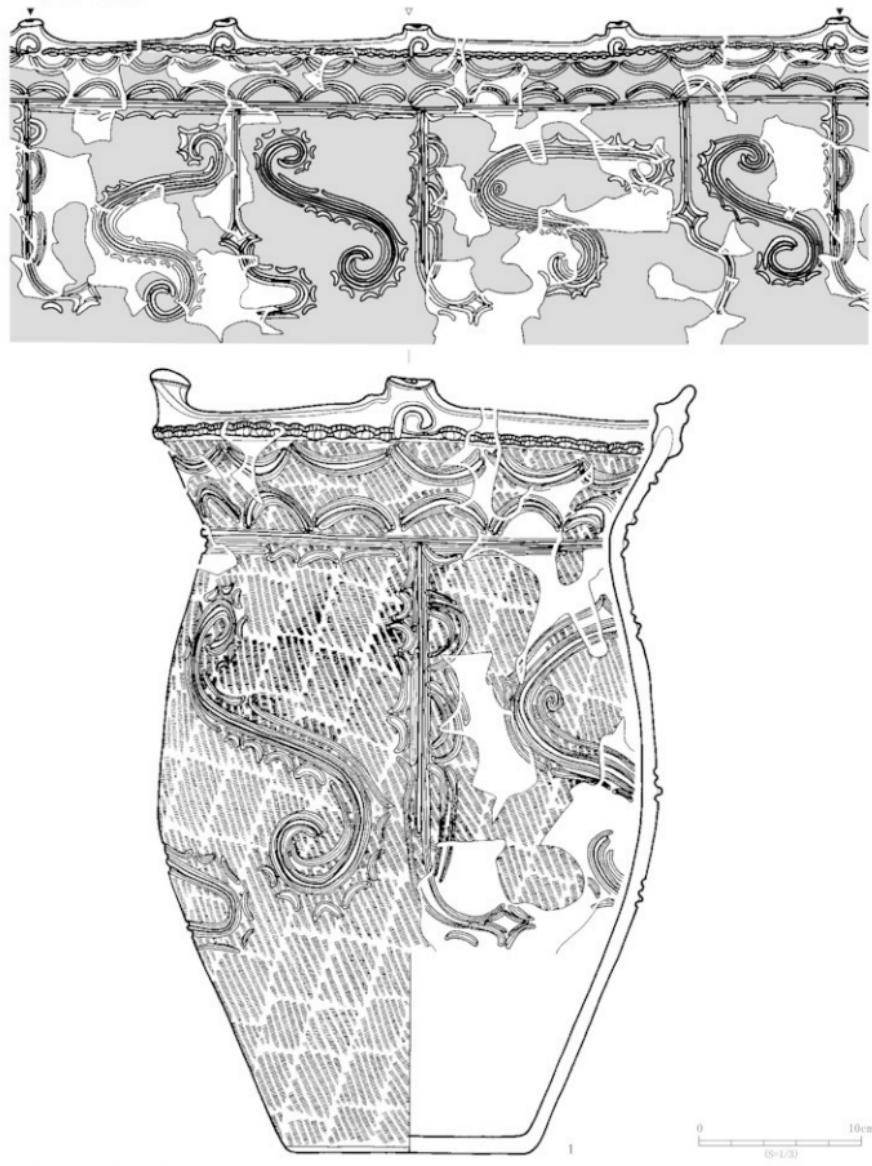
No.	登録番号	場所	形状・部位	文様等	備考	学名版
1	P-6045	上・中層	土製円盤	縞文施文→ナデ。	重さ10.0kg	-
2	P-6046	最上層	土製円盤	縞文施文→ナデ。	重さ12.4kg	-
3	P-6047	角棒上	土製円盤	縞文施文→ナデ。	重さ9.7kg	-
4	P-6048	最上層	土製円盤	汎縞文・縞文LR施文。	重さ17.1kg	-
5	P-6049	角棒上	土製円盤	ナデ。	重さ10.8kg	-
6	P-6050	最上層	土製円盤	縞文LR施文。	重さ12.0kg	-
7	P-6051	角棒上	ミニチャコ土器	刺部・底足・ナデ。	S=1/2, 直径14.7cm	-
8	P-6052	(1)・(2)層	ミニチャコ土器	刺部・底足・ナデ・指屈調査痕。	S=1/2, 手握ね,	235-15
9	P-6053	(1)・(2)層	ミニチャコ土器	口縁・小底足・刺部・横位浅縞文・ナデ・底足ナデ。	S=1/2, 手握ね,	235-16
10	P-6054	角棒上	ミニチャコ土器	刺部・ナデ。	S=1/2,	-
11	P-6055	(1)・(2)層	ミニチャコ土器	刺部・底足・ナデ。	S=1/2,	-
12	P-6056	下層	ミニチャコ土器	刺部・ナデ。	S=1/2,	-
13	P-6057	(1)・(2)層	ミニチャコ土器	刺部・底足・ナデ。	S=1/2,	-
14	P-6058	角棒上	ミニチャコ土器	刺部・底足・ナデ。	S=1/2,	-
15	P-6059	角棒上	灰陶粘土質品	汎縞文・降縞文・穿孔。	S=1/2,	235-17

第491図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(78)

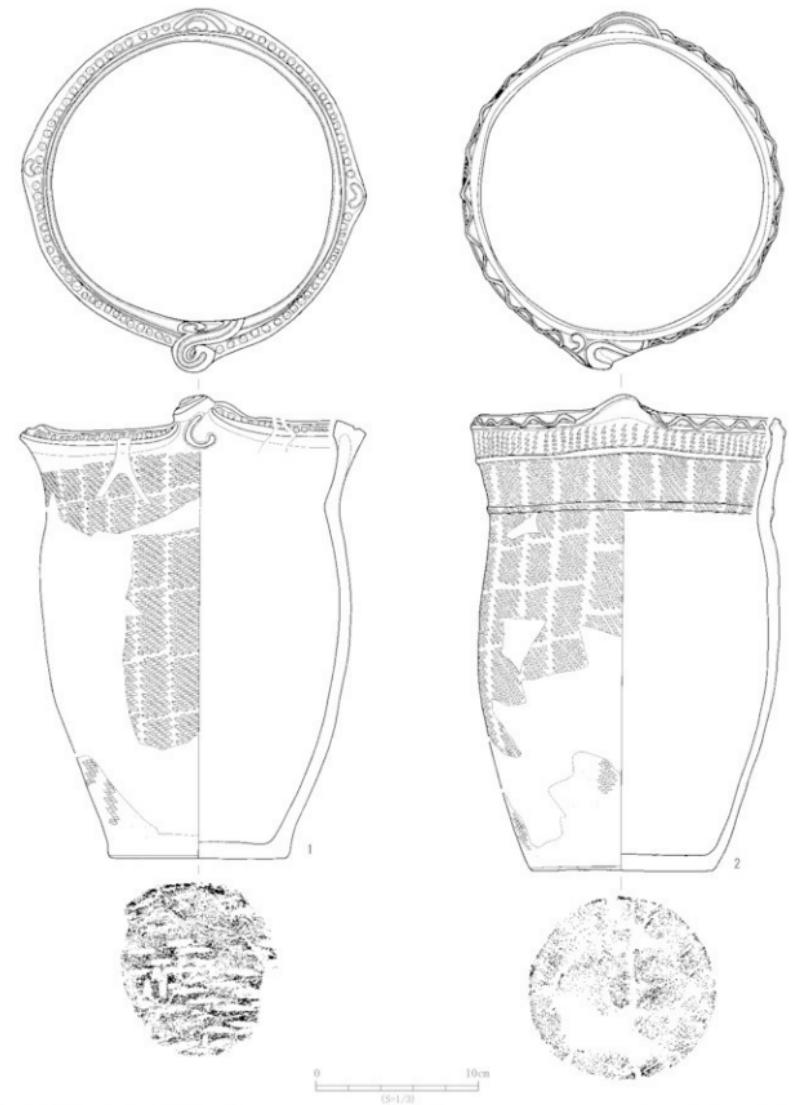


第492図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(79)

号	登録番号	場所	想定・部位	文様等	備考	写真枚数
1	Q-61	馬頭上	骨角部・骨片	現存長1.15cm、重さ0.07g。鹿角製。	S-1/1.	-
2	Q-62	馬頭上	骨角部・骨片	現存長7.00mm、重さ0.26g。鹿中足骨もしくは中手骨。	S-1/1.	-
3	P-6001	鍔上端	土偶	瓦礫文、円形網目文。	1個削落? S-1/2.	225-17
4	P-6002	(1)・(2)側	土偶・胸造	乳頭、腹造～股造、瓦礫文、圓形網目文。	S-1/2.	225-17
5	P-6002	(1)・(2)側	土偶・胸造	丁字状瓦礫文。	S-1/2.	-
6	P-6003	(1)・(2)側	土偶・股造・瓦造～脚部	板面・菱形文・弧状瓦礫文、脚部・油紙袋の瓦礫文。	S-1/2.	225-14

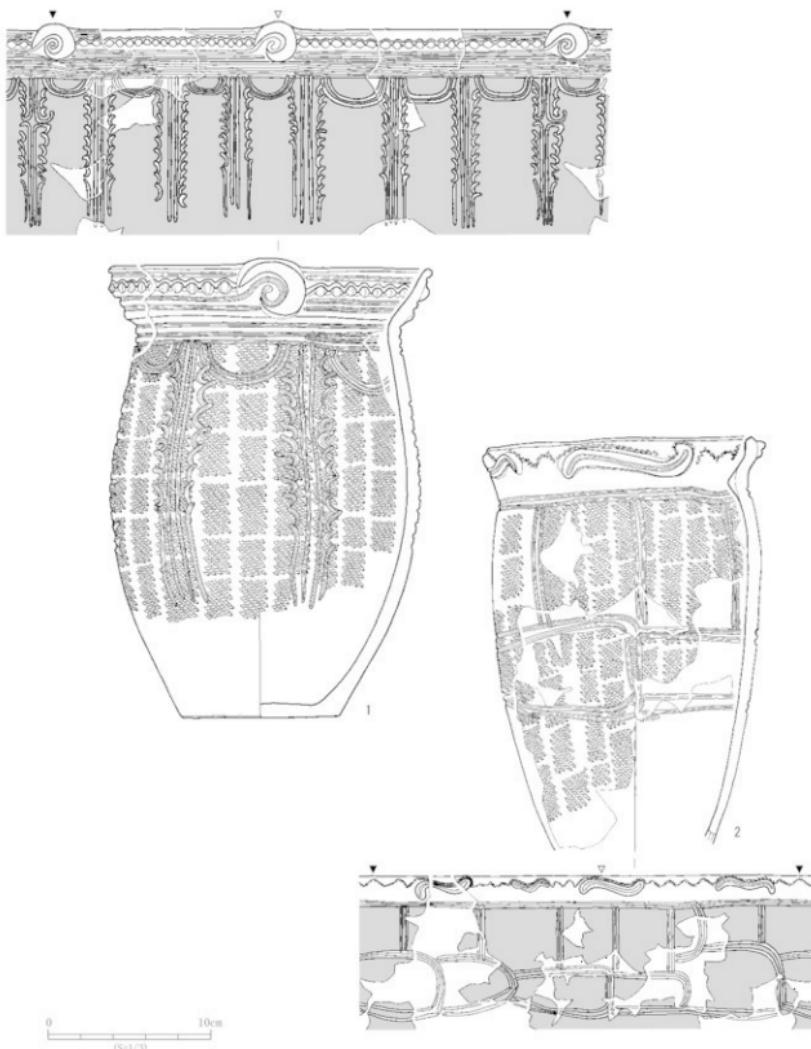


第493図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(1)



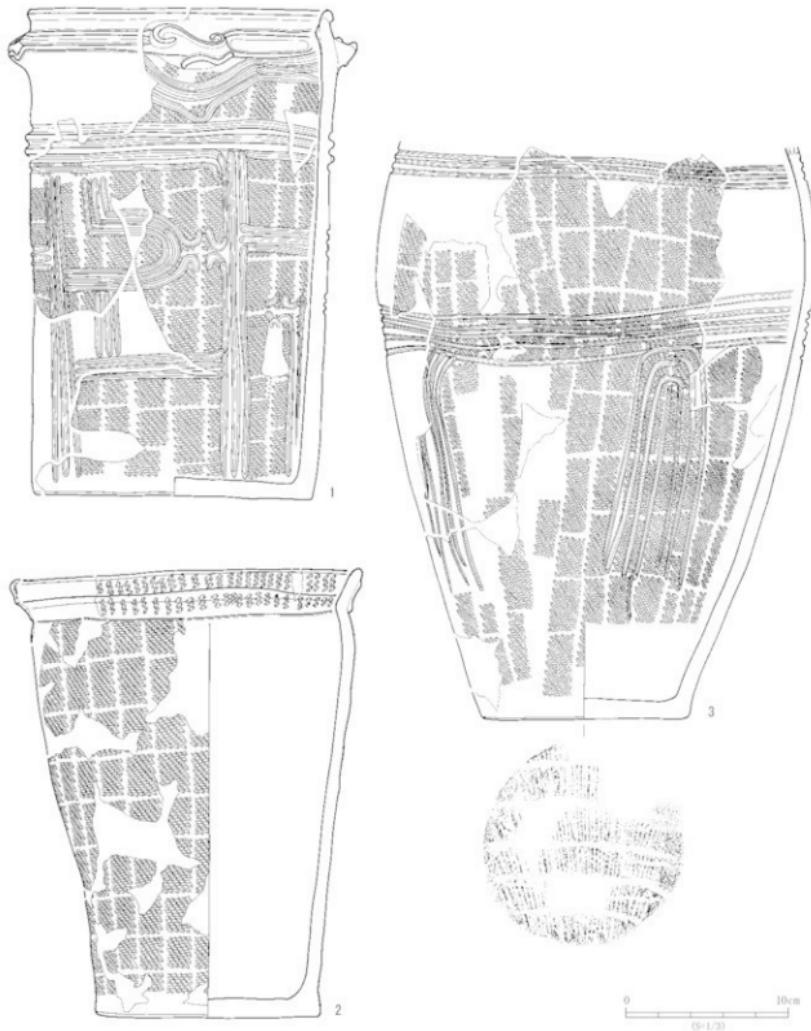
第494図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(2)

No.	登録番号	場所	型形・部位	文様等	備考	参考文献
1	A-61209	2層	深鉢・口縁部～底部	口縁部：油条把手、「C」字紋貼付文、円形網曳文。剥離：織文LR網曳文。底部：新代帆。	-	-
2	A-61210	2・3層	深鉢・口縁部～底部	口縁部：油条把手、波状隠瓣文、押注織文L・長範珍葉文。剥離：横紋隠瓣文、織文L・新代帆。	-	224-4



第495図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(3)

No.	登録番号	場所	形態・部位	文様等	備考	写真面版
1	A-41231	3層	深鉢・口縁部～底部	口縁部：施青釉起。側身小流乳頭綱文、底部陰文。側部：乳状・底部沈綱文。縞文1区底部施文。		224-5
2	A-41232	堆積上	深鉢・口縁部～側部	口縁部：「S」字状綱文。押付處及LR山形施文。側部：施青。底部：施綱文。縞文1区底部施文。		224-6

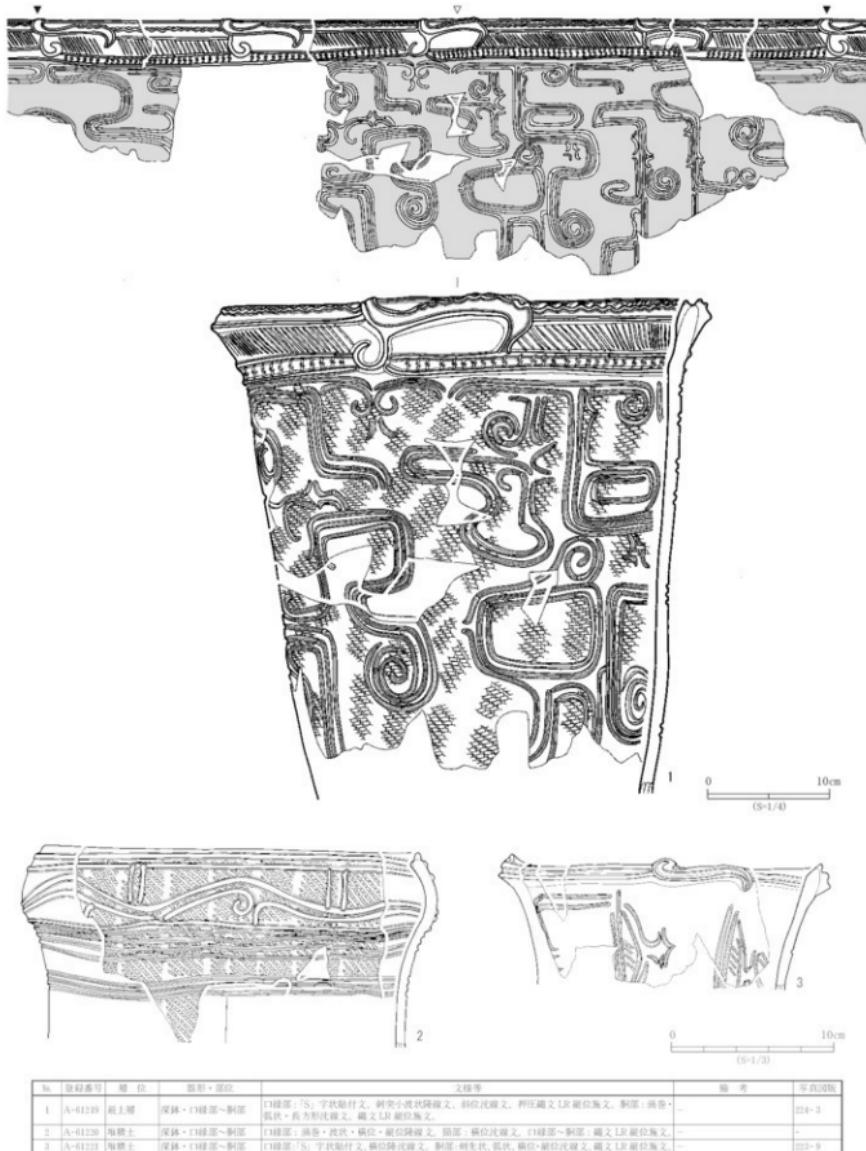


第496図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(4)

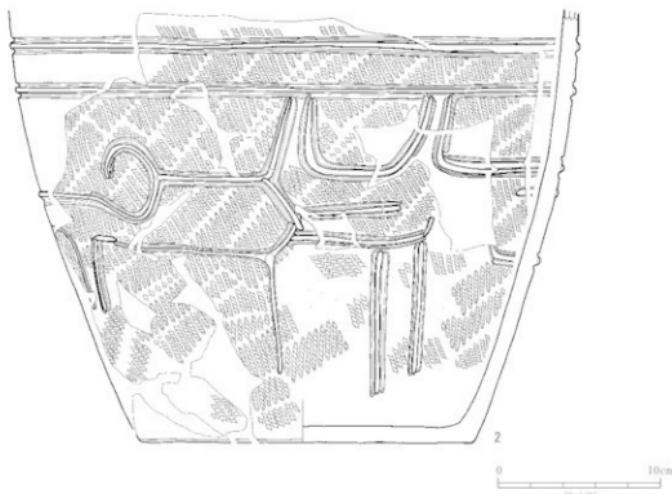
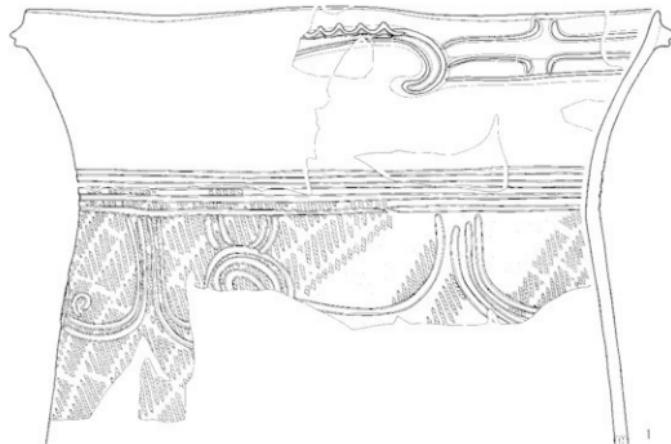
No.	登録番号	場所	形・部位	文様等	備考	写真番號
1	A-61233	2層	深鉢・口縁部～底部	口縁部：S字状點付文、縁位陥没縦文。側面：縁位陥没縦文、横状・横位・縁位沈縦文、織文	-	224-8
2	A-61234	2層	深鉢・口縁部～底部	口縁部：横状織文LR順位施文。側面：織文LR順位施文、底部：ナデ。	-	224-7
3	A-61235	最上層	深鉢・側面～底部	側面：縁位沈縦文、LR順位縫合施文。底部：縫合圧痕。	-	224-9



第497図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(5)

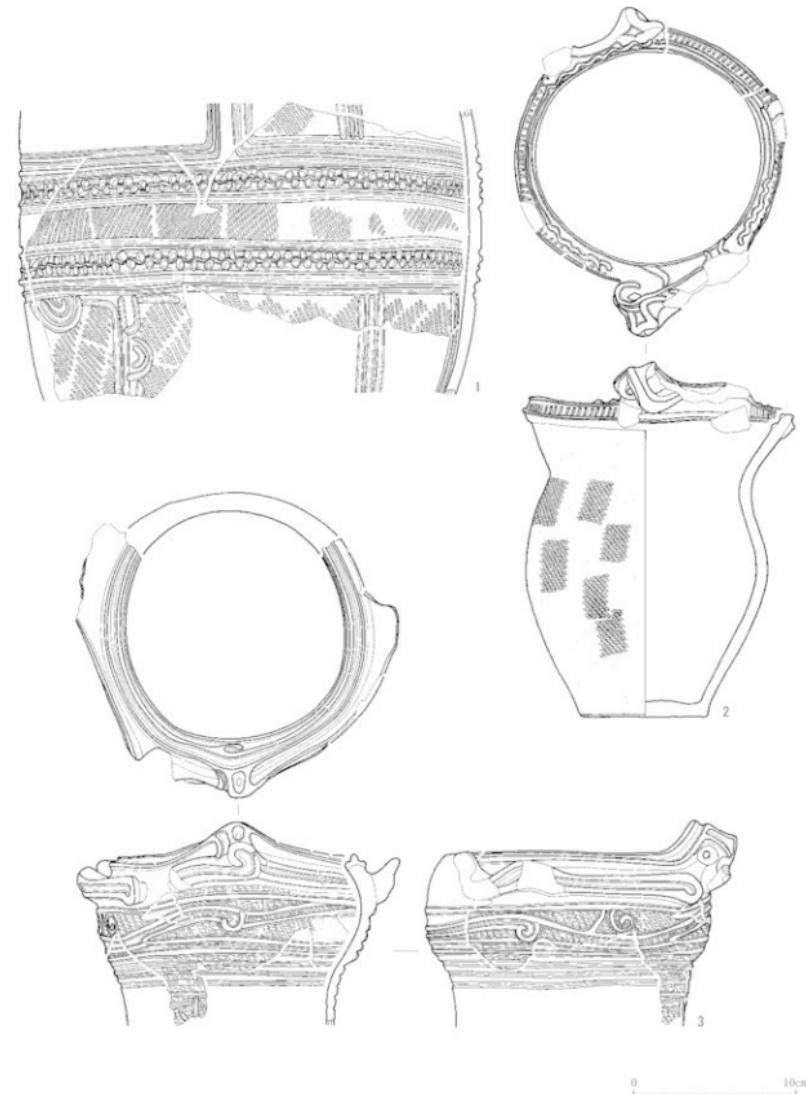


第498図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(6)



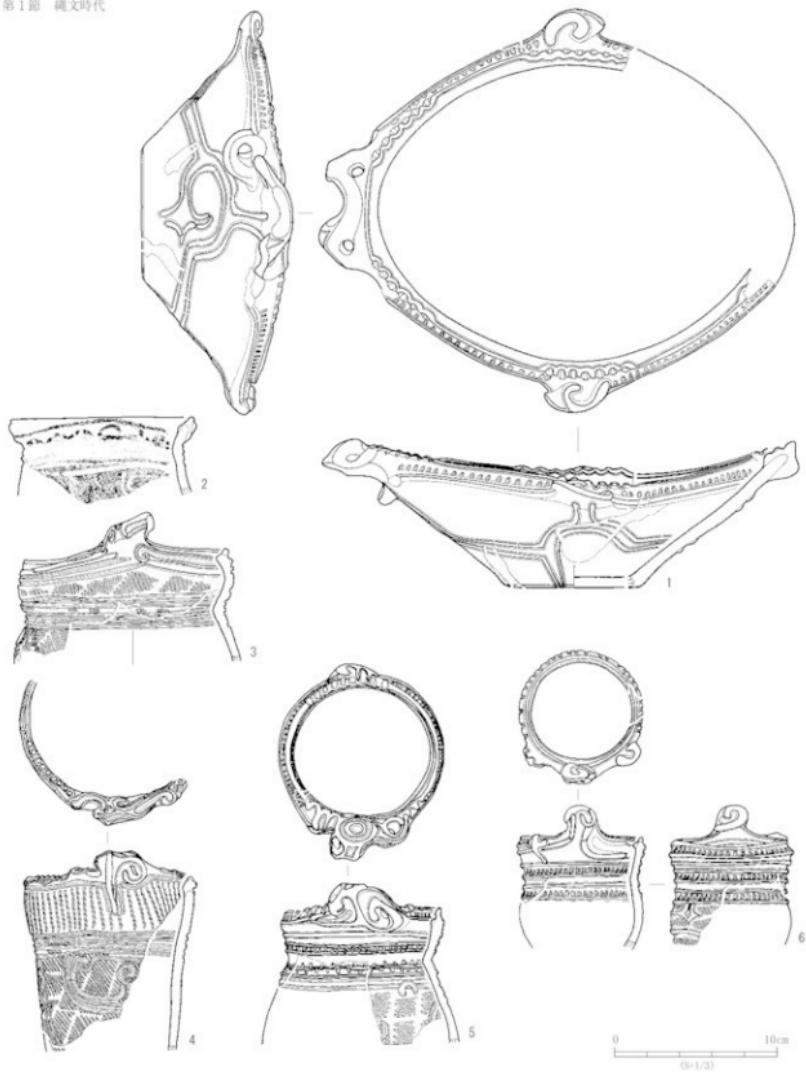
No.	登録番号	場所	形・部位	文様等	編考	参考図版
1	A-6122	2層	深鉢・口縁部～側部	口縁部：S字状？船仔文、波状、十字折隠線文。ナデ。頸部：横位沈線文。胴部：横位沈線文。 縞文LR 頸位、側位施文。	-	-
2	A-6123	2・3層	深鉢・口縁部～底部	側部：筒巻、横位、施位。斜位隠沈線文。縞文LR 斜位施文。底部：ナデ。	-	-

第499図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(7)



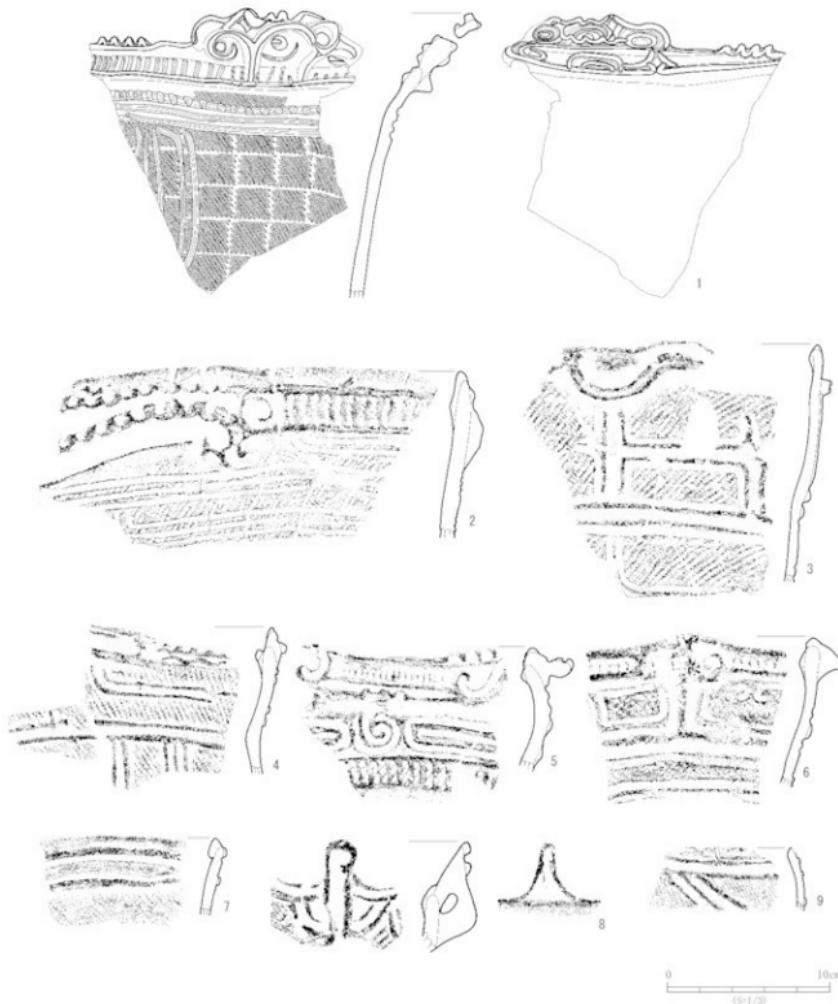
第500図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(8)

No.	登録番号	場所	地形・部位	文様等	備考	写真箇数
1	A-61234	3層・4層	深鉢・側部	文字網目小波紋複織文、側面斜波織文、張口・側位沈位文、縹文LR・側位・斜位篠文。	-	223-7
2	A-61235	2・3層	深鉢・口縁部～側部	口縫足・口縁把手、浅鉢斜波文、側位斜波織文、側部、縹文LR・側位篠文、底部：ナゲ。	実起倒脚	224-2
3	A-61236	堆積土	深鉢・口縫足～側部	口縫足・口縁把手、直口・側位、斜位斜波織文、頭部・側位斜波織文、側部・沈縫文の一部、口縫足・側部・縹文LR・側位篠文。	実起倒脚	223-8

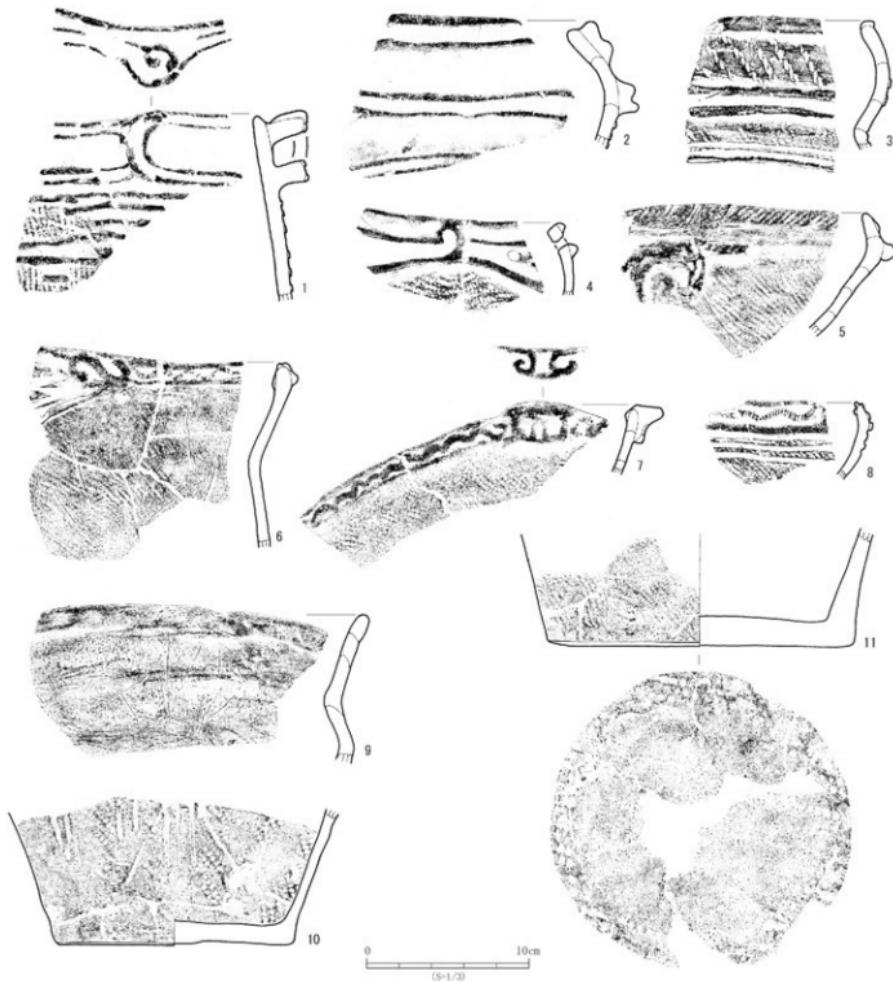


No.	登錄番号	場所	種類・部位	文様等	備考	参考文献
1	A-61227	2層	浅總・口總茎・执部	口總茎・口總把手・口沿部押小疣状・通級刻文之・刺部・通急・柄先捺縫文・执部・ナフ・	-	225-11
2	A-61228	堆積土	小型深總・口總茎・脚部	口總茎・有時小疣狀陳縫文・刺部・直扶・柄位沈縫文・繩文回・斜位施文・	-	-
3	A-61229	堆積土	小型深總・口總茎・脚部	口總茎・口總把手・「元」字狀鉢文・直扶・柄位捺縫文・繩文回斜位施文・	-	225-10
4	A-61230	堆積土	小型深總・口總茎・脚部	口總茎・直扶把手・口沿部稍膨小疣状・押圧縫文L字捺位施文・脚部・柄位沈縫文・繩文斜扶位施文・	-	-
5	A-61231	2層	小型深總・口總茎・脚部	口總茎・直扶把手・押圧小疣状・柄位捺縫文・通級刻文之・刺部・突瓦型突小疣状・直扶・柄位捺縫文・繩文回・直扶位施文・	-	-
6	A-61232	堆積土	小型深縶・口總茎・脚部	直扶把手・通級刻文之・刺部・柄位捺縫文・通級刻文之・刺先扶・柄位捺縫文・繩文L字捺位施文・	-	-

第501図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(9)

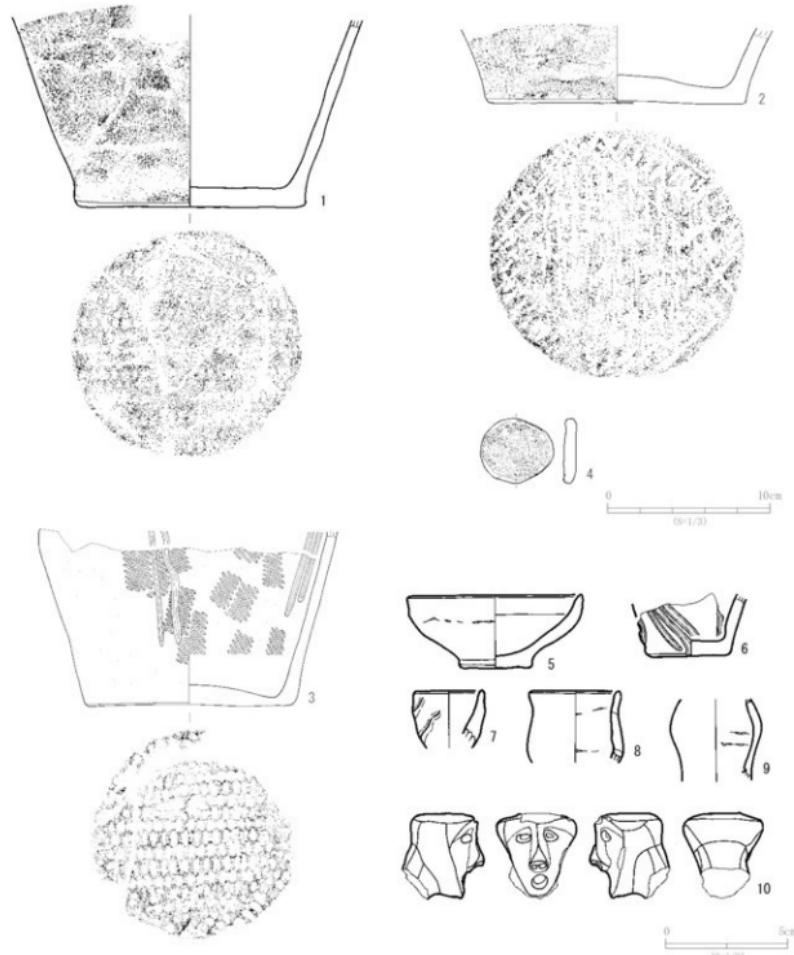


第502図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(10)



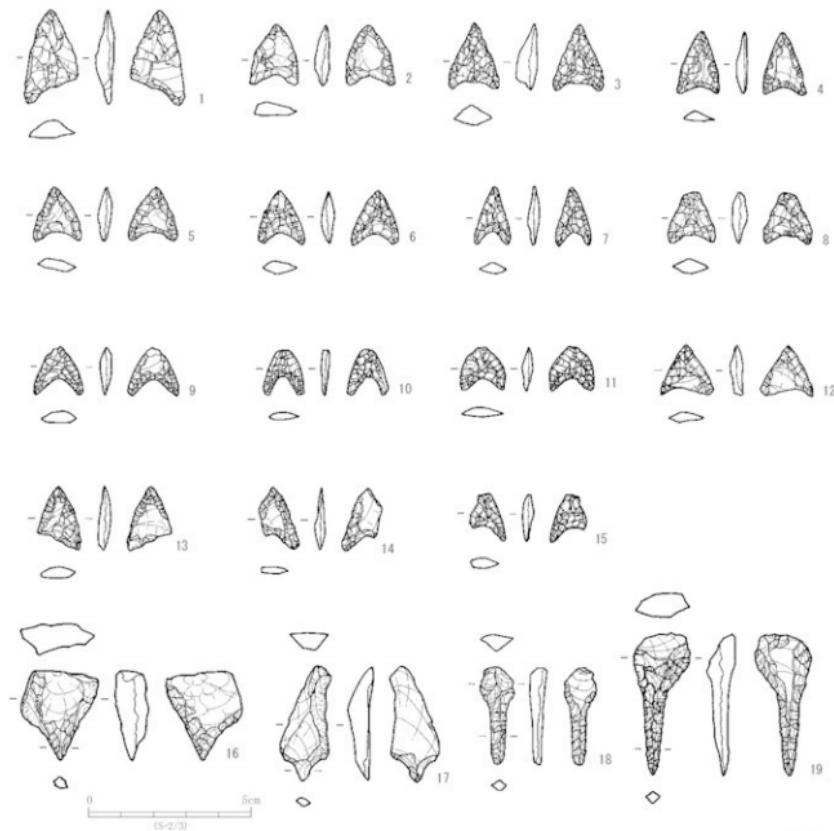
番号	場所	種類・部位	文様等	参考	年代推定
1	A-61242	2・3層 深溝・口縁部～胴部	口縁部：網状把手、楕円陣條文、刺繡、楕円陣條文、網文LR、網位施文。	—	—
2	A-61243	最上層 深溝・口縁部	楕円陣條文、区画内レザーパターン。	—	—
3	A-61244	最上層 深溝・口縁部	楕円陣條文、押花織文、羽位施文、網文LR、網位施文。	—	—
4	A-61245	最上層 深溝・口縁部	網位施文、円孔、網文LR、斜位施文。	—	—
5	A-61246	最上層 浅溝・口縁部～胴部	口縫部：荷葉？點付文、楕円陣條文、網文LR、網位施文、網位施文。	—	—
6	A-61247	最上層 深溝・口縁部～胴部	口縫部：(△)子状點付文、波状・網位施文、刺繡；網文LR、網位施文。	—	—
7	A-61248	1層 深溝・口縫部～胴部	口縫部：口縫突起、波状、楕円陣條文、刺繡、網文LR、網位施文。	—	—
8	A-61249	最上層 深溝・口縫部	楕円陣條文、有孔子状點付文、楕円陣條文、網文LR、網位施文。	—	—
9	A-61250	最上層 浅溝・口縫部～胴部	口縫部：(△)子状點付文、楕円陣條文、網文LR、網位施文。	—	—
10	A-61251	2・3層 深溝・胴部～底部	刺繡、網位施文、網文LR、網位施文、底部：ナガ。	—	—
11	A-61252	最上層 深溝・胴部～底部	刺繡、網文LR、網位施文、底部：網代網。	—	—

第503図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(11)



No.	登録番号	場所	形状・部位	文様等	備考	参考文献
1	A-41253	1・2層	深鉢・側面・底部	網文(口部網文)、底部・網代鉢。	-	-
2	A-41254	2・3層	深鉢・側面・底部	網文(口・ナジ)、底部・網代鉢。	-	-
3	A-41255	中層	深鉢・側面・底部	網文(底部波線文)、網文(口部網文)、底部・網代鉢。	-	-
4	P-6004	2・3層	土器内側	ナジ、底部素用器。	重さ13.87g S-1/3。	-
5	P-6005	海綿土	ミニチュア土器	(口縁部)・側面・ナジ、底部・ナジ。	手標P-5 S-1/2。	-
6	P-6006	2・3層	ミニチュア土器	側面・斜位波線文・ナジ、底部・ナジ。	S-1/2。	-
7	P-6007	海綿土	ミニチュア土器	側面・斜位波線文。	S-1/2。	-
8	P-6008	海綿土	ミニチュア土器	(口縁部)・側面・ナジ。	S-1/2。	-
9	P-6009	海綿土	ミニチュア土器	側面・ナジ。	S-1/2。	-
10	P-6070	海綿土	土偶・頭部	(口)・網文、(鼻)・隕石・網文、(目)・網文。	S-1/2。	225-18

第504図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(12)



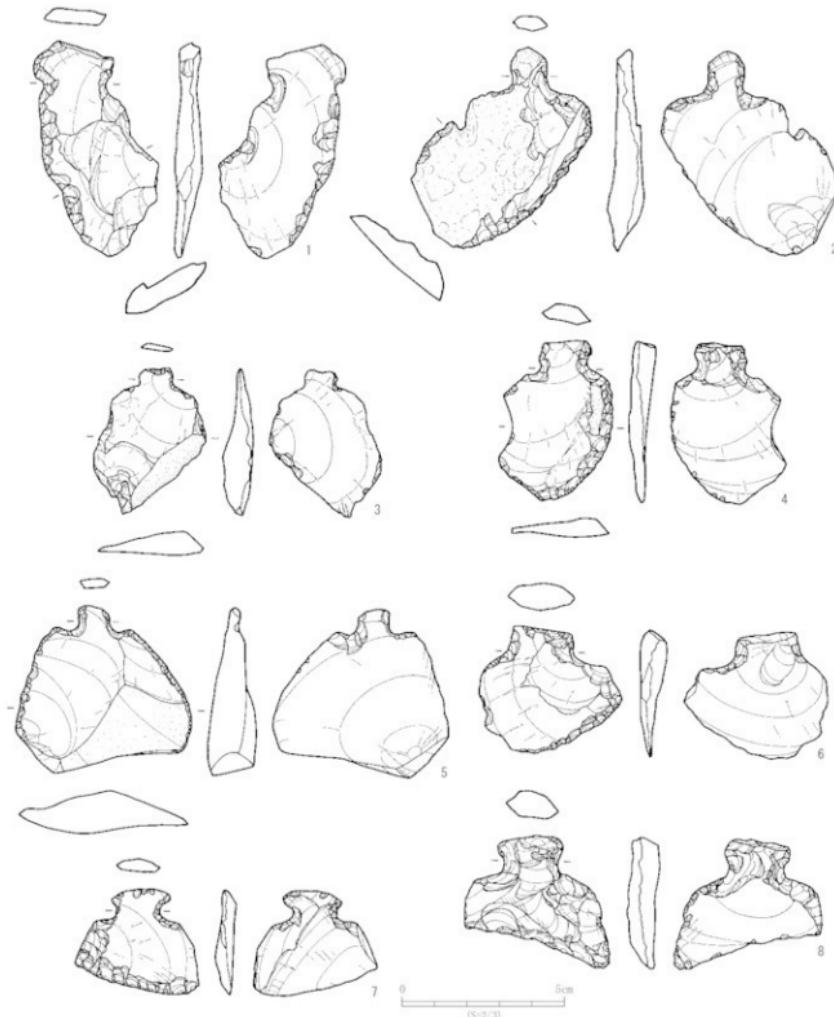
No.	登錄番号	場所	形態	石	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	参考文献
1	Kab-6041	上層	石器	土器	(17.0)	(11.0)	5.5	(1.0)	右脚趾欠損。	226-1
2	Kab-6045	上層	石器	珪質頁岩	16.5	14.9	4.4	1.0		226-2
3	Kab-6049	堆積土	石器	珪質頁岩	20.2	15.2	6.4	1.1		226-3
4	Kab-6050	上層	石器	珪質頁岩	19.0	12.8	2.7	0.6		226-4
5	Kab-6051	上層	石器	珪質頁岩	16.6	14.9	3.3	0.7		226-5
6	Kab-6052	上層	石器	土器	16.4	(14.0)	4.1	(0.5)	左脚趾欠損。	226-6
7	Kab-6053	堆積土	石器	泥灰岩	17.7	10.7	2.5	0.4		226-7
8	Kab-6054	上層	石器	珪質頁岩	(15.0)	14.3	4.4	(0.7)	左端部欠損。	226-8
9	Kab-6055	上層	石器	泥灰岩	(14.0)	15.2	3.4	(0.5)	左端部欠損。	226-9
10	Kab-6056	上層	石器	碧玉	(13.0)	(12.0)	2.4	(0.2)	先端から右側縁欠損。	226-10
11	Kab-6057	上層	石器	珪質頁岩	15.2	12.8	3.2	0.4		226-11
12	Kab-6058	上層	石器	珪質頁岩	(15.0)	(16.0)	3.4	(0.6)	基部欠損。	226-12
13	Kab-6059	上層	石器	黑曜石	(19.0)	(15.7)	3.4	(0.7)	左脚趾欠損。	226-13
14	Kab-6060	上層	石器	珪質頁岩	(19.0)	(12.0)	2.9	(0.5)	左脚趾欠損。	226-14
15	Kab-6061	上層	石器	珪質頁岩	(15.0)	(10.7)	3.4	(0.6)	先端から左側縁欠損。裏面にツール付着。	-
16	Kab-6064	1~2層	石器	珪質頁岩	27.4	23.6	8.6	5.2		226-15
17	Kab-6065	堆積土	石器	鷺塚	30.5	15.0	6.5	2.4		226-16
18	Kab-6066	堆積土	石器	珪質頁岩	39.9	9.5	4.6	1.0		226-17
19	Kab-6067	上層	石器	珪質頁岩	43.0	17.0	7.7	3.0		226-18

第505図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(39)



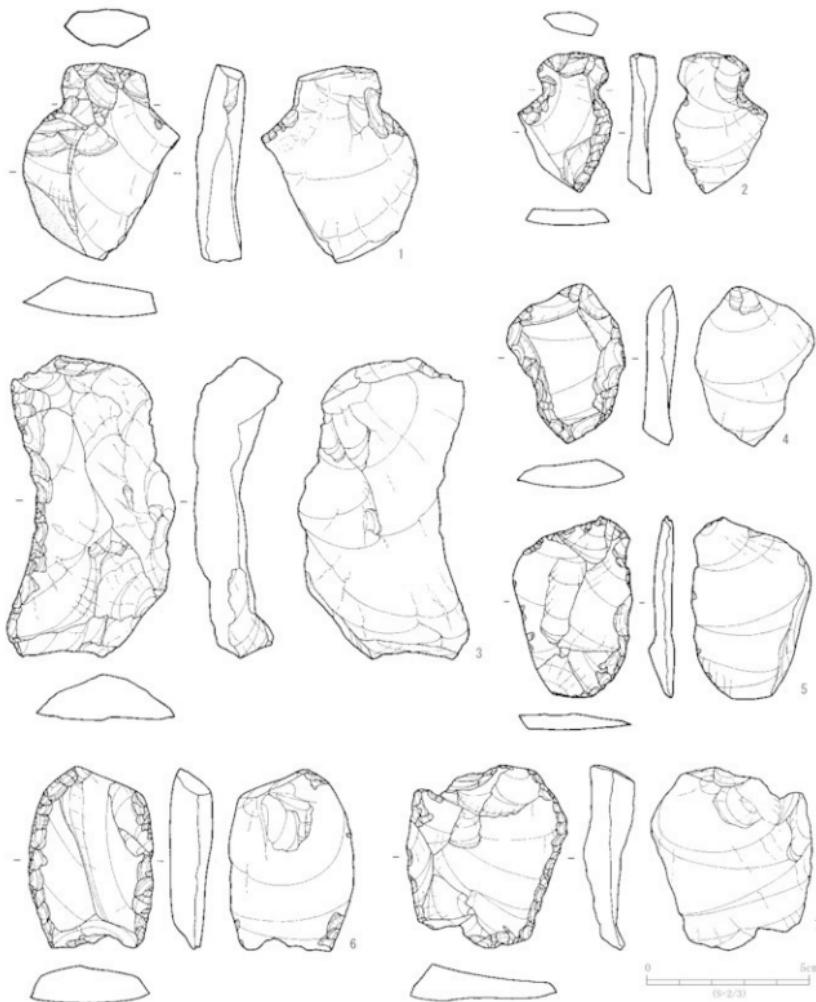
No.	登錄番号	層位	形態	石質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備考	参考文献
1	Kab-6043	下層	石頭	玉髓	46.6	44.6	11.2	18.7		226-19
2	Kab-6049	上層	石頭	玉髓	53.4	35.0	16.1	18.0		226-29
3	Kab-6050	上層	石頭	玉髓	50.4	25.8	13.1	13.0		226-21
4	Kab-6051	地盤土	石頭	玉髓	40.1	27.2	6.1	6.9		226-22
5	Kab-6052	地盤土	石頭	珪質頁岩	37.5	19.2	4.0	3.2		226-23
6	Kab-6053	上層	石頭	珪質頁岩	435.8	62.5	8.7	44.0	下生み茎欠損,	226-24
7	Kab-6054	上層	石頭	珪質頁岩	30.5	14.7	8.8	3.2		226-25
8	Kab-6055	上層	石頭	珪質頁岩	65.0	22.0	(30.0)	63.7	下手欠損,	226-26
9	Kac-6051	上層	石頭	珪質頁岩	62.8	33.0	(33.0)	67.4	上手欠損, 芳雲にハジケ有り,	226-27
10	Kad-6052	地盤土	石頭	珪質頁岩	35.7	(19.0)	6.5	(2.0)	石融形特殊石頭, 右側面欠損,	226-28

第506図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(40)



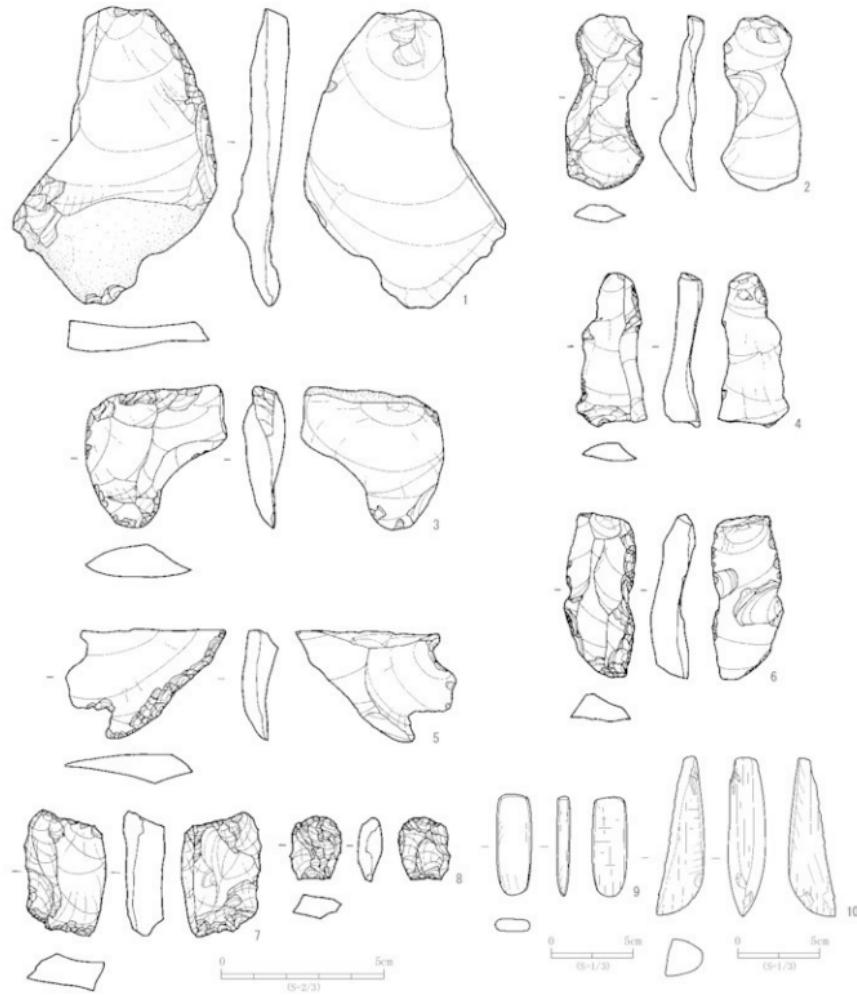
第507図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(41)

No.	登録番号	場所	器種	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	形	考	参考図版
1	Kad-6001	海綿土	石器	虎紋岩質砾灰岩	61.2	33.2	8.1	15.0	細型		228-29
2	Kad-6002	海綿土	石器	辻阿良岩	64.7	29.5	9.1	23.2	細型		228-30
3	Kad-6003	海綿土	石器	辻阿良岩	46.6	31.2	8.8	9.1	細型		228-31
4	Kad-6029	上層	石器	辻阿良岩	50.0	25.2	5.6	9.2	細型		228-32
5	Kad-6030	上層	石器	辻阿良岩	49.5	33.5	14.7	29.7	刃部磨型、斜抜縫型		228-33
6	Kad-6031	海綿土	石器	(デザイ)	38.0	(44.2)	8.5	(9.5)	細型、刀部石端縫火鉄		228-34
7	Kad-6032	海綿土	石器	辻阿良岩	30.8	28.4	5.6	5.9	細型		228-35
8	Kad-6033	上層	石器	辻阿良岩	42.9	44.1	8.7	12.1	細型		228-37



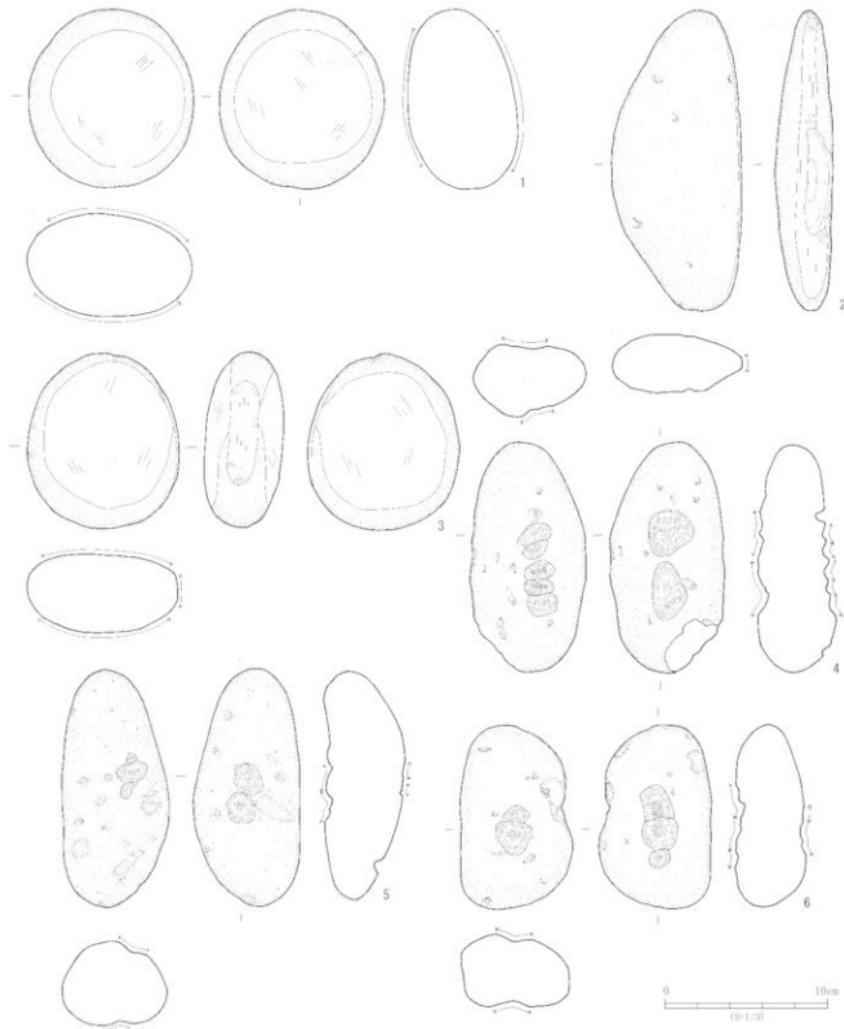
No.	登録番号	場所	断面	石質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	(1) 種別		参考文献
									形態	等級	
1	Kae-0011	輪廓土	石器	直角刃	159.0	116.8	12.8	0.99	切削石側縁矢頭	326-38	
2	Kae-0012	上層	石器	直角刃	142.9	129.0	6.21	0.11	刃部矢頭	326-38	
3	Kae-0013	上層	スクレーパー	直角直刃	91.4	43.0	15.8	9.22		326-43	
4	Kae-0017	上層	スクレーパー	玉砂	49.0	27.1	9.4	16.6		326-39	
5	Kae-0018	上層	スクレーパー	直角直刃	56.1	43.7	7.5	12.4		326-40	
6	Kae-0020	上層	スクレーパー	直角直刃	54.8	38.1	11.6	26.7		326-41	
7	Kae-0040	上層	スクレーパー	玉砂	56.7	48.1	14.3	32.3		326-42	

第508図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(42)



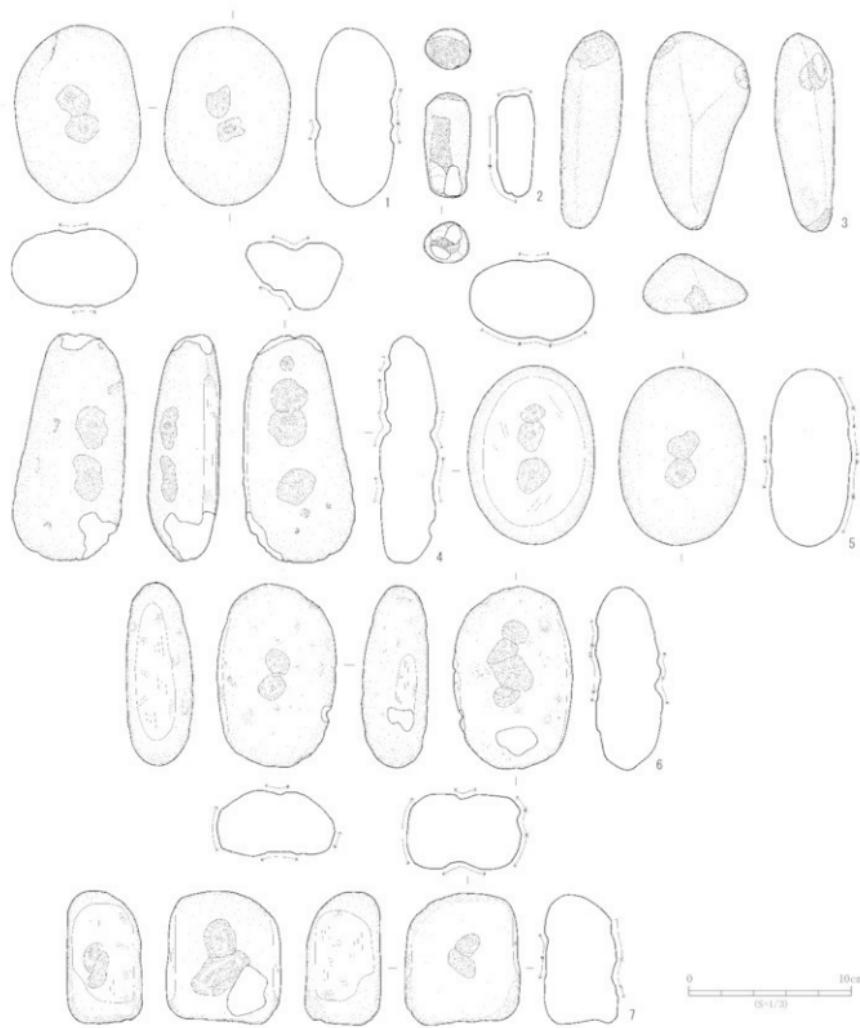
No.	登錄番号	層位	面	幅	石種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	場所		写真番号
										上	下	
1	Kae-6401	上層	スクレーパー	柱状石岩	89.2	41.3	12.4	53.0	228.4			
2	Kae-6402	上層	スクレーパー	柱状石岩	53.0	23.8	9.4	8.2	227-1			
3	Kae-6403	地盤土	スクレーパー	柱状石岩	41.8	43.9	13.1	19.8	227-2			
4	Kae-6404	上層	スクレーパー	柱状石岩	47.5	39.5	9.2	6.6	227-3			
5	Kae-6405	地盤土	スクレーパー	柱状石岩	63.16	43.9	9.9	60.7	上手穴洞			
6	Kae-6406	上層	スクレーパー	柱状石岩	56.1	21.8	9.5	13.0	227-5			
7	Kae-6409	地盤土	ツガビ形石器	流紋岩	46.8	22.4	10.0	8.3	227-6			
8	Kae-6410	地盤土	ツガビ形石器	柱状石岩	18.9	15.1	6.3	2.0	227-7			
9	Kb-3003	上層	磨製石斧	直前	66.6	29.6	7.2	9.7	S-1-3			227-8
10	Kb-3004	上層	磨製石斧	直前	299.75	24.0	25.31	658.6	部分破片	S-1-2		227-9

第509図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(43)



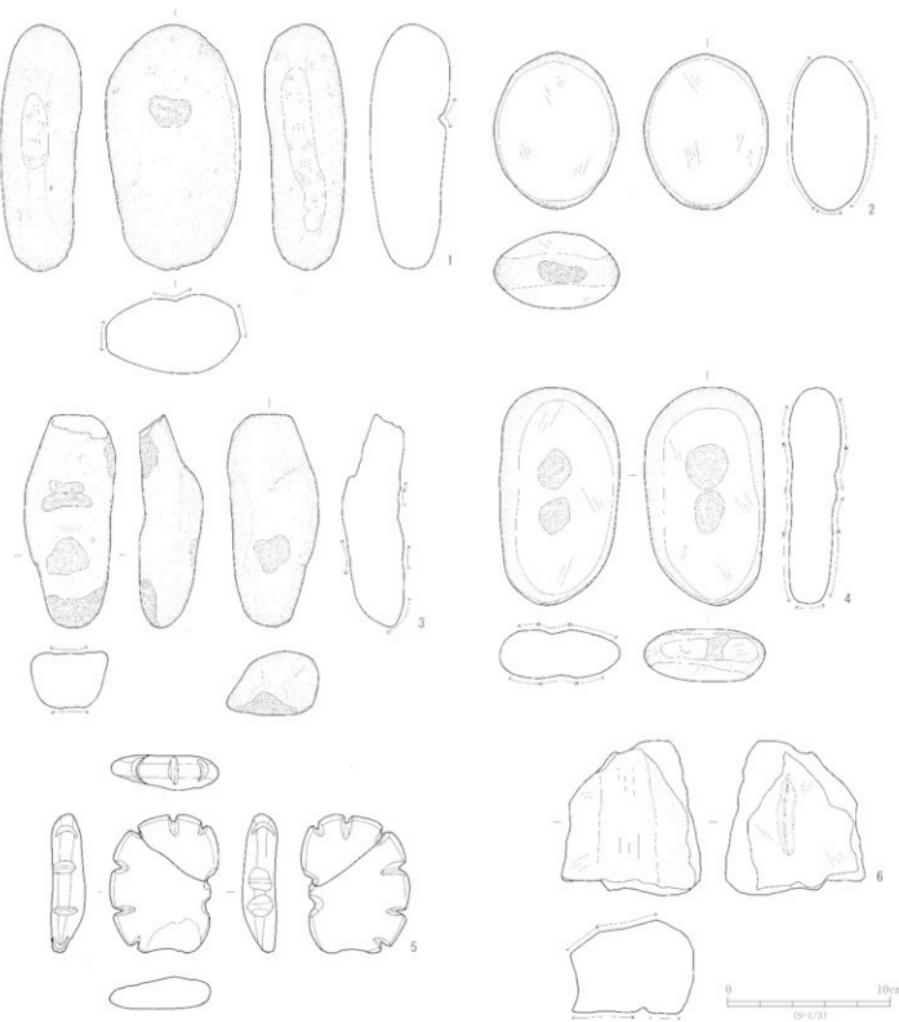
No.	登録番号	場所	形	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	参考文献
1	Kca-6010	上層	礫石器	安山岩	111.0	101.0	65.0	918.0	縫2、表面に剥離跡有り。	227-8
2	Kca-6026	上層	礫石器	安山岩	180.0	80.0	38.0	614.0	縫1(核1)。	-
3	Kca-6027	上層	花崗岩礫石	花崗岩	109.0	94.0	48.0	720.0	縫3(核1)。	227-9
4	Kcb-6034	上層	礫石器	安山岩	112.0	71.0	48.5	624.0	縫5+2。	227-10
5	Kcb-6035	上層	礫石器	安山岩	116.0	66.0	51.5	548.0	縫2+3。	227-11
6	Kcb-6036	上層	礫石器	(ディライ)	114.0	69.0	44.0	614.0	縫2+3。	227-12

第510図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(44)



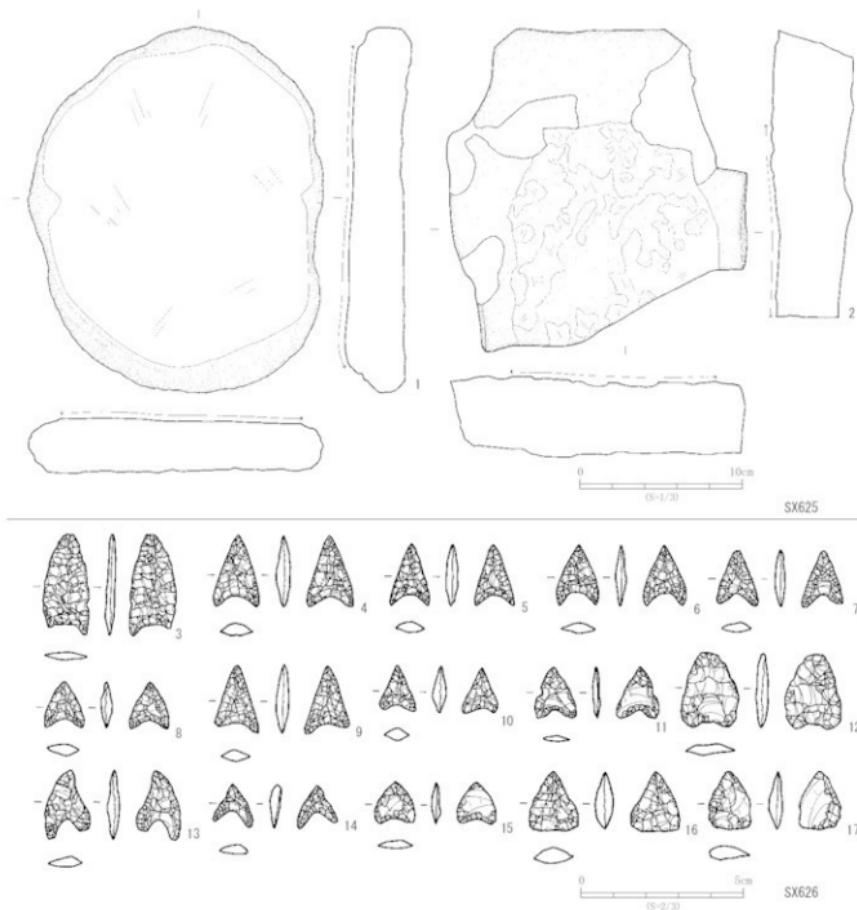
No.	登録番号	地 位	形 態	石 質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	() 内容		参考文献
									多孔性		
1	Kc-b-0007	上層	礫石器	(ディヤイ)	110.0	78.0	49.0	276.0	内2+2,		227-15
2	Kc-c-0004	上層	礫石器	安山岩	64.0	28.0	24.5	54.0	内2,		227-12
3	Kc-c-0001	上層	礫石器	(ディヤイ) 黄麻風岩	121.5	61.0	27.0	224.0	内2+1,		227-13
4	Kc-d-0012	上層	礫石器	安山岩	(140.0)	69.0	42.0	480.0	内1(核), 内2+1,		227-16
5	Kc-d-0013	海側土	礫石器	安山岩	110.0	78.0	50.0	620.0	内1, 内3+2,		227-17
6	Kc-d-0014	上層	礫石器	安山岩	115.0	72.0	40.0	480.0	内2(核), 内2+3,		227-18
7	Kc-d-0015	海側土	礫石器	砂岩	81.5	71.0	45.0	344.0	内2(核), 内2+4+2, 全体的に風化		227-19

第511図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(45)



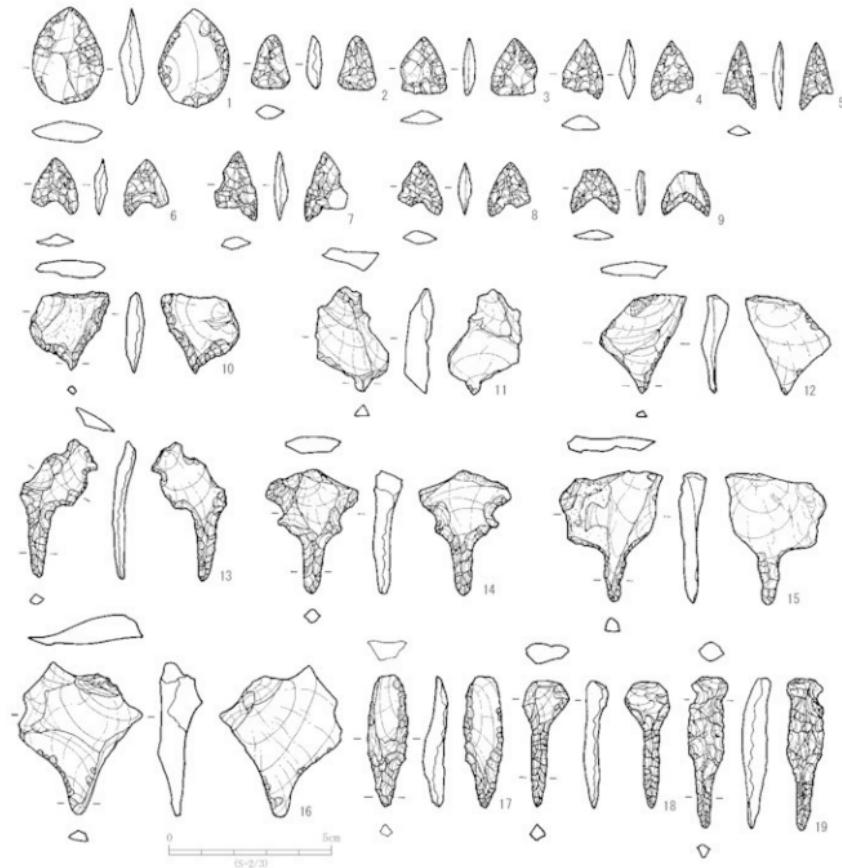
No.	登録番号	場所	形 塗	石 器	長さ (mm)				幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備 考	参考文献
					1	2	3	4					
1	Ked-6010	上層	磚石器	安山岩	151.0	83.0	46.5	299.0	47.0	24.0	227-20	縫合(横), 円1, 游熱面有り,	
2	Ked-6008	上層	磚石器	(メサイ)	96.0	77.0	47.0	27.0	47.0	22.0	227-21	縫合2, 縫合下,	
3	Ked-6004	海綿土	磚石器	安山岩	131.0	58.0	36.5	200.0	37.0	21.0	-	縫合2+1, 縫合横下,	
4	Ked-6009	上層	磚石器	安山岩	134.0	74.0	31.5	482.0	37.0	11.0	-	縫合2+1, 円2+2, 縫1,	
5	Ked-6001	上層	不明石質品	麻風岩	67.0	60.7	19.4	671.0	50.0	25.0	227-22	SX625田土の小礫片上複合,	
6	Ked-601	上層	石器	安山岩	95.5	68.0	58.0	653.0	58.0	22.0	227-23	縫合2,	

第512図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(46)



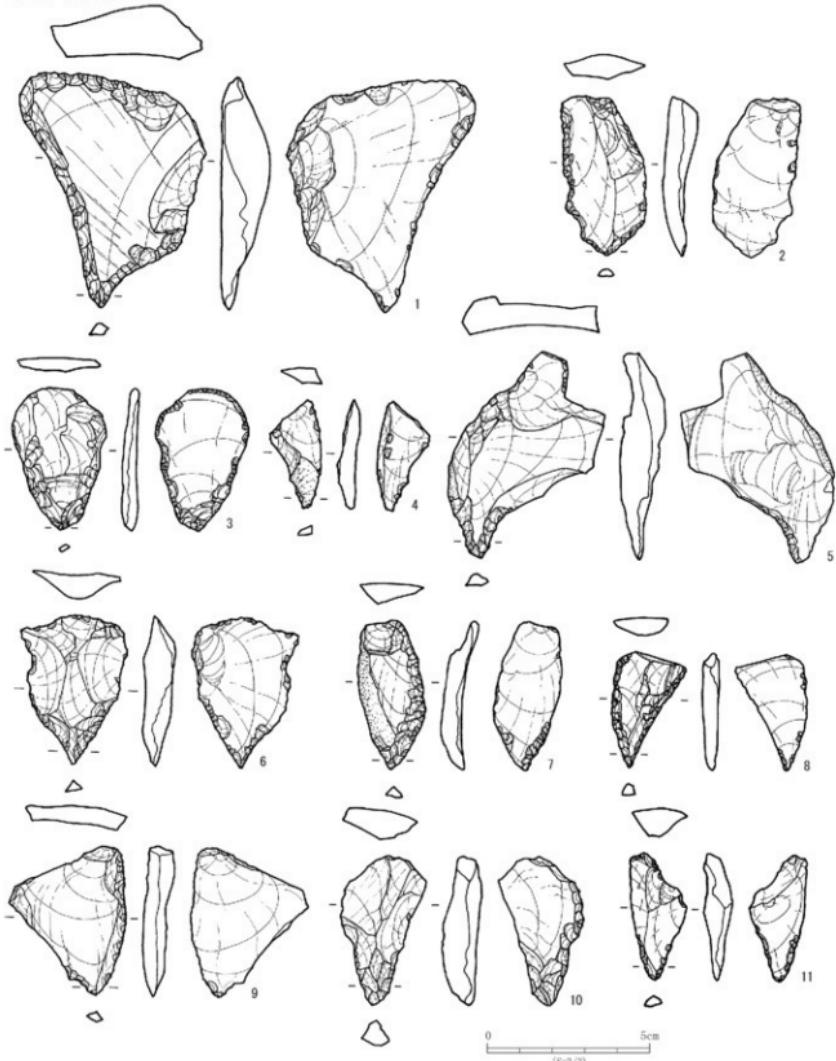
No.	發現場所	層位	圖版	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	参考文献
1	Kaa-6012	海綿土	石頭	安山岩	224.5	181.0	41.0	2,980.0	磨1.	227-34
2	Kaa-6012	上層	石頭	安山岩	(199.0)	(184.0)	(60.0)	(2,980.0)	磨1.	
3	Kaa-6012	海綿土	石頭	珪質頁岩	(38.0)	14.1	2.0	110	半端部欠損。	228-1
4	Kaa-6012	上層	石頭	珪質頁岩	21.7	13.0	4.1	62		228-2
5	Kaa-6012	上層	石頭	鵝卵石	18.0	11.0	4.4	62		228-3
6	Kaa-6012	上層	石頭	珪質頁岩	18.0	10.0	4.4	62		228-4
7	Kaa-6012	上層	石頭	黑耀石	16.4	11.7	3.0	64		228-5
8	Kaa-6012	上層	石頭	碧玉	14.0	11.7	2.5	64		228-6
9	Kaa-6012	上層	石頭	珪質頁岩	21.0	13.5	3.7	87	基部にターナ付着。	228-7
10	Kaa-6012	上層	石頭	珪質頁岩	14.0	11.0	4.1	64		228-8
11	Kaa-6012	上層	石頭	珪質頁岩	10.5	12.6	1.9	62		228-9
12	Kaa-6012	海綿土	石頭	碧玉	473.0	17.6	3.0	68,000.0	半端部欠損。コートィング後に光沢有り。	228-10
13	Kaa-6072	上層	石頭	玉髓	21.6	12.9	3.6	67		228-11
14	Kaa-6072	海綿土	石頭	流紋岩	19.3	12.5	3.0	63		228-12
15	Kaa-6072	上層	石頭	珪質頁岩	12.5	12.5	2.5	62	基部にターナ付着。	228-13
16	Kaa-6072	海綿土	石頭	碧玉	17.9	14.7	6.1	12		228-21
17	Kaa-6072	海綿土	石頭	碧玉	17.2	12.8	4.3	69		228-22

第513図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(47)・SX626溝状の落ち込み出土遺物(80)



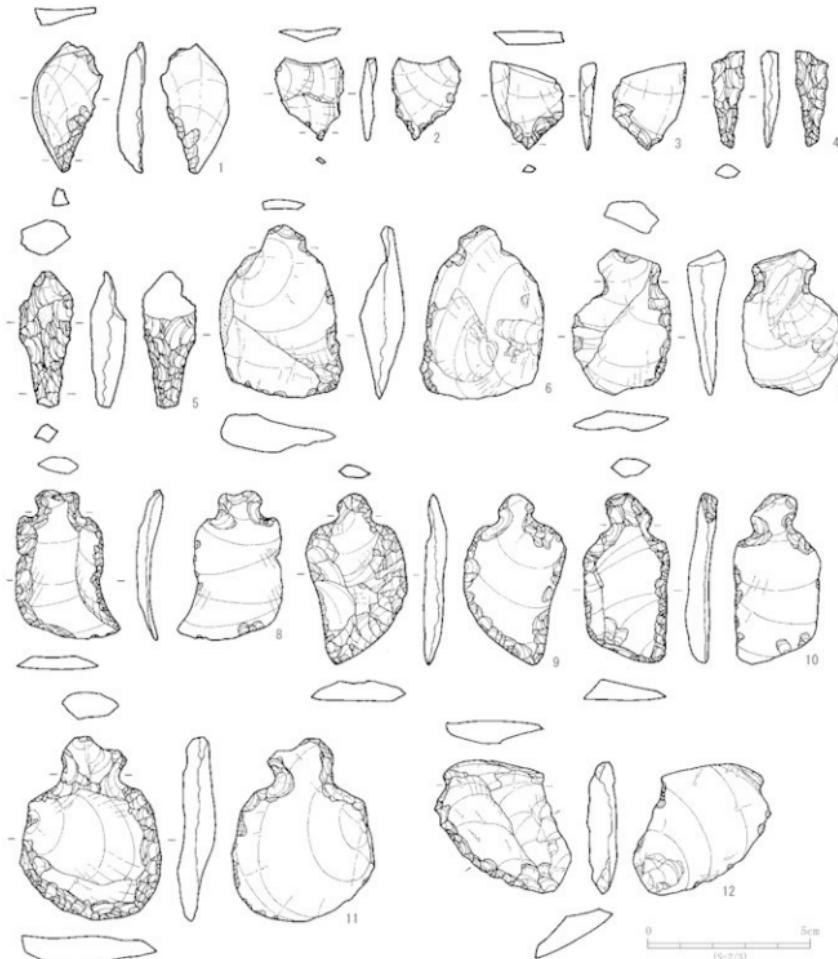
No.	目録番号	種類	形態	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	年次(西暦)
1	Ka-a-007	石器	石器	珪質頁岩	29.4	21.1	6.5	3.8	円錐形	228-24
2	Ka-a-007	石器	石器	珪質頁岩	16.0	11.6	4.0	0.6		228-23
3	Ka-a-007	石器	石器	珪質頁岩	17.7	11.0	3.0	0.8	左側鋸欠形	228-29
4	Ka-a-008	石器	石器	石器	(18.2)	(12.6)	4.5	0.7	右脚趾火照	228-19
5	Ka-a-008	石器	石器	珪質頁岩	20.5	9.8	3.0	0.2	右大有り	228-14
6	Ka-a-008	石器	石器	珪質頁岩	(16.6)	(14.2)	2.8	0.6	左脚趾火照	228-15
7	Ka-a-008	石器	石器	珪質頁岩	(20.7)	(15.5)	3.9	0.9	左脚趾火照、大有り	228-16
8	Ka-a-008	石器	石器	石器	(16.7)	(13.1)	4.1	0.9	左脚趾火照	228-17
9	Ka-a-008	石器	石器	珪質頁岩	(13.6)	14.5	2.5	0.4	左側端火照	228-18
10	Ka-b-005	石器	石器	珪質頁岩	29.8	26.6	4.9	2.8		228-25
11	Ka-b-005	石器	石器	珪質頁岩	32.0	18.2	7.0	3.6		228-26
12	Ka-b-007	石器	石器	頁岩	32.0	19.1	5.1	3.1		228-27
13	Ka-b-008	石器	石器	珪質頁岩	45.9	15.2	3.8	2.0		228-28
14	Ka-b-008	石器	石器	珪質頁岩	37.6	27.8	7.1	4.7		228-29
15	Ka-b-009	石器	石器	玉髓	39.6	22.1	5.8	5.0		228-30
16	Ka-b-001	石器	石器	珪質頁岩	47.0	37.0	9.5	8.2		228-31
17	Ka-b-002	石器	石器	瑪瑙	39.8	11.7	6.0	2.5		228-32
18	Ka-b-003	石器	石器	珪質頁岩	38.5	14.2	6.4	1.8		228-33
19	Ka-b-004	石器	石器	珪質頁岩	46.1	10.9	7.0	3.2	先端部に磨耗痕有り	228-34

第514図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(81)



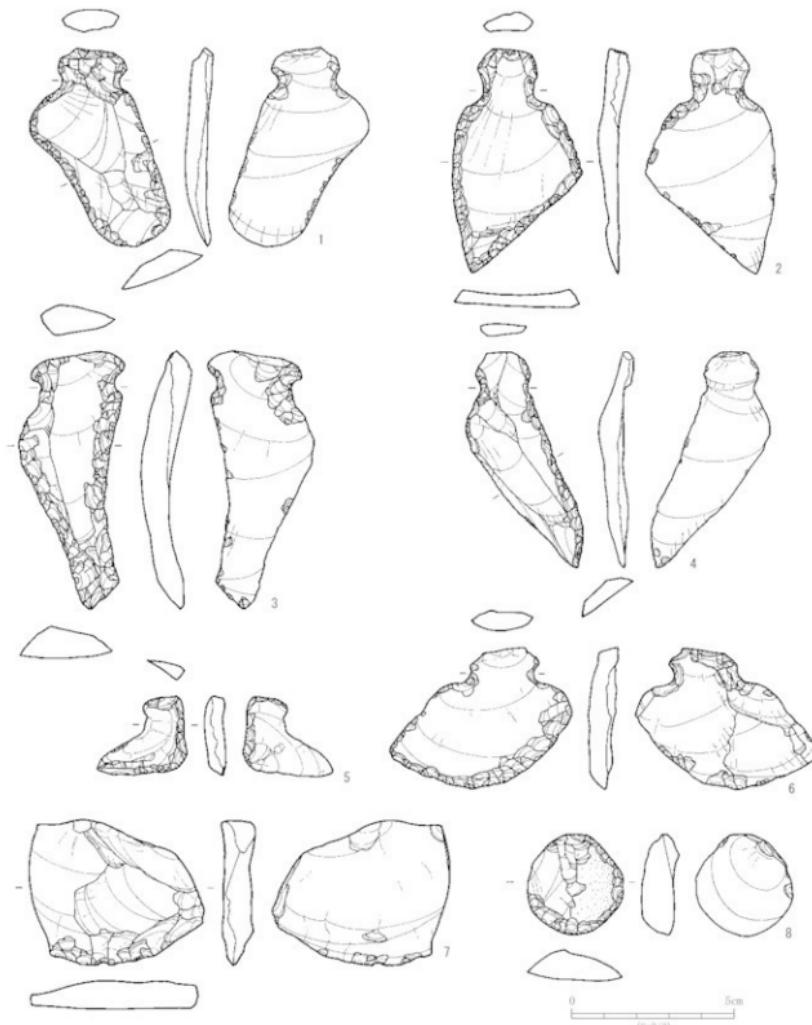
No.	發現番号	地 位	圖 編	石 器	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	面積 (cm ²)	年 代
1	Ka-b-6061	海綿土	石頭	柱頭石器	74.7	45.2	10.0	432	228-41
2	Ka-b-6061	海綿土	石頭	柱頭石器	49.1	21.4	7.6	9.5	228-35
3	Ka-b-6061	海綿土	石頭	柱頭石器	43.1	28.2	4.4	5.5	228-36
4	Ka-b-6061	7~9層	石頭	柱頭石器	32.9	15.9	5.6	1.8	-
5	Ka-b-6061	上層	石頭	玉髓	60.4	38.0	11.8	21.2	228-42
6	Ka-b-6071	上層	石頭	柱頭石器	45.2	32.8	7.6	8.4	228-37
7	Ka-b-6071	海綿土	石頭	柱頭石器	44.9	19.4	6.3	5.3	228-38
8	Ka-b-6071	海綿土	石頭	柱頭石器	34.7	18.9	6.7	3.1	228-40
9	Ka-b-6071	海綿土	石頭	柱頭石器	45.3	27.1	6.7	10.1	228-43
10	Ka-b-6071	海綿土	石頭	柱頭石器	45.5	21.7	10.0	9.2	228-44
11	Ka-b-6071	海綿土	石頭	柱頭石器	39.6	16.6	7.1	3.6	228-39

第515図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(82)



石器番号	場所	石種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	形	参考文献
1 [Ka-b-0076]	海壁土	石頭	26.2	18.9	6.0	3.4	1	228-45
2 [Ka-b-0077]	海壁土	石頭	127.0	29.6	3.1	116.0	つまみ頭上半尖頭	228-46
3 [Ka-b-0078]	海壁土	石頭	28.5	20.5	4.8	22.0	つまみ頭上半尖頭	228-47
4 [Ka-b-0079]	海壁土	石頭	129.0	19.0	6.7	132.0	つまみ頭尖頭	-
5 [Ka-b-0080]	海壁土	石頭	44.2	16.2	10.2	5.0	つまみ頭尖頭	-
6 [Ka-d-0018]	石頭	珪質頁岩	33.0	34.1	11.1	187	鏟型	228-48
7 [Ka-d-0017]	石頭	珪質頁岩	42.9	30.6	11.4	82	鏟型	228-49
8 [Ka-d-0019]	上層	石頭	45.6	31.7	4.9	68	鏟型	228-50
9 [Ka-d-0020]	上層	石頭	52.3	30.0	6.5	100	鏟型	228-49
10 [Ka-d-0040]	海壁土	石頭	53.1	29.5	7.5	182	鏟型	228-56
11 [Ka-d-0041]	海壁土	石頭	56.3	43.6	9.9	233	刃部内斜	228-57
12 [Ka-d-0042]	海壁土	石頭	38.2	45.2	9.1	133	鏟型?	228-58

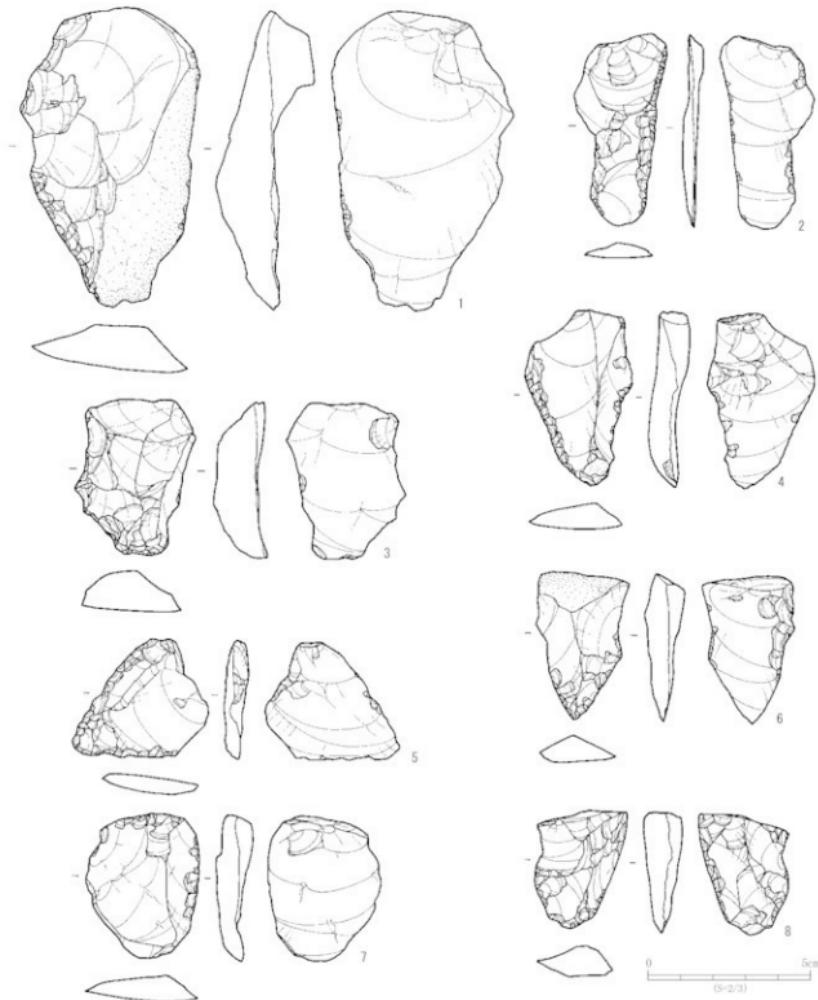
第516図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(83)



() 現存

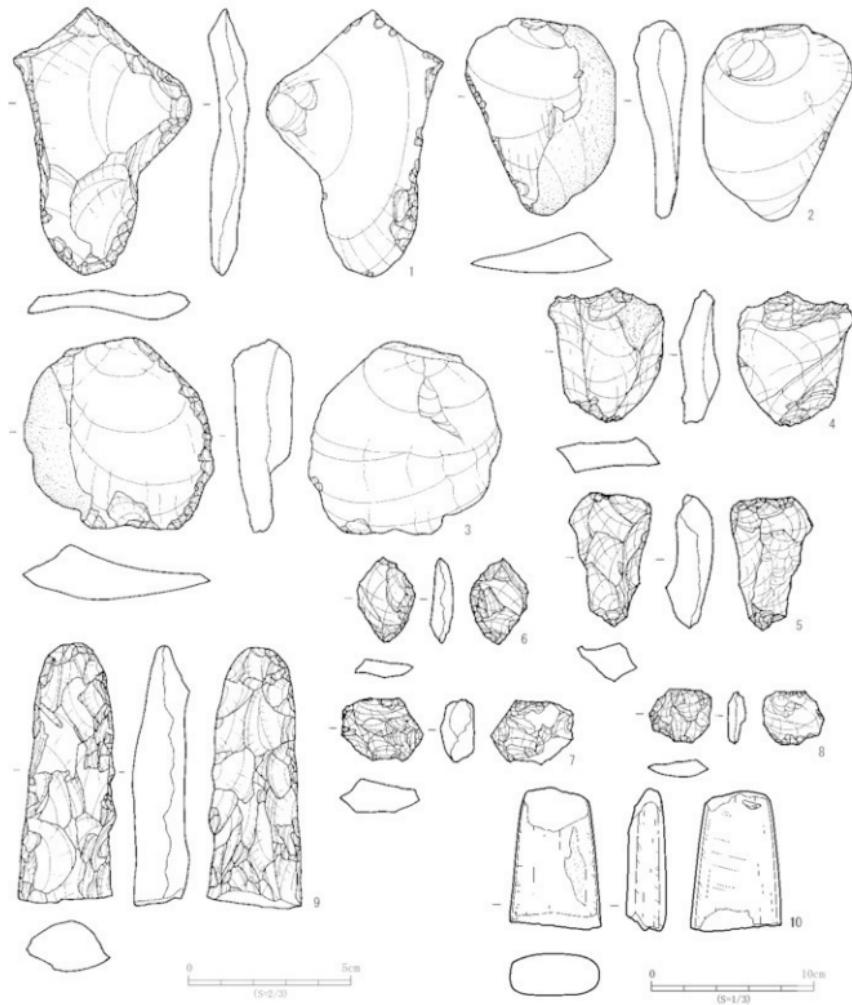
No.	登録番号	場所	面	種類	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	参考文献
1	Kad-6041	上層	G面	柱頭瓦岩	石頭	63.1	34.3	6.5	140	繩型。	228-58
2	Kad-6041	上層	G面	柱頭瓦岩	石頭	68.9	39.8	5.8	132	繩型。刃部端子面缺。	228-51
3	Kad-6041	上層	G面	柱頭瓦岩	石頭	77.1	32.0	10.0	222	繩型。	228-53
4	Kad-6041	上層	石頭	柱頭瓦岩	石頭	71.3	34.8	6.8	112	繩型。	228-52
5	Kad-6041	地盤土	石頭	柱頭瓦岩	石頭	22.7	27.7	5.9	27	繩型。	228-59
6	Kad-6041	上層	石頭	柱頭瓦岩	石頭	40.1	54.1	7.0	165	繩型。	228-1
7	Kae-6041	上層	スクレーパー	頭瓦岩	石頭	143.10	68.70	8.70	2373	頭瓦・太側縁大頭	-
8	Kae-6041	上層	スクレーパー	柱頭瓦岩	石頭	29.4	29.2	8.2	9.4	円形刃部。	228-2

第517図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(84)



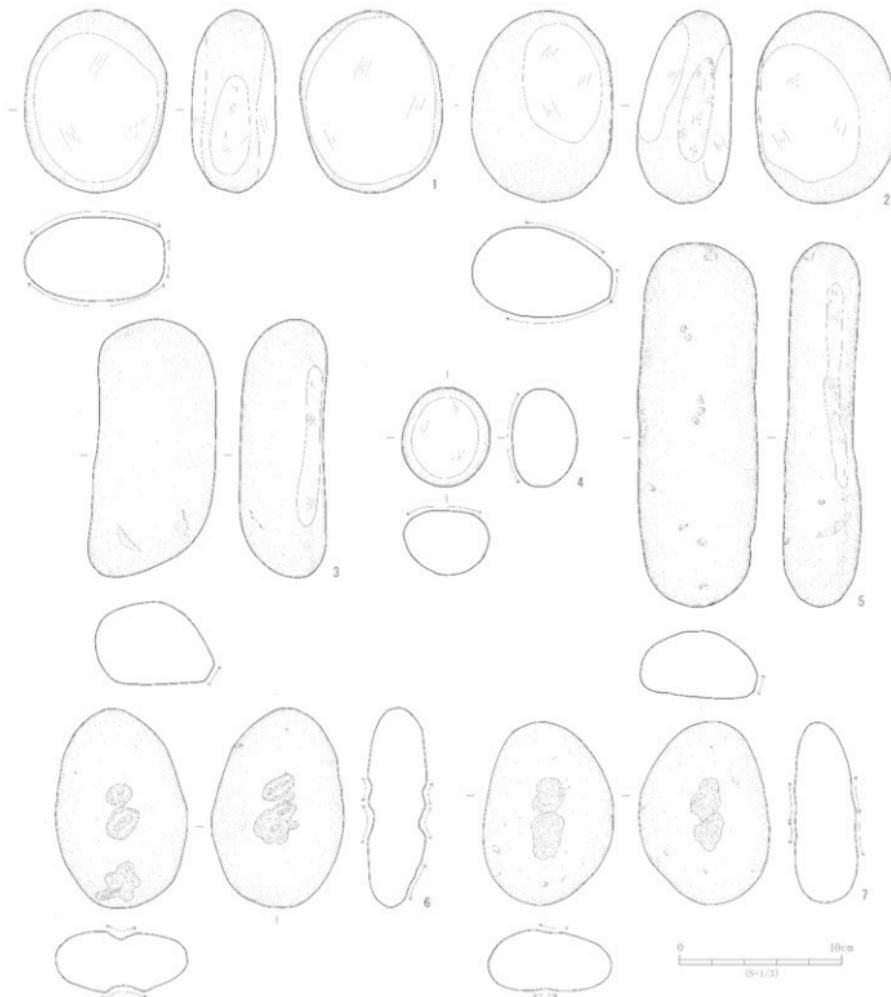
No.	目録番号	場所	圖版	石質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	参考	写真	写真成績
1	Kae-0001	1層	スクリッパー	珪質頁岩	90.6	35.9	16.0	742	-	-	-
2	Kae-0002	地盤土	スクリッパー	珪質頁岩	58.5	27.0	4.8	72	229-3	-	-
2	Kae-0001	地盤土	スクリッパー	珪質頁岩	47.9	34.4	14.1	35.9	-	-	-
3	Kae-0003	1層	スクリッパー	珪質頁岩	54.1	33.0	8.0	149	229-4	-	-
3	Kae-0002	1-2層	スクリッパー	頁岩	42.2	35.9	4.6	78	-	-	-
6	Kae-0004	地盤土	スクリッパー	珪質頁岩	44.8	28.0	11.6	11.2	229-5	-	-
7	Kae-0005	地盤土	スクリッパー	泥灰岩	44.5	34.7	10.0	13.2	-	-	-
8	Kae-0006	地盤土	スクリッパー	珪質頁岩	30.8	27.4	11.1	10.4	次頭面から鄭刀面状の加工有り。	-	-

第518図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(85)



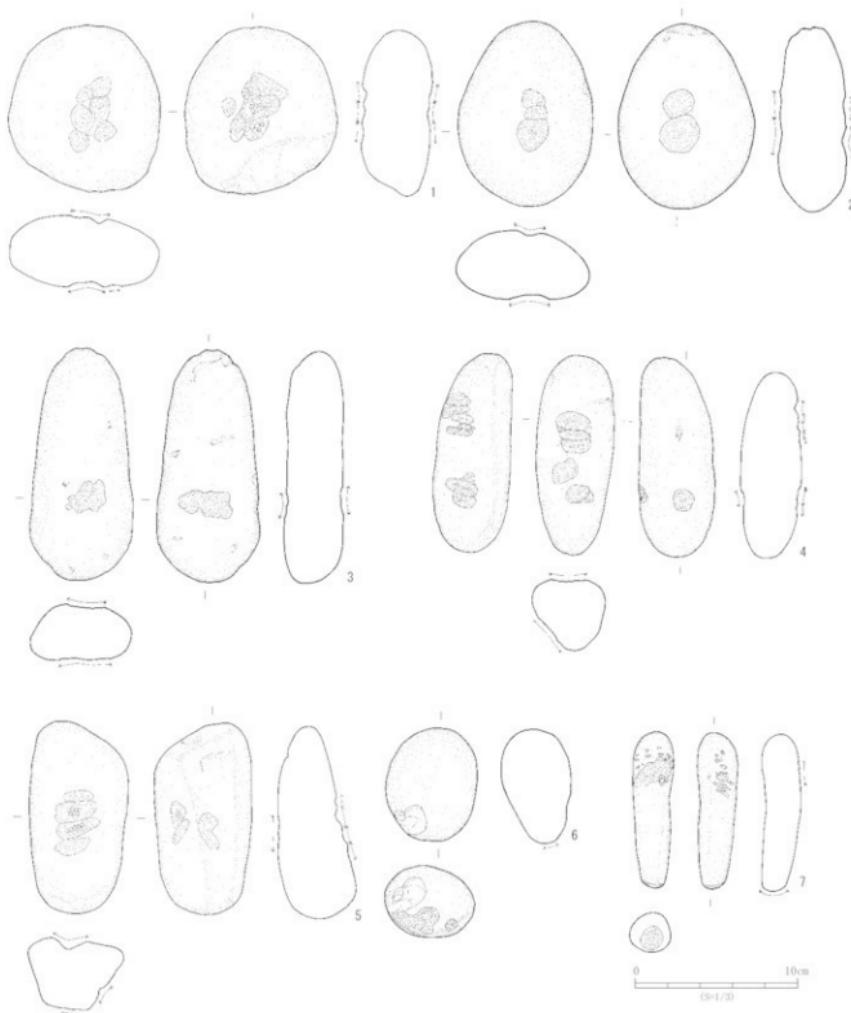
第519図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(6)

No.	登録番号	地質	器種	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	(1) 既存
1	Kae-4607	海綿土	スクレーパー	珪質頁岩	52.5	81.8	8.5	33.5		229-6
2	Kae-4608	上層	スクレーパー	珪質頁岩	59.4	49.4	14.7	29.1		-
3	Kae-4609	上層	スクレーパー	泥紋岩	62.6	54.1	17.5	48.6		-
4	Kae-4611	上層	タガビ形石器	珪質頁岩	46.0	35.2	9.5	13.8		229-7
5	Kae-4612	海綿土	タガビ形石器	玉隕石	41.0	25.4	11.7	9.5		229-8
6	Kae-4613	上層	タガビ形石器	珪質頁岩	25.9	17.8	6.1	2.7		229-9
7	Kae-4614	上層	タガビ形石器	黑曜石	25.3	19.5	10.0	14.2	断縫部欠損。	229-10
8	Kae-4615	上層	タガビ形石器	珪質頁岩	16.2	18.4	5.1	1.5		229-11
9	Kae-4605	上層	石器	珪質頁岩	(78.1)	(29.0)	(18.5)	(43.2)	下半部欠損。	229-12
10	Kb-4605	海綿土	磨製石斧	珪質頁岩	187.0	(54.6)	(24.0)	(224.0)	刃部・細部欠損。	229-13



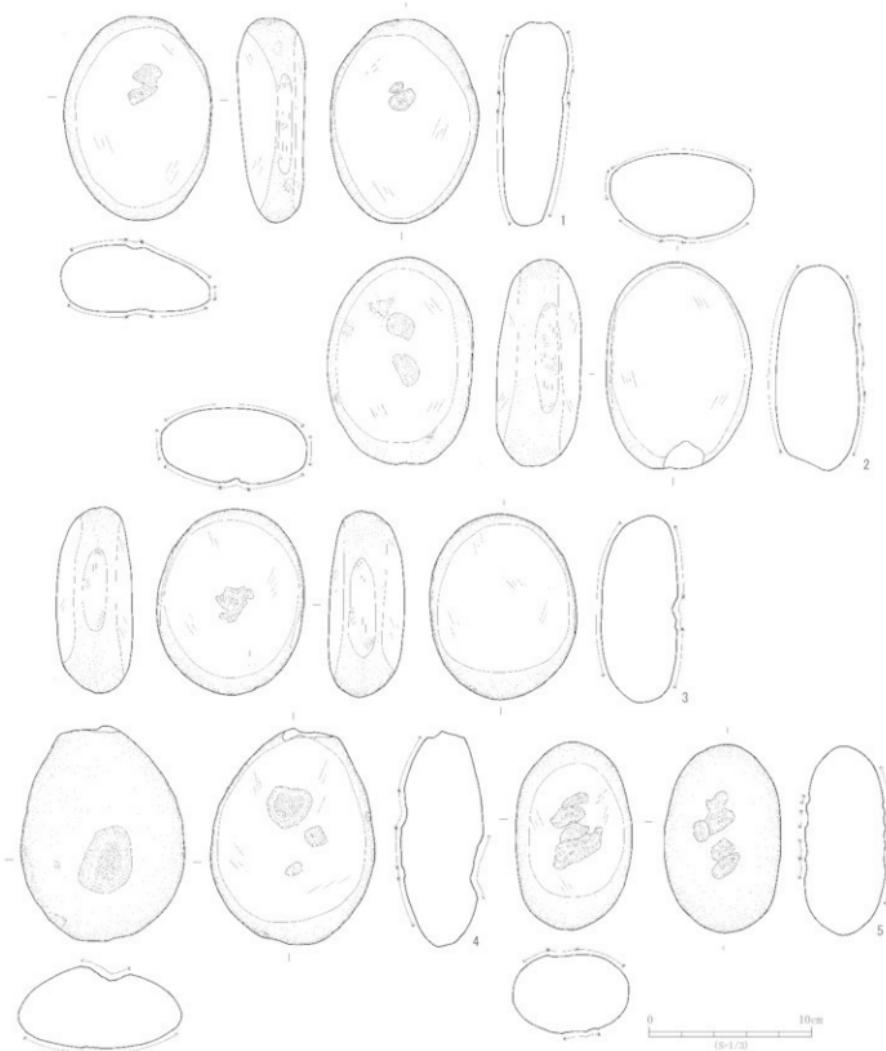
No.	登録番号	埋 級	器 物	石 質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備 考	参考図版
1	Kca-a028	(1)・(2)層	礫石器	(ディサイ)	115.0	88.0	32.0	274.0	壁3(横1).	229-15
2	Kca-a029	海帶土	礫石器	ヒツ割	118.0	87.0	58.0	288.0	壁3(横1).	229-16
3	Kca-a030	海帶土	礫石器	安山岩	159.0	78.0	32.0	1.045.0	壁1(横)	229-17
4	Kca-a031	下層	礫石器	安山岩	61.0	53.5	28.5	372.0	壁1.	229-14
5	Kca-a032	(1)・(2)層	礫石器	(ディサイ)	224.0	74.0	47.0	1.115.0	壁1. 破壊既存り。	-
6	Kca-a033	(1)・(2)層	礫石器	安山岩	122.0	81.0	37.0	472.0	門3+2.	229-19
7	Kca-a034	海帶土	礫石器	安山岩	115.5	81.0	39.5	485.0	門2+3.	229-20

第520図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(87)



No.	登録番号	場所	器種	石質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備考	参考図版
1	Kc-b-6040	(1)・(2)層	礫石器	安山岩	105.0	93.0	44.0	544.0	円6+6。	229-21
2	Kc-b-6041	(1)層	礫石器	安山岩	114.0	83.0	42.0	524.0	円3+2。	229-22
3	Kc-b-6042	(1)・(2)層	礫石器	(ディサイト)	145.5	63.0	35.5	452.0	円1+1。	229-18
4	Kc-b-6043	海綿土	礫石器	安山岩	125.0	47.5	47.5	226.0	円3+2+1	-
5	Kc-b-6044	海綿土	礫石器	安山岩	119.0	61.0	44.5	432.0	円4+2+1	229-24
6	Kc-c-6000	海綿土	礫石器	安山岩	70.0	58.0	44.0	182.0	面1。	229-25
7	Kc-c-6007	(1)・(2)層	〔ディサイト〕黒雲風岩	96.5	25.0	23.5	88.0	面21下1。	229-26	

第521図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(88)



第522図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(89)

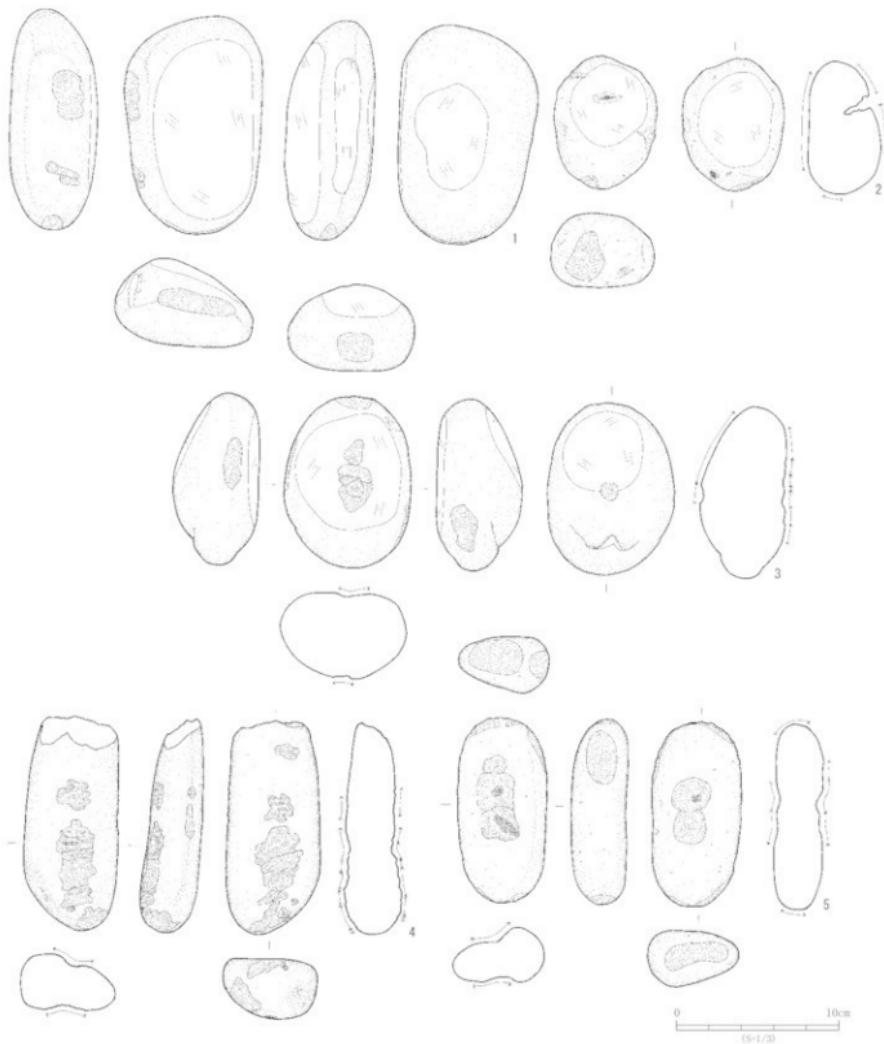
No.	登録番号	場所	断面	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	参考文献
1	Ked-0017	海側土	縦石器	テオサイ	125.5	92.0	42.0	696.0	縦3(横1), 図1+1,	229-27
2	Ked-0018	10・11層	縦石器	安山岩	127.0	90.0	51.5	673.0	縦3(横1), 図2,	229-28
3	Ked-0019	12層	縦石器	安山岩	114.5	110.0	46.0	208.0	縦4(横2), 図1,	229-29
4	Ked-0040	2a層	縦石器	安山岩	133.0	102.0	50.0	680.0	縦1, 図1+2, 游熱能有り,	230-1
5	Ked-0041	海側土	縦石器	安山岩	116.0	71.5	50.0	630.0	縦1, 図4+4,	230-2

(1) 海存



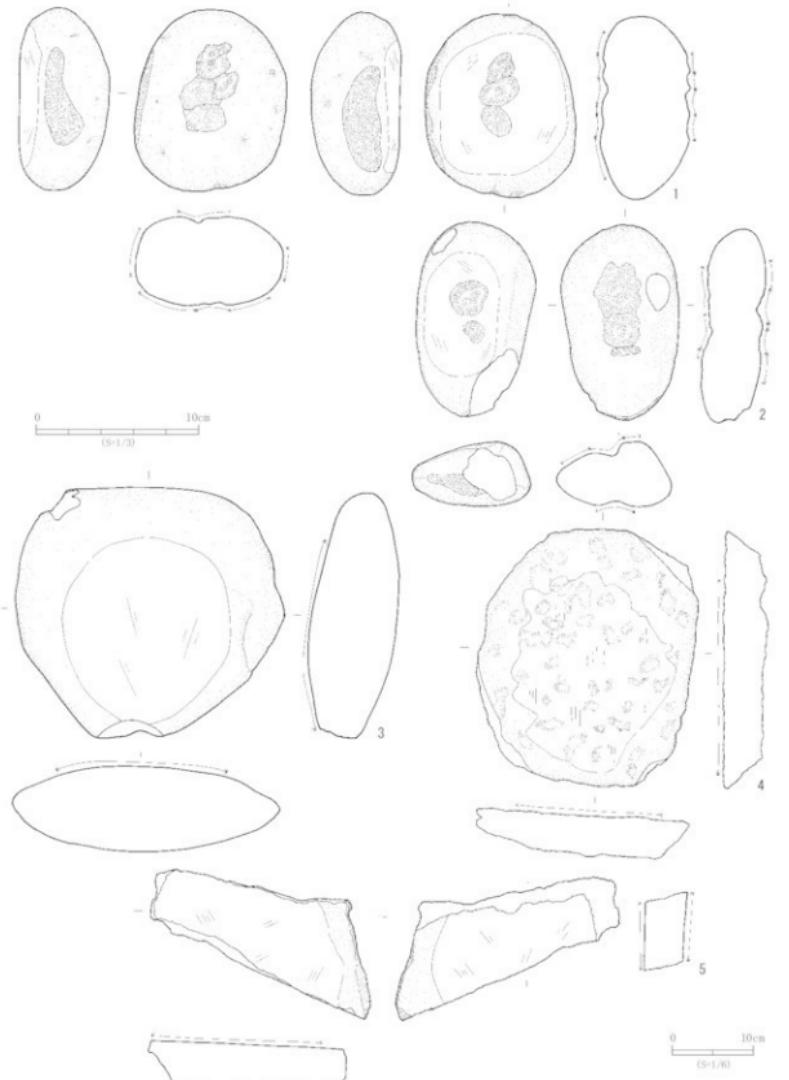
第523図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(90)

No.	登録番号	場所	断面	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	(1) 残存	
									編	参考
1	Kcd-6947	硫黒土	縦石墨	(ディサイ)	116.5	71.0	39.5	444.0	帶3. 帯3+2.	238-7
2	Kcd-6943	1.・2.層	縦石墨	安山岩	124.0	90.0	48.5	693.0	帶2. 帯2+1.	238-4
3	Kcd-6944	硫黒土	縦石墨	安山岩	112.0	95.0	57.0	(845.0)	帶3. 様1. 帶3+2.	238-5
4	Kcd-6945	硫黒土	縦石墨	安山岩	122.0	85.0	49.0	544.0	帶2(様). 帯1.	238-6
5	Kce-6007	硫黒土	縦石墨	(ディサイ)	132.5	81.0	41.0	512.0	帶2. 様1.	238-7



No.	登録番号	場所	器種	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	参考文献
1	Kce-0010	海側土	礫石器	安山岩	120.0	85.5	32.5	964.0	縦3(横1), 斜2(上横1)	230-8
2	Kce-0011	海側土	ディサイ		82.5	61.0	45.5	282.0	縦2, 斜1。	230-12
3	Kcg-0007	①・②層	礫石器	安山岩	160.0	78.5	53.0	394.0	縦2, 図3, 斜2。	230-9
4	Kcf-0005	①・②層	砂岩		132.0	54.0	36.0	404.0	縦4(1+3), 斜2(横下3)。	230-13
5	Kcf-0007	①・②層	礫石器	灰紋岩	114.0	54.0	34.0	390.0	図5, 斜2(横3)。	230-14

第524図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(91)



第525図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(92)

名	登録番号	地	位	器	種	石	質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備	考	参考
1	Kcg-6000	[○]	⑤層	縫石器	安山岩			115.0	93.0	54.5	804.0	縫1、凹4+2、縫2(横)。		230-10
2	Kcg-6000	[○]	⑤層	縫石器	安山岩			119.5	73.0	39.0	632.0	縫1、凹2+2、縫1(下)。		230-11
3	Kda-6002	[○]	⑤層	石器	安山岩			613.0	331.0	199.0	(15,800)g	縫1、波状脈有り、S-1/6.		230-17
4	Kda-6002	[○]	⑤層	石器	安山岩			617.0	222.0	55.5	(5,600)g	縫1、S-1/6.		230-18
5	Kda-6002	[○]	⑤層	石器	[ダイイイ]			618.0	275.0	63.0	(2,812)g	縫2、S-1/6.		230-15